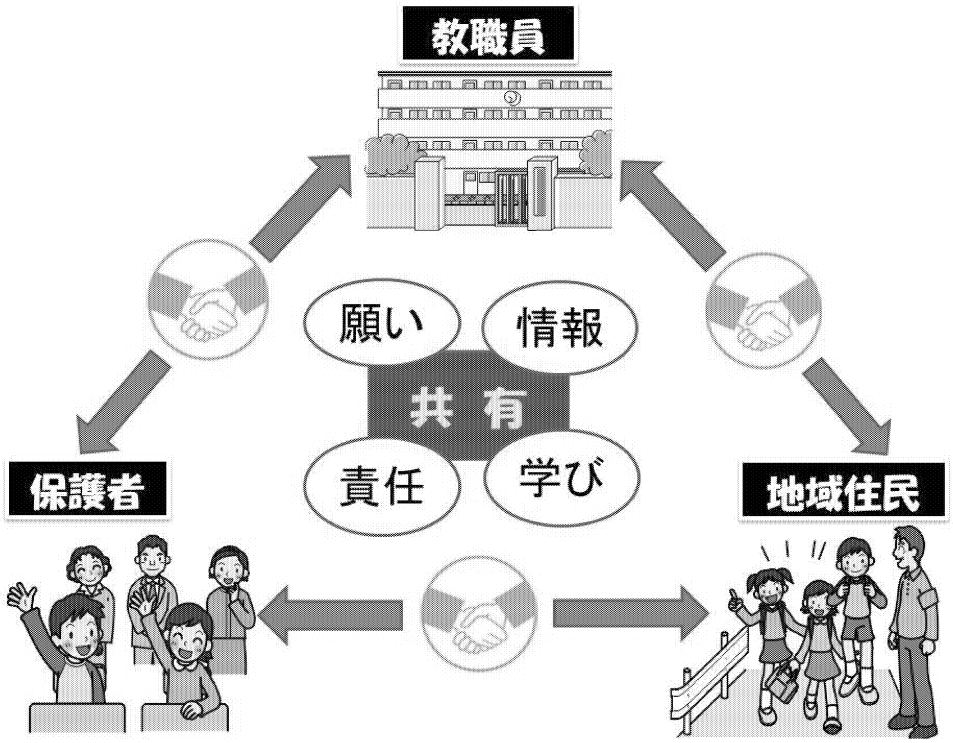
平成２８年度

地域密着型教育推進事業
小･中学校ジョイントスクール推進事業

実践報告集



「地域密着型教育」を通して
子どもたちに確かな学びと豊かな育ちを！

学校・家庭・地域社会が連携・協力し、
(1) 子どもたちによりよい教育環境を提供します。
(2) ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを育てます。
(3) 地域ぐるみの教育活動を展開し、
明るく活力あるまちづくりに貢献します。

八戸市教育委員会

巻頭言

学校と地域の協働体制の充実のために

八戸市教育委員会
教育長　伊藤　博章

本市の教育を支える空間軸である「地域密着型教育推進事業」はスタートして９年、時間軸である「小・中学校ジョイントスクール推進事業」は１３年目を迎えたことから、報告書の一本化を図り、事業の実践や成果を共有するために、今年度の実践報告集は、二事業について掲載しています。

今年度を振り返りますと、４月の校長とコーディネーターとの地域密着型教育合同説明会により校内連携が強化され、６月の地域密着型教育研修会では、「特定非営利活動法人まちと学校のみらい」代表の竹原和泉氏の御講演とコーディネーター研修会により、地域との共通理解やコーディネーターの専門性向上にもつながりました。

さらに１２月には、柏崎小学校が、平成２６年度の第一中学校に続いて八戸市で２校目の「地域学校連携活動」文部科学大臣表彰を受けました。地域密着型教育スタート時のモデル校であり、八戸市の地域密着型教育を牽引してきた二校が全国のモデルにもなったことは非常に喜ばしいことであり、市内全小・中学校で一丸となって取り組んできた大きな成果と感じました。

１月に行われた「実践発表会」では、第二中学校・三条中学校によるジョイントスクールについての発表、江南小学校と柏崎小学校による地域密着型教育についての発表があり、幼・保・小・中・高等学校や地域、保護者が連携・協働した他校の参考となる実践を共有することができました。

今年度は、これまでの課題であったコーディネーターの引き継ぎに対応して複数配置を推進し、コーディネーターの配置を小規模校へも拡大して、市内全小・中学校で今後も継続していくための体制づくりの支援に努めました。各校からの報告には、学校・家庭・地域の連携・協働の仕組みの構築が見られ、いよいよ推進から充実の段階にあることを感じ、改めて今後の支援の大切さを感じております。

結びに、御講演くださった竹原和泉様をはじめ、これまで御支援・御協力を賜りました保護者・地域の皆様、学校関係者に心より感謝申し上げますとともに、各校の取組がさらに充実するよう心から願い発刊の御挨拶といたします。

目　　次

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　八戸市教育委員会　教育長　伊藤　博章

１章　平成28年度の事業概要
　１　基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
　２　平成28年度の重点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
　３　平成28年度の予算　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
　４　平成28年度の関係行事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
　５　事業推進のための留意点　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
　６　予算からみた各校活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
　７　平成28年度の成果と課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
　８　次年度の見通し　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
　９　地域密着型教育への取組状況に関するアンケートのまとめ　・・・・・・・・・・　５
　10　地域密着型教育コーディネーター業務に関するアンケートのまとめ　・・・・　７

２章　平成28年度報告書（※はジョイントスクール報告書含む）
　＜小学校＞
　１ 八戸　… ９※　２ 城下　… 11　３ 吹上　… 13　４ 長者　… 15　５ 図南　… 17　６ 中居林 … 19　７ 柏崎　… 21　８ 小中野 … 23※　９ 江陽　… 25　10 湊　… 27　11 青潮　… 29　12 白銀　… 31　13 白鷗　… 33※　14 白銀南 … 35　15 町畑　… 37　16 美保野 … 39　17 鮫　… 41　18 種差　… 43
　19 大久喜　… 45※　20 金浜　… 47　21 根城　… 49　22 白山台　… 51※　23 江南　… 53　24 田面木　… 55　25 下長　… 57　26 城北　… 59　27 高館　… 61　28 根岸　… 63　29 日計ヶ丘 … 65※　30 是川　… 67　31 三条　… 69　32 西園　… 71　33 明治　… 73　34 桔梗野　… 75　35 轟木　… 77　36 多賀　… 79
　37 多賀台 … 81　38 豊崎　… 83※　39 新井田 … 85※　40 旭ヶ丘 … 87　41 南郷　… 89　42 島守　… 91
　＜中学校＞
　１ 第一　… 93※　２ 第二　… 95　３ 第三　… 97※　４ 長者　… 99※　５ 小中野 …101　６ 江陽　…103※　７ 湊　…105※　８ 白銀　…107　９ 白銀南 …109※　10 鮫　…111※
　11 南浜　…113　12 根城　…115※　13 白山台 …117　14 下長　…119※　15 北稜　…121　16 是川　…123※　17 三条　…125※　18 明治　…127※　19 市川　…129※　20 豊崎　…131　21 大館　…133　22 東　…135※　23 中沢　…137※　24 島守　…139※
　＜小・中学校＞
　１ 田代　…141※

３章　地域密着型教育研修会資料
　１　講師　特定非営利活動法人まちと学校のみらい　代表 竹原和泉 氏・・・・・143

４章　実践発表資料
　１　江南小学校地域密着型教育発表資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 147
　２　柏崎小学校地域密着型教育発表資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
　３　第二中学校ジョイントスクール発表資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 162
　４　三条中学校ジョイントスクール発表資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 167

５章　関係資料
　１　地域密着型教育推進事業実施要項　及び　新旧対照表・・・・・・・・・・・・ 169
　２　八戸市「地域密着型教育推進事業」における
　　地域学校連携協議会の取扱等に関する要綱　及び　新旧対照表・・・・・ 173
　３　地域密着型教育推進事業に係る
　　「地域密着型教育コーディネーター」配置要綱　及び　新旧対照表・・・ 181
　４　地域密着型教育推進事業基本構想図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185
　５　同一学区内地域学校連携協議会の形態例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 186

１章　平成28年度の事業概要

１　基本方針　・・・

１章　平成28年度の事業概要

１　基本方針

市内各小・中学校は、八戸市教育委員会が定めた「地域密着型教育推進事業実施要項」、「八戸市『地域密着型教育推進事業』推進校における地域学校連携協議会の設置等に関する要綱」及び「地域密着型教育推進事業に係る『地域密着型教育コーディネーター』設置要綱」により、地域密着型教育を推進し、市教育委員会では平成28年度の重点を中心に事業を展開する。

⑴ 趣旨

児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を通じて、学校運営に関して、保護者及び地域住民等の参画を進める。

⑵ 実践内容

保護者及び地域住民が、学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

①「願い」「情報」「責任」「学び」の四つを学校・家庭・地域社会が共有し、ＰＴＡ活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。

②教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。

③地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

⑶ 組織

各校においては地域学校連携協議会を組織し、年３回程度開催する。専門部会、企画推進部会等他の組織の設置については、各校の裁量とする。

２　平成２８年度の重点

⑴ 説明会・研修会等の工夫による各校の取組への支援

校長あるいは教頭とコーディネーターとの合同説明会、コーディネーター研修会、地域密着型教育研修会等を開催し、連携のための仕組みづくりの研修や各校の課題解決に向けた話合いを通して、各校の取組を支援する。

・地域密着型教育合同説明会の開催（１回）
・コーディネーター研修会の開催（２回）
・地域密着型教育研修会、実践発表会の開催　　等

⑵ 地域学校連携協議会の充実とための支援

各校の地域学校連携協議会が充実するよう、担当指導主事を中心に支援する。

・協議題の吟味や資料提示等の工夫及び、協議進行の工夫
・災害発生時の安全確保に係る体制についての協議　　等

⑶ 学校と地域との連携を強化するための支援

各校での取組を継続していくための体制づくりを支援する。

・コーディネーターの複数配置等の体制の工夫　　等

(4) 一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動

地域密着型教育に対する理解が広がるよう、各学校の活動紹介等、一般市民への広報活動に努める。

・市教委による「教育の広場」の開催や「広報はちのへ」への特集記事の掲載 等
・各学校による、ホームページ、ブログ、たより等への記事の掲載　　等

３　平成２８年度の予算

【 平成28年度地域密着型教育推進事業予算案（１校当たり）】

		普通規模校	小規模校	備　　考
規模の基準	小学校	100人以上	100人未満	
	中学校	80人以上	80人未満	
コーディネーター謝金		160,000	0	800円／ｈ×200ｈ
消耗品費		30,000	10,000	用紙代、インク代
会 議 費		1,500	1,500	お茶代
保 険 料		各校50人まで	各校15人まで	ボランティアの保険料 300円／人

４　平成２８年度の関係行事

月	日	曜	内　　容	備　　考
4	25	月	地域密着型教育合同説明会 コーディネーター研修会①	事業推進の基本方針、事務手続き
7	6	水	「地域密着型教育研修会」	
11	24	木	地域密着型教育コーディネーター研修会②	
1	21	土	第３回　教育の広場	市民への事業の周知
1	27	月	小中JS・地域密着型教育実践発表会	推進校からの実践発表
3			地域密着型教育実践報告集発行	

５　事業推進のための留意点

(1) 地域学校連携協議会を充実させ参加者の参画意識を高めるための留意点

①保護者や地域住民が関心をもちやすい具体的な内容について、分かりやすい資料を提示するなど、意見が多く出るように工夫する。
②学校の課題や児童生徒の課題については、参加者全員の課題として捉えられるようにする。
③要望や意見について検討する機会（学校で、ＰＴＡで、企画推進委員会で等）を明らかにし、検討結果（学校行事の変更、ＰＴＡ活動の改善、ボランティアの活用等）を次回の協議会で報告するなどして、結論を急がない。
④委員全員から意見を吸い上げたり、年間行事予定等を諮り意思決定の機会をつく

ったりするなどして、委員としての意識の高揚をはかる工夫に努める。

⑤司会者（会長）との事前の打合せを行い、学校としてどのような話合いを望んでいるのかを司会者に理解してもらう。また、必要に応じて協議会中でも校長や教頭が司会者にアドバイスして、建設的な話合いになるように工夫する。

(2) コーディネーターの活用に関する留意点

①連絡調整のために、毎週定められた曜日に活動日を設ける。加えて必要に応じて活動するなど、年間活動時間に留意の上、コーディネーターと相談しながら効果的な活動ができるよう工夫する。

②提出書類等について年間の見通しを立て、コーディネーターと協力して作成する。

③活動報告をする際は、コーディネーターの活動には謝金が発生することから、ボランティア活動等コーディネーターとしての活動に含まれないものを記載しないよう留意する。（「地域密着型教育推進事業に係る『地域密着型教育コーディネーター』設置要綱」で定められていない内容は認められない）

④職員や保護者への紹介をしたり、ネームプレートをつけたりするなど、コーディネーターについても知ってもらうように工夫する。

６　予算から見た活動状況

(1) 項目ごとの予算執行状況（２月末現在）

項　　目	予算額	執行額	備　　考
コーディネーター謝礼	6,500,000	6,104,800	800円/ｈ×活動時間（55校分）
消耗品費	1,800,000	1,533,364	30,000円or10,000円（67校分）
食糧費	102,000	94,248	100円×10人×68校×3回
傷害保険料	582,000	318,900	コーディネーター　90人 ボランティア　823人

(2) コーディネーターの１校当たり月別平均活動時間（２月末現在）

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	合計
時間	8	13.1	15.6	12.2	6.4	14.4	14.9	15.0	12.6	11.4	14.0	137

(3) ボランティアの活動状況

（今年度より、学校の状況に合わせて前後期の報告・学期ごとの報告）

	短期的活動のべ人数		長期的活動登録人数		備　　考
	67校合計	1校平均	67校合計	1校平均	
合　　計	18,344人	273.8人	754人	11.3人	3月24日現在

７　平成２８年度の成果と課題

(1) 重点等に関する取組について

①説明会・研修会等の工夫による各校の取組への支援

○合同説明会の開催により、実践内容や事務手続きの共通理解が深まった。
○先進地域からの講師を招いた研修会の開催により、連携協働のあり方や方向性を学び、コーディネーターの専門性を高める研修を行うことができた。
○学校司書の取組に関連した図書ボランティア研修会に、コーディネーターの参加が可能になったことで、図書環境の整備にかかわる取組が広がっている。
●学校アンケートから地域や保護者・教職員の理解を深める必要性が挙げられている。研修会や実践発表会の持ち方を工夫する必要がある。
●研修会では、コーディネーターの任期の幅に対応した内容の工夫が必要である。

②地域学校連携協議会の充実のための支援

○各校の協議会では、進行についての事前打合せや助言が行われており、「地域の子どものため」の話合いや情報交換等、多くの方々から意見を出してもらえるスムーズな進行が行われている。
○担当が、必要に応じて１～２回参加し、簡単な行政説明や助言等を行い、状況を把握しながら進めている。
●継続した取組にしていくために、小・中学校の連携や教育活動との関連を元にして協議会の組織の見直しをしてく必要がある。

③学校と地域との連携を強化するための支援

○コーディネーターの業務分担や継承に対応して複数体制を進め、学校規模による配置の制限を解除することができた。
●食糧費としてお茶を配布したが、学校のニーズや使いやすい予算のあり方について検討していく必要がある。
●コーディネーターと学校の打合せなどの場を確保していく必要がある。
●ボランティアの固定化や開拓の難しさの課題が挙げられている。ボランティアの連携として、小・中学校や学区でのボランティアの共有について検討していく必要がある。

④一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動

○各校では、「地学連だより」「ボランティアだより」の発行や学校ブログ等を通して情報発信をしている。校内に地域密着掲示板を設置したり、中学校区で連携して「地学連だより」を作成したりしている。
○実践発表会では、柏崎小学校と江南小学校のコーディネーターによる実践発表を行い、「教育の広場」では白山台小学校の実践発表を行った。
●「広報はちのへ」等も活用しながら、さらに情報発信に努める必要がある。
●通信等の作成用のコーディネーター用パソコンの整備を進める必要がある。

(2) コーディネーター研修会等で出された内容について

◎ボランティアの募集について、新入生の役員決めで説明したり、入学式でボランティアの年間行事を配付したりすることで、新しい人材発掘につなげている。また、子どもが卒業した方々に声をかけることで、ボランティアを広げている。
◎学校、ＰＴＡとの打合せを設定することで、さらに連携することができる。
◎学校司書との連携、給食補助、白衣修理等の新しい取組が増えている。
◎学区や校内でのコーディネーター同士の情報交換が進んできている。

８　次年度の見通し

(1) 平成29年度の基本方針

平成28年度同様の基本方針を基に改善しながら事業を展開する。

(2) 平成29年度の重点

①説明会・研修会等の工夫による各校の取組への支援・・・・・・ 継続
②地域学校連携協議会の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 継続
③連携した取組の継続のための支援・・・・・・・・・・・・・・・ 拡充
④一般市民への事業に対する理解を深めるための広報活動　・・・ 継続

(3) 地域密着型教育推進事業予算案（１校当たり）

		学校規模				備　　考
規模の基準	小学校	～50人	～100人	～249人	250人～	
	中学校	～40人	～80人	～199人	200人～	
コーディネーター謝金		160,000				800円／ｈ×200ｈ
消耗品費		8,000	10,000	25,000	26,000	用紙代、インク代
会 議 費		2,000				お茶代（コーヒー）
保 険 料		各校20人まで		各校50人まで		ボランティアの保険料 300円／人

(4) 関連行事

月	日	曜	内　　容	備　　考
4	24	月	地域密着型教育合同説明会、コーディネーター委嘱状交付・研修会①	事業推進の基本方針、事務手続き
6	29	木	「地域密着型教育研修会」コーディネーター研修会②	講師　竹原和泉先生 市民への呼びかけ
11	28	火	地域密着型教育コーディネーター研修会③	
1	20	土	第４回　教育の広場	市民への事業の周知
1	26	金	小中JS・地域密着型教育実践発表会 コーディネーター研修会④	実践発表
3			地域密着型教育実践報告集発行	

９　地域密着型教育への取組状況に関するアンケートのまとめ（参考資料）

実施日　平成29年2月

Ｑ１　協議会をどのように設置していますか？（単位は校）

学校単独	協議会の実施形態	中学校区	協議会の実施形態
小学校２８ 中学校１２	４０校のうち１中学校区で第１回・第３回を合同実施。	小学校１５ 中学校１３	13中学校区のうち２中学校区で第２回を分かれて実施。

Ｑ２　協議会の委員は、どのような方がなっているか？
（※今年度は、可能な限り地学連ごと人数を集計）

地域代表　447名	ＰＴＡ関係者　241名	学校関係者　199名
町内会長　115名	現職副会長　79名	教務主任　57名
民生委員・児童委員　38名	現職会長　73名	教頭　52名
公民館等施設職員　36名	会長のＯＢ　36名	校長　53名
交通安全協会　33名	現職その他役員　26名	生徒指導　19名
防犯協会　31名	副会長のＯＢ　4名	研修主任　6名
幼稚園・保育園　30名	その他役員ＯＢ　6名	学年主任　6名
青少教　27名	その他　17名	その他　6名
子ども会　25名	（同窓会・親父の会	（管理主任　図書主任
学識経験者　16名	ボランティア代表等）	養護教諭　等）
その他　96名		
（体育振興会・		
老人クラブ・児童館等）		

Ｑ３　教育支援ボランティアの活用状況はどのようになっているか？（単位は校）

①学習活動に関するボランティア

	小学校	中学校	合計
校外活動安全管理	３７校	２校	３９校
読み聞かせ	３８校	１校	３９校
ゲストティチャー	３２校	５校	３７校
その他（補助等）	２３校	２校	２５校

②環境整備・安全に関するボランティア

	小学校	中学校	合計
図書館支援	３２校	１４校	４６校
安全安心見守り	３７校	１１校	４８校
校庭整備・花壇	３６校	２０校	５６校
校舎整備	２６校	６校	３２校
その他部活除雪	４校	２校	６校

Ｑ４　地域学校連携協議会と学校評価の関係はどのようになっているか？（単位は校）

	小学校	中学校	合　計
全委員が学校関係評価を行っている。	３１校	２１校	５２校
一部の委員が学校関係評価を行っている。	９校	３校	１２校
学校評価委員を別に設置している。	３校	１校	４校

Ｑ５　地域密着型教育に関する情報発信をどのように行っているか？（単位は校）

	小学校	中学校	合　計
地域密着型教育のたよりを作成している。	２３校	６校	２９校
参観日等に説明している。	２３校	１２　校	３５校
学校だよりで紹介している。	４０校	２２校	６２校
ホームページ・ブログで紹介している。	２６校	１１校	３７校

Ｑ６　今年度の地域密着型教育について、よかったこと、改善したいことなど

＜よかった ＞

・コーディネーターが中心となって、地域や保護者との連絡調整役を積極的に努めてくださっていることが、連携の深まりに大きく寄与している。
・教育支援ボランティアの支援を受けて、教育活動を充実させることができた。
・地域密着の取組により、地域・保護者・学校の双方向で共通理解ができた。
・学校の取組について委員の方から多くの意見をいただき、参考になった。
・学区のコーディネーターで集まって、コーディネーター会議を開催できた。
・専門部会の組織、協議会の人数や開催日等を見直すことができた。
・地域密着合同説明会はよかった。推進校連絡会はなくても大丈夫だった。
・小中合同で行うことで活発に意見交換でき、小中学校の連携が深まった。
・地域と学校双方での「地域の中の学校」という意識が高まってきている。
・児童会活動のあいさつへの取組が、地区連合町内会を中心とした地域ぐるみのあいさつの取組として展開しつつある。
・県立図書館講座を活用し、保護者の図書ボランティア開拓の研修ができた。

＜要望・改善＞

・ボランティア等について継続的な人材確保が課題になっている。
・委員会からのアンケートや報告書の内容についての見直しが必要である。
・消耗品、食糧費等の予算を使いやすいようにできないか。ボランティアに対するお礼などもできないか。
・地域密着型教育についての教職員の共通理解を深めたい。
・協議会委員について、グッジョブ事業や小中学校での重複があり、負担をかけているので､関連事業や関連団体等を配慮して組織を見直していく必要がある。
・地域密着の取組など、さらに情報発信していく必要がある。
・コーディネーターの負担が大きくなっているので、複数配置等検討したい。

１０　地域密着型教育コーディネーター業務に関するアンケートのまとめ

実施日　平成29年2月　回答者90名

Ｑ１　現在（または以前）は、どのようなお立場ですか（でしたか）？（単位は人）

	小学校	中学校	合　計
現職のＰＴＡ役員	１０	４	１４
ＰＴＡ役員のＯＢ	４６	１２	５８
ＰＴＡ事務	３	６	９
その他	１４	５	１９

※複数回答あり。兼務は小学校でカウント

Ｑ２　勤務日は決めていますか？

	小学校	中学校	合計
不定期	５１	１４	６８
定期	１２	１０	２２

Ｑ３　学校の窓口は誰ですか？（単位は人）

	小学校	中学校	合計
教頭	５９	２６	８５
その他	０	４	４

Ｑ４　どのような業務を行っていますか？複数回答あり（単位は人）

	小学校	中学校	合　計
①地域学校連携協議会関係（案内・議事録・発送・準備等）	５６	２２	７８
②ボランティア関係（保険・連絡調整・打合せ・見守り等）	５７	２４	８１
③消耗品関係（購入打合せ・発注・会計等）	２１	１８	４０
④学校との打合せ（校長・教頭・担当との打合せ等）	５３	２１	７４
⑤コーディネーター打合せ（校内・地区内等）	４４	２１	６５
⑥地域等への配布物関係（地学連・ボランティア便り等）	４５	２２	６７
⑦研修会への参加（合同説明会・研修会・発表会等）	５３	２３	７６
⑧事務連絡関係（市教委との連絡・実績簿・報告書等）	３３	１９	５２
⑨その他　（行事支援・地域密着掲示板・ＰＴＡ地域諸団体との連絡調整等）			

Ｑ５　コーディネーター業務について、よかったこと、改善したいことなど

＜よかった ＞

・学校での引き継ぎがなされていて､新年度でもすんなり活動することができた。
・地域密着型教育が浸透してきていて、異動で来られた先生方ともスムーズにコミュニケーションがとれている。
・少しずつだが、地域に方のボランティアの意識が浸透してきたように感じる。
・子どもたちの楽しそうな姿や笑顔がたくさん見られる活動ができた時、ボランティアの方から充実した活動ができたと言われた時にやりがいを感じる。
・複数体制になり、同じ立場で活動について相談でき、ボランティア等へのサポートも積極的にできた。
・地域学校連携協議会に参加し、コーディネーターの役割や考えを発表でき、地域との関わりを改めて感じた。
・学校で地域密着型教育掲示板を設置してくれたので、保護者等に発信できた。
・研修会でいろいろな経験年数の方々のお話を聞いたり、情報交換することができたのがよかった。
・ボランティアの方々に先生方からお礼の言葉や感謝の会があってよかった。

＜要望・改善＞

・ボランティアについて、学校から積極的に要請してもらえるようにしたい。
・ボランティア募集や開拓を工夫して行っていきたい。
・学校やＰＴＡ、コーディネーター同士の役割分担等の打合せを大事にしたい。
・他校の通信を参考にして、保護者や地域にもっと発信していきたい。
・学校司書との連携した取組を、さらに進めていきたい。
・合同説明会、講師を招いての研修会はとても有意義だった。図書に関する研修会なども続けて欲しい。
・コーディネーター同士の交流を深める場もあったらどうかと思う。
・お茶の配付はありがたかったが、もっと使いやすい食糧費にならないか。
・予算が使いにくいところがあるので、もっと使いやすくしてほしい。また、活動時間が200時間というのも足りなくなっている。
・小学校と中学校での活動の差や先生方の意識の差を感じることがある。
・可能であれば、他の学校の取組を実際に行って見てみたい。

２章　平成28年度推進校報告書

＜小学校＞

１　八戸　… ９※
２　城下　… 11
３　吹上　… 13
４　長者　… 15
５　図南　… 17
６　中居林　… 19
７　柏崎　… 21
８　小中野　… 23※
９　江陽　… 25
10　湊　… 27
11　青潮　… 29
12　白銀　… 31
13　白鷗　… 33※
14　白銀南　… 35
15　町畑　… 37
16　美保野　… 39
17　鮫　… 41
18　種差　… 43
19　大久喜　… 45※
20　金浜　… 47
21　根城　… 49
22　白山台　… 51※
23　江南　… 53
24　田面木　… 55
25　下長　… 57
26　城北　… 59
27　高館　… 61
28　根岸　… 63
29　日計ヶ丘… 65※
30　是川　… 67
31　三条　… 69
32　西園　… 71
33　明治　… 73※
34　桔梗野　… 75
35　轟木　… 77
36　多賀　… 79
37　多賀台　… 81
38　豊崎　… 83※
39　新井田　… 85※
40　旭ヶ丘　… 87
41　南郷　… 89
42　島守　… 91

＜中学校＞

１　第一　… 93※
２　第二　… 95
３　第三　… 97※
４　長者　… 99※
５　小中野　…101
６　江陽　…103※
７　湊　…105※
８　白銀　…107
９　白銀南　…109※
10　鮫　…111※
11　南浜　…113
12　根城　…115※
13　白山台　…117
14　下長　…119※
15　北稜　…121
16　是川　…123※
17　三条　…125※
18　明治　…127※
19　市川　…129※
20　豊崎　…131
21　大館　…133
22　東　…135※
23　中沢　…137※
24　島守　…139※

＜小・中学校＞

１　田代　…141※

※は、ジョイントスクール報告書を含む

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：第二中・八戸小・城下小）

八戸市立　八戸小　学校
校長　橋向　久美子　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年　６月２０日（月）１６：００～１７：００
②協議内容　・委嘱状交付　・自己紹介
・専門部会の今年度の活動について
・質疑応答　・その他

(2) 第２回　①実施日時　平成２９年　２月１０日（金）１４：５０～１６：３０
②協議内容　・平成２８年度の活動と平成２９年度の主な予定について
・質疑応答　・その他

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 学校関係者評価部会（構成メンバー：連携協議会委員，PTA執行部，校長，教頭，教務主任）
１月２４日　・学校評価アンケート集計結果，自由記述，次年度の取組について

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①教育活動における学習支援
- 菊づくり（５月～１２月に年８回　６年児童，八戸菊花会から４名　八戸菊まつりに６年生全員が出品）
- 七夕飾り作り（６月～７月に２回　２年児童，学習サポート部会から７名　七夕まつりへ出品）
- 内丸山車組見学（７月に２回　３年児童，学習サポート部会から４名　三社大祭の歴史学習）
- 安全マップづくり（６月に１回　４年生児童，安全サポート部会から１名　学区探検補助）
- 俳句教室（６月～７月に４回　５年児童，地域から２名　９月にみやぎさん祭りへ作品を奉納）
- 学区探検（９月に１回　２年児童，保護者５名　学区内の商店や施設を訪問）
- 町中探検（１１月に１回　４年児童，保護者１２名　郷土の学習）
- あさがおリースづくり（１１月に１回　１年児童，保護者１０名　朝顔の蔓でリースづくり）
- スケート教室での靴紐結び（１２月～２月に各学年２回　１～３年児童，保護者数名）

②環境整備
- 早朝奉仕作業（５月の日曜日　児童，教職員，環境整備部会　学校敷地内の環境整備）
- お父さん会による早朝奉仕作業（５月・１０月の日曜日　教職員，保護者　ビオトープ整備）
- 図書室整備　（５月～２月に年６回　学習サポート部会　図書室環境整備・壁面飾りつけ）
- 花壇整備　（５月～８月に年４回　教職員，環境整備部会　花壇壇コンクールに応募）

③地域との連携行事
- サマーキャンプ（７月　児童・教職員・三八城子ども会　学校施設での宿泊体験活動）
- みやぎさん祭り（８月　児童・教職員・三八城神社・地域　俳句の奉納・八小音頭の披露）
- 注連飾りづくり（１１月に１回　５年児童・三八城公民館老人クラブ　体験学習）

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組　（①②は児童生徒，③④は教職員）

＜重点指導項目①「教師や友達に，自分の意思をはっきりと伝えることができる」＞
- 重点項目を校内掲示し，児童生徒への意識付けを行った。話合い活動やグループ活動など場面の工夫を行うことで，意思を伝える力が付いてきた。

＜重点指導項目②「教師や友達の話をしっかりと聴くことができる」＞
- 話をしっかりと聴くために，各校で児童や生徒の実態に応じて，姿勢や目線を意識させた。

＜重点指導項目③「授業や様々な場面で，自分の意見をもたせ発表する場面を保障する」＞
- 意見をもち発表させるために，書く活動や話し合う活動を授業の中に意識的に取り入れた。
- 実物投影機などのＩＣＴ機器の活用や，板書の工夫をすることで，児童生徒の意欲を高めた。

＜重点指導項目④：「魅力的な話し方・内容を工夫する」＞
- おだやかではっきりとした口調や声量，間の取り方，短い発問を心がけた。また，その時間の授業の流れや重点事項が分かるように示した。

②その他の項目

・ジョイントスクール挨拶運動（５月３０日～６月３日，１０月３日～７日，１月３０日～２月３日）
・中学校授業公開，ジョイントスクール組織会（５月１０日）
中学校全クラスの授業及び無言清掃活動の公開，全体会及び組織会，部会ごとに方策の話合い
・第二中学校「市中体夏季大会壮行式」を中学校区の小学校６年生見学（６月１６日）
・第二中学校区特別支援研究会　講師：立教大学教授：大石幸二 氏
（１０月２７日：城下小・第二中　１０月２８日：八戸小・第二中　プラザホテルで全体会）
各校で大石先生に児童生徒一人一人を観察していただき，「すべての子どもの活動と参加」を保障する指導方法及び子どもの自己管理能力を高めるための教師の関わり方等について，ご指導・ご助言いただいた。
・第二中学校区小学校６年生の中学校授業見学・新入生ガイダンス（２月３日）

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　３５人（保護者含む）※実際の活動人数は，のべ約１００名
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　６人※地域密着型教育予算による保険加入者数

５　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・２名のコーディネーターが保護者や地域との連絡調整役となり，様々な活動に積極的に関わってきたことで，地域や保護者の学校への支援体制が明確になっている。また，教職員の準備等にかかる時間が減少した。
・地域の歴史や伝統を学んだり，伝統行事等に参加したりする活動を，地域の方々と子どもたちがふれ合いながら継続していることで，児童は自分たちの地域に誇りをもち，地域とのつながりを深めている。
・昨年度に引き続き全てのクラブ活動に，外部講師（地域や各種団体の方）が入り活動することができた。どのクラブでも，専門的な知識を教えていただいたり技能を教わったりすることに加え，人間関係をうまく築いていく学びができた。次年度も，全てのクラブに外部講師を依頼する。

②課題

・週休日や長期休業中の町内や地域の催し物等への児童の参加率は，約６割である。今後も学校からの情報提供や家庭での働きかけを呼びかけていくと同時に，教職員も地域とのつながりを大切にし，感謝の気持ちを忘れない地域密着型教育を心がけていく。
・これまで参加協力いただいた方々の高齢化が進んでおり，協力できなくなった方が出始めた。コーディネーターと連携し教育活動に対する具体的な支援を呼びかけたり，人材確保のために地域外からボランティアを募集したりすることを，継続していきたい。
・中学校区で重複している地域学校連携協議会委員が出てきているので，中学校区で行っているジョイントスクール推進事業と関連させながら，中学校区の小・中学校が連携した地域密着型教育を進めていくことが今後必要と思われる。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果

・第二中学区３校で立教大学教授の大石先生をお招きし、各学級の児童生徒の様子や今後の授業の進め方や支援のあり方について指導をいただいた。また，全体会では実践に基づいた事例を多数紹介していただき，大変有意義な研修となった。

②課題

・児童生徒の学びと成長の連続性を図って行くためには，児童生徒に関わるすべての小中学校教師の一貫した指導が不可欠である。教師の言葉がけや板書の工夫は本事業と関連している部分が多いことから，来年度も継続して大石先生の研修会を開催し教師の指導力向上を目指していきたい。
・重点指導項目については，今後も継続していく必要がある。また、次年度も授業におけるユニバーサルデザインの視点を取り入れ，３校共通で実践していくことが必要である。

平成 28 年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城下小学校
校長　小　泉　孝　一　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年　６月１４日（火）午後４時
②協議内容
・委嘱状交付
・学校経営方針について
・今年度の計画について
・その他

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１２月１３日（火）午後４時
②協議内容
・平成２８年度の活動報告について
・今年度の学校評価について
・その他


地域学校連携協議会

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年　２月２８日（火）午後４時〔実施予定〕
②協議内容（予定）
・今年度の活動について
・今年度の学校関係者評価の状況について
・その他（来年度の行事予定等）


図書室整備ボランティア

2　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①図書室整備
・図書室整備ボランティア６名による本の修復・整頓、図書室の装飾等を、６月から２月まで計８回実施した。

②本の読み聞かせ
・読み聞かせボランティア５名による本の読み聞かせを、５月から２月までに計４７回実施した。

③卓球部指導
・ボランティア２名による卓球部の技術指導を、４月から２月までの間（週５回）、実施した。


読み聞かせボランティア

④自転車教室（３学年　8:40～11:20）
・４月１９日（火）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、八戸地区交通指導隊沼館・城下支隊、沼館・城下防犯協会、淀町内会おたすけ隊女性部等の協力を得て、八戸公園で実施した。

⑤交通安全教室（全校　9:25～11:20）
・４月２１日（木）に、沼館警察官駐在所、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、八戸地区交通指導隊沼館・城下支隊、沼館・城下地区防犯協会、淀町内会おたすけ隊女性部、ＰＴＡ交通安全委員会等の協力を得て実施した。

⑥三八城にこにこ教室（４学年　10:15～12:00）

・６月１７日（金）に、三八城公民館との共催で、４学年児童が三八城地区老人クラブとのふれあい交流を実施した。

⑦地域安全マップづくり（５学年　9:00～11:10）

・６月１７日（金）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、沼館・城下地区防犯協会等の協力を得て、学区内のフィールドワークを実施した。

⑧「子ども・女性１１０番の家」スタンプラリー（３学年　9:20～11:00）

・１０月３１日（月）に、沼館・城下振興会、八戸地区交通安全協会沼館・城下支部、沼館・城下地区防犯協会等の協力を得て、学区内６事業所（株式会社デーリー東北新聞社、みちのく銀行城下支店、有限会社えび屋酒店、八戸燃料株式会社城下給油所、有限会社浪岡設備工業所、八戸液化ガス八戸給油所）を訪問するスタンプラリーを実施した。



「子ども・女性 110 番の家」スタンプラリー

⑨しめ飾りづくり（５学年　9:25～11:20）

・１１月１４日（月）に、三八城公民館との共催で、老人クラブ「寿の会」の協力を得て実施した。

⑩俳句教室（５学年　10:35～12:15）

・１１月３０日（水）の一日自由参観日の際に、沼館二丁目第二町内会長の佐々木ツタ子様を講師に迎え、俳句教室を実施した。

⑪校外巡視活動

・７月から１２月まで毎月１回、ＰＴＡ校外指導委員会による巡視を実施した。また、沼館・城下地区防犯協会による巡視も定期的に実施した。



自 転 車 教 室

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　１２人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　８人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成　果

・地域学校連携協議会の話合いでは、委員の皆様から学校の教育活動について協力的かつ前向きな御意見をうかがうことができ、学校運営に生かすことができた。併せて、子どもや地域に関わる有意義な情報を共有することができた。

・地域諸団体の御協力による教育活動への支援により、「地域安全マップづくり」や「『子ども・女性１１０番の家』スタンプラリー」等、様々な体験的な学習を行うことができた。このことにより、児童の意欲が高まり、主体的に活動する児童が増えてきた。

・本の読み聞かせについては、児童がたいへん楽しみにしている。また、読書に取り組む児童が徐々に増えてきている。

②課　題

・昨年度同様、ボランティア登録者数を増やすための取組を進めているが、協力者が少ない。今後もボランティアが増えるよう、取組を進めていく必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立吹上小学校
校長　内山　伸治　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２８年６月２１日（火）　１８：００～１９：４５
②協議内容　○委嘱状交付
ア　学校経営方針等について
イ　地域密着型教育推進事業の概要について
ウ　学校評価について
［資料］・平成２７年度の地域密着型教育推進事業の報告書
・平成２７年度の学校評価結果と報告書

（２）第２回　①実施日時　【参観日】平成２８年１１月３０日（水）
○　授業参観
○　教育講演会（ＰＴＡとの共催）
立教大学・教授　大石　幸二 先生
『子どもの願い・親の願い』

（３）第３回　①実施日時　平成２９年１月２４日（火）　１８：００～１９：３０
②協議内容　ア　地域密着型教育推進事業の経過報告
イ　学校支援ボランティアの活動報告
ウ　学校評価（児童・教員・保護者）の結果報告
エ　学校関係者評価について（意見拝聴）

２　具体的な取組状況

（１）図書室整備支援

＜日常的な活動・図書室の環境整備＞

期　　日　毎週１回（水曜日）１０：００～１２：００
回　　数　週１回
参加人数　常時４名～７名（図書ボランティア）
内　　容　図書室の環境整備作業（修理・整備・登録・装飾・廃棄）の実施

（２）環境整備支援

＜校庭草取り・運動会入場門設置作業・廊下ワックスがけ・窓ふき＞

期　　日　５月２２日（日）　１０月１日（土）
回　　数　２回
参加人数　保護者・おやじの会・児童・教員　春…約２２０名　秋…約１１０名
内　　容　〈春〉・運動会に向けた校庭草取り作業・入場門設置作業
〈秋〉・ポリッシャーによる廊下清掃・ワックスがけ・窓ふき作業等

＜学校花壇の整備＞

期　　日　５月から１１月
回　　数　適時
参加人数　３８名　保護者・教職員
内　　容　ＰＴＡ４学年委員会による苗植えや草取り，花壇じまい等を実施
☆　市内花壇コンクールで「県知事賞」を受賞

＜家庭科室清掃奉仕＞

期　　日　１１月１４日（月）
回　　数　１回
参加人数　１０名　教育支援ボランティア：９名
内　　容　家庭科室のガスコンロ掃除　棚の整理等

（３）学習活動支援

＜ふれあいタイム＞

期　　日　　５月～１２月
回　　数　　毎週火曜日に実施　年間１５回
参加人数　　２６人（地域の祖父母）
内　　容　　①おじいちゃん，おばあちゃんランド…昔の遊びを通しての児童との交流
　　②読み聞かせランド…ボランティアによる読み聞かせの活動を実施

＜総合的な学習の時間　５年＞

期　　日　　７月８日（金）　７月１５日（金）
回　　数　　２回
参加人数　　９４名程度　５年児童・教員　教育ボランティア：１２名
内　　容　　①鍛冶町山車組の山車小屋を訪問し，三社大祭の歴史や山車づくりを見学
　　②吹上山車組のお囃子の方を招いてのお囃子体験

＜総合的な学習の時間　４年＞

期　　日　　１１月８日（火）
回　　数　　１回
参加人数　　１１２名程度　４年児童・教員　教育支援ボランティア：５名
内　　容　　学区内の危険箇所の確認と「安全マップ」づくり

＜総合的な学習の時間　３年＞

期　　日　　１２月２日（金）
回　　数　　１回
参加人数　　８２名　３年児童・教員　教育支援ボランティア：７名
内　　容　　豆しとぎづくり

（４）生活安全活動支援

＜通学路の見守り＞

期　　日　　４月～３月
回　　数　　不定期（都合がつく時間帯）
参加人数　　約１９０名　保護者・地域ボランティア・教員
内　　容　　吹上地区防犯協会および保護者による登下校時の巡回指導の実施

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　３９名（保護者含む）

４　成果と課題

（１）成果

・地域の教育力（ボランティア等の人材）を活用した学習活動への支援を行ったことにより，体験的学習が充実し，児童の学習に対する意欲や主体性が高まり，生き生きと活動する様子が多く見られた。
・地域学校連携協議会委員の方々から，学校の教育活動に対する建設的な意見や要望を直接うかがうことができ，学校運営の改善に生かすことができた。
・「地域密着型教育コーディネーター」の適切な連絡・調整により，児童の学習活動やＰＴＡ活動への支援を充実させることができた。今年度は特に，校内の環境整備と授業の充実をサポートするという面での成果が大きかった。

（２）課題

・職員，保護者，地域の地域密着型教育に対する理解を深めるために，今後さらに学校だよりやブログ等を活用しての情報発信に努めていく必要がある。
・これまで積み重ねてきた成果を各学年で共有しながら，学習や活動をさらに充実させていきたい。教育活動のどこに効果的で具体的な支援が求められているのかを適切に見きわめながら，地域や保護者との連携強化を図っていく必要がある。

平成 28 年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立長者小学校
校長　嶋脇　郁夫　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成 28 年 6 月 29 日（水）14:00～
②協議内容　○委嘱状交付
○学校経営の方針、今年度の学校目標の説明（校長）
○今年度の教育活動について（教務）
○今年度の事業計画について（教頭）
○情報交換
・登下校時の児童の様子
・地域での児童の様子
○指導助言（中奥主任指導主事）

（２）第２回　①実施日時　平成 28 年 11 月 22 日（火）14:00～
②協議内容　○各事業の取組状況について
・学習支援部の取組（教務主任・図書ボランティア）
・行事支援部の取組（ＰＴＡ副会長）
・安全指導部の取組（安全協会、防犯協会）
・環境整備部の取組（ＰＴＡ副会長）
○情報交換
・長者小 140 周年記念事業について
・校内外における児童の様子について

（３）第３回　①実施状況　平成 29 年１月 30 日（月）14:00～
②協議内容　○教育活動の振り返りと次年度の学校経営方針（校長）
○教育活動の成果と課題、次年度の予定（教務）
○学校目標と学校目標具現化のための施策（教頭）
○地域密着型教育ボランティア報告
（学習支援部、行事支援部、安全指導部、環境整備部）
○協議会委員の皆さんからのご意見ご感想

２　具体的な取組状況

（１）学習支援部
・学級園の耕作（5/3：地域の方からトラクタで畑を耕していただく）
・長者の歴史を聞く会（4 年：総合的な学習の時間に於いて地域の歴史を学ぶ）
・ミシン学習（11/中旬：5，6 年に於いて家庭科における学習補助）
・スケート教室（12 月～2 月：1，2 年スケート教室における学習補助）

・学校図書ボランティア（毎週火曜日：図書環境整備、図書修繕、昼の読み聞かせ）
・朝の読み聞かせ（毎週木曜日：8:00～8:15 読み聞かせ　低中高学年ごとに）

（２）行事支援部
・校内相撲大会（6/27，28：まわし締め補助、審判等、地域の方々の観戦、
マスコット作り→6 年生のプレゼント）
・ふれあいまつり（9/18：地域の皆様と一緒にバザー等々に招待）

（３）安全指導部
・パトロール活動（5 月～年度末：下校時、夜間、例祭等のパトロール）
※PTA 校外安全委員会、コミュニティ PTA、町内会、交通安全協会、防犯協会

（４）環境整備部
・環境整備作業（5/21 花壇花苗植え手伝い）
・花壇整備（随時：草取り等、花壇じまい 11/18）
・各教室カーテン止め（6/23：カーテン止めの修繕及び新調）
・給食の白衣（学期末：白衣の修繕）
・校地内樹木（随時：樹木の剪定、枝払い）
・ミシン（11/14：ミシンの整備、修理）

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア現在状況　　４６人（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入　　３３人

４　成果と課題

（１）成　果
・平成 28 年度から「朝の読み聞かせ」を実施した。子供、職員、保護者から一定の評価をいただくことができた。
・140 周年記念事業の実施、計画等に、適切なご意見をいただいた。
・カーテン止め、給食の白衣等の各家庭に負担をかけていた修繕作業をボランティアの手ですべてやっていただいた。
・県立図書館研修を実施し、図書室の環境や本選びなど適切なアドバイスをいただくことができた。

（２）課　題
・ボランティアの方々の高齢化が進んでいる。新たなボランティアの募集が課題。
・コーディネーターを長年やっていただき大きな成果をあげているが、今後の活動にむけて、新しいコーディネーター選びが難しい。
・ブログ、学校だより等で発信しているが、引き続き広報活動は必要。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立図南小学校
校長　馬　場　悦　子　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況



（１）第１回　①平成２８年５月１５日（日）１０：００～
②協議内容
ア　会則について
イ　今年度の組織（案）・事業日程計画の説明
ウ　平成２８年度学校経営方針・学校目標について



（２）第２回　①平成２８年８月２６日（金）１５：００～
②協議内容
ア　学校目標に係る１学期のアンケート調査結果の分析と２学期に向けた対応について
イ　授業参観しての意見・情報交換

（３）第３回　①平成２８年１２月２日（金）１３：００～
②協議内容
ア　今年度の学校経営・運営及び活動について
イ　２学期までの学校目標に係るアンケート集計結果及び資料説明と考察
ウ　質疑応答及び情報交換
エ　学校目標に係る意見書（学校関係者評価）の依頼



（４）第４回　①平成２９年２月２４日（金）１４：４５～
②協議内容
ア　３学期の学校経営及び学校の様子について
イ　今年度の地域密着型教育について（課題・改善点等）
ウ　２９年度地域学校連携協議会事業案について

２　上記以外の会議の実施状況

（１）理事による授業参観
①実施回数３回
ア　授業参観と意見交換（７月と２月）
イ　授業参観として学校保健委員会に参加（１１月）

（２）ボランティアとの意見交換会
①実施回数２回（１２月と２月）
ア　地域ボランティア（クラブ活動ボランティア）との意見交換
イ　まる付け・朝の見守り・図書のボランティアとの意見交換

３　具体的な取組状況



（１）常時的なボランティア活動
①愛好会活動の指導（１７名）：４月から実施
・野球愛好会、サッカー愛好会、ミニバスケットボール愛好会、吹奏楽愛好会の練習及び試合・大会等の指導・支援を行っている。
②朝自習の見守り（３名）：４月から実施
・職員朝会のある月曜日と木曜日に、朝自習の活動を見守っている。朝自習中には、特別な支援を要する児童、問題行動で支援を要する児童などに対しても適切に対応してもらっている。
③読み聞かせボランティア（３名＋読み聞かせボランティア紙風船）
・月１回木曜日の昼、全学年に入り、本の読み聞かせを実施。毎回担当者がローテーションをして学年に応じた内容や語りで、本に親しむ態度を育てることができた。

④図書ボランティア（４名）
・毎週月曜日の午後に図書の整理・補修、古くなった本の廃棄処理、季節に合わせた図書室の環境整備等を実施した。
⑤クラブ活動の指導（６名）：４月から１２月まで実施
・ヒップホップダンス、家庭科、昔の遊びの３つのクラブ活動での指導・支援を実施した。今年もヒップホップダンスクラブがバザー開催時にステージ発表を行い、観客から盛大な拍手をいただいた。



⑥まる付けボランティア（３名）４月から３月まで実施
・昨年度に引き続き、全児童の計算力定着のために実施しているチャレンジタイム（低・中・高学年別）及び昼休み時間に進級式プリントのまる付け補助をしていただいている。
⑦学区内巡視活動
・毎週火曜日児童の下校後、各学年の保護者が児童の安全確保のため、学区内の巡視を実施
・毎週月曜日児童の登校時、保護者が児童の安全確保のため、学区内町内３箇所の交差点で街頭指導を実施

（２）単発的なボランティア活動
①環境整備活動　第１回：５月１５日（日）、第２回：９月４日（日）実施
・校舎の窓拭き、草刈り作業、学校畑の整備作業等、児童・保護者・お父さん委員会・PTAOB延べ２７０人程で校舎及び敷地内の環境整備作業を実施した。
②資源物回収　　第１回：７月２日（土）、第２回：１１月３日（木）
アルミ缶、新聞紙等の資源ごみを各町内から回収し、市のリサイクルパートナー事業指定の業者に引き渡した。２回の活動で延べ７０名程が参加した。
③学校行事支援（秋を楽しむ会）１０月２７日（木）実施
・火おこしやイモ焼きの手伝いに５人程のボランティア（保護者、地域の方、PTAOBの方）が参加



④PTA行事支援（バザー）９月２５日（日）実施
・PTA主催のバザーに、PTAOB１５名程がボランティアとして参加し、当日までの食材の準備や当日の金魚すくいコーナーや輪投げコーナー、綿あめコーナー等の支援をいただいた。

４　ボランティアの状況



（１）ボランティア登録現在数　　４５人（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　４５人

５　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果
①今年度も、図南学区６町内会長様に理事として参画していただき、児童の学校生活の姿や町内での様子を通して学校への意見・要望等を多面的に集約し、支援をいただく体制を整えることができた。また、情報交換を行うことで、地域における児童の実態を把握して交通安全における指導に役立てることができた。
②地域学校連携協議会による学校関係者評価を行ったことで、来年度の教育計画の改善に生かすことができた。
③学習支援ボランティアの積極的な活用により、児童一人一人の学習意欲や学習効果が高まり、教育活動が活発に行われた。

（２）課題
・今後も地域密着型教育の良さや教育ボランティアの活動を保護者・地域住民に発信することで、学校支援ボランティアの人数の確保に努め、地域との関わりを広げながら開かれた学校づくりを進めていく。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立中居林小学校

校長　　中　村　雅　臣　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２８年６月９日（木）　１８：００～１９：００

②協議内容　委嘱状交付

学校経営方針、今年度の学校目標の説明

学校経営方針推進に向けての具体的取組の説明

情報交換

(2) 第２回　　①実施日時　平成２８年１０月２７日（木）　１８：００～１９：００

②協議内容　学校経営方針推進に向けての取組状況の説明

生徒指導状況の説明

情報交換

(3) 第３回　　①実施日時　平成２９年１月２４日（火）　１８：００～１９：００

②協議内容　学校関係者評価

今年度の教育活動の成果と課題、次年度に向けての改善策

次年度の学校行事予定の説明

情報交換

2　具体的な取組状況

(1) 読書活動支援

○図書室環境整備（６月～１月、のべ４８名、本の修理作業や図書室の清掃、飾り付け）

(2) 環境整備支援

○環境奉仕作業（５月、のべ２５０名、校地内の草とりや側溝の泥上げ）

○学校農園の整備（４～６月、のべ５名、農園の耕作）

○校内清掃、草取り（９月、のべ１２名、家庭科室の清掃、花壇の草取り）

(3) 学習活動支援

○１年生学習支援（４月、のべ４８名、スタートカリキュラムにおける支援活動）

○放課後学習・補充学習の支援（６・９・１１・１月、のべ１４７名、丸つけ）
○スポーツテスト補助（６月、のべ２９名、各種目の測定の補助）
○家庭科裁縫学習補助（６月、のべ２２名、はじめてのソーイング学習補助）
○３年総合：「学校のひみつ」学習（１１月、３名、ゲストティーチャー）
○焼きいも会（１１月、１１名、火おこしやいも焼き補助）
○きな粉づくり、餅つき（１１月、のべ３１名、活動の補助）
○校外学習引率補助
・安全マップづくり補助（６月、２５名）
・町探検補助（１１月、１１名）

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　８１　人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　８１　人

４　成果と課題

(1) 成果
・地域学校連携協議会において、地域での子どもたちの様子や登下校時の様子を聞くことができて、学校での指導に大変役立っている。また、地域の幹線道路の交通事情や公園の設置状況についての情報も得られて、地域についての理解につながっている。
・学校支援コーディネーターが、ボランティア活動の窓口及び推進役として力を発揮してくれているので、教育活動推進に必要な支援を得ることができている。
・算数の計算問題の丸つけの学習支援をしてもらっていることが、児童の計算力の向上に結びついてきている。
・地域の方々に学校の教育活動を理解してもらうことにつながっており、ボランティア登録数の増加や協力いただける地域諸団体の広がりに結びついている。
・季節に合った図書室の装飾や本の整備を行ってもらっていることが、読書活動の推進につながっている。

(2) 課題
・地域密着型教育のよさや各支援活動による教育効果等について、保護者や地域に広く発信し、さらに理解と協力を得ていく。
・地域学校連携協議会の機能をより充実させていくために、子どもたちを取り巻く問題や地域の実情など、より具体的な内容について情報交換できるように工夫していく。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立柏崎小学校
校長　　髙　野　康　一　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回（第三中学校と合同開催）
①実施日時　　平成２８年５月１０日（火）１７：３０～
②協議内容　　○今年度の学校目標と重点施策について
○今年度の地域密着型教育における取組計画について
○各専門部会の今年度の取組について

（２）第２回
①実施日時　　平成２８年１２月１２日（月）１７:３０～
②協議内容　　○学校目標にかかる学校評価について
○地域・家庭・学校の連携について

（３）第３回（第三中学校と合同開催）
①実施日時　　平成２９年２月２日(木)１８：００～
②協議内容　　○今年度の取組について
○次年度の学校運営・行事について

２　具体的な取組状況

（１）交流連携部会
〔連携行事〕
①校外子ども会　　類家交番所長、地域関係諸団体の方々、町内会役員等
7／20…22人　　12／21…27人
②柏崎地区区民運動会（9／4）　本校校庭にて　全校児童参加
・学年の種目、町内対抗の種目、愛好会紹介、柏崎音頭、学校創立80周年種目等あり
③親と子のウオーク・ラリー（9／25）
③どんど焼祭（1／8）　本校校庭にて
④PTA主催　学校創立80周年記念「第３７回合同演奏会」（1／9）
・吹奏楽部・合唱部・バトン部・６年生合唱のステージ演奏、運動部映像発表
・多数の保護者、地域の方々、全教職員の協力
〔学校間連携〕
①第三中学校…小中共通重点指導項目の話合い・実践、授業参観
②幼稚園・保育園…情報交換会、園児・児童交流会「おまつりひろば」、園児授業参観・体験
③八戸盲・聾学校…授業交流（社会科見学、鑑賞教室、スケート教室等）
本校校内マラソン大会への参加、陸上大会へ向けての練習
盲・聾学校の校舎や寄宿舎の見学や手話体験
外部専門家を活用した交流及び共同学習（カローリング、天摩選手の講演）

（２）環境整備部会
①図書室整備（毎月２回）　　本のコーティング、本の修理・背ラベルの付け直し
②草取り（5／7）　　保護者・教職員・児童　292人
校地内草取り（6／26）　保護者・教職員・児童　39人
③校内清掃(窓ふき・床みがき）（10／29）　保護者・地域・教職員・児童　295人

（３）安全安心部会
①集団下校指導　　類家交番所長、地域関係諸団体の方々、町内会役員・保護者等
4／26…37人
②夏休みプール監視（7／22～8／18）
③交通少年団活動（9／22）　交通安全マスコット配付

④柏崎地区安全安心パトロール（青色回転灯車）・PTA防犯ボランティアパトロール
防犯協会パトロール・類家防犯協会パトロール・柏崎地区交通指導隊
⑤学校創立80周年記念サマーフェスタ開催時の安全パトロール

（４）教育活動部会

①ボランティアによる夏休み学習会（7／25～7／27）
○午前・午後の部に分けて実施　柏崎小学校図書室利用
○楽しい音読や読み聞かせ教室、英語で遊ぼう、リズム体操、スライム作り、高校生による学習
・ボランティア人数　　地域・保護者・高校生：のべ154人
・参加児童数　のべ513人

②読み聞かせ「かしわお話のたまご」
・毎月２回の朝の読み聞かせ活動実施（1～３学年と４～６学年に分けて）
・入学おめでとう読み聞かせ会（5／24）１年生対象

③授業支援
○１学年　・動物ふれあい体験学習手伝い（10／20）
・生活科「むかしのあそびを楽しむ会」(2／3)　地区老人クラブの方々
○２学年　・生活科「おまつりひろば」幼保小交流活動（9／15）
・生活科「まちたんけん」(6／2・11／24) ２回　地域の公共施設見学
○３学年　・総合的な学習の時間「学区探検」(6／21)
・柏っこミュージアム館長より「学校の歴史と学区の昔の様子」
○４学年　・自転車教室（4／21）こどもの国にて
・総合的な学習の時間「福祉体験」(6／23)
○５学年　・総合的な学習の時間「安全安心マップ作り」(9／28)
○６学年　・柏っこミュージアム館長より「柏崎と柏崎小学校」

④クラブ活動ゲストティーチャー　　茶道クラブ
⑤愛好会指導および見守り　地域・保護者
⑥教材園の土おこし（5／7）

（５）ボランティアの集い　　2／13
①各ボランティアによる情報交換　　地域・保護者の方々参加

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア　　現在数　　３６５人（保護者含む）
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　３６人

４　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果
○集団下校訓練、校外子ども会、区民運動会等に参加する地域の方々が多く、児童と顔見知りになり、児童と地域の方々がつながってきている。
○地域学校連携協議会理事会で話題となった児童会活動「地域に広がる　ありがとうとあいさつの輪」の取組は、地区連合町内会を中心とした地域ぐるみのあいさつにに展開しつつある。児童の地域の方々への感謝の気持ちが、児童のまちづくりの意識へと高まっている。そして児童の活動が、地域住民の「学校を核とした地域づくり」への意識を一層高めることにつながると期待される。

（２）課題
○地域密着型教育が「地域とともにある学校づくり」のみならず「学校を核とした地域づくり」につながることを、幼稚園・保育園、小・中学校と地区連合町内会等が協働して、保護者や地域住民に啓発していくことが必要である。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：小中野中、小中野小）

八戸市立 小中野小 学校
校 長　　井 上　貫 之　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回
①実施日時　　平成２８年 ６月　１日（水）　１８時３０分
②協議内容　　・会則について
・会長及び副会長の選任
・学校経営方針説明
・今年度の事業計画説明

（２）第２回
①実施日時　　平成２８年１２月１９日（月）　１４時００分
②協議内容　　・今年度の活動状況報告
・教育活動状況について
・成果と課題について

（３）第３回（予定）
①実施日時　　平成２９年 ２月２３日（木）　１８時３０分
②協議内容　　・各プロジェクト活動状況及びボランティア活動状況報告
・各校の教育活動状況について
・次年度の計画についての確認

２　上記以外の会議の実施状況

拡大地域学校連携協議会を１１月２２日（火）１７：００から実施し、今後の部活動の在り方について、意見交換を行った。（地学連協委員のほか、各部活動代表保護者も出席）

３　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業
①学習支援
・生活科（町探検、昔の遊び）や総合的な学習（八戸市内自主見学、景観学習）の支援
・家庭科調理実習支援…調理実習時における助言と補助
②読書活動支援
・朝の読み聞かせ（全学年各学期１回）、おはなし会（第１・３木曜日の昼休み）、本の補修、図書室の環境整備
③部活動支援
・野球、ミニバスケットボール、バレーボール、吹奏楽、卓球における技術指導及び練習見守り（通年）
④小中野小学校書道展・書初め教室支援
・作品掲示準備、書初めの助言や補助
⑤地域連携
・小学校・地区合同運動会（５月２２日）、民生児童委員との懇談会（７月１１日、３月６日…予定）、ボランティア報告会・交流給食（１２月１９日）
⑥環境整備…校地内の草取り（親子奉仕作業）、花壇づくり
⑦安心・安全への支援
・交通安全マスコット配布（９月２６日）、長期休業中の校外巡視（夏７回、冬２回）、プール見守り支援（夏休み）、登校時交通安全指導（全学年保護者分担：６回）、地域諸団体有志による登下校時の交通安全指導及び見守り（長期休業を除く平日）

（２）小・中学校ジョイントスクール
①重点指導項目に関わる取組
今年度は、日常生活の中で自己有用感をもたせる指導の工夫に取り組んだ。特に、

ア、家庭学習の定着を図るための家庭学習（コナノート）やキャリアノートの活用
イ、基本的な生活習慣確立のための「小中野っ子５つの実践」
を重点項目とし、学習連携部と生活・地域活動連携部の２部会で話し合った。
○平成２８年５月２６日（木）会場：小中野中学校
・中学校の授業参観
・各部会実践内容の確認
○平成２８年８月９日（火）会場：小中野小学校
・講演会「特別支援の視点を取り入れた授業と自尊感情・自己肯定感の育成をめざす教育について」
講師：八戸市こども支援センター　主任指導主事　中奥　尚子先生
・各部会実践内容中間報告
○平成２９年１月２４日（火）会場：小中野小学校
・小学校の授業参観
・各部会実践内容の成果と課題
②その他の取組
○平成２８年６月１６日（木）会場：小中野中学校
・夏季大会壮行式参加（６年生）
○平成２８年１１月２８日(月）会場：小中野中学校
・中学校の授業参観（６年生）
○平成２９年２月７日（火）会場：小中野中学校
・立志式参列（６年生）

４　ボランティアの状況

（１）ボランティアの登録現在数　　・・・　１８４名
（２）今年度ボランティア保険加入者数　・・・　５０名

５　成果と課題

（１）地域密着型教育の成果と課題
①成果
・昨年度、様式を改善した「学校支援ボランティア申込書」を活用しながらコーディネーターとと打ち合わせをし、地域の方々との連携を図ってスムーズに運営できた。今年度はクラブ活動でも計画的にボランティアを活用し、交流できた。
・地域と学校とのつながりを学校だより等で発信するよう心がけたことで、「昔の遊び」の学習に参加してくださる方が増え、子どもたちはもちろん、ボランティアの方々の笑顔もたくさん見られた。本校教職員の地域密着型教育への関心も、より高まってきている。
②課題
・支援してくださる人材が高齢化しており、子どもたちのために協力したいという気持ちがあっても、身体的に難しい方々が増えてきている。地域の人材を新たに発掘したり活用したりするために、地域からの情報に耳を傾けたり、来校してくださる方々に生の声を聞くように努めたりして、学校教育が地域と一体となって活性化するようにしていきたい。
（２）小・中学校ジョイントスクールの成果と課題
①成果
・小中が自尊感情・自己肯定感の育成という同じ視点で子どもたちを育てることができた。
・夏休みの研修会では、「特別支援の視点を取り入れた授業と自尊感情・自己肯定感の育成をめざす教育について」のテーマで、教育センターの中奥主任指導主事に講演をしていただき、小中の教員が共通理解することができた。
②課題
・早寝、早起き、朝ご飯については、小中が同じように呼びかけ、身に付いてきているが、家庭によってまだ差があるようなので、その点を改善できるよう今後も取り組んでいきたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江陽小学校
校　長　　堰　合　雅　弘　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　（小中合同）

①　実施日時　　平成２８年５月２４日（火）　１６：３０～１７：１０

②　協議内容　　・委嘱状交付　・会長、副会長の指名　・会則審議
・昨年度の協議会活動、小中学校経営、小中学校運営報告
・今年度の小中学校経営、小中学校運営方針、協議会活動計画の説明
・質疑応答

（２）第２回　　（小中合同）

①　実施日時　　平成２８年１１月２４日（木）　１８：００～２０：００

②　協議内容　　・今年度の小中学校経営、運営及び活動について
・質疑応答　・情報交換　・学校評価の依頼

（３）第３回　（小中合同）

①　実施日時　　平成２９年２月２３日（木）　（開催予定）　１８：００～２０：００

②　協議内容　　・今年度の小中学校経営、小中運営及び事業報告
・来年度の小中学校経、運営及び事業、地域学校連携協議会会議の日程

２　上記以外の会議の実施状況

（１）地域づくり会議専門部会

①　実施回数　２回　　（５月２４日、７月１９日）

②　構成メンバーの概要

・町内会長　　・地域各種団体長　・両校の職員、ＰＴＡ役員

③　協議内容

・専門部会の現状、地域や学校の課題、要望

（安心・安全づくり、人づくり、まちづくり、健康づくり、環境づくり）

３　具体的な取組状況

（１）安全・安心活動

○交通少年団街頭指導（４月８日～１３日、９月２１日～３０日）２名
・・・・登校時、交通安全広報車で交通安全の呼びかけ

○交通安全見守り隊の方々による朝・夕の立哨と巡回（通年）　１６名

○交通安全教室（４月２０日）１３名　・・・・ 歩行訓練の見守り

○緊急引き渡し訓練（６月１５日）３名・・・・校地内の誘導

○通学路点検（８月２０日）６名・・・・通学路の点検

○交通安全標語づくり（８月末）‥‥青少協主催のコンクール。入選作品を掲示

○交通安全マスコット配布（９月２３日）１４名‥‥メッセージとティッシュ配布

（２）教育活動

○外部人材を活用した授業

・畑栽培（４月～１１月、１名）・さきおり（４月～１１月、２名）・点字指導（６月、１名）

・江陽の移り変わり（７月、６名）・シッティングバレー体験（１０月、６人）

・地域の名人（１１月、３名）・法霊神楽（１１月、７名）・昔の遊び（２月、５名）

○図書ボランティア（ 通年）１３名‥‥読み聞かせ、図書整理

○江陽音頭指導（５月６回、７名）‥‥婦人会の方による指導

○運動会協力（５月２１日）４名‥‥旅人塾による用具準備や校地内の誘導

○小中合同あいさつ運動（９月１日２日、５０名）‥‥教員・児童・中学生が参加

○すこやか会議（９月１４日、１０名）‥‥学校保健会議（早寝・早起き・朝ご飯）

○招待給食（１１月２２日、２４名）‥‥お世話になっている地域の方を給食に招待

（３）環境整備活動

○江陽緑地公園清掃・除草（７月２４日、１００名）‥‥小・中学生、保護者、教員、地域

（４）地域行事

○スポーツ交流会（９月１１日、４０名）‥‥地区対抗スポーツ大会

○クリスマス会（１２月１１日）１０名‥‥子ども会主催、音楽部参加

○どんと焼き（１月８日）２０名‥‥子ども会主催、餅つき、お汁粉、甘酒

４　ボランティアの状況



（１）　ボランティア登録現在数　現在登録　９５名（保護者含む）

（２）　今年度ボランティア保険加入者数　　２９名

５　成果と課題

（１）　成　果

①学校の教育活動を知らせることで理解が深まり、支援や見守りなどの協力を得ることができた。また、小学校・中学校・ＰＴＡ・地域が情報や意見を交換することで、理解しあい、連携が深まった。

②各学年からボランティアの要請が増えた。子どもが生の声を聞いたり本物を体験したりすることで感動と意欲が高まった。ボランティアとの交流も深まり、地域への愛着も強くなった。

（２）　課　題

①コーディネーターが中学校を拠点にしているため、連絡がスムーズにいかない。小中学校に交互に出勤するか小学校専属を探すかしたい。

②組織と規約が現状に合わなくなり、活動しにくくなっている。見直しをしたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　湊　小　学校
校　長　　川　村　　洋　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回地域学校連携協議会（小中合同）

①実施日時　　平成２８年５月２５日（水）１８：００～

②協議内容

○委嘱状の交付、出席者の自己紹介

○会長・副会長の指名

○議事

・今年度の目標

・地域密着型教育における取組計画

・今年度の取組についての意見・要望

(2) 第２回地域学校連携協議会（小学校単独）

①実施日時　　平成２８年１２月１２日（月）１８：００～

②協議内容

○２学期の様子について（説明、質疑応答）

・現時点までの取組について

・学力の状況について

・学校評価アンケートの結果について

○評価及び意見

(3) 第３回地域学校連携協議会（小中合同）

①実施日時　　平成２９年１月３０日（月）１８：３０～

②協議内容

・今年度の取組について

・学校評価結果の報告

・次年度の教育計画について

・地域からの情報等

２　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①読み聞かせ活動

・各学期１回ずつ低学年、中学年、高学年ごとに本の読み聞かせをした。

・期日：６月２５日、１１月７日、２月１５日

・参加人数：各３名

②学習支援

・家庭科におけるミシンがけの補助を行った。

・期日：１０月下旬～１１月下旬（６回）　・参加人数：各３名

・生活科における昔の遊びの補助

・期日：３学期　　・参加人数：１０名

③郷土芸能指導

・湊に伝わる郷土芸能である「湊沖あげ音頭」と「浜っ子勇み太鼓」を５年生と６年生が学習発表会で発表することになり、その指導のために地元「湊沖揚男組」の方々に来ていただいた。

・回数２２　　・参加人数：各１～６名

④校地内外の環境整備

・校地内の壊れたところ（ドアや窓ガラス等）の他に行事に使う道具の修繕、校地外の草刈り等様々な場面で、環境整備に協力してもらっている。

・回数３０　　・参加人数１名

⑤部活動指導・補助

・野球部とサッカー部については、担当職員が指導する補助をしてもらったり、対外試合の引率の手伝いをしてもらったりしている。バスケット部については、外部指導者として実質的な指導をお願いしている。

・回数１２０　・参加人数４名

⑥安全見守り活動

・朝の登校時における立哨指導

・毎週火曜日と木曜日の朝は防犯協会４名、月曜日と水曜日と金曜日はＰＴＡから３名

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　３５人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　２０人

４　成果と課題

(1) 成果

・ボランティア登録者が増えてきて、コーディネーターが中心になってボランティア活動を展開できるような仕組みをつくることにより、ボランティア活動が充実してきた。

・学校での活動を地域に発信する場が確保できるだけでなく、地域からの情報も収集でき、学校と地域の役割が明確になった。

・保護者や地域の方の協力を得ながら、体験的な活動に数多く取り組ませたことにより、児童の地域や郷土を大切にする心を育成することができた。

・地域学校連携協議会では、学校の教育活動について数多くの建設的な意見をいただき、学校運営の改善に生かすことができた。

・交通安全立哨指導と挨拶運動を連動させたことで、あいさつする児童が増えて、地域住民との親密さが増している。

(2) 課題

・ボランティア活動が充実する一方、ボランティアと職員との打合せ時間の確保が難しくなってきている。

・「地域密着型教育」の趣旨を保護者や地域の方々にさらに周知し、さらにボランティアの登録者を募るとともに、ボランティアを活用する活動内容を工夫していく必要がある。

・中学校と共通理解を図る時間が十分にとれなかったので、連携を密にして、同一歩調で進めていくことが必要である。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立青潮小学校

校長　西久保　雅庸　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年　６月２０日（月）午後６時３０分から

②協議内容　学校経営方針

教育活動の実施状況

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１０月１１日（火）午後６時３０分から

②協議内容　１学期末児童・保護者アンケート結果

教育活動の実施状況

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年　１月３０日（月）午後６時から

②協議内容　２学期末アンケート結果

教育活動とボランティア活動の実施状況

来年度の教育活動

２　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①図書室整備

６月１６日（木）　９月　２日（金）　１２月７日（水）　１２月１３日（火）

１２月１９日（月）　のべ１４名

②教育活動支援

１年生給食支援	４月１３日（水）～１５日（金）	のべ２７名
青潮音頭指導	５月１０日（火）	５名
読み聞かせ	５月２６日（木）　６月２４日（金）　７月１３日（水）	
	９月２６日（月）　１０月２８日（金）　１１月２８日（月）	
	１２月２０日（火）	のべ２９名
校外学習引率補助	９月１３日（火）　１１月　９日（水）	のべ２７名
部活動指導・見守り	部活動実施日	外部指導者登録１３名

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　３２人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　２６人

４　成果と課題

(1) 成果

①　学年主任にボランティアが必要な学習について年度末に提出してもらうことで、コーディネーターも見通しをもって計画的にボランティア募集や活動案内を行うことができた。

②　コーディネーターを中心に学校図書館に関わるボランティアの活動が定例化し、学校図書館環境整備、図書データ登録作業、読み聞かせ活動が定期的に実施できた。読み聞かせの回数も、昨年度より増やすことができた。児童の学校図書館利用状況や読み聞かせ活動への参加状況も良好である。読書に親しむ児童も増えてきている。

③　昨年度の地域学校連携協議会で話題となった非常災害時の引き取り下校について、改めて教育課程編成会議で話し合われた。学校・保護者・地域の考えを交流して課題解決を図るという地域学校連携協議会の目的が果たされた。

④　コーディネーター２人体制のため、相談しながら運営できるので学校支援活動の充実につながっている。図書室前掲示板の他にも来客用玄関掲示板や図工室前掲示板も担当して、児童や保護者・地域の方への情報提供活動が昨年度より活発に行われた。

(2) 課題

①　教育支援ボランティア活動に参加する方が固定化されてきた。地域密着型教育のねらいや推進状況等の情報提供を今後も積極的に行って気軽に参加できるような工夫に努めたり、参加後のコミュニケーション活動を充実させたりするなど、楽しく参加できる活動にしてボランティアを増やしていく必要がある。

②　地域学校連携協議会の機能をより充実させたものにするために、協議題の吟味を含め、内容面の取組を工夫していく必要がある。





平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書

八戸市立白銀小学校
校長　笹　本　一　人　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月１日（水）
②協議内容　＊委嘱状交付　＊会則の審議・承認　＊組織と計画
＊３校の経営方針、ＰＴＡ活動年間計画
(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１１月９日（水）
②協議内容　＊学校の現状と課題　＊学校評価に係る説明　＊話合い
(3) 第３回　①実施日時　平成２９年１月２０日（金）
②協議内容　＊各校の現状と課題　＊来年度の行事（各校・各団体）＊話合い

2　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施回数３回
②協議内容　＊地域学校連絡協議会の議事・進行の確認
(2) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「教育講演会」
（青森県立八戸北高等学校　教諭　時村　香 氏）
７月２８日(木)地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員
(3) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「懇親会」
７月２８日(木)地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

3　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業
① 環境整備部会
○校内奉仕作業
・校内蛍光灯・蛍光灯カバー拭き（教室、図書室等中心に）
② 交流連携部会
○ＪＳ事業
・６年生の白銀中学校の授業と中総体壮行会の参観　・６年生の希望式の参観
○地域諸団体主催行事
・白銀地区三校合同歓送迎会・白銀児童館運営委員会・五校連絡協議会
・三嶋例祭への出店と作品の出品・白銀地区区民運動会・地域防災訓練
・子ども会による夏休みラジオ体操や行事への参加
・白銀すもう愛好会、白銀振興会白銀地区すもう大会開催
白銀小学校、白鷗小学校、白銀南小学校の４年生以上の児童参加
・白銀地区敬老会への参加・福祉パレードへの参加
・白銀まつりパレードへの参加・公民館主催水泳教室の開催
・公民館祭りへの作品の出品・体育振興会による野球教室への参加
・ライオンズクラブ主催なわとび大会への参加、白銀いろはカルタ大会への参加
○情報発信
・学校新聞、学校便り、白銀中学校区地域学校連携協議会だよりの町内会への配布
・ホームページの更新・ブログの更新
③ 学習指導部会
○ＪＳ事業　・「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」の協同実践
学習のきまり・家庭学習の推進（一人勉強ノート）
○ＧＴによる指導　・１年…もちつき大会　２年…学区探検　・３年…みるく教室
・４年…水くみ体験、いのちの出前授業
・５年…いかめしづくり、沖揚勇太鼓　・６年…情報モラル教育
○読み聞かせ　・シロガネーゼによる読み聞かせ（毎週木曜日の朝）
○習　字　・習字の指導の補助、書き初め教室の指導
④ 生徒指導部会
○ＪＳ事業　・地域学校連携協議会と連携したあいさつ運動（年８回）
○部活動、クラブ活動　・クラブのボランティア（お茶生け花、バレーボール）
○防犯パトロール　・夏休み、冬休みに午前、午後
○保護司による「万引き防止」授業
(2) 小･中学校ジョイントスクール
① 重点指導項目に関わる取組
＜重点指導項目①＞：「気持ちのよいあいさつや返事（ありがとう）はきものをそろえることができる」
３校によるあいさつ運動の取組、民生委員･児童委員協議会の協力によって、あ

いさつや返事（ありがとう）は年々良くなってきている。はきものをそろえるもよくなってきている。

＜重点指導項目②＞:「家庭学習ができる」

学習指導部の家庭学習委員会において、３校で一人勉強・自主学習のノートコンクールを開催し、手本となるノートを生徒・児童に紹介した。

＜重点指導項目③＞:「話をしっかりと聞きとり、はっきりと話すことができる」

学習指導部の授業交流委員会において、今年度は重点的に「話す・聞く」を指導したことで良くなってきているが、今後も継続して指導する必要がある。

② その他の取組

ア特別支援部会の組織について

・部会では、児童・生徒の情報交換や個別指導計画の改善点等を話し合った。

イ教職員の交流や家庭や地域社会と連携した取組について

・　５月１９日…推進委員会（白銀中）
・　６月　１日…第１回JS研修会（白銀中で授業参観）
　　全体会、分科会(活動方針及び計画)
・　６月１６日…白銀中学校部活動壮行会公開（白銀小学校６年児童が見学）
・　７月２８日…「教育講演会」　　於；プラザアーバン
　　演題　「高等学校から見たキャリア教育と学力向上」~北はきびしく清きもの~
　　講師　青森県立八戸北高等学校　教諭（進路指導主任）時村 香 氏
　　対象　３校の教員、地域学校連携協議会委員
・　９月１５日…白銀中学校秋期部活動壮行会公開（白鷗小学校６年児童が見学）
・１１月　９日…第２回JS研修会
　　授業研究会・分科会（於；白鷗小）
　　中学校教員と連携した共同授業含み３学級公開した。
・　１月１７日…推進委員会（於：白銀中）
・　２月　６日…白銀小・白銀中情報交換会（於：白銀小）
・　２月　７日…白鷗小・白銀中情報交換会（於：白鷗小）

このほか「さわやか　八戸　グッショブ・ウィーク」で中学生が、小学校や各事業所を訪問し、地域との交流を深めている。

ウ地域密着型教育との連携

地域密着型教育は、ＪＳ推進事業と一体化しながら、実施している。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　５５人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

① 成果

○地域の方々に各校の学校の現状や課題を理解し、協力していただいている。
・実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」を協同実践し、白銀中学校区ＪＳとの一体化の推進
・地域学校連携協議会のポスターの掲示、地域学校連携協議会だよりの発行による、学校・家庭・地域の連携の推進
・教育支援ボランティアの協力により、より専門的な内容を教えてもらったり、個に応じた丁寧な指導をしていただいたことにより、児童の確かな学びが見られた。

② 課題

○「地域密着型教育」を通して、学校・家庭・地域がさらに連携・協力し、今後どのような課題に取り組んでいくのか明確にしていく必要がある。
・実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」がまだ十分ではないため、今後も継続する。
・様々な活動に参加する保護者を増やしたい。
・家庭での学習習慣・読書・お手伝いをさらに定着させる。
・コーディネーターと学校と地域・家庭との「つながり」をさらに強化する。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

① 成果

・地域密着型教育とより連携を深めたＪＳ事業推進
・協同授業の推進（学年・教科）

② 課題

・児童数・生徒数の減少による部活動での小中連携
・小小連携の模索やＰＴＡ活動合同実施の模索が必要

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：白銀中・白銀小・白鷗小）

八戸市立白鷗小学校
校長　田　村　　元　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成28年６月１日（水）
②協議内容　＊委嘱状交付、会則の審議・承認、組織と計画
＊３校の経営方針、ＰＴＡ活動年間計画

(2) 第２回　①実施日時　平成28年11月９日（水）
②協議内容　＊学校の現状と課題、学校評価に係る説明、話合い

(3) 第３回　①実施日時　平成29年１月20日（金）
②協議内容　＊各校の現状と課題、来年度の行事（各校・各団体)、話合い

2　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施回数３回
②協議内容　＊地域学校連絡協議会の議事・進行の確認

(2) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「教育講演会」(青森県立八戸北高等学校 教諭 時村 香 氏)
７月28日(木)地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員

(3) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「懇親会」
７月28日(木)地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

3　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①環境整備部会

○校外奉仕作業
・高見町老人クラブ『睦会』、清水観音老人クラブによる花壇の花植え、草取りの手伝い
・お父さん協力会による運動会入場門の設置、相撲場整備
・地域の方による運動会大漁旗の設置
・３・４学年ＰＴＡによる除草作業

○校内奉仕作業
・お父さん協力会による本校舎２・３階階段壁面のペンキ塗り
・５学年ＰＴＡによる窓ふき作業

○図書ボランティア　年７回
・図書室の環境整備、蔵書の整理

② 交流連携部会

○ＪＳ事業
・６年生の白銀中学校の授業と新人戦壮行会の参観、立志式参観

○地域諸団体主催行事
・白銀地区三校合同歓送迎会・白銀児童館運営委員会・五校連絡協議会
・三嶋例祭への出店と作品の出品・白銀地区区民運動会（本校）
・地域防災訓練（本校）
・子ども会による夏休みラジオ体操や行事への参加
・白銀すもう愛好会、白銀振興会白銀地区すもう大会開催（白銀、白鷗、南小の４年以上参加）
・しみず保育園運動会（本校）・白銀地区敬老会への参加・福祉パレードへの参加
・白銀まつりパレードへの参加・公民館主催水泳教室の開催
・公民館祭りへの作品の出品・体育振興会による野球教室への参加
・ライオンズクラブ主催なわとび大会への参加

○情報発信
・学校新聞、学校便り、白銀中学校区地域学校連携協議会だよりの町内会への配布

③ 学習指導部会

○ＧＴによる指導
・加藤たい子さんとそのお仲間による運動会『十二足』の指導
・ダンスクラブの指導
・１年…昔の遊び・２年…白銀地区町たんけん・３年…白銀の昔を知ろう・５年…八戸の海の仕事

○読み聞かせ
・読み聞かせボランティアによる朝と昼休みの読み聞かせ年７回

④ 生徒指導部会

○ＪＳ事業
・地域学校連携協議会と連携したあいさつ運動（年８回）

○交通安全
・交通指導隊２名、見守りのおばさん１名とＰＴＡによる横断指導
・みなと白銀交番、交通安全啓発ののぼり旗の設置

○防犯パトロール
・白銀地区防犯協会による特別巡視
毎週月･金曜日児童、生徒の下校時刻帯パトロール実施、スーパー、コンビニ等への立ち寄り

○保護司による「万引き防止」授業

(2)小･中学校ジョイントスクール
①重点指導項目に関わる取組
重点指導項目①：「気持ちのよいあいさつや返事（ありがとう）はきものをそろえることができる」
３校によるあいさつ運動の取組、民生委員･児童委員協議会の協力によって、あいさつや返事（ありがとう）は年々良くなってきている。はきものをそろえるもよくなってきている。
重点指導項目②：「家庭学習ができる」
学習指導部の家庭学習委員会において、３校で一人勉強・自主学習のノートコンクールを開催し、手本となるノートを生徒・児童に紹介した。
重点指導項目③：「話をしっかりと聞きとり、はっきりと話すことができる」
学習指導部の授業交流委員会において、今年度は重点的に「話す・聞く」を指導したことで良くなってきているが、今後も継続して指導する必要がある。
②その他の取組
ア特別支援部会の組織について
・部会では、児童・生徒の情報交換や個別指導計画の改善点等を話し合った。
イ教職員の交流や家庭や地域社会と連携した取組について
・　５月19日…推進委員会（白銀中）
・　６月１日…第１回JS研修会（白銀中で授業参観）全体会、分科会(活動方針及び計画)
・　６月16日…白銀中学校部活動壮行会公開（白銀小学校６年児童が見学)
・　７月28日…「教育講演会」　　於；プラザアーバン
演題「高等学校から見たキャリア教育と学力向上」～北はきびしく清きもの～
講師　　青森県立八戸北高等学校　教諭（進路指導主任）時村　香　氏
対象　　３校の教員、地域学校連携協議会委員
・　９月15日…白銀中学校秋期部活動壮行会公開（白鷗小学校６年児童が見学)
・11月　９日…第２回JS研修会
授業研究会・分科会（於；白鷗小）
中学校教員と連携した共同授業含み３学級公開した。
・　１月17日…推進委員会（於：白銀中）
・　２月６日…白銀小・白銀中情報交換会（於：白銀小）
・　２月７日…白鷗小・白銀中情報交換会（於：白鷗小）
このほか「さわやか　八戸　グッショブ・ウィーク」で中学生が、小学校や各事業所を訪問し、地域との交流を深めている。
ウ地域密着型教育との連携
地域密着型教育は、JS推進事業と一体化しながら、実施している。

４　ボランティアの状況
(1) ボランティア現在数　　144人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　３　人

５　成果と課題
(1)地域密着型教育の成果と課題
①成果
○地域の方々に各校の学校の現状や課題を理解し、協力していただいている。
・実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」を協同実践し、白銀中学校区ＪＳとの一体化の推進
・地域学校連携協議会のポスターの掲示、地域学校連携協議会だよりの発行による、学校・家庭・地域の連携の推進
・読書量・図書館利用の増加
・校外学習での地域の方々の協力
・部活動のコーチ・見守りボランティアと個別指導時間の確保・地域の方が子どもたちの姿を見て、声をかけてくれるようになった。
・子どもたちの良さを地域の方が見出してくれるようになった。

②課題
○「地域密着型教育」を通して、学校・家庭・地域がさらに連携・協力し、今後どのような課題に取り組んでいくのか明確にしていく必要がある。
・実践目標「あいさつ、ありがとう、はきものをそろえる」がまだ十分ではないため、今後も継続する。
・様々な活動に参加する保護者を増やしたい。
・家庭での学習習慣・読書・お手伝いをさらに定着させる。
・コーディネーターと学校と地域・家庭との「つながり」をさらに強化する。
(2)小･中学校ジョイントスクールの成果と課題
①成果
○地域密着型教育とより連携を深めたJS事業推進
○協同授業の推進（学年・教科）
②課題
○児童数・生徒数の減少による部活動での小中連携、小小連携の模索やＰＴＡ活動合同実施の模索が必要。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀南小学校

校長　高　谷　信　行　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２８年６月１日（水）　１８：３０～１９：３０

②協議内容

・会則の承認

・会長，副会長の指名，挨拶

・組織について

・年間計画について

・小・中学校からの説明(経営方針)

・質疑応答，要望，意見等

・八戸市教育委員会より

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２８年１２月１３日（火）　１８：３０～１９：３０

②協議内容

・学校自己評価の結果報告（小・中校長）

・委員のみなさんから(アンケートをもとに情報交換)

・質疑応答，要望，意見等

・その他

(3) 第３回　　①実施日時　　平成２９年３月中旬（予定）

②協議内容

・平成２８年度学校評価報告

・平成２８年度活動報告

・平成２９年度の事業計画

・その他

２　具体的な取組状況(地域密着型推進事業)

(1) 安全･安心支援

・見守り隊：安協支部，地区有志による登下校時の見守り（登校日）　約３名

・防犯パトロール：安協支部，地区有志による登下校時の見守り（週２回程度）　約２名

・ＨＥＬＰ活動：お世話になった地域の方々に感謝の絵手紙を出す（12～１月）　約110名へ

(2) 情報共有支援

・すこやかみなみネット情報交換会：地域関係者が一堂に会しての情報交換会（７月，１２月）

約７０～８０名参加

(3) 教育活動支援

・えんぶり指導：３年生が大久保えんぶり組の親方を招いて学習会　（９～１０月）　１～２名

・えんぶり発表の補助：３年生が「学習発表会」で発表する際の囃子方（１０月）　４名

・ホタルの学習：４年生が白銀南公民館館長を招いて学習会（５月）　１名

・相撲指導：白銀地区相撲大会に向け，地域の方から心技体の指導（８月）　１名

・「八幡馬」指導：１年生が老人クラブの方々から運動会の踊りの指導（５月）　４名

・図書ボランティア：図書室の本の修繕・図書室整備(月２回程度))　１７名

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　１７人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　０人

４　成果と課題

(1) 成果

・総合的な学習の時間を中心とした教育活動への支援が充実した。

・校外学習の学習環境が整備され、児童の活動が積極的になった。

・学校での活動を地域に発信する場が確保できるとともに、地域からの情報も収集でき、児童の指導に役立った。

(2) 課題

・地域の人材の確保（固定化）

・コーディネーターの活用

・時間の確保・調整(地域やＰＴＡの会議が他にも多くあるため)

・教職員や保護者への周知

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立町畑小学校
校長　蔦　林　洋　司　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①平成２８年　６月　７日（火）午後６時３０分
②協議内容　○委嘱状交付
○会則の承認，会長・副会長指名
○学校経営方針について
○今年度の計画について

(2) 第２回　①平成２８年　９月２９日（木）午前１１時３０分
②協議内容　○地域密着型教育の推進状況について
○学校目標評価中間報告について
※給食の試食会

(3) 第３回　①平成２９年　２月　６日（月）午後６時００分
②協議内容　○地域密着型教育の総括（成果と課題）について
○学校関係者評価について

2　具体的な取組状況

(1) 教育活動

《読み聞かせ支援》
○ボランティアの方による，年間を通して週１回各学級を回っての読み聞かせ。

《学習活動支援》
○４月～９月　…１～４年生の畑作業補助　ボランティア１名
○９月　…５、６年生家庭科ミシン学習活動補助　ボランティアのべ３８名
○１０／２８　…２年生校外学習引率補助（まち探検）ボランティア９名
○１１／１０　…１年生焼きいも会活動補助（校庭）ボランティア３０名
○１１／２４　…昔からの遊び指導補助　ボランティア１１名

《行事支援》
○ＰＴＡ父親委員会による運動会準備・後始末。
○ＰＴＡによるバザー開催。ＰＴＡＯＢ会の支援。５．６年児童のお手伝い。

《広報活動》
○地域密着コーディネーターによる教育ボランティアだよりの発行。
○ＰＴＡ広報委員会による年３回の広報紙の発行。
○町内会による地域全戸へのボランティア募集の回覧。

《部活動指導支援活動》
○野球部３名，バレー部１名，サッカー部４名，卓球部１名のボランティアのコーチによる児童への指導補助。

《児童が地域の行事に参加》
○５．６年児童の有志１５名が町畑地区運動会の運営に参加。
○１年生の代表と５．６年生の全児童が地区の敬老会に参加。全校児童が書いたお手紙を配布。
○５．６年生の有志９名が東公民館まつりの読み聞かせに参加。

(2) 安全安心活動

《交通安全教室支援》
○ＰＴＡ交通安全母の会，みなと白銀交番，交通安全協会町畑支部の方々に協力していただき実際に通学路を使って行った１．２年生の交通安全教室。

《交通安全支援》
○交通安全協会町畑支部の方よる，運動会の際の校門前の交通整理。

○ＰＴＡ交通安全母の会が，交通安全のマスコットを作成し，交通安全協会町畑支部の方々に協力していただき実施した，地区の道路でのマスコット配布。

《防犯パトロール活動》

○ＰＴＡの父親委員会による，東地区青少年生活指導協議会と協力して行った，夏季・冬季の長期休業中に夜間の巡視。

《朝の立哨活動》

○全保護者よる，交替で通学路の危険な場所に立ち，子どもたちに交通安全を指導する立哨活動。

《集団下校支援》

○ＰＴＡ交通安全母の会となかよしクラブの指導員に協力していただき実施した，４月の１年生の集団下校指導。

《避難訓練》

○保護者に協力していただき実施した，９月の地震を想定した児童引渡訓練。

(3) 環境整備活動

《奉仕活動》

○ＰＴＡの母親委員会よる，年３回の花壇整備。

○地区のボランティアの方による，学校が地区の方から借りている畑の耕作補助。

○ＰＴＡの母親委員会による，図書室へのひな人形の設置・撤去。

○ＰＴＡ６学年委員会による，３月の校舎清掃作業。

《除草・剪定》

○ＰＴＡ会員と児童による，５月の校庭の除草作業。

○ＰＴＡ会員と児童に加え地区の老人クラブ、諸団体が協力して行った９月の除草作業。

《施設設備修理》

○ＰＴＡ父親委員会・父親委員会ＯＢ会による，駐車場の砂利敷き，樹木の剪定，渡り廊下の補修作業。

《ベルマーク収集活動》

○ＰＴＡのベルマーク委員会よる，ベルマークの収集・集計作業。

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　２４３人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　６４人

４　成果と課題

(1) 成果
- 地域密着型教育の視点で，様々な教育活動や地域，保護者との連携を整理することができ，更に充実した活動をすることができた。
- 今年度も，町内会の協力をいただき，教育ボランティアの募集を全戸に回覧することができた。その結果，老人クラブ等を通して教育ボランティアとして参加していただくなど，ボランティアの輪が広がった。
- コーディネーターによる月１回発行の「教育ボランティアだより」や学校のホームページで教育ボランティアの活動の様子を積極的に発信することで，地域に地域密着型教育の良さを広く知らせることができた。
- 今年度も地域学校連携協議会による学校関係者評価を実施したことにより，学校が抱える課題や児童の実態や変容を共有し，校内外の児童の実態や地域，保護者の立場からの意見などを幅広い視点から意見交換をすることができた。

(2) 課題
- 更に学校の教育活動の学びの質を向上させるために，今後も継続して地域密着型教育のよさや教育ボランティアの活動の様子を発信したり，募集の仕方を工夫したりすることで教育ボランティアの輪を広げていく必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立美保野小学校
校長　山　内　　哲　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①５月１１日(水)
②総会「委嘱状交付、会則の審議、会長・副会長の指名等」
(2) 第２回　①６月１７日(金)
②役員会「第４回みほの里山夏まつりについて」
(3) 第３回　①８月１９日(金)
②役員会「第４回みほの里山夏まつりについて」

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施回数　：　４回（６／２８、７／４、７／２１、８／５）
②構成メンバー：　みほの里山夏まつり実行委員
③検討内容　：　「第４回みほの里山夏まつりについて」

３　具体的な取組状況

(1) 安心・安全・環境づくり部会
①里山に植物の特徴がわかる解説プレート設置・・・４／２４(日)　約２０名
②フラワーロード（校門前の花壇）整備・・・５／１１(水)　約２０名
③里山・グランド整備、植樹・・・５／２２(日)　約５０名
④グランド整備(草刈り、整地等)・・・８／１１(木)　約３０名
⑤台風被害樹木伐採・・・１０／１９(水)～１０／２１(金)　約２０名
⑥秋じまい(落葉の片づけ、花壇の整理)・・・１１月１３日（日）　約３０名
⑦桜の木の剪定・伐採・・・１２／２７日（火）　約１０名
(2) 人づくり・健康づくり部会
①美保野小学校・学区民大運動会・・・６／５(日)　約８０名
②地域スポーツ大会・・・９／１１（日）　約３０名
③学習発表会・バザー手伝い・・・１０／９（日）　約２０名
④収穫祭・・・１１／９（水）　約２０名

(3) まちづくり部会

①里山通信発行　　年間２回発行（７月・１２月）

②夏まつり準備作業・・・８／２７(土)　　約７０名

③第４回みほの里山夏まつり・・・８／２８(日)　　約８０名

④夏まつり後片付け・・・８／３０（火）～９／２（金）　　約３０名

⑤キノコ（しいたけ、なめこ）の植菌・・・２／２７日(月)　　約１０名

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　４０　人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０　人　＊町内及び各施設において保険に入っているため。

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

①校舎裏の里山は着々と整備が進み、国蝶オオムラサキの幼虫も見られるようになった。地域の福祉施設「のぞみ会」理事長を講師に迎え、オオムラサキ以外の動植物の観察を続けてきた結果、動植物への興味・関心と自然愛護への意識を高めることができた。

②地域の活性化を目的に毎年開催されているみほの里山夏まつりが今年度も開催された。子どもたちも出場したカラオケ大会、今千里さんのステージ、さらには数々の出店により、たくさんのお客さんで賑わった。回数を重ねる毎に、準備・片付けも手際がよくなり、ボランティアの方々も市内一円から来てくれるようになった。

③町内会とは共に地域スポーツ大会(グラウンドゴルフ)を開催したり、収穫祭では老人会の方々をお招きし、親睦・交流を深めることができた。

④運動会をはじめとした学校行事も、地域、保護者、福祉施設(ユートピア、のぞみ園、瑞光園)、八戸学院大学、短期大学の方々のご協力でさらに盛り上がっている。

(2) 課題

①地域の少子高齢化が進んでおり、次世代を担う若い方々の協力者を、美保野地区から確保することが難しくなってきている。そのため、地域にある福祉施設(ユートピア、のぞみ園、瑞光園)、八戸学院大学、短期大学の方々の力を借りないと、多くの事業が進んでいかない。

②多様な情報発信や地域行事への教職員の積極的参加等の教職員の意識を高め、地域の学校としての教育活動が更に活性化していくようにしたいと思う。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立鮫小学校
校長　白　石　哲　志　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年　６月１４日（火）　１５：３０～

②協議内容　○委嘱状交付

ア　会長指名

イ　副会長指名

ウ　会長・副会長挨拶

エ　会則について

オ　今年度の組織，計画について

カ　鮫小・鮫中学校の学校教育方針について

キ　情報交換

③八戸市教育委員会からの助言　松倉知秀主任指導主事

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１１月２５日（金）　１５：２０～

②協議内容　○全体会

ア　鮫小・鮫中学校の学校の現状と課題の説明及び審議

イ　情報交換

③八戸市教育委員会からの助言　松倉知秀主任指導主事

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年　２月２０日（月）　１４：３０～

②協議内容　○全体会

ア　小学校・中学校より今年度の成果と課題，学校評価の説明

イ　小学校・中学校より来年度の教育計画についての説明

ウ　審議

エ　情報交換

③八戸市教育委員会からの助言　松倉知秀主任指導主事

2　具体的な取組状況

(1) 図書室整備支援

・毎月２～３回

・図書の整頓，ラベル貼り，修繕，環境整備，図書準備室整頓

(2) 読み聞かせ支援

・毎週木曜日

・絵本の読み聞かせ

(3) 環境整備支援

・年２～３回

・生け垣の剪定，花壇の手入れ，草刈り

(4) 授業支援

・２学年　　鮫町探検，山車小屋体験

・３学年　　うみねこ観察，鮫の文化と歴史学習

・４学年　　老人ホームとの交流，蕪島清掃

・５学年　　種差の植物観察，蕪島清掃

・６学年　　蕪島まつりでのドラムマーチ発表，蕪島清掃，職場見学

・クラブ活動ゲストティーチャー　　鮫神楽クラブ

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　２人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

４　成果と課題

【成果】

・コーディネーターを中心に学習支援や環境整備など地域との連携が進められ，計画的に実施できるようになった。

・保護者や地域の方が，日常の学校や子どもの様子を知るよい機会となっている。

・学校だよりなどで，地域学校連携協議会の活動内容を地域や保護者の方に発信してきた。そのため地域密着型教育の趣旨が地域や保護者に理解されてきている。

・授業を見ていただくことで，本校の教育活動の理解を進めることにつながった。

・情報交換の場では，地域での子どもたちの様子を聞くことができ，また，学校の教育活動に対しての質問や意見が出された。

・地域学校連携協議会では，学校の教育活動について建設的な意見をいただき，改善に生かすことができた。

【課題】

・ボランティア登録者の増員が課題である。今後は，人材確保のために地域学校連携協議会に呼びかけたり，日々の活動を学校だよりなどで紹介したりして具体的な支援を呼びかける必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立種差小学校
校長　小　野　一　樹　　印

1　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時 平成２８年５月２５日（水）

②協議内容

・２８年度委嘱状交付，あいさつ
・種差小学校の学校経営方針・重点施策等説明
・年間スケジュール等説明
・学校支援ボランティア組織について
・創立１４０周年記念式典について

(2) 第２回　　①実施日時 平成２８年１１月１８日（金）

②協議内容

・前期学校評価について説明及び審議
・現在の教育活動について
・学区の危険箇所について

(3) 第３回　　①実施日時 平成２９年１月１９日（木）

②協議内容

・今年度の教育活動について（海洋教育・環境美化教育・景観かるた等）
・後期学校評価について説明及び審議
・次年度の予定に関する説明及び審議

2　具体的な取組状況

(1) 学習支援

①運動部指導　　卓球部　３名
②昆虫の学習　　１回
③景観学習まち歩き　　１回　４名

(2) 環境整備

①校内外環境整備　　３回　のべ６０名
②資源回収　　２回　のべ６０名
③花壇の苗植え，草取り　　５回　のべ５０名

(3) 校外安全指導

①交通安全週間街頭指導　　保護者１９名
②交通安全教室　　４月１２日　１名（種差駐在）　保護者６名
③防犯教室　　６月　９日　１名（種差駐在）
④マラソン大会安全指導　　１１月１２日　保護者５名

(4) 連携行事

①オオハンゴンソウ駆除活動　６月７日

・種差海岸ボランティアガイドクラブの方とともに外来植物であるオオハンゴンソウ駆除を行う。

②南浜スポーツ大会　７月１７日

・南浜青少協と連携し，南浜４校でスポーツ大会を種差少年自然の家で実施する。

④健康教室「種差海岸を歩く会」　９月１１日

・種差海岸ボランティアガイドクラブ会員を講師に種差海岸の自然にふれる活動を実施する。

⑤敬老の集い　９月１５日

・種差連合老人クラブの方に講師になっていただき、昔遊びを通して交流を深める。

⑥東幸園交流餅つき会　１１月２２日

・東幸園の方と餅つきやゲームを通して交流を深める。

⑦南浜防犯レクリエーション　１２月１８日

・南浜防犯協会と連携して、ミニ運動会を種差少年自然の家で実施。

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　３４人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

４　成果と課題

(1) 成果

・海洋教育・環境教育・景観学習・創立１４０周年記念事業（行事）等を通して，種差地域の多くの人材（屋根のない学校の先生方）を学校支援ボランティアとしてお迎えし，種差地域のよさを再発見し，地元に学ぶ学習を展開できた。

・種差海岸インフォメーションセンターと連携し，三陸復興国立公園種差海岸のよさを発信する教育活動を推進することができた。

・台風などの被害の時には，率先して多くの地域の方が来校し，見回りや環境整備をしてくださったり，創立１４０周年記念事業（行事）などに地域の方々が積極的に参加してくださったりと，学校に対する理解が深まり，協力が得やすくなった。（地域住民，ＰＴＡＯＢ，卒業生）

(2) 課題

・地域学校連携協議会を通して、種差小学校ボランティア組織が機能してきた。今後は，学校職員担当のコーディネーターと地域人材のコーディネーターが協働することにより，地域と学校の連携を充実させていきたい。

・小規模化が進む現状を理解してもらい,教育活動や児童の日常の様子を知っていただくために、授業参観や学校行事への参加を地域に広く呼びかける必要がある。

・南浜中学校区小・中ジョイントスクール推進事業と地域学校連携協議会との連携を密にして，小・中，小・小などの相互の事業を円滑に進める必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：南浜中・大久喜小・金浜小・種差小）

八戸市立大久喜小学校
校長　平　山　和　仁　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月６日（月）
②協議内容
・委嘱状交付
・大久喜小学校経営方針・重点施策等の説明
・組織・年間スケジュール等の説明
・授業参観
・情報交換　＊１４０周年第３回協賛会会議（１４０周年記念事業進捗状況）

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年９月２７日（火）
②協議内容
・１学期の教育活動について（子どもたちの様子）の説明
・学校評価結果(１回目)の公表
・情報交換　＊１４０周年第４回協賛会会議（１４０周年記念事業進捗状況）

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年１月１９日（木）
②協議内容
・今年度の教育活動についての説明
・学校評価結果(２回目)の公表
・来年度の計画について
・情報交換

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画会　①実施回数　５回
②構成メンバーの概要
・PTA会長、校長、教頭
③検討内容
・学習活動支援、学校行事、環境整備等の内容・進め方の確認
・地域学校連携協議会の内容の検討

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業
本校はこれまで様々な教育活動を、漁業生産部会・町内会等の諸団体や保護者・地域住民の協力を得て実施している。そのため、専門部会は設けずこれまでと同様、諸団体や保護者地域住民との連携を基本に取組を実施している。

取組		期日	参加者	主な内容
学習支援	ホッキ貝・海藻採り	4.25(月)	漁業生産部会(8名)	大久喜漁港でホッキ貝採り
	しおかぜ遠足	6.21(火)	漁業生産部会 保護者(計20名)	漁業生産部会の小屋でウニの殻剥き体験学習
	浜小屋学習	6.9 6.23 8.25 9.16 10.6	漁業民俗保存会 (延べ21名)	重要有形民俗文化財「浜小屋」について学習
行事支援	運動会	5.22(日)	おやじの会(10名)	用具の準備・片付け
	南浜スポーツ大会	7.17(日)	南浜青少協(8名) 南浜ＪＳ(22名)	南浜地区４校の小中学生がグラウンドゴルフやフリスビーゴルフを種差少年自然の家で実施
	大久喜のつどい	※今年度なし	婦人会・地域住民・保護者	餅つき、豚汁作り、会食
	南浜防犯レクリエーション大会	12.18(日)	防犯協会(10名) 南浜ＪＳ(16名)	南浜地区３校の小学校児童がミニ運動会を種差少年自然の家で実施
安全指導	交通安全教室	4.15(金)	交通安全委員会 交通指導隊(計12名)	自転車の乗り方・歩行指導
	登校指導	4.8～14 8.22～25 1.16～19	交通安全委員会 １学年保護者 南浜交通指導隊 (延べ98名)	登校時の交通安全指導
環境整備	早朝奉仕作業	5.15(日) 10.30(日)	保護者（55名） 保護者（28名）	運動会に向けて草刈り、窓拭き １４０周年に向けて草刈り、窓拭き
	海岸清掃	6.6(月)10.20(木)	環境・厚生委員会・保護者 (延べ60名)	大久喜海岸のゴミ拾い、漁港トイレ清掃

(2) 小・中学校ジョイントスクール
①実践のようす
◎「重点指導項目」にかかわる取組について
【重点指導項目①】
「授業では、進んで発表や活動をすることができる」について（学習連携部）

ア．ＮＲＴ分析
イ．『「南浜」授業の約束』と「進んで発表・活動」についての検証
ウ．努力事項の推進
・児童生徒参加型の授業づくり　　・指導と評価の一体化
・進んでいるこの指導の工夫　　・家庭学習の成果が見える授業づくり
エ．児童、生徒、保護者へのアンケートの実施と結果の検証

【重点指導項目②】
「家庭学習に集中して取り組むことができる」について（学習指導連携部）
ア．『「南浜」家庭学習の約束』の実践（各家庭に掲示用を配布）
・毎日、下記の時間家庭学習に取り組む。

小：低学年３０分　中学年４５分　高学年６０分
中：１年生２時間　２年生２．５時間　３年生３時間

・集中して家庭学習に取り組む。（テレビや音楽は消して）
・次の日に必要な学習用具を、前日に準備する。
イ．児童、生徒、保護者へのアンケートの実施と結果の検証

【その他の重点指導項目】
「正しい言葉遣いで、気持ちのよい返事やあいさつができる」　（生徒指導連携部）
「学力向上のための望ましい生活習慣を身に付けることができる」（　〃　）
ア．『「南浜」さわやかあいさつ』の実践（各家庭に掲示用を配布）
・家庭で「おはよう」を交わそう。　・自分から「ありがとう」を伝えよう。
・地域の人にもあいさつをしよう。
イ．児童、生徒、保護者へのアンケートの実施と結果の検証

②その他の取組について（教職員や児童生徒の交流、家庭や地域社会と連携した取組等）

・	４月２０日	推進委員会（各校校長・教頭、自然の家統括責任者・研修課長、おおくきこども園園長・主任保育士参加）
・	４月２５日	運営委員会議（各校教頭・事務局校校長参加）
・	６月　３日	授業研修会・全体会（各校教職員、こども園職員、地学連携協議会理事参加）
・	６月　７日	南浜中学校授業公開（各小学校教員、地学連携協議会理事参加）
・	７月１７日	スポーツ大会（各校児童・生徒、南浜地区青少年生活協議会、地学連携協議会理事参加）
・	９月　５日	芸術鑑賞教室（各校児童・生徒、こども園児、地域連携支援委員、学区住民希望者参加）
・	１１月１０日	中学校訪問（各小学校の６年生児童参加）
・	１２月１８日	防犯レクリエーション（各小学校児童、南浜防犯協会、地学連携協議会理事参加）
・	１月２４日	運営委員会議（各校教頭・事務局校校長参加）
・	２月　９日	校長会議（各校校長・事務局教頭参加）

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１６人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１６人

５　成果と課題

(1) 地域密着型教育推進事業の成果と課題
①成果
・地域の自然や環境を生かした、多様な体験活動が継続して実施できた。
・これまで学校と家庭が協働で取り組んできた「あいさつ運動」を地域にも広げようと、地域学校連携協議会の理事が、地域に働きかけたり見守ったりしてくれている。
・地域学校連携協議会の理事が学校関係者評価委員も兼ねることにより、様々な立場からの意見を聞くことができ、教育活動の改善につなげることができた。
・１４０周年を迎えるにあたり、協賛会会議では建設的な意見を述べてくれた。地域の方々の学校への思いの強さを知ることもでき、素晴らしい式典ができた。
②課題
・情報発信を心がけ、学校と地域との壁を低くし、さらに開かれた学校にすることで、保護者や地域の方々が気軽に来校して取り組めるボランティア活動を今後も検討していきたい。
・児童数の減少により、これまで以上に地域の皆さんから助けていただく場面が多くなる。地域の皆さんも巻き込み、地域ぐるみの行事を企画し実施していく必要がある。

(2)小中学校ジョイントスクールの成果と課題
①成果
・家庭で学習道具をそろえたり、学校で次の学習準備をしたりすることが身に付いてきた。また、家庭学習は、目標時間を意識して取り組めるようになってきている。
・以前より「おはよう」「ありがとう」が言えるようになった。あいさつを呼びかける側だけでなく、返す側の意識の高まりが見られた。
②課題
・返事はしても、「いつも、はっきりした」返事はできていない。自分の思いや考えに自信をもって積極的に発表しようという態度はまだ育っていない。また、学習面・態度面に個人差があり、個別に指導の必要な児童・生徒もいる。「学習ノート展示会」の機会を設けるなどして学習面における個人差の解消につなげていきたい。
・来客や校外でのあいさつは声も小さく十分ではない。また、決まったあいさつはできるが、臨機応変なあいさつができない。日常生活で周りが不快になる言葉遣いをしている。
・地域密着型教育と小・中学校ジョイントスクール推進事業との関連を図りながら、小・中学校間の連携を一層充実させるように進めていく必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八 戸 市 立 金 浜 小 学 校
校長　　上　村　　綾　子　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回
①実施日時　平成２８年　５月１７日（火）　１８：３０～２０：３０
②協議内容
・理事委嘱状交付式
・会則審議
・会長・副会長指名
・会長・副会長あいさつ
・学校経営及び運営方針等説明
・組織・年間スケジュール等
・学校評価について
・質疑

(2) 第２回
①実施日時　平成２８年１１月２９日（火）　１８：３０～２０：３０
②協議内容
・学校の現状と課題の説明及び審議
・第１回自己評価（学校評価）に関する説明及び審議
・質疑

(3) 第３回
①実施日時　平成２９年２月２１日（火）　１８：３０～２０：３０
②協議内容
・今年度の地域密着型教育の推進状況報告
・第２回自己評価（学校評価）に関する説明
・学校関係者評価の実施
・平成２９年度の教育計画（予定）について説明
・質疑

2　上記以外の会議の実施状況

(1) 金浜地区合同役員会
①実施回数　　２　回　　平成２８年５月１０日（火）・９月　５日（月）
②構成メンバーの概要
金浜町内会　漁業部会　金浜子供会育成会
金浜小ＰＴＡ　校長　教頭　教務主任
③検討内容
・金浜小学校 金浜町内合同運動会について　（日程，種目，係等）
・浜学習について　（日程，内容，準備物，係等）
・金浜小学校 金浜町内合同学習発表会について（日程，演目，係等）
・金浜小学校 金浜町内会合同バザーについて　（日程，内容，準備物，係等）

3　具体的な取組状況

(1) 行事支援
民謡練習・昼食会　　平成２８年　５月２３日（月）
・１５名（児童，教職員，地域住民）
・南部とらじょさま，八幡馬の指導
田植え体験活動　　平成２８年　５月２４日（火）
・３５名（金浜小・種差小児童，教職員，保護者，地域住民）

・稲の田植えの指導及び補助，田植えの準備及び後始末
金浜小学校 金浜町内合同運動会　　平成２８年　５月２９日（日）
・約１００名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・会場準備及び後始末，係，各種目への参加
よもぎ餅作り体験活動　　平成２８年　６月　６日（月）
・１５名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・餅つきの補助，よもぎ餅作りの指導及び補助
浜学習及，清掃活動，防災教育～金浜海岸～　　平成２８年　７月　４日（月）
・約３５名（児童，教職員，保護者，漁業部会，地域住民）
・引率補助，磯の生き物観察時の補助及び指導，調理体験補助，
　東日本大震災時の漁港の被害について
稲刈り体験活動　　平成２８年１０月　７日（金）
・３５名（金浜小・種差小児童，教職員，保護者，地学連携コーディネーター，地域住民）
・稲刈りの補助，稲刈りの準備及び後始末
金浜小学校・金浜町内合同学習発表会，合同バザー　　平成２８年１０月１６日（日）
・約１００名（児童，教職員，保護者，地学連携コーディネーター，地域住民）
・会場準備及び後始末，係，学習発表会への出演，バザーの運営
昔の遊び集会・昼食会　　平成２８年１１月１０日（木）
・２７名（児童，教職員，地学連携コーディネーター，地域住民）
・昔の遊びの紹介，活動支援

(2) 環境整備
第１回早朝奉仕作業　　平成２８年　５月２２日（日）
・約７５名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・学校敷地内の環境整備（校庭を中心に除草作業，ソメイヨシノ及び松の剪定）
第２回早朝奉仕作業　　平成２８年　８月２８日（日）
・約７０名（児童，教職員，保護者，地域住民）
・学校敷地内の環境整備（校庭を中心に除草作業，ツツジの剪定）

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　０人　※市連Ｐ安全互助会賛助会員として１７名登録
※登録はしていないが，その都度保護者や地域の方が参加協力してくださっている。
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　成果と課題

(1) 成果
①地域密着型教育に取り組んで６年目となり，地域学校連携協議会の場は，教育活動や学校評価の結果について意見をいただくとともに，地域の情報交換の場として定着した。また，話し合われた内容は，学校運営の改善や次年度の教育課程編成に生かすことができた。
②今年度は地域の自然や人との関わりを生かした「里山学習」等の活動や地域と学校が連携した活動を行うことで，「地域の学校」として，いっそう地域と学校の連携が深まった。また，地学連携コーディネーターの就任により，これまで以上に各活動に地域ボランティアの方が参加した。児童数は減少し，高学年児童が在籍していない状況ではあるが，児童数より多い人数が行事に参加して下さって活動も盛り上がり，その成果は非常に大きい。
(2) 課題
①これまで参加協力いただいた方々の高齢化が進んでいる。また，児童数の減少に伴い，保護者の負担が大きくなっている。今後も，地学連携コーディネーターを通した新たな人材確保のための，工夫が必要である。
②本校は非常災害の避難所となっている。防災に関わる地域との連携，協力等について，学区内の関係諸団体（金浜町内会，金浜漁業部会，防犯協会，交通安全協会）と体制づくりを進めていく必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　根城　小学校
校長　今 井　裕 一　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月３日
②協議内容　ア　根城小学校の組織、会則の確認
イ　会長の指名（校長）　副会長の選出（会長）
ウ　会長・副会長あいさつ
エ　根城小学校の学校経営方針について（報告）
オ　今年度の活動の概要

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１２月１９日
②協議内容　ア　事業の進捗状況（支援事業、ボランティア活用状況等）
イ　学校評価について（学校関係者評価）
ウ　百四十周年記念事業報告

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年２月２８日
②協議内容　ア　今年度の事業のまとめ
イ　地域学校連携協議会からのご意見
ウ　２８年度の学校運営のまとめ

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施回数　４　回
②構成メンバーの概要　校長、会長、事務局、PTA副会長、PTA幹事
PTA専門委員長、PTA学年委員長
③検討内容　・組織確認、PTA活動との整合性理解、今後の予定
・ボランティアの活動状況・意見要望
・保護者の意見要望
・今年度の取組総括と次年度への要望

(2) 専門部会　①実施回数　教育活動部、環境整備部、安全対策部、交流連携部
それぞれの部会が随時活動
②構成メンバーの概要・検討内容　資料参照

３　具体的な取組状況

(1) 教育活動部

①学習支援（授業支援、校外学習支援、学校行事支援）

ア　授業支援

・習字ボランティア…１日、３人　・家庭科（ミシン指導）　…１日、８人
・スケート指導　…４日、のべ８人　・校外学習・地域学習補助…５日、のべ55人

イ　地域を活かした学習への取組…もっと地域のことを学んでほしいという願いから、全学年で地域の方や地域の施設などを生かした学習に取り組んでいる。

②部活動支援（指導・引率等、三部演奏会支援）

ア　部活動支援では、コーチとして卓球部に４名、バスケット部に１名、バトン部に１名、合奏部に１名地域等の方にご協力いただいた。

イ　１月に行われた三部演奏会では、運営の中心となってたくさんの保護者や地域の方に支援いただいた。

(2) 環境整備部

①校内外環境整備（花壇・教材園整備、除草奉仕、校地整備、ベルマーク集め、バザー）

ア　花壇整備…花壇のデザインと年間を通して植栽、除草、摘花等の活動を行う。

イ　ＰＴＡバザー…保護者・子ども・教員が１つになって成功、みんなで楽しんだ。

ウ　玄関生け花…月２回、公民館の生け花クラブの方が来校し、玄関と校長室に生け花をいける。

②学校図書館整備
ア　読み聞かせボランティア　　…　約33日、のべ100人
イ　図書貸し出し・本の修繕作業…　約30日、のべ300人

(3) 安全対策部
①校外安全安心（登下校巡視活動、防犯パトロール、通学路・危険箇所の点検、集団下校支援）
ア　交通安全教室 4/11…入学してすぐの1・2年生の交通安全教室での見守り。
イ　毎朝の登校指導
ウ　交通安全母の会による安全の見守り
②学校安全安心（プール監視）
ア　夏季休業中のプール監視は２・３年保護者による見守り支援。

(4) 交流連携部
①連携行事（老人クラブ連携、子ども会キャンプ、区民運動会、三社大祭、えんぶり鑑賞会、親子学習会、三水会）
ア　三社大祭に参加 8/1～3…三社大祭に参加したのは約100名。新組、売市、吉田産業、六日町、八戸市職員互助会、新荒町、神明宮等で、太鼓、引き子、神楽、行列等に参加。
イ　子ども会合同キャンプに参加 7/30･31…31名の児童がテント作り・キャンプファイヤー・炊事などを経験した。
ウ　参加者が増加した根城地区運動会 10/16…児童の参加が増え、若い保護者の参加も見られた。地域の方の指示に従い大人と一緒に競技に参加したり、町内の応援をしたりした。
②学校間連携（幼保小連携、小中ＪＳ、ＪＳあいさつ運動）
ア　あいさつパワーアップ大作戦…学級で工夫しながら取り組んでいる。
イ　地域の根城地区あいさつ運動…９月の毎週水曜日に行われた地区あいさつ運動では、7:20から20分間、多くの地域の方が学校近くや交差点付近に並び、あいさつを交わした。
ウ　幼保小連絡会…江南小と本校、６幼保園の代表者が集まり、年2回連携について検討した。
エ　小中ＪＳ…中学校長講話、小小連携が継続されるようになった。

４　ボランティアの状況
(1) ボランティア登録現在数　　５０人
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

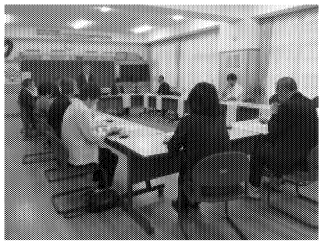
５　成果と課題
(1) 成果
①地域諸団体の会合等で出された意見や、各町内の行事等の取組を地域・保護者・学校それぞれが互いに理解することができた。また、それらに児童・地域住民が意欲的に参加し、地域関係団体組織とＰＴＡ組織との調和と融合を図ることができた。
②地域学校連携協議会を開催し、学校・保護者・地域の願いを共有し意見交換をしていくことで、地域・保護者が学校の取組やねらいを理解し、地域との連携を深め、地域と共に歩む学校づくりを推進することができた。
③授業でもボランティアに支援していただきながら、地域の文化・施設・人材を活用してきた。教員もボランティアを活用した授業や活動に積極的に取り組むようになった。
④ボランティアの輪が広がり、コーディネーターと共に地域密着型教育の展開を図ることができた。その結果、ＰＴＡやボランティアによる支援活動をやってよかったと思う人が増え、ＰＴＡ活動への参加者やボランティアの人数が増えてきた。
⑤今年度、コーディネーターが１人から２人に増え、仕事の分担がなされた。
(2) 課題
今後もコーディネーターと連携し、地域の教育資源の活用を図っていきたい。また、児童の学力の保証とともに豊かな体験活動の一層の充実を図りつつ、教育課程の実施に生かしていきたいと思う。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：白山台中・白山台小）

八戸市立白山台小学校
校長　奥　山　一　夫　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況　　※白山台中学校と合同で開催

（１）第１回　①実施日時　平成２８年５月３０日（月）１８：００～
②協議内容
・会則の確認　　・役員選出
・学校経営方針　　・活動状況の報告
・各委員からの御意見（御要望）


〈第1回地域学校連携協議会〉

（２）第２回　①実施日時　平成２９年２月２０日（月）１８：００～
②協議内容
・学校説明（意見書のまとめ）と質疑
・次年度の在り方について
・各委員からの御意見（御要望）

２　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業

①学習支援

○各学年学習支援・・・（随時募集）
・スケートの靴紐結び
・動物ふれあい指導補助
・２年生（町たんけん）
・白山台ふれあいの路探検
・総合的な学習の時間補助（調理活動）
・１年生（むかしあそび）


〈2年生　町たんけん〉

○よみきかせ・・・登録者２９名　（地域の方　２４名・保護者　５名）
６月～２月　８回　朝８時～８時３０分
（２７学級に各１人～２人のボランティアが入り、よみきかせをする。）

②環境整備支援

○　図書支援・・・登録者２５名（地域の方２名・保護者２３名）
５月～２月　　年８回　　朝１０時～１２時
・本の修理作業、図書室内の季節の飾り制作､飾り付けなど。

○　校地内草刈り・・７月１６日
・８月２７日、ＰＴＡ環境美化委員会と児童、保護者、教師で作業

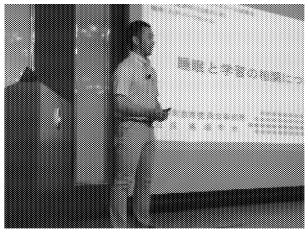
③登校安全指導

○　３Ａサポーター登校時見守り・・・登録者　５名
４月～１２月　ミニストップ前交差点

（２）小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組

・５月２５日（水）全体研修会Ⅰ　白山台中学校授業参観
・７月２８日（木）全体研修会Ⅱ　講演会「睡眠と学習の相関について」
・９月１５日（木）中学校部活動見学会
・１月２５日（水）全体研修会Ⅲ　総合学力検査の分析と解説
・２月２８日（火）中学校新入生ガイダンス
・３月２２日（水）中学校新入生説明会


〈全体研修会Ⅱ　講演会〉

②その他の取組

・白山台地区青少年生活指導協議会での情報交換　隔月定例会
・小・中ＰＴＡ交流活動　小・中合同歓送迎会
・６校合同キャンプ　７月３０日～３１日
・公民館の体験活動講座（夏休み・冬休み）

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア現在数　１７２人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　４９人

４　成果と課題

（１）地域密着型教育の成果と課題

①成果

・小・中合同での地域学校連携協議会は４年目となる。地域内の各団体の代表者を構成員としたため、多方面での理解や協力が得られている。また、地域での子どもの様子について、様々な立場から話を聞くことができた。
・学習支援ボランティアの活用により、児童一人一人に十分な支援をすることができ、学習意欲や学習効果を高めることにつながった。

②課題

・よりいっそう教育効果をあげていくために、保護者や各団体へ積極的に情報を発信し、理解と協力を仰いでいく必要がある。また、次年度は西白山台小学校が開校するので、両校で教育支援ボランティアの確保について調整を図る必要が出てくる。

（２）小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果

・「睡眠と学習の相関について」の講演会を実施し、小中の教員で研修したことで、望ましい生活習慣を育てるという観点で、中学校区で共通理解を図ることができた。
・「総合学力テスト」を小中学校全学年で実施し、生活と学力との相関関係等も含めて分析が可能となった。
・６年生が中学校に出て行う交流活動を多く実施したことで、中学校進学への不安の解消につながった。

②課題

・今後は、学習・生活面で共通理解した結果をもとにして、具体的な取組を検討し中学校区で共通実践していくことが必要である。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立江南小学校
校長　　荒　木　　興　一　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２８年　６月１７日（金）１８：００～

②協議内容

・委嘱状交付
・学校経営方針について
・地域学校連携協議会組織について
・年間計画について
・学校評価の計画について
・いじめ防止基本方針について　他



(2) 第２回　　①実施日時　平成２８年　９月１４日（水）１８：００～

②協議内容

・学校経営の状況について
・学校評価（中間報告）について
・事業の進捗状況について　　他

(3) 第３回　　①実施日時　平成２９年　１月２５日（水）１８：００～

②協議内容

・学校評価について
・次年度の教育計画について
・コーディネーター活動報告　他

２　上記以外の会議の実施状況

３月２日（木）１０名（予定）

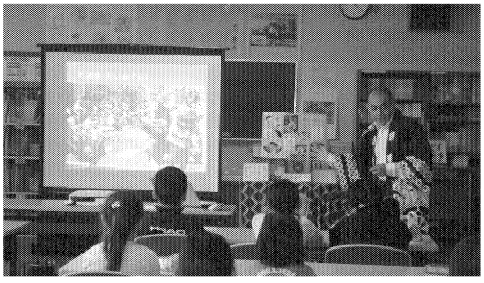
・読み聞かせボランティアと学校三役の意見交換会



３　具体的な取組状況（主な活動）

(1) 教育活動支援

・読み聞かせ8:15～8:35（年１０回）のべ６０名
　各学級に１名ずつボランティアが入って読み聞かせ。
・６月１３日　５名
　保護司による万引き防止教室（１～３年生）と薬物乱用防止教室（４～６年生)。
・６月２３日　１名
　３年生 総合的な学習の時間「三社大祭」の講話。
・６月～９月のべ１０名
　１・２年生 体育の水泳の授業で指導補助。
・９月２１日　１０名
　６年生 総合的な学習の時間「あったか交流」の校外グループ活動サポートや受け入れ家庭として支援。
・１０月２８日　６名
　全校縦割り班活動「江南なかよしウォークラリー」の各グループに１名ずつついて、野外活動支援。





・１１月１１日・１８日のべ１２名
５年生 家庭科のミシンを使った授業の際の補助。
・２月９日　５名
１年生の生活科で「昔の遊び」を児童に紹介、指導。

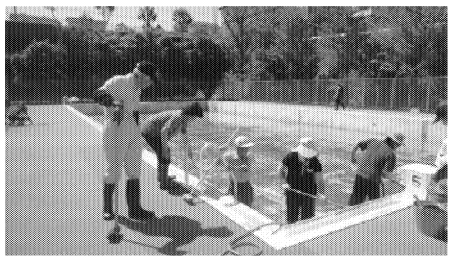
(2) 環境整備支援
・通年（３０回）のべ１２５名
学校司書と協働で本の修繕、図書室の整備、
図書室の装飾、本の分類や廃棄作業等。
・毎月１回　のべ３０名
中央階段の踊り場に季節に応じた装飾。
・６月６日　１５名
プールの清掃支援。

(3) 学校行事支援
・４月７日・３月１７日　のべ２０名
入学式・卒業式手伝い（来賓の受付や接待）
・５月１５日（日）１７０名
校庭生地、草取り、運動会入場門設置、
校舎窓ふき、校舎ベランダ掃除等。
・５月２１日（土）３０名
運動会支援（用具係・決勝誘導係・記録係等）
・１０月６日～　のべ６名
学習発表会で使用する小道具等を作成。

(4) その他
・部活動指導（女子バスケットボール部）２名







４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　保護者７８名、地域６０名
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　３０名

５　成果と課題

(1) コーディネーター・ボランティアの成果と課題
①成果
・市教委主催の実践研究発表会で、本校の取組を市内教職員、保護者及び地域住民に向けて発表することができた。
・ボランティアを快く引き受け、活動を楽しみにしてくださっている。
・少しずつではあるが、ボランティアの数は増えている。
・自分たちもまだ必要とされている、役に立てるということが活動の励みになる。
②課題
・新しいボランティアやコーディネーターの人材確保及び引き継ぎをしていく。
・ボランティア活動の紹介・通信の定期発行をし、周知を図る。
・ボランティア同士の親睦を深める機会をつくり、活動しやすい雰囲気づくりに努める。

(2) 教職員からの成果と課題
①成果
・いろいろな世代の方と関わることで、子どもたちの心が豊かになり、挨拶・礼儀も身に付く。
・個の実態に応じたきめ細かな指導が可能になるので、子どもたちも喜んでいる。
・安全面での配慮が行き届くので安心であり、たいへんありがたい。
・子どもたちへの関わり方を配慮していただき、授業・活動を効果的に進めることができる。
②課題
・年間を見通し、計画的にボランティアの要請ができるようにしていきたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立田面木小学校
校長　佐々木　智子　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月８日（水）１３：３０～
②協議内容　◆委嘱状交付
◆議事　・会則・組織に関する審議
・学校経営方針・重点施策等の説明および審議

(2) 第２回　①実施日時　平成２９年１月３１日（火）１３：３０～
②協議内容　◆学校の現状と課題の説明及び審議
◆学校評価に関する説明及び審議
◆来年度の教育計画についての説明

(3) 第３回　〈 予　定 〉
①実施日時　平成２９年３月１日（水）１３：３０～
②協議内容　◆来年度の計画等審議

2　上記以外の会議の実施状況

(1) ボランティア運営委員会　①実施回数　年２回
②全ボランティア登録者と全職員の参加
③活動についての打合せ、反省、改善点等の話し合い

(2) 学校関係者評価委員会　①実施回数　年２回
②学校関係者評価委員(地域代表・ＰＴＡ)参加
③学校評価について説明、評価についての意見聴取

3　具体的な取組状況

◆**教育活動**（クラブ活動、生活科、総合的な学習の時間、学校行事、その他）

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
交通安全教室	全学年	防犯協会と婦人部	4/12
ボランティア運営委員会　２回		全ボランティア	4/19、2/21
よもぎもち作り	３学年	老人クラブ・田面木地区社協	5/2、5/17
田面木音頭の指導	全学年	婦人会	5/23～5/25
クラブ活動 郷土芸能、英語、ネオホッケー	4.5.6学年	教育ボランティア	12回／年
地域安全マップづくり	５学年	防犯協会員	6/9
音楽会に向けての合唱指導	３学年	合唱指導の中里恵子さん	10/7
干し柿作りの指導	おおぞら学級	教育ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ田村満男さん	12/14～15
英語学習	３・４学年	教育ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ下沢さとみさん	12/19
点字教室	４年	教育ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ松村留美子さん	2/8
読み聞かせ	全児童	朝のボランティア8名 昼のボランティア5名	朝4回／年 昼7回／年
総合学習（地域へのﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ） ゴミ拾い、ポスター作り、落ち葉拾い、保育園で読み聞かせ、など	4.5.6学年		10月～11月

◆**環境整備活動**（校内環境整備、学校図書室、防犯活動）

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
ＰＴＡ早朝奉仕（校庭整備、除草作業）	全学年	全ＰＴＡ	5/22
図書室の環境と本の整備		ＰＴＡベルマーク委員会 図書ボランティア	25回／年
学校敷地内のバラの木剪定		地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ有馬弘さん	4月～12月
校内生け花		地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ中里恵子さん	通年

◆**地域交流活動**

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
ふれあい遊びランド	全学年	老人クラブ	11/18

◆スポーツ文化交流活動（部活動、地域文化活動への参加）

部　活　動	児　童	ボランティア	月　日
野球部　（基本練習、大会へ向けての指導）	部　員	指導者　2名	通年
卓球部　（　〃　）	部　員	指導者　4名	〃
ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ部　（　〃　）	部　員	指導者　2名	〃
吹奏楽部　（　〃	部　員	指導者　1名	〃

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
根城田面木地区合同キャンプへの参加	4.5.6学年	ＰＴＡ	7/30～31
・婦人会親睦会演芸会、・田面木地区敬老会、・老人ホーム「ほっとハウス」にて大黒舞を披露	郷土芸能クラブ	教育ボランティア	9/10 9/19 11/1
田面木公民館芸能発表会にて演奏披露	吹奏楽部	吹奏楽部員、指導者	11/12

◆学校評価活動（学校目標にかかわる評価）

評価委員会活動内容	ボランティア	月　日
学校評価会議、アンケート	学校関係者評価委員	2回／年

◆健康増進活動（子どもたちの健康増進を図る）

活　動　内　容	児　童	ボランティア	月　日
学校保健委員会（すこやか会議）	全学年	保護者・地域学校連携協議会委員の皆様	12/1

◆地区交通安全協会・防犯協会の皆様

・朝の交通安全指導　　町内巡回活動（昼・夜）　・ごみ拾い・雪かき

・学校行事・地区行事の際の交通整理　・集団下校時の付き添いやパトロールなど

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　４０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　２４人

5　成果と課題

(1) 成果

・年３回の協議会や各事業は円滑に進められている。保護者や地域の皆様から直接ご意見をうかがうことが、教育活動改善につながっている。

・２名のコーディネーターが、保護者や地域との連絡調整役となり、様々な活動に積極的にかかわっている。このことが教員の負担減につながっている。

(2) 課題

・これまで積み重ねてきた成果や課題を全校で共有し、学習や他の活動を更に充実させること。

・ボランティアの方々に、もっと感謝の意を伝えられるよう、子どもたちの心を耕していくこと。

◇活動の様子



（朝の読み聞かせ：年４回）



（婦人会演芸会で大黒舞披露）



（昼の読み聞かせ：年７回）

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　下長小　学校
校長　田　中　眞理恵　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回　　①平成２８年　６月２０日（月）
委嘱状交付
会則審議（会則に従い、会長、副会長の指名）
②（ア）会長・校長あいさつ（学校経営方針）
（イ）各専門部会の活動予定発表
（ウ）教育委員会から指導・助言

（２）第２回　　①平成２８年１１月２４日（木）
②（ア）会長・校長あいさつ
（イ）各専門部会の取組状況報告
（ウ）学校関係者評価について
（エ）情報交換
（オ）指導主事あいさつ

（３）第３回　　①平成２９年　２月１３日（月）　　＜開催予定＞
②（ア）会長・校長あいさつ
（イ）各専門部会今年度の反省と次年度の活動に向けて
（ウ）学校関係者評価について
（エ）情報交換

２　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業

①学校支援ボランティアによる新入学児童への読み聞かせ
（４・５月の月・木曜日　職員朝会の時間　計１１回）

②図書活動支援部会による読み聞かせと補修作業（６月・１２月・２月　昼休み　計３回）

③学校支援ボランティアによる読み聞かせ（９月～２月　昼休み　計１２回）

④学校支援ボランティアによる畑作り・米作り（５月～１０月）

野菜を育てる学年の子どもたちが、畑の畝づくりを教えていただいた。畑作りに精通している方々に基礎から教えていただき、大変助かった。また、５学年の米作りでは地域の方が、苗植えから稲刈りまで世話をしてくださった。子どもたちは、田圃を使った本物の米作りを体験することができた。



⑤生活・安全活動部会による交通安全マスコット配り（９月３０日）



下長交番､地区交通安全協会の皆さんの協力を得て行った。停止中のドライバーに子どもたちの書いた標語を付けたかわいいマスコットを配り、安全運転を呼びかけた。みなマスコットを快く受け取ってくれたので、ＰＴＡのお母さん方は満足げであった。

⑥むかし遊び体験とふれあい給食会（１１月２日）



地域のお年寄りに学校に来ていただき、１年生に昔の遊びを教えていただいた。（４０名参加）竹馬、お手玉、おはじき、竹とんぼなど、普段子どもたちがやっていない昔の遊びを教えいただき、子どもたちは大喜びであった。その後、教室で一緒に給食を食べ楽しいひとときを過ごした。

⑦ほのぼの交流（１１月２９日）

下長地区のお年寄りのお宅を交流協力員と６年生児童が訪問し（１２軒)、自己紹介の後ゲームをしたり、お年寄りのお話を聞いたり、歌を歌ったりして交流を深めた。「６年生のあいさつや態度が立派でした。素直な子どもたちでした。」と多くの方々からお褒めの言葉をいただいた。

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア現在数　　３００人

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０人

４　成果と課題

・学校、家庭、地域社会が自分たちの役割を自覚して、責任をもって子どもたちの教育に当たっていこうという意識がさらに高まった。

・台風などの非常事態時、下長防犯協会が下校児童の安全確保のためのパトロールを実施したことにより、地域関係団体との連携がさらに強まった。

・学校、家庭、地域社会が同じ目的に向かって地域の子どもたちを育てていく意識をもっと高めるため、ＰＴＡと地域住民が一緒に活動できる場の設定をする必要がある。

・地域の方々や保護者に向けて、さらに地域密着型教育の周知を図っていく必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立城北小学校
校長　中　野　　聡　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２８年６月７日（火）　１８：３０～２０：００
②協議内容
ア　委嘱状交付
イ　会則審議
ウ　会長・副会長の指名、あいさつ
エ　学校経営方針の説明
オ　地域学校連携協議会の方針、事業計画の説明、実践目標について
カ　地区懇談会について
キ　非常災害時の対応について
・学校と家庭、町内会との連絡体制　・避難所、避難ビルとして

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２８年１２月１６日（金）　１８：３０～２０：００
②協議内容
ア　今年度の学校評価結果の報告と協議
イ　今年度の学校経営の報告
ウ　来年度の教育課程編成方針の説明
エ　今年度の事業の報告
オ　質疑応答、情報交換
・実践目標の状況について

(3) 第３回　　①実施日時　　平成２９年２月下旬に開催予定
②協議内容
ア　今年度の教育活動や事業活動を振り返って
イ　来年度の教育活動や事業活動の見通し
ウ　情報交換

2　具体的な取組状況

(1) 教育活動支援
①読み聞かせ・図書室整備
・読み聞かせボランティアが全校児童対象に年１１回実施（６名）
・「昔っこ」の読み聞かせを全校児童対象に年３回実施（１名）
・図書室内の整備と本の整理、修繕作業を毎週月曜日に実施（１０名）
②学習支援
・１学年　生活科「小正月行事・ほがほが、昔の遊び体験活動」（家庭支援チーム）
体育「スケート教室ひも結び」（保護者数名）
・２学年　生活科「町探検」（保護者数名）
体育「スケート教室ひも結び」（保護者数名）
・３学年　総合「えんぶり学習会」（１名）
・４学年　総合「安全マップ作り」（地域の方々１０名程度）
・５学年　総合「長ネギづくり」（３名）
③クラブ活動ゲストティーチャー…茶道クラブ（１名）、アウトドアクラブ（老人クラブ数名）

④部活動指導…サッカー部（１名)、バスケットボール部（１名）

(2) 環境整備支援
①早朝奉仕作業…年２回実施、児童・保護者・地域住民・教職員（のべ７３０名）
②プール清掃…６月上旬、保護者（２１名）
③学校花壇整備…４～１１月、３学年委員会保護者
④雛人形、五月人形の飾り付け…年２回、４学年委員会保護者

(3) 安全・安心支援
①夏休みプール監視…７／２２～８／２１、４・５学年委員会保護者
②夏休み中の校外巡視…７月下旬～８月下旬、６学年委員会保護者
③交通安全教室…２回、２学年保護者・下長交番・交通安全協会
④下長地区安全安心パトロール（青色回転灯車）

(4) 交流活動支援
①１学年　生活科「小正月行事・ほがほが、昔の遊び体験活動」…老人クラブの方々との交流活動
②３学年　総合「高齢者とのふれあい」…ディケアセンターを訪問しての交流活動
③５学年　総合「保育園との交流学習」…保育園が来校しての交流給食、保育園を訪問しての遊びのワークショップ

(5) 情報発信支援
①ＰＴＡ広報紙「まど」発行…年３回、広報委員会保護者
②地域学校連携協議会だより「城北のそら」発行…第３号、コーディネーター
③地区懇談会…石堂地区、河原木団地地区の２回、町内会役員・民生委員・子ども会役員等との情報交換
④自由参観日での地域学校連携協議会の方々による授業参観

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　３９　人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１　人

４　成果と課題

(1) 成果
○下長中学校区各地域学校連携協議会、下長地区青少年生活指導協議会とも協議し、実践目標を『広げよう　明るいあいさつ　地域の笑顔』と定めた。さらにこの目標のポスターを作製し各町内会へ配布した。子どもたちの地域でのあいさつが良くなった。
○教職員が、昨年度までの各支援活動の実践を土台として、さらによりよい教育活動にするためにという意識で計画や活動を見直し、実践につなげるようになってきている。
○コーディネーターの方々がボランティアや地域の方々との連絡・調整を密に図ってくれているので、先生方の負担が軽減している。

(2) 課題
○地域密着型教育のよさや各支援活動による教育効果等について、今後も保護者や地域に広く発信し、理解と協力をさらに得ていく必要がある。
○地域の方々に学校の教育活動や子どもたちの様子を見てもらったり、一緒に活動してもらったりするような機会をさらに増やしていくことを考えたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立高館小学校
校長　木　津　正　博

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月３日（金）
②協議内容　・校長挨拶　・委嘱状交付　・行政説明「地域密着型教育について」
・会則、方針及び組織について　・今年度の教育活動について
・事業日程計画　・質疑応答　・情報交換

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年９月１２日（月）
②協議内容　・校長挨拶　・校内一巡　・授業についての話し合い（感想等）
・学校評価（中間評価）に関する説明及び審議　・情報交換

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年２月１０日（金）
②協議内容　・校長挨拶　・平成２８年度の学校評価に関する説明及び審議
・平成２９年度の教育活動について　・情報交換

２　具体的な取組状況

(1) 交流連携部会
①子ども会米づくり活動（４月～１２月　５回）
・苗取り…２０名、田植え…４５名、稲刈り…１００名、脱穀…１２名、収穫祭…１８０名
②子ども会夏祭り（７／１７）…８０名
③地域防災訓練（１０／３０）…１５０名
・高館地区連合町内会自主防災会主催　自宅からの避難訓練、非常用器具の設営・作動確認

(2) 安全安心部会
①１年交通安全教室（４／８）…交通安全協会、指導隊の方５名
②４年安全マップ作り（６／７）…保護者や安全安心まちづくり協議会等から１９名
・安全マップ作りフィールドワークでの安全見守り
③交通安全街頭指導（４月・９月）…交通安全母の会、保護者１１２名

(3) 環境整備部会
①親子クリーン作戦（５／７…１００名　１１／５…１５０名）
・除草、窓ふき、学級園の整備、ワックスがけなど校内外の清掃
②図書室整備（１０月～２月　６回）…１１名
・図書室の環境整備、図書の修理等

(4) 教育活動部会
①３年総合学習授業支援（９／２７、９／３０、１０／４、１０／７）…３名

・高館駒踊保存会の方が学習発表会で３・４年が発表する「高館子ども駒踊」を指導

②４年総合学習授業支援（１／２６、２／２、２／１６、２／２３）…１４名

・各町内老人クラブの方が４年の総合的な学習「わらぞうり作り」を指導

③５年総合学習授業支援（２／２８）…保護者４名

・５年の総合的な学習「進め！八戸探検隊」の活動支援

④本の読み聞かせ（４月～３月　１６回）…２名

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　７０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　０人

４　成果と課題

(1) 成果

・専門部会を実際の活動に合わせた形に変更し、組織図や会則の見直しを図って、新しい仕組みでスタートさせることができた。

・第２回協議会の開催時期を、１２月から９月に変更したことにより、学校評価（中間評価）に対するご意見等を２学期の教育活動に生かすことができた。

・学校便りや地域学校連携協議会便り、ホームページやブログで、地域学校連携協議会の活動内容を地域や保護者の方に発信した。地域密着型教育の趣旨への理解が深まってきている。

・本校では、地域学校連携協議会委員に学校関係者評価委員をお願いしており、授業参観や教職員・保護者・児童アンケートの結果や学力テストなどの結果をもとに多くの意見をいただくことができた。

・学校の教育活動に対しての質問や意見を聞くことができて、地域住民や保護者の考えを把握しやすくなった。学校行事や部活動などの活動を見直し、実態に合ったものに改善していくことができた。また、情報交換の中で、特に交通安全面での課題等が出され、子どもたちに具体的に指導することができた。地域で子どもたちの安全を守っていく体制づくりができている。

(2) 課題

・教育活動を進めるにあたって学校行事へのサポートをいただく等、今後一層、地域や保護者との連携が重要になってくる。専門部会が機能的に活動を展開できるよう、連絡調整を図りたい。

・図書ボランティアによる環境整備等で大きな成果があった。活動の継続化を図りながら、より多くの方にも参加していただけるようにするなど、活動の拡大・定着の方法を考えていきたい。

・今年度の地域防災訓練では、避難所開設を想定して行った。このように学校と地域が協力して行うことで一層効果的であるものを今後も計画していきたい。

・子ども会行事への参加が少なくなってきていることに関して、学校の協力を求める声がある。各子ども会単位ではなく、学校を会場に合同で実施する等の工夫を行ったが、さらによりよい形を考えていきたい。また部活動指導者の確保などについても話題に情報交換をしていきたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立根岸小学校
校長　　大　浦　和　典　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回協議会

①実施日時

平成２８年４月２７日（水）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）学区校長会長（北稜中校長）あいさつ　　イ）正副会長指名及びあいさつ
ウ）３校の学校経営方針等についての説明　　エ）ボランティア活用計画について
オ）会則について　　カ）緊急時の対応について
キ）評価分科会のメンバーについて　　ク）今後の予定について

（２）第２回協議会

①実施日時

平成２８年９月１４日（水）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）各学校からの情報提供

○学校目標進捗状況と成果と課題について

○校区家庭・学校「協働実践」事項について（あいさつ、会話、家庭学習）

（３）第３回協議会

①実施日時

平成２９年１月２４日（火）　１７：００～１８：３０

②協議内容

ア）学校目標評価について（概略の全体説明）

イ）次年度の日程について

ウ）分科会（北稜中部会、根岸小部会、日計ヶ丘小部会）

○学校評価について

・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察

・質疑応答と学校関係者評価

2　具体的な取組状況

（１）教育活動・学校行事・文化関連事業

①学習支援・・朝の読み聞かせ、昔の遊びの指導、安全マップフィールドワークの引率補助、町探検の引率補助、田植え・稲刈り・脱穀の指導、黒メダカの飼育の指導、家庭科裁縫補助、クラブ活動指導、部活動後援、スケート教室紐結び

②行事支援・・根岸音頭（運動会で踊る）の指導、入学式・運動会・音楽会・卒業式等の接待

（２）環境整備事業

花壇整備（花植え・草取り）、教材園及び教材田整備、プルタブ回収、校庭整備、窓拭き清掃作業、図書室整備と書架整理、郷土資料室の整備、鯉のぼり設置、入場門（運動会）設置

（３）安全対策事業

プール監視、安全マップ作り、交通安全教室、自転車教室、朝のあいさつ運動、防犯パトロール、通学路点検

（４）交流連携事業

クリーン作戦（地域のゴミ拾い）、えんぶり鑑賞会、地区敬老会、子ども会サマーキャンプ、ウォークラリー、区民運動会、公民館子ども教室、子ども会行事等への参加、小・中学校ジョイントスクール事業（６年生の中学校見学、グッジョブの受け入れ）

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　４２４人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　２人

４　成果と課題

（１）成果

根岸地区の方々は、「地域の子どもは地域で育てる」という考えの下、三校（根岸小学校・日計ヶ丘小学校・北稜中学校）を「根岸の学校」として分け隔てすることなく支援や協力をしてくれる。今年度も地域が一体となって子どもの育成に取り組むことができた。また、地域の方々が子どもたちの学習活動や学習環境づくりに参加することにより、子どもたちは地域の方々に対して尊敬や感謝の気持ちをもち、地域のボランティアの方々にとっては、自分の特技を生かすことにより、生きがいや活力の原動力となり、地域の活性化につながっている。

その他の具体的な成果としては、下記が挙げられる。

○　地域ボランティアの方々が、昔ながらの知恵や技能を生かして、熱心に指導してくださるおかげで、内容的に大変充実した体験学習が行われた。１年生の「昔の遊び体験」では、独楽や竹とんぼ、あやとりなど、お年寄りとふれあう良い機会となるとともに、感謝の心を育む場となった。５年生の黒メダカの学習では、理科での学習をもとにすみかづくりを行った。総合的な学習の時間を使って、校地内の小川を活用し活動する中で、学校の環境に目を向けたり、黒メダカについて詳しく調べたりするなど深い学びにつながった。

○　土曜・日曜や夏休みなど学校が休みの日に、公民館子ども教室や子ども会の行事がたくさん行われ、多くの子どもたちが参加した。「地域の子どもは、地域で育てる。」という気概をもった大人たちのがんばりによって、子どもたちの健全育成が図られている。

（２）課題

今後、さらに活動を発展させていくためには、後継者を含め、より多くの人材を発掘していかなければならない。広報活動や日常的な教育活動、積極的な地域を学ぶ学習の推進を通して、保護者や地域住民が学校運営、児童の教育活動に参加するという意識を醸成したい。

今年度は、コーディネーターによる広報紙「えぼし」を発行し学校の活動を保護者や地域の方々へ広く伝えることができた。また、総合的な学習等で取り組んだ「昔の遊び、安全マップ、田植え、稲刈り、町探検」等に、ＰＴＡ学年委員会へも呼びかけをして、親子で一緒に学ぶ体験学習として参加を募り、アスネットの方々の指導の補助をしてもらう形で進めた。

今後はさらに、総合的な学習の工夫改善とともに、２年後に控える給食実践発表、創立７０周年に向けて、児童自ら地域から学んだことを発信し、地域の一員である自覚をもたせるような活動を実施していきたい。また、ボランティアにおいては人材確保を進めながら、地域に根ざした学校づくりに努めていきたい。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：日計ヶ丘小・根岸小・北稜中）

八戸市立日計ヶ丘小学校
校　長　　種　市　八重子　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年４月２７日（水）　１７：００～１８：３０
②協議内容
ア）学区校長会長（北稜中学校長）あいさつ　　イ）正副会長指名及びあいさつ
ウ）３校の学校経営方針等についての説明　　エ）ボランティア活用計画について
オ）会則について　　カ）緊急時の対応について
キ）評価分科会のメンバーについて　　ク）今後の予定について

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年９月１４日（水）　１７：００～１８：３０
②協議内容　ア）各校からの情報提供
○ジョイントスクール事業に関わる情報交換

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年１月２４日（火）　１７：００～１８：３０
②協議内容
ア）学校目標評価について（概略の全体説明）
イ）来年度の日程について
ウ）分科会（北稜中部会，根岸小部会，日計ケ丘小部会）
○学校評価について
・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
・質疑応答と学校関係者評価

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 専門部会　なし
(2) ボランティア「ありがとうの集い」
○一年間の反省と意見交換

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業
①図書室整備
○図書ボランティア（図書室環境整備・本の補修　ほか）(9名)
…　4/15　4/22　5/ 6　5/13　5/20　5/27　6/3　6/10　6/17　6/24　7/1　7/8　7/15
7/28　8/4　8/26　9/2　9/9　9/16　9/23　9/30　10/7　10/14　10/21　10/28
11/4　11/11　11/18　11/25　12/2　12/9　12/16
1/15　1/22　1/29　2/ 5　2/12　2/19　3/4　3/11　　計40回
○読み聞かせ(7名)
…　4/20　5/11　5/26　6/8　6/22　7/7　7/20
8/31　9/14　9/28/　10/13　10/27　11/10　11/30　12/7　12/21
11/9(2)・11/18(2)・11/22(2)※朝
1/18　2/2　2/15　3/1　3/15　計24回
○その他
・本の譲渡会の準備作業および本の譲渡会　…　10/7(5)，10/8 (6)
②環境整備
○校庭の草取り・花壇整備　…　5/21(190)　6/13(6)　9/3 (148)　10/25(5)
○夢の森・樹木剪定　…　10/13(3)
③学習支援
○ステップアップ学習会丸付けボランティア　…　6/23(5)　6/24(5)　6/12(3)
1/19(4)　1/20(4)　1/23(4)　1/24(5)
○水泳教室ボランティア　…　6/17 (3)　6/24(2)　8/ 26(1)　9/29(5)
○畑づくりボランティア　…　5/16(2)　6/3 (2)　10/27 (2)　11/10(2)
○スケート教室ボランティア　…　11/15(2)　11/21(3)　2/6　2/16
○動物ふれあい指導ボランティア　…　9/23(2)
○町探検引率補助　…　6/28(3)
○ジャガイモ収穫祭り　…　11/14 (4)

○昔の遊び　…　2/15
○豆しとぎ　…　2/20
○書き初め教室　…　1/31(3)
○クラブボランティア（昔の遊び・家庭科）
…　4/28(8)　5/12(8)　6/9(8)　7/14（8）　8/25(8)
9/29(8)　10/27(8)　11/17(8)　11/24(8)
○その他
・連合婦人会による根岸音頭指導　…　5/17(17)
・根岸地区老人クラブとの世代交流会　…　9/2(23)
・地区敬老会太鼓運搬ボランティア　…　9/15(5)
・ブッククイズラリー補助　…　11/18(5)　11/24(5)

④行事支援
○入学式　卒業式　来賓接待　…　4/7(2)　3/17
○運動会　来賓接待準備、来賓接待　…　5/29（12）　5/30(10)

⑤安全対策
○登校指導　…　通年
○新1年生下校指導　…　4/8（7）　4/11(7)
○地区安全協会と交番による安全教室と下校指導　…　4/12(11)　4/10(6)

(2) 小・中学校ジョイントスクール
①重点指導項目に関わる取組
○学び合い（交流）のある授業づくり，「学習の約束」の共有化
○ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝの視点を取り入れた授業づくり，中学進学児童についての情報交換
○合同あいさつ運動，あいさつに関する意識調査

②その他の取組
○講義「小中連携を通したコミュニケーション能力向上の視点」
総合教育センター島浦副所長
○根岸小による授業公開と情報交換

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　２００人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　１６人（アスネットねぎし登録者を除く）

5　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題
①成果
・本校においては，多種多様にわたるボランティアの支援を受けることで，特色ある教育活動を推進することができている。コーディネーターを中心に地域や保護者と緊密に連携がとれており，「地域の子どもは地域で育む」という意識が浸透している。
・コーディネーターの活動として，地域密着型教育ボランティア通信を，年20回発行し，地域及び保護者に配付した。これにより，活動の様子を各家庭に伝えることができたほか，ボランティアの人材発掘にも役立てることができた。

②課題
・本校のコーディネーターの勤務も長年にわたっており，後任についても考えていかなくてはならない時期にきている。交替にあたり，スムーズに活動が引き継がれるように配慮していく必要がある。コーディネーターの複数配置を進め，上記課題に対応できるようにしたい。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題
①成果
・学び合いのある授業についての取組を通して，話合いに慣れ，少しずつ交流ができるようになってきた。
・中学進学を控えた児童等の情報交換は個別の指導計画における短期目標の引き継ぎなど有意義であった。
・あいさつ運動とソーシャルスキルトレーニングの取組を通して，あいさつに対する意識の向上が図られた。また，児童のあいさつに対する実態もつかむことができ，今後の取組の資料とすることができた。

②課題
・学び合いのある授業については，交流の基礎となる「聴く力」「話す力」に重点を置いた系統的な指導など，ただの意見交換から深め合う交流にステップアップさせるための手立てが必要である。
・今後は，ただあいさつするのではなく，心を開く，“質の高いあいさつ”の習慣化を図るとともに，家庭（地域）でのあいさつに保護者も巻き込んで取り組んでいく必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立是川小学校
校長　田　村　滋　子 印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回
①実施日時　　平成２８年５月１７日（火）
②協議内容
・委嘱状交付
・役員選出
・学校経営方針について
・今年度の予定について

(2) 第２回
①実施日時　　平成２８年９月２９日（木）
②協議内容
・学校目標・重点施策の説明と授業参観
・学校目標に係る保護者アンケート等の結果について
・教育課程実施状況について

(3) 第３回
①実施日時　　平成２９年１月１９日（木）
②協議内容
・学校評価に関する説明及び審議

(4) 第４回
①実施日時　　平成２９年２月２７日（月）
②協議内容
・今年度の成果と課題について
・来年度の教育計画について

２　具体的な取組状況

(1) 学習支援
①「柿の木クラブ」丸付けボランティア　　２１名
・３～６年「柿の木クラブ」における計算学習の丸付け支援
・通年　毎週火曜日　１５：３０～１６：１０
②読み聞かせボランティア　５名
・朝の読書活動における読み聞かせ活動
・通年　毎週金曜日　８：０５～８：２５
③生活科学習支援ボランティア　２７名（保護者を含む）
・１年昔の遊び、２年干し柿づくり、２年校外学習の支援
・１１月１７日、２４日、２６日
④生活科・総合的な学習の時間支援
・福善寺住職、公民館長を講師として是川小学校の歴史、是川の歴史について学ぶ機会とし、是川の歴史については、発表資料を作成し、是川公民館まつりの際掲示し、広く地域の人々に児童の学習内容を発表する機会とした。
・９月３０日、１０月２５日他

⑤稲作活動支援ボランティア　２名
・５年総合的な学習の時間における稲作活動支援
・５月～１１月
⑤箏の演奏活動支援ボランティア　１名
・日本文化クラブにおける琴の演奏活動・茶道作法支援
・５月～２月
⑥家庭科（ミシン指導）ボランティア　のべ１６名
・裁縫を行う際、ミシンの掛け方の指導ならびに見届け
・１２月５日、６日

(2) 環境整備支援
・ボランティア（保護者を含む）のべ３００名
・タイルはり、草刈り、樹木剪定
・年３回

(3) 行事支援
・運動会における会場設営・後始末の支援　４０名
・５月２７日、２８日

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２８ 人
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　２２ 人

４　成果と課題

(1) 成　果

○本校創立１４０周年を機会として地域の方々との繋がりを大切にして取り組んだ結果、ボランティアの方々と活動の中で触れ合ったり、給食を一緒に食べたりする活動を通して、交流を重ねることができた。その結果、地域の方々と気兼ねなくあいさつする児童が増えたり、子ども会や地域の行事に積極的に参加する児童が増加した。

○ボランティア懇談会を開催し､ボランティアの方々と学校との意見交流を実施することにより、教職員が地域での児童の様子を知る機会となるとともに、ミシンボランティア等新たなボランティア活動への支援要請を行うとともにそれに応えてくださる方々の支援を身近に感じ取ることができた。

○地域の方が積極的に学校に足を運んでくれるようになり、学校や子どもたちのことを温かく見守ってくださっていることを実感できた。

○地域学校連携協議会では、学校の取組について評価していただくことで、これまでの実践について確かな自信をもち教育活動を進めることができた。

(2) 課　題

○常にボランティアを募集し、保護者、地域住民等数多くの方から御協力いただいている。しかし、高齢化等のため勇退される方もおり、恒常的なボランティア確保が年々難しくなってきている。地域への情報発信を継続し、保護者、地域住民の地域密着型教育に対する理解をさらに深め、学校活動への協力体制のさらなる充実を図っていく。

○平成２８年度は、本校創立１４０周年を機会に地域との連携が深まった１年間となった。創立１４１年目を迎える平成２９年度を新たなスタートと考え、地域密着型コーディネーターを中心として、ボランティアの方々と学校との連絡を密にして、地域に開かれた学校づくりを継続していく。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　三条小　学校
校　長　　峯　香代子　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２８年６月９日　１８：００～
②協議内容
・委嘱状交付式
・会則の承認
・会長、副会長の指名、挨拶
・平成２８年度の学校経営方針について（校長）
・危機管理対策について（教頭）
危機管理マニュアル・安全情報配信システム・駐車場での事故防止
・創立１４０周年記念式典事業進捗状況について（教頭）
・児童の実情と課題について（教務）
・意見交換
・その他

(2) 第２回　　①実施日時　平成２８年１０月２４日　１８：００～
②協議内容
・学力検査の結果報告（教務）
・１学期末保護者アンケートの結果説明（教務）
・中間活動報告（コーディネーター）
・意見交換
・その他

(3) 第３回　　①実施日時　平成２９年１月１９日　１８：００～
②協議内容
・今年度の活動報告（コーディネーター）
・「学校評価アンケート」について報告（教務主任）
・「学校教育目標達成状況」について報告（教頭）
・創立１４０周年式典の報告とお礼
・意見交換
・学校関係者評価記入

２　具体的な取組状況

(1) 安全安心活動支援

○交通安全指導	４月～３月	１～２人	登校時に、交差点での見守り
○新入学児見守り指導	４月　８日～１３日	１２人	危険箇所での見守り
○交通安全教室指導	４月１４日	６人	交通安全教室の見守り
○校外巡回指導	７月～２月	７６人	地域の危険箇所の確認
○プール監視指導	夏休み中	１０２人	プールでの見守り

(2) 教育活動支援

○読み聞かせ	５月～３月	８人	１・２年生への読み聞かせ（年間２４回）
○神楽クラブ指導	５月～２月	４人	神楽クラブ児童への指導（年間１０回＋休業日３回）
○運動会準備	５月２８日	１８人	テント及び万国旗設営
○三世代交流	６月１７日	１３５人	１・２年生へ昔の遊びの指導
○三世代交流	１０月１２日	５７人	４年生　南部せんべいづくりと昔の暮らし
○三世代交流	９月　８日	３２人	３年生　ふるさとの食
○地域安全マップ	１１月　８日	９人	４年生の学習　引率補助

○町探検　　１１月１０日　　１０人　２年生　町探検児童引率
○読書指導　　７月　５日　　６人　八戸市図書情報センターによる
　　１２月　６日　　５人　全学年　ブックトーク・読み聞かせ
　　３月　６日　　５人
○米を育てる（５・６年生の活動）
・田植え　　５月３１日　　３人　田植え指導
・草取り　　７月１９日　　２人　田んぼの雑草駆除
・稲刈り　　１０月　３日　　５人　稲刈り指導
・脱穀　　１０月１９日　　３人　脱穀指導
・餅つき　　１１月２９日　　４２人　餅つき準備等
・注連飾り　　１２月１６日　　８２人　三世代交流

(3) 部活動支援
・野球部指導　　４月～３月　　４人　児童への指導、安全の見守り
・バレー部指導　　４月～３月　　３人　児童への指導、安全の見守り

(4) 環境整備活動支援
・運動会の環境整備　５月２２日　２７６人　運動会に向けて草取り木の伐採
・草取り交流会　　８月２５日　　４８人　老人クラブの方々と一緒に校庭の除草活動

(5) 交流連携活動
・養護老人ホームでの演奏　　７月２４日　地域にある浄信館で吹奏楽部が演奏
・駅前野外コンサート　　９月　３日　八戸駅前で野外コンサート
・養護老人ホームでの演奏　　９月１０日　地域にあるほっとハウスで吹奏楽部が演奏
・神楽の演舞　　９月１１日　矢沢町内のお祭りに参加し神楽を披露
・安心安全まちづくり大会　１０月１０日　吹奏楽部が上長地区の集会に参加
・安心安全まちづくり大会　１０月１０日　リトルジャンプチームが上長地区の集会に参加
・神楽の演舞　　１１月２２日　創立１４０周年記念式典で祝舞を披露
・神楽の演舞　　２月１２日　三条館で一人暮らしの老人の方々に披露

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１９人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１２人

４　成果と課題

(1) 成果
・地域の町内会、公民館、老人クラブ、幼稚園・保育園、子供会、学校など子どもに関わる代表者が一同に集まり、子どもたちの様子や地域の様子について情報交換を行えたことは、地域で子どもを育てるための土台となる貴重な場となっている。また、得られた情報や意見を、学校の教育活動にも反映させることができた。
・児童が地域の方々とコミュニケーションを取る機会を増えたことにより、そのふれあいの中で、自分たちの地域に興味・関心をもったり、愛着や誇りをもったりすることができてきた。
・学校の重点施策に対して理解と応援をいただき、学校運営の活性化につながった。

(2) 課題
・今年度、ボランティアの種類を増やして取り組んだが、まだまだボランティアをしたい方がいると思われる。共に相互利益になるような取組を考え、更に積極的に募集を進め、少しでも多くの方の協力を仰いでいきたい。
・子どもたちがもっと積極的に、地域の活動へ参加するような学校での取組の工夫が必要である。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立西園小学校
校長　　齋藤　和香美　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　６月１日（水）１８：００～１９：３０
②協議内容　○経営方針・学校目標の説明
○学校支援ボランティアの活動状況
○児童の様子
○市教委教育指導課佐々木宏恵主任指導主事から

(2) 第２回　　①実施日時　９月７日（水）１３：５０～１６：３０
②協議内容　○校内研究提案授業（１年２組算数）
・授業参観
・研究協議会参加

(3) 第３回　　①実施日時　１月１８日（水）１８：００～１９：３０
②協議内容　○学校目標重点施策の実施状況、成果と課題
○学校評価アンケート結果
○学校支援ボランティアの活動状況
○児童の様子
○来年度の予定



「地学連第３回協議会」

２　上記以外の会議の実施状況

○学校支援ボランティア第１回打ち合わせ会（５／２５）
○学校支援ボランティア反省会（３／８予定）

３　具体的な取組状況

(1) 読書活動支援
・図書室整備
（４月～３月の月３～４回、
登録者６名、本の修理作業や飾り付けなど）
・読み聞かせ
（５月～３月の週２回程度、
朝８：００～８：２０、登録者２名）



「図書室ボランティア活動」

(2) 環境整備

・親子奉仕作業（５月と１０月、朝７：００～８：３０、約３００名参加、草取りや落ち葉拾い、樹木剪定などの環境整備）

・花壇の花植え（６月、２０名）



(3) 学習支援

・給食配膳（１年）・・・４月、１回

・毛筆指導（４、５年）・・・６～１２月、５回

・調理実習補助（３、５年）・・・７月～１２月、３回

「校外活動見守り」

・ミシンがけ補助（５、６年）・・・１１月、４回

・校外学習補助（４年）・・・９月、１回

・ふれあい指導補助（１年）・・・９月、１回



「動物ふれあい指導」

(4) その他

・学習発表会来賓受付・・・１０月、１回

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　１９人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１３人

５　成果と課題

○毛筆やミシン、調理実習など子どもたちの技術的な差がある時にボランティアが個別指導してくださるので、子どもたち一人一人の確かな知識・技能の習得に役立っている。

○図書ボランティアが季節に合った図書室の環境づくりに関わってくださっているので、子どもたちが本を読みやすい環境になっている。

○校外学習にボランティアの補助が入ったことにより、効果的で安全な指導を行うことができた。

▲ボランティア同士、和気あいあいと活動しているのは、とてもいいことだが、メンバーが固定化され、広がりが見られなくなってきている。

▲先生方にボランティア活用に対して温度差があるので、効果的にボランティアが入れるように、教頭が窓口になり先生方に声がけを行っている。

「老人クラブ指導による
しめ飾りづくり」





平成 28 年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書

（Ｊ Ｓ 連携校：明治中・明治小）

八戸市立明治小学校
校長　田　中　利　男　㊞

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①　実施日時　平成２８年６月７日（火）

②　協議内容
・委嘱状交付
・八戸市立明治小中学校地域学校連携協議会会則審議
・会長，副会長の指名
・明治小学校，明治中学校の学校経営方針説明（学校目標を含む）
・今年度の計画審議

(2) 第２回　①　実施日時　平成２８年１２月６日（火）

②　協議内容
・明治小学校，明治中学校の学校評価の説明及び審議
・明治小学校，明治中学校の学校支援進捗状況の説明及び審議
・教育委員会挨拶

(3) 第３回　①　実施日時　平成２９年２月２３日（木）

②　協議内容
・明治小学校，明治中学校の成果と課題の説明及び審議
・明治小学校，明治中学校の学校支援の成果と課題の説明及び審議
・来年度の協議委員について

２　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①　教育活動

(a)　学習活動支援……学級担任や行事担当者からの依頼を受けて随時活動。
- 学校園畑畝づくりに老人クラブ１５名と保護者ボランティア２名。
- 八幡馬踊り指導に老人クラブ１４名と保護者ボランティア２名。
- 絵画展示作業に保護者ボランティア１０名。
- 相撲大会審判に保護者ボランティア３名。
- 陸上競技会補助に保護者ボランティア５名。
- 校外学習の見守りに６名。
- 田植えや稲刈りへの補助に保護者ボランティア５名。
- 家庭科調理実習に保護者ボランティア５名。

(b)　読み聞かせ支援……６月から３月までの毎週月曜日の朝にのボランティア１～３名。


八幡馬踊りの練習指導

②　部活動

(a)　部活動指導支援……野球部３名・サッカー部１名・ミニバス部２名・スケート部２名。
(b)　引率支援……陸上競技会とスケート競技会への参加への支援。
(c)　部活動見守支援……指導者が練習に入るまでの間，ボランティアが練習を見守っている。

③　安全安心活動

(a)　交通安全支援……交通安全教室に駐在所所長，交通指導隊４名，防犯パトロール隊，交通安全母の会の方々。
(b)　防犯パトロール……毎週水曜日に，防犯パトロール会による学区内巡回。
(c)　朝の立哨支援……春休みや夏休み，冬休み明けに保護者による登校時の街頭指導。

④　環境整備活動

(a)　奉仕作業……５月と９月に除草や花壇整備，側溝泥上げを中心とした環境奉仕作業。
(b)　資源回収……５月～１０月に６回の資源回収を実施。毎回 10 名前後の参加。
(c)　校内清掃……３月にワックスがけを中心とした清掃活動。

⑤　交流連携活動

(a)　八幡宮大祭参加……相撲大会のまわし付け補助に１５名の保護者ボランティアが参加。

(2) 小・中学校ジョイントスクール

① 「重点指導項目」にかかわる取組について

(a) 重点指導項目①：「学習習慣の確立を図る」について

・家庭学習の習慣化に向け，小中一貫した「家庭学習の約束」を児童生徒，全家庭に配付・周知し，教科担任（中学校）や学級担任（小学校）から説明

・生活ノートを利用した時間の使い方指導

・ＮＲＴ検査結果の情報交換と分析

(b) 重点指導項目②：「気持ちのよいあいさつができる」について

・４月１９日～２２日・・小中合同第１回あいさつ運動

・８月２３日～２６日・・小中合同第２回あいさつ運動

② その他の取組について（教職員や児童生徒の交流，家庭や地域社会との連携を中心とした取組）

・ ４月 ５日 第１回ＪＳ推進委員会（中学校：研究計画の確認・検討）
・ ４月２７日 第１回ＪＳ総会（中学校：顔合わせ・事業の進め方の確認）
・ ６月１６日 市中体夏季大会壮行式での合同応援（小学６年生の参加）
・ ８月２４日 中学校全職員による小学校授業参観，教育相談による連携（ＳＣ講話）
・ ８月２８日 館地区学区民体育祭への参加
・ ９月２３日 中学校教員による小学校歌唱指導（音楽）
・ ９月２９日 小学６年生の部活動体験（午後）
・１０月 ２日 館地区総合防災訓練への参加
・１１月 １日 中学校教員による小学校歌唱指導（音楽）
・１１月２５日 小中合同ＰＴＡ忘年会（えびす家）
・ １月１２日 第２回ＪＳ総会・推進委員会（中学校：まとめ，反省と次年度の取組）
・ ２月 ６日 小学校教員と６年生の中学校授業参観，中学生による６年生への学校説明会
・ ３月２３日 小学６年生の情報交換会


壮行式での合同応援

３ ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数 ３１名（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数 ２０名 ※学校支援地域本部事業の予算による加入者数

４ 成果と課題〔成果…◎，課題…◆〕

(1) 地域密着型教育

◎ 地域密着型教育への取組は６年目となるが，地域関係者・学校職員・学校支援コーディネーター・ＰＴＡ役員等には地域全体で子どもを育てようという意識が定着している。

◎ ボランティアの方々に協力いただくことで教育活動が充実し，基礎学力の定着や豊かな心の育成などの「生きる力」の育成に役立っている。

◆ 保護者中心に呼びかけていたため，学校支援ボランティアの登録数が減少している。図書ボランティアの読み聞かせなど人員を必要としている。地域へもさらに募集を広げ，人材登録を充実させていく。

(2) 小・中学校ジョイントスクール

◎ 小中合同で実施しているあいさつ運動，壮行式，部活動体験については，小中それぞれに効果的な部分が多くあるので，今後も継続・発展させていく。

◆ 小中継続指導項目の「帰宅したらまず宿題」については，少しずつ定着をしてきているが，ながら学習をする児童生徒が多く見られた。継続して共通した取組を進めていく。

◆ アンケートを実施し，状況の把握などを行ってきたが，方法や時期など学年によって工夫していく。

◆ 地域，保護者，学校の連携を密にしながら，人間関係作り，リーダー育成，心の成長などに向けての取組を進めていく。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立桔梗野小学校
校長　谷　川　龍　三　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年５月２７日(金)１８：３０～１９：３０
②協議内容　・委嘱状交付
・会則・組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策の説明　および審議

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１２月１５日(木)１８：３０～１９：３０
②協議内容　・校長あいさつ
・地域密着型教育の活動報告
・学校評価に関する報告と意見交換

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年２月２３日(木)１８：３０～
②協議内容　・校長あいさつ
・成果と課題の説明および審議
・来年度の教育計画についての説明
・情報交換

2　上記以外の会議の実施状況

(1) ボランティア集会　①実施回数　５／３０、１／３１
②構成メンバー　ボランティア登録者、ボランティア参加者、
コーディネーター、校長、教頭、教務主任、
ボランティア活動に興味のある保護者

3　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

① 学習支援

・校外学習引率　５／２６、９／６、９／２３、１２／１　　のべ１９人
・安全マップづくり　１０／３１　１４人
・音楽発表会　器楽指導　９／１２～１０／７　のべ４５人
・習熟度別学習丸つけ支援　１２／１５～３／９　のべ１６人
・郷土料理作り支援　１２／１３、２／２１、２／２８　のべ２７人　※予定を含む
・図画工作　小刀学習補助　１／２７、１／３１　のべ１０人
・地域名人（折り紙、絵画）　７／２９、９／６　各２人

② 行事支援

・入学式受付接待　４／７　２人

・音楽発表会受付接待　１０／１５　３人

・マラソン記録会補助　１０／２７　１１人

・卒業式受付補助　３／１７　※若干名の予定

③ 安全支援

・登下校安全指導　毎日２人

・地域巡回指導　年３回　各６～７名

④ 図書支援

・本の貸し出し　毎週月曜日２人～６人

・本の読み聞かせ　毎週金曜日３人～７人

・お話会　１１／１７　８人

・図書室整備（随時）

⑤ 部活動

・見守り　毎週月曜日　１～２人

・部活動指導（野球部・サッカー部・ミニバス部）

⑥ その他

・配付物仕分け（毎月）２人

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　１３人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　成果と課題

(1)成果

・教職員以外の方から支援してもらうことで、教育活動の内容が広がった。また、活動の安全確保や児童の関心・意欲の喚起を図ることができた。

・保護者や地域の方々にとっても、やりがいを感じられる活動となった。

・さまざまな立場の人と交流の機会をもつことができたため、教職員だけでは得られない情報を得ることができた。

(2)課題

・ボランティア登録をしたメンバー同士の親睦が深まっているものの、新たなメンバーの登録は少なかった。また、転勤することの多い保護者の登録が多いため、もう少しボランティア登録者の数を増やす必要がある。

・教職員全員の地域密着型教育に対する理解がもっと進むように、校内での理解をより一層図っていく必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立轟木小学校
校長　髙　橋　晋　也　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①　実施日時　平成２８年１０月　８　日（土）
②　協議内容　ア　委嘱状交付
イ　議事
・　会則の確認
・　会長・副会長指名，挨拶
・　学校経営方針等について説明
・　審議

(2) 第２回　　①　実施日時　平成２９年　２　月２４日（金）
②　協議内容　ア　議事
・　学校評価の説明
・　連携活動の現状と課題の説明
・　次年度の予定に関する説明
・　審議

2　具体的な取組状況

(1) 部活動支援

・　野球部，ソフトボール部に各２名のコーチを依頼
主にシーズン中の技術指導や大会参加の際の学校指導者の補助

(2) 生産活動への支援

①　学校田での米づくり支援
５月～１１月にかけて耕起，代掻き，田植え，草取り，稲刈り，脱穀作業　約２０名
その他に随時，水管理や畦の草刈り

②　学校畑での作物栽培支援
５月～１１月にかけて，畑の耕起，栽培している作物の栽培方法についての助言や各種作業の補助を主に児童の祖母１名に依頼

(3) 環境整備

①　　５　月１５日（日）校地内草刈り・校庭整地作業・運動会準備　５０名

② 　９ 月１１日（日）校地内草刈り・校庭整地作業　５０名

(4) 夏休みプール監視

・ 例年，市川中学校プール運営委員会として，プール開放の際の本校割当分の約１６回のプール監視をＰＴＡ会員及び職員で行っているが,今年度はプールの修理のため実施しなかった。次年度はこれまでと同様に実施する。

(5) 学習及び学校行事・ＰＴＡ行事の支援

① 　１１月１９日（土）「創立百四十周年記念式典」

・ 地域学校連携協議会委員全員に参与となってもらい記念式典の助言・支援　８名

・ 記念式典の手伝いに保護者全員　３８名

② 　１２月 ２ 日（金）「もちつき会」

・ もちつきの手伝いに保護者，祖父母　２０名

例年，同日午後開催のＰＴＡバザーは学年毎に出店を担当し，ほぼ全員の保護者が参加しているが，今年度は記念式典があったのでバザーは実施しなかった。次年度はこれまでと同様に「昔に学ぶ会」とともに実施する。

③ その他，交通安全教室やマラソン記録会，スケート教室などの補助として保護者が多数参加

３ 　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２６人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　２５人

４ 　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

・ 地域学校連携協議会の開催により，学校の運営方針や教育活動の状況を説明する機会が明確になり，地域関係団体との情報の共有が図られるようになった。

・ 地域の方々の学校への関心が高まり，協力・支援を得やすい状況が生まれてきた。

・ 地域の方々の支援をいただく中で，児童と地域の方の交流が図られ，児童の地域理解がより深まった。

(2) 課題

・ 児童数の減少，ＰＴＡ会員の減少に伴い，地域民の教育活動への支援の必要性が高まることが予想され，ボランティアの登録増を進める必要がある。特に，学習支援及び児童の安心・安全に関わるボランティアの充実を図りたい。

・ 今年度は学校での活動への支援が主であった。次年度以降，地域の諸活動に子どもたちがどのように関わっていけばよいか検討する必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書

八戸市立多賀小学校
校　長　　尾　形　真一朗　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　　①実施日時　　平成２８年５月２４日（火）　１５名参加(新規６名)
②協議内容　・委嘱状交付式(委嘱状交付，校長あいさつ)
・趣旨説明(校長)　・会長，副会長の指名，会則承認
・会長，副会長あいさつ　・今年度の学校経営ついて(校長)
・組織及び計画について(教頭)　・協議(質問，ご意見)
・担当指導主事あいさつ(教育指導課主任指導主事　相馬昌之先生)

（２）第２回　　①実施日時　　平成２８年１１月２２日（火）　１４名参加
②協議内容　・会長あいさつ，校長あいさつ
・平成２８年度の現状について(校長)，第１回学校評価の結果等について，第２回学校評価について(教頭)
・協議(質問，ご意見，ご助言)

（３）第３回　　①実施日時　　平成２９年１月２６日（木）　１４名参加
②協議内容　・会長あいさつ，校長あいさつ
・地域密着型教育の状況について(教頭)　・第２回学校評価の結果について(教頭)　・協議(質問，ご意見，ご助言)

２　具体的な取組状況

（１）環境整備
①校地内の環境整備　　平成２８年５月２２日（日）（ＰＴＡ，教職員，児童　約１４０名）
・校地内の草刈り，草取りや花壇の整備等
②学校田の管理・世話　　平成２８年５月～１０月（保護者，地域の指導者の方々）
・学校田の日常的な管理(田おこし，代かき，肥料まき，草刈り，水管理，薬剤散布等)

（２）学習支援
①田植え体験学習　　平成２８年６月３日（金）（保護者15名，児童100名，教職員11名）
・児童による学校田の田植え体験学習の補助
②稲刈り体験学習　　平成２８年１０月２５日（火）（地域の指導者1名，保護者13名，児童100名，教職員10名）
・児童による学校田の稲刈りの補助及び機械による稲刈り・脱穀
③６年生鮭学習　　平成２８年１０月より３月まで４回（市川漁協，八戸水産事務所の指導）
・６年生への鮭の生態，飼育，放流，食の指導・補助，鮭学習会
④５年生しめ飾り体験学習　　平成２８年１２月１日(木)（橋向生活改善ｸﾞﾙｰﾌﾟ5名，5年児童17名，教職員1名）
・５年生の稲わらを使ったしめ飾りづくり体験学習での制作指導
⑤読み聞かせボランティア　　平成２８年５月～２９年３月（読み聞かせボランティア１名）
・各学級ごとに朝学習の時間に読み聞かせを行う。(原則，隔週で行う。)
⑥いちご学習（地域の指導者１名）
・いちごジャムづくり，いちごハウス見学，いちごの収穫体験


（６年生鮭学習）


（５年生しめ飾り体験学習）


（読み聞かせボランティア）

（３）行事等補助

①津波対応校外避難訓練　　平成２８年６月９日（木）（警察･地域諸団体･保護者15名，児童100名，教職員12名）

・大津波警報時に対応した八戸工科学院までの校外避難訓練の見守り，歩行指導等

②桜3.11学校プロジェクト　　平成２８年９月３０日（金）

・ワークショップ・植樹セレモニー（地域･保護者2名，ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行委員会10名，児童100名，教職員11名）

・鎮魂と希望の桜花火打ち上げ（地域･保護者･ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行委員会･児童･教職員 140名）

③校内マラソン大会　　平成２８年１１月４日（金）（交通指導隊3名，児童100名，教職員11名）

・マラソン大会時の交通整理，安全確保・安全指導

④ＰＴＡバザーでの児童活動補助　　平成２８年１１月６日（日）（保護者･地域指導者15名）

・餅つきの補助，神楽演奏の補助

（４）地域とのかかわり（地域行事・伝統芸能継承・施設との交流）

①地域の行事である白髭神社例大祭相撲大会，市川神楽奉納（７月１０日[日]）に参加している。地域の相撲愛好会や町内会の方々からお力添えをいただいている。

②地域に伝わる伝統芸能「市川神楽」を地域と共に継承する活動を行っている。地域の方から指導を受けている。白髭神社例大祭，ＰＴＡバザー等で披露する。

③毎年地域の高齢者対象の介護施設との交流を図っている。

・４年生：出前講座（９月２０日[火]），施設訪問（１０月６日[木]）…寿楽荘

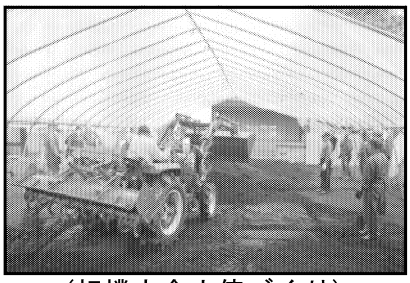
④多賀多目的運動場（ダイハツスタジアム）こけら落としへの神楽部の参加。

・１０月２日（日）（地域・保護者１３名，児童８名，教職員６名）

（５）「地域密着型教育だより」の発行・・・年８回発行予定



（校内マラソン大会補助）



（相撲大会土俵づくり）



（桜3.11学校プロジェクト）

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　５人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０人（ＰＴＡ安全互助会賛助会員に加入）

４　成果と課題

［成果］

・今年度は，交替及び新規で新しい協議会委員が６名就任し，新しい立場の方が３名加わった。（昨年度より２名増）新たな視点でご意見・ご助言をいただくことができた。

・地域学校連携協議会は今年度も予定通り年３回実施することができた。関係諸団体や保護者の代表の方々から地域での児童の様子を教えていただいた。また，色々なご質問，ご意見をいただき，今後の学校教育活動を進める上での貴重な助言となった。

・地域密着型教育コーディネーターから地域の情報を得ることで，学校での様々な教育活動の参考となった。

［課題］

・教職員の児童・地域との関わりについて，その必要性，あり方などを共通理解し，積極的活用を行うことができるよう進めていく必要がある。

・地域の教育力の発掘に力を注ぎ，教育ボランティアとしての人材確保に努めたい。また，活用の仕方を工夫したい。

・地域と学校のつながりについて，より一層地域に分かり易く発信していきたい。また，協議会委員や地域の方が，色々な行事や活動場面で学校や子どもたちを見ていただけるよう，案内や働きかけを行っていきたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立多賀台小学校
校長　八　戸　邦　彦　　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２８年　６月　３日（金）　１８：００～１９：３０

②協議内容

・委嘱状交付
・会長・副会長選任，あいさつ
・学校経営の説明
・今年度の協議会計画
・学校評価について



(2) 第２回　　①実施日時　平成２８年１０月３１日（月）　１８：００～１９：３０

②協議内容

・学校評価について（中間評価）
・今年度事業の状況

(3) 第３回　　①実施日時　平成２９年　１月２３日（月）　１８：００～１９：３０

②協議内容

・今年度活動のお礼
・学校評価について
・今年度学校支援の成果と今後
・来年度の予定

２　具体的な取組状況

(1) 読書活動支援

朝の読み聞かせ（４～３月の月２～３回，くまの会５名）
昼の読み聞かせ（５～２月の月１回，くまの会５名）
ブックトーク（各学年１回の計６回，くまの会５名）
図書室環境整備（随時，くまの会５名）

(2) 環境整備

花壇苗植え（６月，三丁目老人クラブ１４名）
校庭・中庭等の草取り（５月運動会前，保護者３４名）
１階窓ふき（１０月学習発表会前，保護者１５名）

(3) 学習支援

朝自習見守り（６～３月の毎週月曜日，８：２０～８：４０，保護者・登録者のべ６１名）
スポーツテスト計測補助（５月，保護者・登録者１２名）
書道指導（６年６月の計４時間，登録者１名）
多賀台っ子集会付き添い（６月，保護者・登録者１８名）
生け花・茶道指導（クラブ活動９・１１月計２時間，１名）

安全マップ作成（３年９月計２回，多賀台地区防犯協会・保護者・登録者のべ１４名）
生活科町探検付き添い（２年１０月・１１月計３回，保護者・登録者のべ１０名）
楽器演奏指導補助（５年１０月２回，保護者・登録者のべ６名）
米作り（５年６・１０・１１・１２月計４回，おいらせ町の方・高屋敷老人クラブ・保護者のべ９７名）

(4) 安全指導

歩行訓練指導・補助…（４月の交通安全教室，交通指導隊・Ｐ交通安全母の会１４名）
立哨指導(毎朝，交通指導隊他５名）
下校見守り(６月～１１月の水曜の下校時，保護者１３１名）

(5) 部活指導

指導・下校見守り・試合引率・親の会活動（野球部指導者８名，バスケ部指導者３名）

(6) 行事交流

学区大運動会（５月）
地区防犯スポーツ大会（８月）
地区敬老会（９月）
ニュースポーツ講習会（１１月）
どんと焼き祭り（１月）



３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１３６人（全保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

４　地域密着型教育の成果と課題

(1) 成果

○年度始めに地域全体にボランティア登録の呼びかけを行ったことにより，多賀台地域の人材をある程度把握することができた。(「多賀台小人材バンク」の創設)
○コーディネーターを１人から３人に増やしたことで，互いにアイディアを出し合ったり，役割分担をしたりしながら効率的に活動できるようになった。
○さまざまな場面に学習支援ボランティアが入ったことにより，児童が安心して学習に取り組むことができた。また，複数体制で指導をすることができるため，個に応じた丁寧な指導をすることができた。
○学校が把握できていない学区内の情報を得ることができた。

(2) 課題

○「多賀台小人材バンク」への登録を呼びかけた際の説明が不足していたために登録していただいた方に迷惑をかけてしまった。(登録をしていただいても学習とうまく結び付けられない場合は連絡が行かないことを周知する必要がある。）来年度は年度始めのＰＴＡ総会や町内会長会議にて，その趣旨を丁寧に説明する。
○ 学習支援ボランティア等の活動の様子を知らせるコーディネーター通信を定期的に発行することにより，地域密着型教育への関心をさらに高め，「多賀台小人材バンク」への登録を増やしていく。

平成 28 年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS 連携：豊崎中・豊崎小）

八戸市立豊崎小学校
校長　安田　博子　印

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２８年５月２５日(水)　１９：００～
②協議内容　・委嘱状交付　・会則及び組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策の説明及び審議　等

（２）第２回　①実施日時　平成２８年１２月１５日(木)　１８：３０～
②協議内容　・学校の現状と課題の説明及び審議　・学校評価に関する説明及び審議
・情報交換　等

（３）第３回　①実施日時　平成２９年２月７日（火）１９：００～
②協議内容　・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明及び審議
・来年度の教育計画についての説明　等

２　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業

①安全・安心活動

・地区の巡回指導	毎週木曜日（６月～９月）	毎回４～６名
・登校時の交通安全指導	４月８日（金）～１２日（火）	約３０名
	９月６日（火）～８日（木）	約３０名

②環境整備活動

・運動会前の校庭の草取り 側溝の泥あげ 入場門の設置	５月８日（日）	約５０名
・相撲大会前の土俵周辺の草刈り 土俵整備、校庭の草刈り、体育館窓ガラス拭き	８月２８日（日）	約３０名
・140 周年記念式典前の校舎ベランダ手すりのペンキ塗り	１０月２３日（日）	１３名
・校庭の雪山つくり	１月	１名
・駐車場の除雪と通学路の確保	１月～２月	２名

③教育支援活動

・田植えから精米までの米作り体験 畑作物の栽培に関する指導と活動支援	４月～１１月	２名
・七崎音頭指導	５月９日（月）、１３日（金）	１名
・運動会での消防自動車展示・放水体験	５月２１日（土）	３名
・郷土学習授業のＧＴ	１０月６日（月）	１名
・郷土学習　地域の方のお話	１１月８日（火）	１名
・収穫祭（餅つき）活動支援	１１月２０日（日）	１５名
・お年寄りとの交流体験活動	２月１３日（月）デイサービスセンターいこい苑	

④行事支援活動

・相撲の作法指導	８月２５日（木）	１名
・相撲大会準備、運営、審判、後片付け	９月４日（日）	約４０名
・マラソン大会巡視	５月２１日（土）、１０月２７日（木）	各１３名
・学習発表会後の後片付け	１０月１５日（土）	約３０名

（２）小・中ジョイントスクール

①重点指導項目にかかわる取組について

＜重点指導項目「学習習慣の形成」「家庭学習の習慣化」について＞

・４月２８日（木）　全体会・各部会(計画案の検討と協議)及び親睦会
・８月　２日（火）　小・中合同研修会を小学校にて実施
「豊崎の歴史・文化マップづくり」プロジェクトリーダー
小泉幸雄氏の講演及び部会ごとの情報交換・報告
・１月２４日（火）　中学校参観日に小学校教員参観

『小・中合同研修会』（８月５日）

演題「豊崎の歴史・文化マップづくりへの取組について」

「豊崎の歴史・文化マップづくり」プロジェクトリーダー小泉幸雄氏の講演を行った。歴史・文化マップづくりは、八戸市協働まちづくり推進の一環として住民自治推進懇談会等を通して進められている事業である。本校１４０周年の節目に、豊崎地区にある２１か所の歴史や文化、「七崎」という地名の由来について知ることができたことは、大変有意義であった。


小泉幸雄氏による講演風景

三部会ごとに話し合い、学習習慣の形成や家庭学習の習慣化について、また児童生徒の情報交換や地域連携活動の取組状況などについて情報交換をすることができた。

＜重点指導項目「気持ちのよい返事や挨拶ができる」「自他の命を大切にできる」について＞

・５月１７日（火）　第１回豊崎地区校外指導委員会（今年度の計画）
・６月２日～９月２９日　校外巡視活動（毎週木曜日）

・９月６日～９月８日　　交通安全あいさつ運動
・１１月１０日（木）　第２回豊崎地区校外指導委員会（今年度の反省）

『交通安全あいさつ運動』（９月８日）

小・中児童生徒並びに小・中の教職員、小・中ＰＴＡ交通安全協会等の方々による交通安全あいさつ運動。６月から９月にかけて小・中ＰＴＡと防犯協会等の方々との合同による校外巡視活動も実施した。



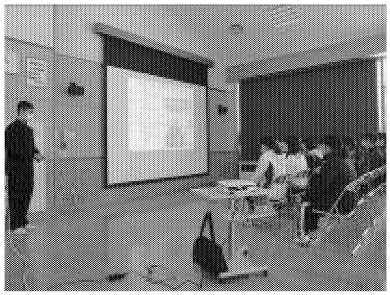
交通安全を呼びかける児童生徒

②その他の取組について

・９月　４日（日）　豊崎小・中相撲大会（保護者、地域との連携）
・１月２４日（火）　中学校自由参観日に小学校教員参観
小学生の中学校訪問、中学生によるガイダンス



← 小・中児童生徒、保護者及び地域の方々による土俵づくりと草取り作業



→ 中学生によるガイダンス風景

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数・・・保護者と地域の関係者全員が協力者となっている。
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０ 人
※地域密着型教育予算による保険加入者数　　０ 人
※学校支援地域本部事業の予算による加入者数　　０ 人

４　成果と課題

（１）地域密着型教育の成果と課題

①成果

・総合的な学習の時間等で、豊崎の歴史や伝説についての授業のゲストティーチャーとしてお話をいただいた。また、実際に地域の寺社や石碑を見学し説明してもらったことは、児童にとって、地域をより身近に感じ地域のよさに気付く貴重な機会となっている。
・地域のデイサービスセンターの協力を得て施設訪問し、お年寄りとの交流学習を実施することができた。今後の、お年寄りとの交流活動づくりに生かしていきたい。
・地域連携協議会では、学校評価アンケート結果への貴重な意見を得ることができた。また、学校や地域内での子どもたちの様子を情報交換することができ、次年度の教育活動の改善に生かすことができた。

②課題

・児童数の減少により、協力できる保護者が年々少なくなっている。来年度は地域密着型教育コーディネーターを有効に活用し、図書ボランティアや学習支援ボランティア等の活動を進めることで、学校をより身近に感じてもらい、保護者や地域の方がより多く学校に足を運び、子どもたちの指導・支援に当たれるよう努力していきたい。

（２）小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①「学習習慣の形成」「家庭学習の習慣化」について

・小学校では、「家庭学習」の項目で保護者の評価が低かった。家庭学習については、中学校と連携し、保護者の協力を得ながら、進んで学習に向かうことができるような指導・支援の工夫を図らなければならない。参観日等で学校の取組を伝え、学校と家庭が足並みをそろえて子どもの指導に当たりたい。また、家庭学習の手引きを見直し、家庭学習への意欲向上を図っていきたい。
・学習習慣形成のため小・中共通で「相手を見て聞く」「最後まではっきり話す」「学習準備」そして「家庭学習の習慣化」について継続して取り組んでいる。学年により定着に差が見られるので、今後もよりよい学習習慣形成のため努力していく必要がある。
・中学校では、家庭学習に関するアンケートを年２回実施し、変容を確認した。全学年とも平日の家庭学習時間を８０分以上に目標設定したが、全体の約８４％の生徒が目標を達成できた。特に２，３年生は、学年当初と比較し、約２０ポイント以上のアップとなっている。逆に１年生は、１学期は全員が目標をクリアしていたが、２学期になって２０ポイントダウンした。部活動が本格化し、体力的に厳しくなってきたことや学習内容が急に難しくなり、消化できなくなってきたことが原因ではないかと考えられる。体力をつけさせると同時に、時間を有効活用した中学生としての家庭学習の仕方を、個々に指導していく必要がある。

②「気持ちのよい返事や挨拶ができる」「自他の命を大切にできる」について

・児童・生徒によるあいさつ運動の実施などで、学校内での挨拶はよくできている。地域においても子どもたちの挨拶は高評価である。今後も地域や家庭と連携し取り組んでいきたい。
・小学校での「いのちの会」や「動物ふれあい指導」、中学校での「命の大切さ週間」の設定、花の栽培や動物の飼育、農園活動などを通じて、生命を尊重する心情や思いやりの心が育ってきている。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携：新井田小・大館中）

八戸市立新井田小学校
校長　峯　　明　紀　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回 ①実施日時　　平成２８年　５月２７日（金）１８：３０～１９：３０
②協議内容　ア 委嘱状交付　　イ 会則の審議　　ウ 正副会長の選任
エ 学校経営方針，児童生徒の現状等についての説明 オ 登下校の安全確保
カ 周年行事について　　キ 八戸市教育委員会から

(2) 第２回 ①実施日時　　平成２８年１２月１３日（火）１８：３０～１９：３０
②協議内容　ア 学校運営状況の説明　イ 学校運営に対する質疑応答、意見交換
ウ 学校関係者評価について　　エ 意見交換

(3) 第３回 ①実施日時　　平成２９年　２月２１日（火）１８：３０～１９：３０
②協議内容　ア 学校評価の総括　　イ 次年度の計画の確認　　ウ 意見交換

２　上記以外の会議の実施状況

小学校創立１４０周年、中学校７０周年の行事を開催し、且つ、大館地区として祝賀会を合同で行うことができた。

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①図書支援　活動内容・・・本の貸出し・修理，図書室の環境整備，図書司書との協力
期日，回数・・毎週金曜日を基本（５月～３月末まで　計２２回）
参加人数・・・登録者11名のうち１回４、５名

②環境整備　活動内容・・・校地内の草刈り・草取り
期日，回数・・５月１５日・９月１１日　計２回　　参加人数・・・累計７０名

③安全指導　活動内容・・・登下校の安全指導
期日，回数，参加人数・・４月８日～１３日（新入生下校時）、累計１０８名
５月２４日～６月３日（信金前交差点工事）６名

④部活動指導 活動内容・・・卓球部の指導　期日，回数・・週に１～２回程度
参加人数・・・登録者１名

(2) 小・中学校ジョイント・スクール

＜「重点指導項目」にかかわる取組＞

①　重点指導項目「気持ちのよい返事や挨拶をすることができる」について
小学校では、児童の約８９％、保護者の約８０％、中学校では、生徒の約９３％、保護者の約８２％が肯定的な回答をしている。また、地域学校連携協議会でも良好であるとの評価を得ている。校内での指導に止まらず、家庭及び地域社会と連携し、地域活動に寄与させる取組を一層推進していくことでさらに高めたい。

②　重点指導項目「人の話をしっかり聞くことができる」について
小学校では、児童の約８９％、保護者の約８４％、中学校では、生徒の約９２％、保護者の約８２％が肯定的な回答をしている。小、中学校それぞれの学習の約束等によって、評価規準も異なってくると思われるため、各学年段階で達成すべき児童生徒の姿をより明確にすることを検討していきたい。

③　重点指導項目「正しい言葉づかいではっきり話すことができる」について
小学校では、児童の約７９％、保護者の約７７％、中学校では、生徒の約９１％、保護者の約７４％が肯定的な回答をしている。学校では概ね達成しつつも、家庭では継続されていない傾向にある。各学年段階でさらに努力させ、明確にすることを検討していきたい。

④　重点指導項目「学年に応じた家庭学習をすることができる」について
小学校では、児童の約８７％、保護者の約７２％、教員の約７７％が肯定的な回答をしている。また、中学校では、生徒の約８１％、保護者の約７０％、教員の約５３％という状況である。肯定的な回答は昨年度より改善されているものの、児童、生徒の家庭学習に対して、保護者、教師が冷静な見方をしている。今後は各学年段階における家庭学習の方法や時間等についてめざす姿をより明確にし、評価規準の見直しも検討していきたい。

＜「教職員や児童生徒の交流」を中心とした取組＞

①　平成２８年　６月　１日（水）＜第１回授業交流会＞

「よりよい人間関係の育成と主体的な学習習慣の形成をめざす小・中連携」をテーマに、大館中学校において学区内小学校教員を対象とした公開授業を実施した。全体会では、各校の教育課程や特色ある教育活動について共通理解を図り、特に「学力や家庭学習の実態把握を踏まえた取組」と「児童生徒の生活状況を踏まえた共通実践」の２点を重点に進める確認をした。

分科会では、学習指導、家庭学習、非行・問題行動、不登校・特別支援の４分科会に分かれ、児童生徒の学校や家庭における学習及び生活の状況等について情報交換を行った。

②　平成２８年　７月２９日（金）＜小学校６年生による部活動見学会、教員交流会＞

大館中学校において、新井田小学校、旭ヶ丘小学校の６年生を対象とした部活動見学会を午前日程で実施した。また、後日、小・中学校教員による懇親会を開催し親睦を深めた。

③　平成２８年１１月　９日（水）＜第２回授業交流会＞

新井田小学校において全学級で公開授業を実施した。また、分科会で上記①を踏まえた取組の進捗状況について情報交換を行った。さらに、全体会では、ともに小中連携による周年行事の祝賀会実施を喜んだ。さらに、生徒指導及び教育相談等について共通理解を深めた。

④　平成２９年　２月１４日（火）＜小学生の中学校体験入学・立志式参観＞

大館中２年生が行う「立志式」を中１とともに参観し、新年度の１年生から３年生までが集う最初の記念すべき日として予定している。

＜「家庭や地域社会との連携」を中心とした取組」＞

児童生徒の健全育成に向けて、新井田川ハゼ釣り大会や新田城まつり等では、学区内の児童生徒が多数参加している。特に、新田城まつりを郷土の学習教材として教育課程に位置付け、全校児童・生徒が参加して地域の活性化に寄与している。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　５２人（保護者含）(2) 今年度ボランティア保険加入者数　６０人

５　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成　果

○地域の関係団体や保護者等の代表から、学校運営に対する意見を改めて聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り学校評価に生かせるようになってきている。

○各学校間やボランティアの連絡調整が円滑に進み、公民館の主事に協力を仰ぎながらコーディネーターの複数体制が実現している。

②課　題

・教職員の校務分掌組織やＰＴＡ組織、ＰＴＡ活動との関連性を図り、より実質的な協働体制づくりを推進していくことが重要である。そのために、企画推進部会並びに専門部会等の必要性や編成方法について引き続き検討する必要がある。

・児童会・生徒会活動等との関連性を図り、児童生徒の意識を高め、地域の一員として、地域をよく知り、地域のために活動する機会を積極的につくりだしていくことが重要である。

・地域と連携した防災体制づくりに向けてより具体的に協議し、実践する必要がある。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成　果

○各学校の教育活動や児童生徒の状況等について、直接説明する機会を得たことで、情報交換の透明性を高め、双方の協力意識が高まっている。

○重点指導項目については、各学年段階で達成すべき児童生徒の姿を明確にして指導の評価を互いに発表し合うことで、学力並びに生活状況等に関する情報交換は徐々に具体化し深まった。校種の違いを乗り越え、小中９年間同じ子どもを育てるという意識を共有し、より綿密な情報交換体制を整えていく素地ができてきた。

②課　題

・小中ジョイントスクール推進事業で取り組んでいる縦の連携と、地域学校連携協議会を生かした横の連携が、実質的にかみ合うように、それぞれの会議のもち方や時期をはじめ、会議内容が互いにリンクするようなしくみを構築していく必要がある。

・小中ジョイントスクール推進事業の成果と課題を、地域学校連携協議会が家庭や地域社会の意見を総括しながら適切に評価することができるしくみを構築していきたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立旭ヶ丘小学校
校長　　中　村　卓　司　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

（１）　第１回　　①実施日時　　平成２８年　６月　７日（火）１８：３０～１９：３０
　　②協議内容　　委嘱状交付　会則の承認　会長・副会長の指名と挨拶
　　学校経営方針の説明　組織について　今年度事業計画
　　各支部・協会・子ども会の報告　八戸市教育委員会の指導

（２）　第２回　　①実施日時　　平成２８年１０月　４日（火）１８：３０～１９：３０
　　②協議内容　　前期学校の様子　アンケートの結果説明
　　教育支援ボランティアについて　地域での児童の様子

（３）　第３回　　①実施日時　　平成２９年　１月２４日（火）１８：３０～１９：３０
　　②協議内容　　学校評価に関する報告と意見交換　地域密着型教育の活動報告
　　情報交換

2　具体的な取組状況

（１）　教育活動部会

・平成２８年　６月３０日　学校保健委員会主催「すこやか会議」
　テーマ「体を動かし，毎日を健康にすごそう　～肥満予防・体力アップをめざして～」
　講師　健康運動指導士　斉藤あかね　氏
・平成２８年１１月　９日　２学年町探検（ボランティア１０名）
・平成２８年１１月１６日　３学年「地域の名人発見」（ボランティア１０名）
・平成２８年１１月１７日　４学年「地域安全マップづくり」（ボランティア９名）
・平成２８年１１月２４・２５日　６学年「職業体験学習」
　（協力事業所２０か所　ボランティア１０名）
・平成２８年６月～平成２８年１２月　個別支援学習「あさひ学習教室」

（２）　安心・安全部会（安全づくり）

・平成２８年　４月１１日　歩行訓練〔地域住民ボランティア・保護者１０名〕
・平成２８年　４月１３日　交通安全教室〔地域住民ボランティア・保護者１３名〕
・平成２８年　８月　６日　旭ヶ丘まつり〔夜間巡回に教職員参加〕
・交通安全立哨指導（学期初め）〔地域住民ボランティア・保護者・教職員〕
・学区巡視（長期休業中）〔地域住民ボランティア・保護者・教職員〕
・プール監視（夏季休業中）〔保護者７７名〕

（３）　環境整備部会（環境づくり）

・平成２８年　５月１９日　花壇花苗植え作業〔保護者・教職員　計７名〕
・平成２８年　６月１２日　校地内除草・樹木剪定作業
　〔児童・保護者・地域住民・教職員　計１５０名〕
・平成２８年１０月３０日　一輪車置場整備〔保護者・地域住民・教職員　計１０名〕

（４）図書部会（心づくり）：読み聞かせ・本の修理・図書室整備

・平成２８年　６月２０日　　・平成２８年　９月　８日　　・平成２８年１０月２４日

・平成２８年１１月２４日



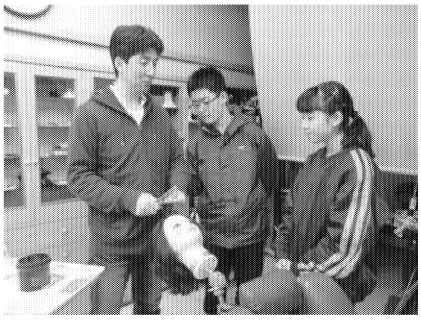
剪定作業



すこやか会議



交通安全教室



職業体験



花壇花植え作業



読み聞かせ

３　ボランティアの状況

（１）　ボランティア登録現在数　４４人（保護者含む）

（２）　今年度ボランティア保険加入者数　２人

４　成果と課題

＜成果＞

・２名のコーディネーターが地域学習の良きパイプ役となっている。職業体験の新規協力事業所を開拓，各体験学習の見守り保護者の取りまとめなど，児童が安心して地域学習を実施できた。

・年３回の理事会では，地域での児童の様子を情報交換している。その中で自転車の乗り方や歩道の歩き方が問題になり，公共の場でのマナーについて学校で指導をすることができた。また，地域住民への児童の挨拶，横断歩道において車を止めてくださった方への会釈など，地域の中における児童のよい姿が話題になり，そのことを教師が認めることで自信をもってあいさつできる児童が増えてきた。

・学習ボランティアによる個別学習教室は，個に応じた指導により一人一人が意欲をもって学習を進めることができた。また，図書ボランティアによる，季節に応じた本の選定や掲示物の工夫など，児童の図書室利用を促した。

＜課題＞

・地域住民の高齢化が進んでいる。その中で，地域の教育力を活かし，児童と住民が交流する機会を充実させる必要がある。（次年度は，「地域交流の日」を創設し，より一層地域と連携して教育活動を進める予定。）

・早朝奉仕作業や学校花壇の花植え作業の参加者が減少傾向にある。しかし，地域住民の学校環境への関心は高いので，呼びかけを工夫し，現状並みの整備を維持していきたい。

平成 28 年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書

八戸市立南郷小学校
校長　　佐々木　典子　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月２７日（月）１３：３０～１６：３０
・１３：３０～授業参観　・１４：３０～教育講演会
・１６：００～地域学校連携協議会
②協議内容　ア）学校経営方針・学校目標・全体構想図について
イ）今後の活動日程について
ウ）参観されての感想・助言

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１２月６日（火）１３：５５～１６：３０
・１３：５５～授業参観　・１５：００～全体会
・１５：４０～地域学校連携協議会
②協議内容　ア）前期教育活動の進捗状況について
イ）今後の日程や取組について
ウ）学校支援ボランティア・地域連携について
エ）学校評価の記入
オ）参観されての感想・助言

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年２月２０日（月）１８：３０～１９：３０
②協議内容　ア）今年度の地域密着型教育取組状況について
イ）学校評価アンケートの結果について
ウ）次年度の地域学校連携協議会について
エ）助言、情報交換

２　具体的な取組状況

(1) 環境整備活動（ＰＴＡや地域密ボランティアで実施）
①　４月　３日（日）　学校横階段整備（お父ちゃん会ボランティア）
②　４月２８日（木）　学校農園整地・畝作り（お父ちゃん会ボランティア）
③　５月１５日（日）　敷地の内の草刈り・刈り払い・樹木の剪定（ＰＴＡボランティア）
④　５月２１日（土）　親子農園・運動会グランド整地（ＰＴＡボランティア）
⑤　７月　３日（日）　敷地の内の草刈り・刈り払い・樹木の剪定（ＰＴＡボランティア）
⑥　７月　４日（月）　花壇の花苗植え作業（地域ボランティア）
⑦　８月２１日（日）　敷地の内の草刈り・刈り払い・樹木の剪定（ＰＴＡボランティア）
→台風接近により中止
⑧１０月　２日（日）　校内の窓ふき、草刈り（ＰＴＡボランティア）
⑨１１月　２日（水）　花壇の花苗植え作業（地域ボランティア）
※その他、地域の方々による除雪作業、地域ボランティアによる校地内整備

(2) 学習支援ボランティア（地域ボランティアや地域施設との連携）

①	４月～２月	読み聞かせ（南郷図書館・サークルのいちごとの連携）
②	５・１０月	南中ソーラン・南郷音頭指導（地域ボランティア）
③	５～１１月	各学年の親子農園活動（ＰＴＡボランティア）
④	５月２２日（日）	運動会用具係補助（お父ちゃん会ボランティア）
⑤	６月１３・１４日	３・５年ヒップホップダンス教室（南郷公民館との連携）
⑥	７月～１２月	そばの学習指導（「山の楽校」との連携）
⑦	９月１２日（月）	３年ブルーベリー料理についての学習指導（南郷公民館との連携）
⑧	１０月～１２月	５・６年ミシンを使った学習支援（学習支援ボランティア）
⑨	１１・１２月・１月	スケート補助（ＰＴＡボランティア）
⑩	１月３１日（火）	１年生昔遊び教室（老人クラブとの連携）
⑪	４月～２月	クラブ活動（日本文化クラブ：茶道・神楽）支援（学習支援ボランティア）
⑫	５月～１２月	米作り体験（中野子供会）

(3) 安全支援活動（地域ボランティアとＰＴＡボランティアの活動）

①	４・９月	交通安全街頭指導・交通安全教室補助（地域ボランティア・ＰＴＡボランティア）

(4) 地域行事との連携（ＰＴＡボランティアとお父ちゃん会・地域諸団体との連携）

①	１月	子ども冬まつり・バザー（子供会・老人クラブ・お父ちゃん会・ＰＴＡボランティア）

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　３２人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０　人

４　成果と課題

(1) 成　果

・生活科や総合的な学習の時間の「ふるさと学習」を柱に、地域機関や地域人材と連携して取り組むことができた。

・統合した３つの地区からバランスよく地域学校連携協議会理事を選出させていただき、各地域の情報を共有しながら運営できた。

・地域学校連携協議会理事会を参観日に設定することで、学校活動や児童の様子を見ていただくことができた。また、たくさんのご意見・ご助言をいただくことができた。

・統合した３つの地区の伝統行事や体験活動を少しでも取り入れることで活動の幅が広がり、児童の体験が豊かになった。特に中野子供会にご協力いただいた米作りは、今後、本格的に取り組んでいく見通しをもつことができた。

(2) 課　題

・統合した３つの地区の伝統行事や体験活動を引き継いでいく工夫がさらに必要である。今後、さらに地域との連携を図り、学校として受け継いでいくものを探っていく必要がある。

・ボランティアの募集や登録が思うようにできず、遅れてしまった。統合した３つの地区の地域人財の発掘に力を入れていきたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立島守小学校
校長　荒内　信一　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　６月６日（月）19：00～20：30　於：島守中（28年度事務局校）
②協議内容
・委嘱状交付式(教育委員会)
・今年度の計画及び地域との連携事業についての説明(小・中教頭)
・今年度の教育方針についての説明(小･中校長)
・学校関係者評価についてのお願い(事務局)

(2) 第２回　①実施日時　９月８日（木）19：00～20：30　於：島守中
②協議内容
・地域との連携事業についての中間報告(小・中教頭)
・１学期の児童・生徒・保護者・教職員アンケートの結果報告(小･中校長)
・アンケート結果等をもとにした話し合い

(3) 第３回　①実施日時　１月２４日（火）18：30～20：00　於：島守中
②協議内容
・児童・生徒・保護者・教職員アンケートの成果と課題について(小･中校長)
・地域との連携事業についての成果と課題(小・中教頭)
事前に「小･中学校学校目標の重点」についてのアンケート結果の資料を送付し、ご意見・助言をいただいた。

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　５月１７日（火）　19:00～20:30　於：島守中
・小･中学校ＰＴＡ会長・副会長（企画推進委員)、小･中校長と教頭
・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携協議会のもち方
・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討
・新委員の改選について

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業（人数は支援者数）
①環境整備
ア　草刈り・窓ふき作業　5月・7月・10月の年3回　のべ90名
イ　学校園の耕作　4月　1名
②学習支援
ア　1年生活科「さつまいも栽培の支援」　5月・10月の年2回　各10名
イ　3年総合的な学習「そば挽きそば打ち体験の支援」　11月に2回　のべ10名
ウ　4・5年総合的な学習「無農薬の米づくりの支援」　4月～11月　のべ50名
エ　6年総合的な学習「炭焼き体験」11月に3回　各3名
③行事支援
ア　収穫感謝祭「雑煮作り・餅つきの支援」　11月　のべ40名
④文化事業支援
ア　島守小学校神楽クラブ「春まつり、南郷地域伝統まつりの練習と出演補助（演目は番楽と剣舞)」（神楽保存会の皆様）5月～2月 10回　各６名

イ　ひなまつり会「日米友好の懸け橋　メリーちゃん人形のお話」　3月　1名

⑤安全対策支援

ア　登下校時の指導と見守り　通年　のべ120名(駐在所長、交通指導隊、交通安全母の会等)

イ　交通安全教室、交通安全キャンペーン　4月・10月の年2回　のべ15名

ウ　防犯教室　6月　駐在所長1名

４　ボランティアの状況

(1)　ボランティアの現在数　　約90名（保護者と地域の関係者全員が応援隊となっている）

(2)　今年度のボランティア保険加入数　0人

５　成果と課題

(1)　成果

ア　今年度もたくさんの地域ボランティアの方々にお世話いただき、総合的な学習の時間や生活科において、島守ならではの活動を取り入れた学習を推進することができた。特に、４・５年生で取り組んだ「自然農法による米作り」は、苗から育て餅つきをして収穫感謝祭を開くまでの一連の活動を、地域のボランティアの方々や保護者の方々に支援していただき、体験的で深い学びにつなげることができた。また、そば挽きそば打ち体験・炭焼き体験等地域の名人を活用し、貴重な体験をすることができた。

イ　校地内の環境整備については、ＰＴＡを含め地域の方々のご協力のもと推進されている。特に、校庭や裏庭・裏山の草刈りでは、各々が草払い機を持ち寄り、広い敷地を効率よく整備していただいた。また、水車小屋や炭焼き小屋の整備・管理等をPTAのOBのご協力をいただいて行っている。

ウ　地域学校連携協議会委員には、地域の諸団体、事業所等の代表の方々を委嘱している。３回目の協議会では、「学校目標に関する評価」について下記のコメントをいただいた。

「基礎的な学力を高める指導がしっかりなされている。子どもたちが難しい課題に対してもあきらめないで取組む姿勢がよい。」

「授業がわかりやすいと感じている児童・保護者が多いのは非常にいい。今後は100%を目指して取組んでほしい。」

「家庭学習の取組について、児童と保護者の認識に開きがある。家庭においてもう少し話し合いがされれば改善されると思う。」

地域学校連携協議会を通して、委員の方々の子どもたちや学校に対する期待と、家庭でやらなければならないことを考えてくださる姿が印象的であった。

(2)　課題

ア　島守小学校では、小学生がいない世帯でも準PTA会員として、全世帯(約420世帯）に毎月学校便りを配布し学校の情報を発信している。しかし、保護者数の減少や地域に小学生がいないためボランティアに配達をお願いしているが、ボランティアの方々の高齢化のため、年々、配達してくださる方の確保が難しくなっている。

イ　島守小・中学校地域密着型教育推進事業では、保護者・地域住民・教職員が「島守ふるさと応援隊」として、子どもたちのためにボランティアを引き受ける組織になっている。しかし、前述と同じく、保護者数の減少、ボランティアの方々の高齢化等のため継続的な人材の確保が課題となっている。

ウ　地域学校連携協議会委員の方々には、学校行事の他、参観日、小中連携の学校公開日にも案内を差し上げている。地域の諸団体の役職を兼務している方も数多く、すべての行事に来校いただくことは難しい。平常の授業の際も気兼ねなく来校いただき、日常の児童の様子を参観いただいた上で、協議会の際の話合いにつなげていきたい。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（連携校：第一中、吹上小、中居林小）

八戸市立第一中学校
校長　四戸　康雄　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①　平成２８年６月１６日(木)　１８：３０～
②　委嘱状交付　役員選出
学校経営方針　地域学校連携協議会活動方針

(2) 第２回　①　平成２８年１２月８日(木)　１８：３０～
②　学校目標取組状況報告
学校評価アンケート結果報告

(3) 第３回　①　平成２９年２月２３日(木)　１８：３０～
②　今年度の活動報告
２９年度の活動方針

2　上記以外の会議の実施状況

(1) 専門部会　① 学校行事支援プロジェクト（１０回）② 学校図書館支援プロジェクト（２０回）
③ 環境整備支援プロジェクト（３回）　④ 情報発信支援プロジェクト（２０回）

(2) 『地域密着型教育』合同会議及びプロジェクト会議
① 実施日時　平成２８年６月８日（水）　１８：３０～
② 協議内容　・全体趣旨説明
・各プロジェクトの今年度の活動計画・活動方針の決定

3　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

① 図書室整備 年間２８回　毎回平均１０名参加
蔵書点検、表紙コーティング、図書室飾り付け等

② 学習支援
９月　調理実習指導(２年生家庭科　菊の調理)　２日間　ボランティア１２名
１０月　書道指導(２年生国語)　５日間　ボランティア２名
２月　調理実習指導(１年生家庭科　和菓子づくり)　２日間　ボランティア１８名

③ 行事支援
７月２４日(日)　１学年青葉湖ウォーク　ボランティア５０名

④ 環境整備
８月２１日(日)　環境整備(除草、廊下ワックス、駐車場砕石敷)　ボランティア３０名

⑤ 広報新聞「ブルースカイ」発行
年４号発行　編集等を含め年間２０日　毎回平均５名参加

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組
重点指導項目①「教師や仲間に、自分の意思を伝えることができる」
★指導及び評価の観点
・授業場面において、友達に自分の思いや考えを伝えることができる。
・自分の思いや考えを発表することができる。

・自分の思いや考えをノートに書くことができる。

重点指導項目②「授業で教師や仲間の話をしっかりと聞きとることができる」

★指導及び評価の観点

（下学年）・相手を見て話を聞くことができる。

（上学年）・内容を理解しながら話を聞くことができる。

（中学校全学年）・自分の考えと比べながら聞くことができる。

※学期ごとに児童生徒・教職員からアンケートをとって評価し、改善を図った。

②その他の取組

・第１回小中ジョイント合同研修会、第一中学校授業公開（５月１１日）
第一中学校全クラスの授業公開、全体会及び組織、ブロック部会ごとの今年度の取組確認

・第２回小中ジョイント合同研修会（８月９日）於：八戸パークホテル
講演「道徳の教科化について」講師　市教委教育指導課　佐々木　宏恵 主任指導主事

・第３回小中ジョイント合同研修会　吹上小学校授業公開（１１月１１日）
吹上小学校全クラスの授業公開、全体会及びブロック部会、今年度の成果と課題

・ふれあい学習会（１２月１日）
中学１年生による各出身小学校への訪問、６年生への中学校生活についての紹介

・ＪＳ新入生ガイダンス（２月１６日）
中学１年生による校内の案内や説明、授業見学、第一中学校の概要説明等

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　９１人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　４３人

５　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・本校の地域密着型教育も９年目を迎え、地域・学校が一丸となって生徒の成長を応援し見守る風土が根付いている。コーディネーターも地域の団体や住人との関わりが深く、学校が求める人材探しに応えてくれるので、色々なサポートを受けることができた。

②課題

・従来行ってきた事業も、形骸化を招かないよう、実態に即して見直しをすることが必要である。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果

・各ブロック部会で、重点指導項目についての共通理解を図るとともに、情報共有しながら取り組むことができた。

・今年度も第一中学校の教員が吹上小学校の公開授業で図画工作や体育の授業にT.Tで参加し、専門性を生かし、まさに小中連携した効果的な取組ができた。今後も継続したい。

②課題

・授業中の姿勢や態度など、生徒指導面での継続した指導が今後も重要である。

・今後も教材のつながりや指導方法、指導過程等についての情報交換が必要である。

・自分の指導を自己評価するなど指導力向上の継続が必要である。

・ジョイント事業以外でのT.T授業（中学校の教員が小学校の授業へ参加等）の実現をめざす。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立第二中学校
校 長　　大 塚　弘 昭　印

1　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２８年６月１６日（木）
１５：２５～１６：２５
※　中体連夏季大会壮行式に招待
②協議内容　ア　会則の説明、承認
イ　正副会長の選任
ウ　学校経営方針等の説明(校長)
エ　今年度の計画について
オ　質疑・応答及び各委員から
カ　八戸市教育委員会から(吹越指導主事)

（２）第２回　①実施日時　平成２８年１２月８日（木）
１３：２５～１５：００
②授業参観　１年生・２年生の授業参観
③協議内容　ア　学校の様子・近況報告
イ　学校評価アンケート結果について
・資料を基に説明（７月と１１月実施から）
ウ　意見・感想等
エ　創立７０周年に向けて

（３）第３回　①実施日時　平成２９年２月２３日（木）
１５：３０～１６：３０（予定）
②協議内容　ア　今年度のまとめ
イ　来年度の計画について
ウ　意見交換
エ　創立７０周年に向けて

2　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業

①安全・巡回指導

・地区安全協会、防犯協会等による登下校時の安全指導、並びにＰＴＡ校外指導委員会による下校時の学区内巡回指導や七夕祭り・三社大祭時に保護者と教師が中心街の巡回を行っている。

②環境整備

・ＰＴＡによる校地内草刈り作業を行っている。(今年度は雨天のため中止)

・ＰＴＡによるテニスコートと体育館の間にある側溝の泥上げ作業を行っている。
・ＰＴＡ環境委員会と１学年奉仕委員会生徒が中心となり、玄関前や校門付近の花壇整備を行っている。

③広報・広聴活動
・コーディネーターが中心となり「学校だより」を八戸小学区・城下小学区の町内会長と連携し、回覧・発送を行っている。

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　０人
（２）今年度ボランティア保険加入者数　　０人

４　成果と課題

（１）成果
・昨年度課題としてあげた生徒会活動で行っている全校生徒による三社大祭後の早朝ゴミ拾い活動に三日間参加した。ＰＴＡと連携して取り組むことで、地域・保護者・学校がよりよいつながりをもち、活動することができた。今後も継続していきたい。
・コーディネーターが中心となり、本校の学校だより「明　強　正」を地域の回覧板に参加させてもらった。第二中学校区の両小学校のコーディネーターが本校と兼務していることもあり、学区への情報提供がとてもスムーズにできた。
・教育活動の説明や情報交換を行うことで、取組を振り返り学校評価等に活かすことができた。

（２）課題
・本校生徒会で実施している三社大祭期間中の清掃活動を地域・保護者と合同で行うことができたが、継続していくための連携のあり方が課題である。
・地域密着型教育について学校だよりやブログ等を活用し、さらに情報発信していきたい。また、本校教員にも活動内容やボランティア活動について知らせることで、さらに地域との連携を図っていきたい。
・中学校区の各小学校の地域学校連携協議会の構成員が本校と重複している方もいるので、理事の方々の負担軽減も考慮して、合同開催を検討する必要がある。
・図書ボランティアを募り、図書室整備を進めていきたい。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書

（ＪＳ連携：第三中・柏崎小）

八戸市立第三中学校
校長　　嘉　瀬　　卓　　囘

１　地域学校連携協議会（理事会）の実施状況

（１）　第１回　　①実施日時　平成２８年５月１０日（火）１７：３０～１９：００
②協議内容　・委嘱状交付
・柏崎小・第三中の学校目標と重点施策の説明
・地域密着型教育の取組計画
・各部会の取組予定についての意見・要望

（２）　第２回　　①実施日時　平成２８年１２月１日（木）１８：００～１９：３０
②協議内容　・基礎学力定着に向けての取組について
・全員参加・全員理解の授業を目指した校内研修について
・学校生活の充実・集団生活の適応を目指した取組について
・学校評価アンケートの結果について
・学校支援ボランティア活動状況について

（３）　第３回　　①実施日時　平成２９年２月２日（木）１８：００～１９：００
②協議内容　・今年度の取組についてのまとめ
・各部会の活動状況について
・両校の来年度の教育計画について

２　上記以外の会議の実施状況

企画会　　①実施回数　　５回
②構成メンバーの概要　ＰＴＡ会長　ＰＴＡ副会長　ＰＴＡ監査　校長　教頭
③検討内容　　専門部の取組状況及び今後の予定の確認

３　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業

①安全安心部会

・青少年生活指導協議会…学期２回
・柏崎地区防犯協会…月１回
・柏崎地区安全パトロール協議会…下校時の巡回パトロール
・避難訓練見守り…６／１
・柏崎地区防災訓練…１１／１９
・ＰＴＡ校外指導委員会…市中体夏季大会前・秋季大会前・文化祭強化週間の巡視

②環境整備部会

・校舎内生け花ボランティア…月３～４回程度
・校地内草取り、枝切り…８／２７

③教育活動部会

・Dear　Sanchu　（部活動懇談会）…６／３

・部活動補助…バスケット、ソフトテニス、生活科学、吹奏楽でボランティア５名

④学校図書館部会

・図書ボランティア…１学期に５回、２学期に７回、３学期に３回

（２）小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組

・「生活のリズムを意識した行動ができる」「気持ちのよいあいさつや返事ができる」「話をしっかり聞き、はっきり話すことができる」「自主的に家庭学習をすることができる」の４項目について、特にあいさつについては、小・中学校ともに継続した取組を行っている。

②その他の取組

・小学校児童に中学校の行事を見学させるなどの交流を継続して行っている。また、教員間ではお互いの授業見学を行い、子どもたちの実態把握や授業形態などの違いについての確認などを行っている。

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　３１　人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　１６人

５　成果と課題

（１）地域密着型教育の成果と課題

①各行事等へ足を運んでもらうことで、学校の状況を把握してもらうことができた。特に文化祭では、保護者や地域連携協議会関係者のみならず地域の方々が多数お見えになり、励ましの声や支援を受けやすい体制づくりに役立っていると感じた。

②各町内会の代表の方に本校避難訓練に参加していただき、避難誘導や見守りを行っていただいた。また、地区自主防災会の防災訓練へ生徒が参加し手伝いに加わることができた。このように、相互の役割を確認できる機会を今後も継続してつくっていきたい。

③地域学校連携協議会理事の方々も学力向上への取組に期待を寄せており、上位生徒を伸ばすと同時に、下位生徒を押し上げる取組の実践につなげていきたい。

④学校だより、学校新聞等を地域に配付・回覧してもらい、学校理解につながるよう努力しているが、より確実に見てもらえるよう、さらに一歩進めた取組につなげていきたい。

（２）小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①小・中学校で継続して取り組んでいるあいさつ運動が成果を見せ始め、地域の方々からもあいさつがたいへん良くなったと、お褒めの言葉をいただいた。

②「生活のリズムを意識した行動」「話をしっかり聞き、はっきり話す」「自主的に家庭学習をする」の重点指導項目についても、小中の連携を生かしながら進めていく必要がある。

③特別支援教育の視点を取り入れた全員参加型の授業づくりについて、お互いの授業参観や協議等を通した連携により充実させていく必要がある。

平成 28 年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（Ｊ Ｓ 連携校：長者中・長者小・図南小）

八戸市立長者中学校
校長　石 毛　清 八　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２８年５月２５日（水）
②協議内容　ア　委嘱状交付式
イ　日程説明および出席者紹介
ウ　地域密着型教育についての行政説明（担当指導主事）
エ　校長の方針説明
オ　質疑・応答・協議（組織、会則、ボランティア募集など）

（２）第２回　①実施日時　平成２８年９月１４日（水）
②協議内容　ア　学校評価（４月～７月）の結果についての説明
イ　学習の状況について
ウ　生徒の状況について
エ　意見交換および質疑・応答

（３）第３回　①実施日時　平成２９年２月２日（木）
②協議内容　ア　学校評価について（学習指導面、生徒指導面）
イ　来年度の学校経営等について
ウ　来年度の行事予定について
エ　意見交換および質疑・応答
オ　来年度の地域学校連携協議会事業予定について

２　上記以外の会議の実施状況

（１）委員による授業参観　①実施回数１回（９月１４日の自由参観日、壮行会）
②地域学校連携協議会委員
③授業参観と意見交換

３　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業
①環境整備活動
・花壇整備（雑草除去、花苗植え付け作業）
・体育祭、文化祭前（校庭、校舎周辺の雑草除去作業）
②生活安全活動
・長者小・図南小・長者中の三校合同の生徒指導情報交換会（町内会、防犯協会、青少協、交通安全協会、中央交番の方々も含めての開催）
・市中体夏季・秋季大会、文化祭、市内祭り期間にあわせての見守り活動
・地域団体連携による巡視活動（毎週木曜日実施）
③学校支援活動
・学年ごとに行われる季節を感じる会の準備及び当日の手伝い
・図書の整理・補修、本の廃棄処理、季節に合わせた図書室の環境整備
・部活動の指導（卓球、剣道、柔道、バトミントン、吹奏楽）
④ＰＴＡ・地域行事支援活動
・文化祭での飲食販売等の企画、運営
・八戸焼き講習会の開催
・区民運動会の準備、運営

（２）小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組

＜重点指導項目①「自分に自信をもって行動ができる」＞

・重点指導項目に関わるアンケート（自己評価）を年度当初と１０月に実施し、児童生徒の変容について調査した。

・小中合同の研修会でアンケート結果について話合いをもち、今後の取組等を協議した。

＜重点指導項目②「すすんで家庭学習ができる」＞

・各学年の児童生徒の実態や到達目標に合わせて家庭学習が充実されるように取り組んだ。

＜重点指導項目③「話をよく聞き、正しく活動できる」＞

・小中合同の研修会の中で児童生徒の話を聞く姿勢や態度、返事等について意見交流やそれぞれの学年学校での取組について話し合った。

②その他の取組

・第１回ジョイントスクール交流会、中学校授業公開（４月２５日）
中学校全学級の授業公開、今年度の取組の確認(分科会・全体会)、中１生徒の情報交換

・第２回ジョイントスクール研修会・懇親会（８月１９日）
演題「ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりについて」
講師　八戸市こども支援センター　主任指導主事　中奥　尚子　氏

・第３回ジョイントスクール授業交流会（１１月１６日）
図南小学校での授業公開、分科会（アンケート結果についての分析等）

・中学校紹介、小学６年生と中学１年生共同授業（１１月２５日）

４　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　２７人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　　６人

５　成果と課題

（１）地域密着型教育の成果と課題

①成果

・図書ボランティアの長期休業中や昼休みおよびテスト週間中の開放、整備など計画的に進められるようになり、図書ボランティアの活動が定着してきた。

・学校だより、学校新聞およびＰＴＡ新聞を町内会・地域で回覧することで、学校の取り組みや様子等を情報発信でき、学校の理解を広げることができた。

・地域学校連携協議会で教育方針や学校の現状及び学校が抱える課題を共有し、幅広い視点からのご意見やご指導、励ましの言葉や改善を図る上での提案もいただいた。

②課題

・地域、ＰＴＡ、職員への周知と地域密着型教育に対する理解をさらに深めながら、より多くの方の支援ボランティアを募集していく必要がある。

・学習面、生徒指導面をこれまで以上に小中の連携を図りながら、地域密着型教育を進めていくことが必要である。

（２）小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果

・重点指導項目に関わるアンケートを年度当初と１０月に実施し、児童生徒の実態や変容対策について小中合同で協議ができた。

・中学１年生の情報交換を行い、生徒の実態や対応等について情報共有ができた。

②課題

・アンケート結果ではほとんどの項目でポイントが下降したことから、重点指導事項について小中で共通して推進できる具体的な取組を検討し、重点指導事項を向上させていく必要がある。

・スマートホン等の所持や利用状況を確認し、小学校の段階から情報モラル等について小中で連携して保護者への働きかけが必要である。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立　小中野中学校
校長　　工　藤　　聡　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）　第１回

①実施日時　平成２８年６月１日（水）１８時３０分

②協議内容　・会則について
・会長及び副会長の選任
・学校経営方針説明
・今年度の事業計画説明

（２）　第２回（中学校評価委員会として実施）

①実施日時　平成２８年１２月２１日（金）１７時００分

②協議内容
・学校評価アンケート結果説明
・評価結果に対する質疑応答

（３）第３回（予定）

①実施日時　平成２９年　２月２３日（木）１８時３０分

②協議内容
・各プロジェクト活動状況及びボランティア活動状況報告
・各校の教育活動状況について
・次年度の計画についての確認

２　具体的な取組状況

（１）図書室整備

①図書ボランティア・・・通年週２回　火・金１０：３０～１３：００　１０人ほどが交替で参加。生徒の読書意欲向上のため、本の整理や季節の飾り付けなどを行う。

（２）学習支援

①パパママ体験　７月６日（水）　　ボランティア７人
３年生２クラスに実施。保健師さんとともに妊婦体験や赤ちゃん人形を使っての育児を模擬体験。親の気持ちや命について学ぶ。保護者とボランティアで支援。

②コナチュウ未来への架け橋講座　～ふるさとで働くプロフェッショナル（仕事人）に学ぶ～
１０月～１月　７回実施
キャリア教育の一環として卒業生や小中野地区で働くさまざまな職業の方々を講師に招き、ミニ講演会を開催。コーディネーターに講師選定の情報や依頼、進行をお願いしている。
１弘前大学医学部学生　２市役所職員　３ヴァンラーレ八戸（サッカー選手）
４菓子職人（丸美屋社長）　　５金融広報アドバイーザー　６元八戸グランドホテル職員
７ＤＨＣ社員

③図書委員への読み聞かせ指導　ボランティア１人

（３）地域連携プロジェクト

①小学校・小中野地区合同運動会への参加

②八戸小唄まつり参加　７月２３日（土）　美術部・報道部参加

③グラウンドゴルフ・将棋教室　による高齢者との交流

７月２５日（月）、２６日（火）　ボランティア　２８人

※ボランティアにかかわる方々を保護者参観日・立志式に合わせ２月７日（火）に招き、感謝の会を開き、お話を伺う。

（４）その他・・・コーディネーターが直接かかわらない活動

①総合的な学習の時間支援

１年生　えんぶり、虎舞指導…小中野地区えんぶり組虎舞組による支援　９月～１０月

２年生　グッジョブ事業所開拓　２学年ＰＴＡ

②幼保ふれあい学習（家庭科）

３年生　学区内の３つの幼稚園、保育園で幼稚園教諭、保育士の指導のもと幼児教育の体験授業

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　１５人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　５人

４　地域密着型教育の成果と課題

（１）成果

①献身的なコーディネーター、ボランティアに支えられ生徒は落ち着いた学校生活を送っている。地域の大人や高齢者とかかわり合うことで、感謝の気持ち、小中野を愛する気持ちが育ってきている。生徒は八戸小唄踊り、グラウンドゴルフ・将棋への参加、１年生によるえんぶり、虎舞等の郷土芸能の継承に積極的に取り組んでいる。

②キャリア教育の一環として卒業生や地域の方々から講演をいただいた。身近な方々からの講話は、生徒にとって、より具体的に将来を考えることができた体験であった。すべての講演会に参加する生徒もおり、意欲的な生徒が増えてきた。

（２）課題

①近い将来、生徒数の減少により、１つの学年でえんぶり、虎舞の両方の郷土芸能を継承することが困難になってくることが予想される。１、２学年合同で取り組ませる等の対策が必要となってくる。

②図書ボランティアに新しい人が入らず、ここ数年同じメンバーで活動が続いている。新たなメンバーに入ってもらい活動をさらに活性化させたい。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携：江陽中　江陽小）

八戸市立江陽中学校
校　長　　丹　野　隆　之

１　地域学校連携協議会（委員会）の実施状況

(1)　第１回　　（江陽小学校）
①実施日時　　平成２８年５月２４日（火）　16:30～17:10
②協議内容
・委嘱状交付及び会長の指名，副会長の指名，会則審議
・27年度の協議会活動，学校経営・学校運営（小・中両校長）報告
・28年度の協議会活動計画，学校経営・学校運営（小・中両校長）報告
・協議会の役割・活動内容確認，学校経営・学校運営について質疑応答

(2)　第２回　　（江陽中学校）
①実施日時　　平成２８年１１月２４日（木）　　18:00～20:00
②協議内容
・学校経営・運営の進捗状況，今後の学校経営・運営（小・中両校長）報告
・学校評価の依頼、情報交換（学級減の対応，地震避難指示時の学校対応について）

(3)　第３回（予定）（江陽中学校）
①実施日時　　平成２９年２月２３日（木）　　18:00～20:00
②協議内容
・28・29年度の学校経営・学校運営及び活動（小中両校長）報告

２　上記以外の会議の状況

(1)　地域づくり会議専門部会
①実施回数　１回（平成２８年５月２４日（火）　　17:15～19:00）
②構成メンバー：町内会長，江陽地域各種団体長，両校の職員・ＰＴＡ役員
③検討内容（安全安心･人づくり部会､まちづくり部会､健康づくり部会､環境づくり部会）
・各専門部会の現状・地域や学校の課題，要望，教育活動の提案

(2)　江陽地域づくり会議「安全安心づくり部会」
①開催日時　平成２８年８月２０日（土）　　13:30～15:00
②構成メンバー：部会長，部員,小・中学校職員，保護者
③通学路点検（交通安全面,防犯面,津波避難誘導標識確認等）

３　具体的な取組状況

(1)　地域密着型教育推進事業
①夏の交通安全街頭広報活動
７月２２日（金）１・２年生有志と地域住民でラピア前交差点で交通安全啓発活動。
②山公園の草刈り
７月２４日（日）全校児童生徒及び保護者，地域住民で地域の山公園の草刈り作業。
③江陽おとぎの広場
７月３０日（土）１年生有志が江陽児童館広場で地域児童に絵本読み聞かせを実施。
④体育祭準備・運営協力
８月２７日（土），２８日（日）保護者及び地域住民で会場準備・救護等運営協力。
⑤江陽地区スポーツ交流会
９月１１日（日）３年生が町内会選手として参加。溌剌とした勇姿で盛会となった。
⑥江陽地区総合防災訓練
１０月５日（水）江陽地域自主防災会主催の避難訓練に全校生徒が参加。平日の昼に避難所開設を想定し、学校と防災会の協力・連携体制の確認と防災学習を実施。
⑦文化祭
１０月１７日（月）～２２日（土）保護者が運営協働者として，校内装飾係、展示作業、演劇衣装、ステージ発表の照明器具の貸与と設置、校内巡視等の支援活動。
⑧グッジョブ
９月５日（月）グッジョブ出発式に出席・激励。
９月６日～９日（火～金）保護者の協力で３３受入事業所を確保し体験学習を実施。

⑨学校保健委員会

２月１５日（水）小中合同。学校医・学校歯科医・学校薬剤師・町内連合会長・地域保健師・保育園長・健康づくり部会長・校長・教頭・養護教諭が参加。児童生徒の健康教育・健康管理の実施状況を報告・協議し助言を伺う。

(2)　小・中学校ジョイントスクール

①重点項目に関わる取組

重点指導項目①：「授業規律について共通した取組の推進」

・教室環境の整備　・姿勢の強化　・忘れ物の点検と注意　　・辞書の活用

重点指導項目②：「時と場に応じた声のボリュ―ムについての取組」

・声のボリュウムの視覚化（掲示物・てびき）

重点指導項目③：「小中の合同あいさつ運動 」

・合同のあいさつ運動（９月上旬）　・５，１１月の年２回の強化月間設定

重点指導項目④：「特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり」実践研究

・黒板の使い方についての共通理解　・ICTの活用

②その他の取組

・６月１日　小中ＪＳ授業参観及び総会（江陽中）
　中学校の授業参観後，全体会・各４部会で集会。組織作りと取組内容の確認。
・６月28日　江陽小学校参観日　（中学校教員が授業参観）
・７月30日　江陽中部活動体験会　小６児童が中学校で２つの部活動体験を実施。
・８月８日，17日　江陽小で寺子屋(中２生５名が勉強のわからない所を教える)
・９月３日　吹奏楽部野外コンサート（まつりんぐ広場）
　中学校の吹奏楽部と小学校の音楽部が小中合同で野外コンサートに参加。
・10月31日　中学校授業公開　中学校の学校公開で小学校教員が授業参観。
・11月16日　小中ＪＳ授業参観及び中間報告会（江陽小）
　活動の振り返り、成果と課題、今後の取組を確認。
・11月24日　事務局会議(江陽中)今年度の反省、来年度の課題と行事を確認。
・11月29日　小学生の中学校訪問（江陽中）
　６年生の中学校見学会、２学年による学校説明、校長講話の実施。
・２月23日　事務局会議を実施予定（江陽中）

４　ボランティアの状況

(1)　ボランティア登録現在数　１１名　(2)　今年度ボランティア保険加入者数　０名

５　成果と課題

(1)　地域密着型教育の成果と課題

①保護者や地域住民が行事、公開授業、奉仕活動等に多数出席することで、本校教育活動の理解が深まり、学校に対し協力・支援体制の強化が図られた。

②専門部「安心安全づくり部会」による通学路の点検等で安全確保が図られた。

③総合的な学習の時間、諸活動等で地域人材等を活用した教育活動を検討し推進する。

(2)　小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①小中共同で学力向上に向けて取り組んでいるが、家庭に戻した時に協力を得られない家庭が複数あるため苦慮している。家庭との連携強化を図る。

②声のボリュウムについては除々に浸透してきているが、語尾が聞こえない子どもがまだ見られる。全教員での同一歩調の指導を図る。

③特別支援に在籍している生徒、普通学級にいる特別に支援の必要な生徒の家庭で環境が複雑で協力が得られない。関係機関との連携を図る。

④校内での挨拶はよくなってきているが、校外に出た時の挨拶は不十分である。学校だけではなく、家庭や地域で挨拶できるよう啓発活動の推進を図る。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：湊中・湊小・青潮小）

八戸市立湊中学校
校長　北　山　勝　則　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年５月２５日（水）１８：００～
②協議内容　・委嘱状交付　・今年度の学校目標について
・地域密着型教育における取組計画

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１２月１３日（火）１８：３０～
②協議内容　・生徒、保護者、教職員アンケートの結果及び考察の説明
・質疑応答

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年１月３０日（月）１８：３０～
②協議内容　・小、中学校より今年度の取組について
・今年度の成果と課題について
・来年度の教育活動計画について
・来年度の取組についての意見、要望等

２　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①学校行事支援

・避難訓練　湊地区の町内会長約20名が参加。生徒との顔合わせと、町内毎の危険箇所の確認。

・文化祭　茶道ボランティア５名が参加。お茶室の運営。
湊沖揚げ音頭保存会男組による沖揚げ音頭・ソーラン節の指導。２学期に入り、４人に週２回程度招いて指導を受け、成果を文化祭の１学年ステージで発表。

② 部活動支援

・野球部、アイスホッケー部、総合文化部書道コースにおけるコーチ委嘱と技術指導。

③ 地域交流活動

・グッジョブウィーク推進委員会による地域の事業所開拓や受入れ依頼、巡回、記録。
・学校行事への地域の方の参加。ＳＮＳ講習会や立志式の講演会。
・湊公民館への生徒作品出品。　・子ども会関連事業への生徒ボランティア派遣。
・各種地域行事における吹奏楽部の出演。

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組

＜重点指導項目①　気持ちのよい返事や挨拶ができる＞

・生徒会の取組として「日本一の挨拶を目指して」を提示して、生徒会役員や生活委員会及び部活動ごとのあいさつ運動を継続して行った。校内でのあいさつに加え、校外で地域の方々に対する挨拶も奨励した。（湊中）

・生活委員会による朝の挨拶運動を始め、全校朝会で校内及び地域での挨拶に関する全体指導などに取り組んだ。また、地域の方々への挨拶の奨励のために、来校する地域の方々にシールを貼ってもらう模造紙を玄関に準備して、良い挨拶があった場合にはシールを貼ってもらうようにした。さらに、校外で挨拶する対象の人をはっきりさせて、校外での挨拶運動に取り組んだ。（湊小）

・「ありがとう」の声が響く学校づくりに取り組んだ。感謝の気持ちを「心のお花畑」カードで表すことや「我が家のルールこれだけは」で家庭と連携しながら取り組んだ。児童会が計画して、登校時に学級ごとに挨拶運動も行った。（青潮小）

＜重点指導項目②　話をしっかり聞きとることができる＞

・帰りの会の冒頭に全校一斉黙想を行い、その間生徒指導主任が講話することを続けてきた。
・各教科等では、発問の仕方を工夫したりユニバーサルデザインの考え方を取り入れたりした（湊中）

・学校目標の重点施策の１つに「見る・聞く・話す力を鍛える授業」という項目を設定し、先生方の自己目標の「学習指導」に反映させ、各授業において子どもたちの実態に合わせな

がら指導している。そして、学校評価アンケートの項目に盛り込み、教師・児童ともに意識して取り組めるようにしている。また、聞く力・話す力を鍛えるために、傾聴態度の育成や視写・聴写を取り入れた学習及び授業における説明する場の設定に取り組んできた。(湊小)
・よく考えよく表現する子どもの育成という校内研修を受けて、授業にペアやグループで交流する場を設けた。交流には、話すことと相手の話を聞くことが前提という共通理解で取り組んだ。(青潮小)

＜重点指導項目③　身の回りの整頓や清掃ができる＞
・毎日の清掃活動、生徒会環境委員会主催の美化コンクール、部活動による朝清掃、冬季の降雪時の除雪作業など、生徒が自主的に環境を整えるよう取り組んだ。(湊中)
・縦割り清掃の実施と、児童手帳「湊の子」の中に生活の目当てとして身のまわりの整頓に関する項目を盛り込み、毎月の評価を中心に取り組んだ。また、長期休業中においては、家庭とも連携して、「自分のことは自分でできる・家の手伝いができる」態度の育成に努めた。(湊小)
・ロングの昼休み前に５分間の整頓タイムを設けたり、特別清掃期間を設けて縦割り清掃活動の充実を図ったりした。ワックスがけ前には、水拭きボランティアを募集して主体的な活動を促した。落ち葉掃きや除雪にも多くの児童が進んで参加する姿が見られた。(青潮小)

＜重点指導項目④　家庭学習ができる＞
・家庭学習の手立てとして自主学習ノートを実施している。学年ごとに取り組む重点を決め、学習の量よりも質を向上させるよう取り組んでいる。(湊中)
・「家庭学習ノート（ポプラノート)」を有効に活用することにより、家庭との連携を図るとともに、学年ごとに家庭学習の時間を設定し、家庭学習の習慣化に取り組んだ。また、参観日に合わせて家庭学習ノートの展示会を開き、保護者に対しても家庭学習の啓発を図った。(湊小)
・家庭学習の手引きを作成し、学年に応じて時間を決めて取り組んだ。頑張っている家庭学習ノートを紹介して家庭学習の意欲喚起と質的向上を図った。週末１０分間読書にも取り組んだ。(青潮小)

②その他の取組
壮行式　希望式　立志式の見学

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　５人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　３９０人

４　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果
・地域学校連携協議会を通じて、学校の経営方針や取り組み、成果や課題等を理解してもらうことができた。また、学校運営に関して、多面的な意見や要望を聞くことができ、前向きな助言や激励を多く頂戴した。
・小・中合同で年２回総会を設けているため、９年間を見通した湊地区の学校教育の流れを委員全員で共有することができた。

②課題
・学校と地域の交流・協力関係が日常的なものとなるよう、コーディネーターの協力を得ながら組織的に取り組む必要がある。
・ボランティアの受入れだけでなく、中学校としても地域への協力を積極的に推進していく必要がある。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果
・小グループでの話合いにより、テーマに即してより具体的な協議となり、各校の現状を共通理解する場となった。
・ネット依存に関する講演会を行い、実践的な研修ができた。

②課題
・重点指導項目への取組内容を各学校の実情に合わせて具体化するための場の設定。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白銀中学校
校長　佐藤　徳則　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月１日（水）
②協議内容　＊委嘱状交付
＊会則の審議・承認
＊組織と計画
＊３校の経営方針、ＰＴＡ活動年間計画

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１１月９日（水）
②協議内容　＊学校の現状と課題
＊学校評価に係る説明
＊話合い

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年１月２０日（金）
②協議内容　＊各校の現状と課題
＊来年度の行事（各校・各団体）
＊話合い

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施回数３回
②協議内容　＊地域学校連絡協議会の議事・進行の確認

(2) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「教育講演会」(青森県立八戸北高等学校 教諭 時村 香 氏)
７月28日(木)地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員

(3) 地域学校連携協議会兼白銀中学校区ＪＳ「懇親会」
７月28日(木)地域学校連携協議会委員、白銀中学校・白銀小学校・白鷗小学校教職員参加

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①朝のあいさつ運動
（４月～１１月、毎月３日間、参加者　１日約２０名、学校玄関前であいさつ運動）

②各団体のボランティア活動
＊地区敬老会　＊地区運動会　＊パレード、山車作りの協力　＊一人暮らし高齢者昼食会

③交流連携部会
○ＪＳ事業
・６年生の白銀中学校の授業と新人戦壮行会の参観、立志式・希望式の参観
○情報発信
・学校新聞、学校便り、白銀中学校区地域学校連携協議会だよりの町内会への配布

④生徒指導部会
○ＪＳ事業
・地域学校連携協議会と連携したあいさつ運動（年８回）
○交通安全
・交通指導隊２名、見守りのおばさん１名とＰＴＡによる横断指導
・みなと白銀交番、交通安全啓発ののぼり旗の設置
○防犯パトロール
・白銀地区防犯協会による特別巡視
毎週月･金曜日児童、生徒の下校時刻帯パトロール実施、スーパー、コンビニ等への立ち寄り
○保護司による「万引き防止」授業（小学校)、保護司による講演会（中学校）

(2) 小･中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組

重点指導項目①：「気持ちのよいあいさつや返事（ありがとう)、はきものをそろえることができる」

３校によるあいさつ運動の取組、民生委員･児童委員協議会の協力によって、あいさつや返事（ありがとう）は年々良くなってきている。「はきものをそろえる」もよくなってきている。

重点指導項目②：「家庭学習ができる」

学習指導部の家庭学習委員会において、３校で一人勉強・自主学習のノートコンクールを開催し、手本となるノートを生徒・児童に紹介し、表彰した。

重点指導項目③：「話をしっかりと聞きとり、はっきりと話すことができる」

学習指導部の授業交流委員会において、今年度は重点的に「話す・聞く」を指導したことで良くなってきているが、今後も継続して指導する必要がある。

②その他の取組

ア特別支援部会の組織について

・部会では、児童・生徒の情報交換や個別指導計画の改善点等を話し合った。

イ教職員の交流や家庭や地域社会と連携した取組について

- ５月19日…推進委員会（白銀中）
- ６月１日…第１回JS研修会（白銀中で授業参観）全体会、分科会(活動方針及び計画)
- ６月16日…白銀中学校部活動壮行会公開（白銀小学校６年児童が見学)
- ７月28日…「教育講演会」　　於；プラザアーバン

  演題「高等学校から見たキャリア教育と学力向上」～北はきびしく清きもの～

  講師　青森県立八戸北高等学校　教諭（進路指導主任）時村 香 氏

  対象　３校の教員、地域学校連携協議会委員
- ９月15日…白銀中学校秋期部活動壮行会公開（白鷗小学校６年児童が見学)
- 11月９日…第２回JS研修会

  授業研究会・分科会（於；白鷗小）

  中学校教員と連携した共同授業を含む３学級公開した。
- １月17日…推進委員会（於：白銀中）
- ２月６日…白銀小・白銀中情報交換会（於：白銀小）
- ２月７日…白鷗小・白銀中情報交換会（於：白鷗小）

このほか「さわやか　八戸　グッショブ・ウィーク」で中学生が、小学校や各事業所を訪問し、地域との交流を深めている。

ウ地域密着型教育との連携

地域密着型教育は、JS推進事業と一体化しながら、実施している。

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０　人

５　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・地域の方が子どもたちの姿を見て、声をかけてくれるようになった。

・子どもたちの良さを地域の方が見出してくれるようになった。

・様々な地域の活動へボランティア参加する生徒が増えた。

②課題

・様々な活動に参加する保護者を増やしたい。

(2) 小･中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果

・地域密着型教育とより連携を深めたJS事業推進

・協同授業の推進（学年・教科）

②課題

・児童数・生徒数の減少による部活動での小中連携、小小連携の模索やＰＴＡ活動合同実施の模索が必要。

平成 28 年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書

（Ｊ Ｓ 連携校：白銀南中・白銀南小）

八戸市立白銀南中学校
校長　　西　山　康　巳　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　　平成２８年６月１日（水）　１８：３０～１９：３０
②協議内容
・会則の承認　　・会長、副会長の指名、挨拶　　・組織について
・年間計画について　・小・中学校からの説明　　・質疑応答、要望、意見等
・八戸市教育委員会より

(2) 第２回　　①実施日時　　平成２８年１２月１３日（火）　１８：３０～１９：３０
②協議内容
・学校自己評価の結果報告（小学校・中学校）・委員のみなさんから
・質疑応答、要望、意見等　　・その他

(3) 第３回　　①実施日時　　平成２９年３月７日（火）　１８：３０～１９：３０
②協議内容
・学校評価の報告（小学校・中学校）　・平成２８年度活動報告
・平成２９年度事業計画（案）　　・今年度の成果と課題

２　具体的な取組状況

(1)　地域密着型教育推進事業

①図書室整備
５月～３月　（月１回～３回）　登録者８名
本の修理作業や整理、図書室の飾り付けなど


《みなみねっと情報交換会》

②情報共有活動
・すこやかみなみネット情報交換会…
地域関係者が一堂に会しての情報交換会の開催
第１回　　６月２３日（木）　　白銀南中学校図書室
第２回　１２月　６日（火）　　白銀南小学校総合学習室

③教育活動支援
・パパ・ママ体験（３年：総合的な学習）
妊婦体験、赤ちゃんの抱き方、着替えの方法等
・絵手紙の指導（１年：美術）


《絵手紙教室》

(2)　小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組
重点指導項目①「進んで、気持ちのよい挨拶ができる」
・各学期に１回（３日間）、小中学校合同であいさつ運動を行った。
重点指導項目②「正しい言葉遣いで、はっきり話すことができる」
③「目標をもち、粘り強く努力することができる」

・中学校では「学力を身に付けるための５つの取組」を、小学校でもそれに準じた「学習の約束」を設定し、同一歩調で学習指導を進めた。
・学習状況について情報交換をした。
・複数の部で、小中合同の部活動を行った。

②その他の取組

・第１回小中ジョイントスクール推進委員会を実施（５月１７日）
・第１回小中ジョイント合同研修会、中学校授業公開（６月２日）
中学校全クラスの授業公開、全体会及び組織、部会毎の今年度の取組確認及び情報交換
・市中体夏季大会壮行式に小学校６年生参観（６月１６日）
・第２回小中ジョイント合同研修会、懇親会（８月１０日）
講演「特別支援教育の現状と課題」　講師　八戸市こども支援センター　佐藤亜希先生
・第３回小中ジョイント合同研修会、小学校授業公開（１１月２８日）
小学校全クラスの授業公開、全体会、部会毎の情報交換及び今後の取組等確認
・第２回小中ジョイントスクール推進委員会を実施（１月２４日）
・小学校６年生による中学校の授業参観（２月６日）
・中学校の「立志式」に小学校６年生参加予定（２月２８日）

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　２７人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　２０人


《パパ・ママ体験学習》

４　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①　成　果

・中学校の情報を発信する場が確保できるとともに小学校や地域社会との情報共有が図られ生徒の健全育成に役立った。
・教育ボランティアの方々の協力を得ることで、生徒の興味を高まり内容が深まった。

②　課　題

・時間の確保や調整がむずかしい。地域社会との連携を図るためには、休日や夜の集まりが多くなり、教職員の多忙化につながる。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①　成　果

・各分科会の中で、学習状況・学校及び家庭生活の状況・連携事業の３つの内容について情報共有し、それぞれの具体的な取組を決めて実践することができた。
・交通安全協会大久保支部街頭広報指導活動、白銀南公民館主催の「ホタルの里づくり活動」（ホタル・カワニナ放流）、上大久保町内会防災訓練、白銀南公民館主催の「かるた、もちつき大会」への児童・生徒の参加等、地域と連携した取組ができた。

②　課　題

・情報モラルに関わる情報交換、及び研修を密にしていくとともに、小・中で連携し保護者にも協力をはたらきかける必要がある。
・支援を必要とする児童・生徒に関わる情報交換、及び研修を密にしていく。
・学習指導をはじめ、各取組に９年間で系統立てた「キャリア教育」を意識して臨む。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校　鮫中・鮫小）

八戸市立鮫中学校
校長　蛯　名　多賀寿　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月１４日
②協議内容　・委嘱状交付
・会則及び組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策等の説明

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１１月２５日
②協議内容　・学校の現状と課題の説明及び審議

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年２月２０日
②協議内容　・学校評価に関する説明及び審議
・今年度の成果と課題の説明及び審議
・来年度の教育計画についての説明

２　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①図書室整備
実施期日：　毎週火・木曜日
実施回数：　２２回
参加人数：　各回３～８名
内　容　：　図書室整備
・図書のレイアウト・図書の分類整備・図書紹介

②除草作業
実施期日：　７月９日・８月２０日・９月２４日
実施回数：　３回
参加人数：　のべ約７５名
内　容　：　学校花壇の除草作業・樹木の剪定・校庭の除草

③運動会協働参加
実施日時：８月２８日（日）８：３０～１５：００
参加人数：約５５名
活動内容：〇運動会種目への参加　〇テント設営及び撤収

④パパママ体験活動へのサポート
実施日時：１０月６日（木）
参加人数：１２名
活動内容：妊娠シミュレーションや育児体験のサポート

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組について
【重点指導項目「姿勢を正して、話を聞く」について】

「生きる力」を育むためには基本的生活習慣の育成が重要であると考え、義務教育９年間で確実に身に付けさせる必要がある。また、それらを基盤として「学力向上」については、「話を聞くこと」から始めることとした。それぞれの発達段階に応じて姿勢を正して話を聞くことを目標とし、学習内容が定着できるよう取り組んだ。さらに各校での取組の様子や指導の成果を互いに共有するために、各校で授業公開を実施した。

（小学校公開　６月１４日）（中学校公開　１１月２５日）

②その他の取組

・児童生徒の情報交換会(学力や学校環境適応感尺度「アセス」の分析・報告)（８月１８日）

・小学校６年生による中学校への体験入学（１月２３日）
生徒会役員が中学校生活について説明し、４月からの生活について期待がもてるようにしている。

・交流授業…中学校の音楽教員が小学校へ出向き、『琴』の演奏について６年生に対して指導した。（２月１０日）

・中学校入学児童の情報交換会　（３月２１日）



【交流授業の様子】

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　１２　人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０　人

４　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・保護者や地域の方々と接する機会が多くなり、直接、意見や感想を聞く機会が増えたことである。特に健全な生徒の育成については、学校と地域での相互の様子を共有することができ、生徒理解に役立った。

・老人クラブでの環境整備や図書ボランティアの参加者が多くなり、本校での教育活動や在校生への関心が高くなってきていることが感じられた。

②課題

・地域と学校との連携では、学校を介してのつながりは広がってきている。しかし、保護者と地域とのつながりをもっと密接なものにしていきたい。家庭環境で困っている生徒への支援や保護者が相談できる窓口など行政との連携も図りながら、孤立化しないように配慮していきたい。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

これまでの成果として、基本的生活習慣が定着してきており、落ち着いて学校生活を送れるようになってきている。また、今年度から「思いやりを育む安心できる学校づくり実践研究授業」の研究委託校として小・中学校が指定された。学校環境適応感尺度「アセス」を活用し、お互いの情報交換を実践することができた。

今後の課題は、アセスの結果で「生活満足度」が低い生徒への対応を、小中共通で考えていく必要がある。さらには、集団とのかかわりが大切なため、学級全体でグループワークトレーニングを取り入れながら、人間関係の構築に尽力していきたい。また、小中共通の学校課題でもある「学力向上」の解決に向けて、学習規律や各教科の基礎的内容の精選に努め、９年計画で系統的に　取り組ませる必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立南浜中学校
校長　　野　田　明　広　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①平成２８年　６月２７日（月）　１９：００～２０：３０
②協議内容　ア　委嘱状交付
イ　会長・副会長の指名
ウ　会長挨拶
エ　会則（案）の審議
オ　学校経営方針・重点事項について
カ　生徒数の推移及び部活動について
キ　学力の状況
ク　生徒の様子
ケ　質疑応答及び意見交換
コ　その他

(2) 第２回　　①平成２８年　７月１３日（水）　１３：３０～１５：００
参観日の授業参観及び学校評価アンケート
②協議内容　　意見交換

(3) 第３回　　①平成２８年１１月　７日（月）　１４：３５～１６：３０
授業参観
②協議内容　ア　本年度の本校の教育活動の取組
イ　学校評価に関わるアンケート
ウ　本校の課題
エ　その他

(4) 第４回　　①平成２９年　２月　２日（木）　１９：００～２０：００
②協議内容　ア　地域学校連携協議会活動報告
イ　今年度の教育活動について
ウ　来年度に向けての本校への要望・意見
エ　同窓会について
オ　その他

２　具体的な取組状況

(1) 教育関連事業
①学校目標、学校運営に関する協議
②学校評価に関する協議
③体育祭および文化祭の支援
・受付接待　入場門設置解体　ふるさと踊りの指導　体育祭の後片付け
各学年委員会による食堂等の運営

④入学式および卒業式の支援
・受付接待　駐車場での交通整理
⑤活動の支援（通年）
・野球部　卓球部　ソフトボール部　陸上競技部

(2) 環境整備活動
①校庭整地作業（４月）
②防球ネット張替作業（４月）
③校地内除草作業（６月、８月）
④花壇除草作業（５月、８月）

(3) 地域交流活動
①種差観光まつりボランティアとして生徒参加（７月）

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　０人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人

４　成果と課題

(1) 成果
①委員の方々から、地域貢献等の要望を直接聞くことができた。
②学校からの協力依頼が地域に伝わり、地区の方々の学校花壇除草作業・校庭整地作業・校庭の除草等の活動をしていただいた。
③地域貢献として、種差観光まつりに生徒１１名がボランティアとして参加し、運営を支援した。
④津波警報時の避難教室等の内容の文書を学校だよりに掲載し、各町内に配付することで南浜地区の方々に、周知させることができた。
⑤委員の方々に、授業参観や学校評価アンケートを回答していただくことによって、授業改善や行事の工夫および清掃活動の充実等につながった。

(2) 課題
①生徒数の減少により、様々な活動に支障をきたすことが予想される。
②学校のためにボランティア活動をしてくださる地域の方々がいるので、ボランティア登録を募っていきたい。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：根城中・根城小・江南小・田面木小）

八戸市立根城中学校
校長　中 嶋　正 喜　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月３日（金）１３：３０～１５：００
②協議内容　・委嘱状交付
・学校経営方針説明
・組織、運営について（グッジョブ・ウィーク推進委員会含む）
・事業説明（昨年度の成果と課題・今年度の事業計画）
・学校評価項目等の提示
・事業推進に向けた提言と要望

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１２月８日（木）１４：３０～１６：３０
②協議内容　・授業参観
・事業の進捗状況説明
・グッジョブ実施報告
・学校評価第２回結果公表
・地域学校連携協議会事業状況報告
・生徒の状況報告
・事業推進に向けた提言と要望

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年２月９日（木）１５：００～１６：３０
②協議内容　・事業の成果と課題の説明
・地域学校連携協議会事業報告
・委員による評価

２　上記以外の会議の実施状況

◇学校運営協議会(PTA実行委員会と併催)
①実施回数４回（５月、７月、１１月、２月）
②構成メンバーの概要
校長、教頭、ＰＴＡ会長及び副会長、ＰＴＡ各委員会委員長、学校支援地域本部コーディネーター　合計１６名
③検討内容
・学習活動、環境整備、地域交流、スポーツ文化活動の具体的な進め方
・学校行事、学年行事の運営
・生徒指導面での学校、保護者、地域の連携

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業
①環境整備　○環境厚生委員会…学校花壇整備
・４月下旬の土起こしから１１月初旬の花壇じまいまで、開催回数１１回、参加人数延べ１７０名。
・花壇コンクール　表彰式への出席
○総務委員会…親子による早朝除草作業
実施計画についての会議２回、夏（５月２８日）と秋（１０月１日）の２回の作業には、延べ７５０名参加。
○指導委員会…学区内及び、神明宮茅輪祭、七夕、三社大祭での巡視
巡視計画についての会議は１回、巡視活動には保護者延べ１００人が参加。
○図書ボランティア…学校図書館の環境整備、図書登録、図書管理、貸出作業等
活動回数は２４日、参加人数は延べ１２０人。
②地域交流　○広報委員会－ＰＴＡ新聞の発行
編集計画会議は２回、活動日数は２０日、参加者は延べ２２人。配達作業。
○２学年委員会－グッジョブ・ウィーク推進事業の推進
活動計画についての会議（４回）、事業所訪問の打ち合せ。
○合唱部　根城記念祭（５月２２日）への出演(吟詠)
○根城地区自主防災訓練（１０月１５日）への会場運営と全校生徒参加。
○根城地区運動会（１０月１６日）への生徒ボランティア参加(記録係４名)。

○根城公民館文化祭（１０月２９日～３０日）へのボランティア参加（２４名）

③スポーツ文化活動

○部活動、「親の会」の組織

○部活動のコーチ導入（８名）

※他に、学校施設開放事業や三社大祭、えんぶり、小中ジョイントスクール推進事業等、生徒や地域住民が関わる事業がある。
また、体育祭や文化祭、入学式や卒業証書授与式等、地域学校連携協議会の委員や保護者の多大な協力を得て実施している学校行事がある。

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組

＜重点指導項目①：「自ら進んで学習ができる。（学習習慣の確立）」について＞

・小中の教員が教科指導についての情報交換や研修をじっくり行うための組織作りを行い，研修会では各教科部会ごとの話合いの時間に重点を置いて取り組んだ。

・ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりについて、小・中学校各教科で取り組み、実践結果について小・中学校で共有できた。

＜重点指導項目②：「元気な挨拶ができる。（良好な人間関係を築く）」について＞

・各学期始めには，各校ごと地域・保護者の協力を得て，朝のあいさつ運動を実施した。

・日常的に，元気な挨拶を促すよう指導をしてきた。

②その他の取組

・第１回ジョイントスクール研修会（４月２５日）：根城中学校
中学校全クラスの授業公開、全体会及び組織、事業計画の説明と各教科部会での話合い

・第２回ジョイントスクール研修会（８月１８日）：八戸パークホテル
小中合同で県総合学校教育センターから講師を招きキャリア教育について研修
ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりについての１学期の授業実践の報告会

・第３回ジョイントスクール研修会（１１月８日）：田面木小学校
８学級の公開授業・研究協議

・第４回ジョイントスクール研修会（１１月２５日）：根城中学校
小学校６年生の中学生の授業の参観
３校小学校の交流会

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２０人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　７人

５　地域密着型教育の成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成　果

・今年度は、昨年度に引き続き根城地区自主防災会の協力を得て、自主防災訓練に全校生徒が参加した。

・災害時に中学生ができることについては、以前より必要とする声が多く、中学校としても地域との関わりを強める上で重視している。

・昨年度より、防災会での防災についての内容が充実しており生徒にとっては有意義な時間となった。

②課　題

・来年度も、自主防災訓練に全校生徒が参加する。町内の住民と中学生の関わりがさらにもてる在り方を模索する必要がある。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成　果

・小学校と中学校の情報の共有は、児童生徒の理解と把握につながった。

・小・中の先生方合同で研修に参加することは、学んだことが共通のものとなり足並みをそろえて教育活動にあたることにつながった。

②課　題

・授業での指導の在り方や家庭での学習の在り方について、一層小中で共通理解を図り充実したものにしていきたい。

・生徒指導上で、小中足並みをそろえて情報モラル教育について取り組む必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立白山台中学校
校長　戸　来　忠　雄　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２８年５月３０日（月）　白山台中学校会議室
②協議内容　・委嘱状交付及び会長の指名、副会長の指名
・会則審議
・今年度の学校経営・学校運営（小中両校長）
・今年度の協議会活動計画

(2) 第２回　　①実施日時　平成２８年２月２０日（月）
②協議内容・今年度の事業のまとめ
・学校関係者評価と学校課題について
・その他（来年度の日程と組織について）

２　上記以外の会議の実施状況

・グッジョブ・ウィーク推進委員会　　６月７日（火）
・体育祭運営協働者打合せ会議　　８月２５日（木）

３　具体的な取組状況

(1)　地域を知る（１年）
・４月～１２月（総合の時間）
・地域を知るためのインタビュー活動
（地域の有識者、公共機関、地域団体代表者に取材）
・白山台の魅力、環境、福祉、防犯、安全についての報告と提案発表会


白山台に関するインタビュー・発表会

(2)　地域で学ぶ（グッジョブ・ウィーク　２年）
・７月５日～８日（火～金）　１回
・５１事業所（内２７事業所が学区内）
・４日間の職場体験を通して社会性及び基礎的・汎用的能力を育成する。

(3)　地域をつくる（３年）
・５月～１０月
・地域防災についてマップづくり
・地域づくりボランティア活動（ニュータウンまつり、公民館まつり、公民館講座、芸能発表会）


グッジョブ・ウィーク

(4)　「しおんの森」環境整備

・７月５日（火）　１回　３学年生徒全員
・まちづくり協議会　社会福祉協議会との共催
・生徒および地域住民で、憩いの森の除草作業



しおんの森環境整備

(5)　体育祭

・８月２８日（日）　１回
・保護者および地域住民からなる「運営協働者」
・運営協働者として、出発係、決勝係、用具係、救護係等、職員とともに運営に関わる。

(6)　文化祭

・１０月１７日～２３日　１～４回　　・保護者が運営協働者として、校内装飾係、学年・教科展の展示係等、職員とともに生徒の指導と運営補助に関わる。

(7)　パペットロボット公演会

・１２月１３日～１４日　２回
・学区内の2カ所の保育園で、パペットロボット公演
・３年生が学習成果の発表の場として、園長先生や保育士から、園児に分かりやすい演技や話し方の指導を受け、公演会で発表をした。



パペットロボット公演会

(8)　部活動支援

・通年　約５０～１００回　保護者、地域住民
・コーチとして週末の部活動および大会等での支援

４　ボランティアの状況

本校では、ボランティア募集を行っていないが、ＰＴＡ委員会活動の活動による教育活動支援が多数行われている。（例　学区および祭り巡回指導、図書室の環境整備と見守り、バザー用品のクラフト製作等）



ＰＴＡ図書委員会の図書室装飾

５　地域密着型教育の成果と課題

(1)　成果

・運営協働者が学校運営に参画することが定着し、特に行事の運営や準備において教員が生徒と向き合う時間の確保につながり、行事の実施時には、安全確保に役立っている。
・地域密着型教育の中で、キャリア教育を実践することができた。このことによって、生徒の育ちと共に保護者や地域住民が本校の教育活動を理解することにつながっている。

(2)　課題

・地域学校連携協議会委員による意見書（学校関係者評価）は、総じて本校の教育活動に対して好意的な評価であるが、継続事業がマンネリ化しないように、その趣旨を忘れずに、活動内容の修正やビルドアンドスクラップも図っていく必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携　下長中・下長小・城北小・高館小）

八戸市立下長中学校
校長　丸　山　裕　治　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年７月１４日（木）１８時３０分～
②協議内容
・会則審議、会長・副会長の選出
・学校経営方針について
・協議会の日程について
・情報交換

(2) 第２回　①開催日時　平成２８年１１月２４日（木）１８時３０分～
②協議内容
・１学期の学校評価アンケート結果
・夏休み中から２学期中の生徒指導上の成果と課題
・２学期中の主な支援事業と学校行事
・１２月以降の予定

(3) 第３回　①開催日時　平成２９年２月２日（木）１８時３０分～
②協議内容
・学校評価の説明と質疑応答及び助言
・生徒指導上の成果と課題
・支援事業の報告
・来年度の予定
・その他（学校施設開放事業について、進路志望状況について）

２　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①図書室環境整備
・図書館整備（４月～３月の週５回、登録者６名、昼休みの貸出し、特設コーナー設置など）

②環境整備
・校舎周辺の除草作業　８月２０日（土）参加者１２０名
・体育祭の準備後始末　８月２８日（日）参加者２０名

③その他
・文化祭への食堂等出店　１０月２３日（日）参加者１００名

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①「重点指導項目」にかかわる取組について

重点指導項目①：「気持ちのよい返事やあいさつができる」について
・あいさつ運動を年３回実施
（５月、９月は中学生と青少協役員が小学校で、１月は各小・中学校で実施）
・２学期に児童・生徒会交流部で、あいさつ運動を含めた児童生徒の交流について検討
（各小・中学校の地域学校連携協議会でもあいさつを話題にしている）

重点指導項目②：「家庭学習ができる」について
・研究推進委員会において家庭学習の目安の検討と家庭学習調査用紙検討
・６月に家庭学習調査を実施、集計した上で小・中学校で情報を共有
・２学期に人間力育成部家庭学習班で課題と対策を検討
・１１月に家庭学習調査を実施、集計した上で１学期の結果と比較

②その他の取組について（「教職員や児童生徒の交流、家庭や地域社会と連携した取組」等）
・ＪＭＳ（ジョイントミーティング下長）特別委員会　４月２１日（木）
昨年度の取組と今年度の方向性について

・ＪＭＳ授業公開、全体会　５月６日（金）
　下長中授業公開、これまでの経過報告と今年度の計画
・下長中の授業参観及び「市中体夏季大会壮行式」の参観　６月１６日（木）
　各小学校６年生による壮行式の参観
・ＪＭＳ特別委員会、全体会　８月１８日（木）
　研究組織ごとの分科会、教師の指導力の向上、家庭学習の習慣化
　　学力実態調査（ＮＲＴ）の結果、ＪＭＳアンケートの結果
・ＪＭＳ授業公開、全体会　１１月２日（水）
　城北小授業公開、部会ごとの話合いと発表
・ＪＭＳ児童・生徒会交流会　２月９日（木）
　各小・中学校の児童会・生徒会による１年間の活動の反省と来年度の活動計画
・ＪＭＳ特別委員会　２月２３日（木）
　今年度の成果と課題、来年度の方向性
・その他
　ＪＭＳさわやかワークタイム（９月～１０月）
　各小・中学校の学区内でボランティア活動を行う

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　６人（保護者含む）
(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　６人

４　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・学校からは学校行事の内容や子どもたちの生活の様子を伝え、校外での子どもたちの様子を地域の方々から情報を得ることによって、お互いに子どもたちの見守り体制等を強化することで子どもたちが安心して学校生活を送ることができている。
・学校評価アンケートでは、「学校はＰＴＡや地域団体と連携して取り組んでいる」との質問に肯定的に回答した保護者が92%と非常に高い割合となっている。
・図書ボランティアの活動では、季節にあった掲示物や新刊コーナーを設け、「魅力ある図書室」を目指している。そのため、利用者が増えている。

②課題

・学校が保護者や地域関係諸団体代表と開催している組織には、「地域学校連携協議会」や「さわやか八戸グッジョブウィーク推進委員会」がある。重複する委員の方々がいるので、開催時期や協議会での話合いの内容について見直し、整理していくことで、より充実した協議会となるよう工夫したい。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果

・今年度は中学校生徒会が中心となり、地域であいさつ運動の輪を広げるためにスローガンを考案しポスターを作成。また、下長地区青少協が小中学生からあいさつに関するる標語を募集し、各校の入選作品を短冊にし、小中学校、各町内会、地域関係機関、商店等に掲示。ＪＭＳ（ジョイントミーティング下長）あいさつ運動に下長地区青少協役員が協力し、地域一体となってあいさつ運動に取り組んだことで、子どもたちの校外でのあいさつが活発になった。

②課題

・今年度も「確かな学力の育成につながる小・中連携の在り方はどうあればよいか」のテーマの基、重点指導項目を同一歩調で各校取り組んできた。しかし、「家庭学習ができる」の項目について、強化週間だけは頑張るという児童生徒が多いという意見があった。次年度は、児童生徒の抱える課題に重点を置き、確かな学力の育成に努めたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立北稜中学校
校 長　最 上　哲 宏　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年４月２７日（水）　１７：００～１８：３０
②協議内容　ア）学区校長会長（北稜中学校長）あいさつ
イ）正副会長指名及びあいさつ
ウ）３校の学校経営方針等についての説明
エ）ボランティア活用計画について
オ）会則について
カ）緊急時の対応について
キ）評価分科会のメンバーについて
ク）今後の予定について

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年９月１４日（水）　１７：００～１８：３０
②協議内容　ア）各校からの情報提供
〇ジョイントスクール事業に関わる情報

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年１月２４日（火）　１７：００～１８：３０
②協議内容　ア）学校目標評価について（概略の全体説明）
イ）来年度の日程について
ウ）分科会（北稜中部会，根岸小部会，日計ケ丘小部会）
〇学校評価について
・自己評価と児童生徒・保護者アンケートの分析結果の説明と考察
・質疑応答と学校関係者評価

2　具体的な取組状況

(1) 教育活動・学校行事・文化関連事業
・机クラブ指導支援　・１学年総合的な学習の時間ゲストティーチャー（机の舞，お囃子等指導）
・机衣裳及び小道具の修繕等　・体育祭根岸音頭指　・２学年グッジョブ支援　等
(2) 安全対策事業
・地域巡回（市中体夏季大会及び秋季大会前，夏季及び冬季休業中，小田八幡宮例大祭）
(3) 環境事業
・校地内除草作業　・学校花壇整備

(4) 交流・連携事業

・子ども会関連事業への参加（スポーツ大会，サマーキャンプ，ウォークラリー他）

3　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　６０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　０人（アスネットねぎし登録者を除く）

4　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・開校以来の伝統となっている机の継承活動に関して地域から継続的な支援を受ける(１学年の総合的な活動の時間)ことで，机に関する知識が増し技能を高めることができた。今年度も，３月に１学年が机の発表会を行うこととなっており，八太郎机組をはじめ地域の方々に周知してその成果を披露することができるものと期待している。

・コーディネーターの活動として、昨年度から北稜中学校区地域学校連携協議会通信「えぼし」を，年２回発行し，地域全体へ配付した。これにより、地域学校連携協議会の活動等を各家庭等へ伝えることができた。

・学校司書が今年度から配置となり，司書およびコーディネーターが中心となって図書館の整備を行うことができた。

②課題

・今後，さらに活動を発展させていくためには，昨年度からの課題ではあるが後継者を含め，より多くの人材を発掘していかなければならない。広報活動や日常的な教育活動を通して，保護者や地域住民が学校運営，児童生徒の教育活動に参画するという意識を醸成していきたい。コーディネーターを核とした人材の発掘にも積極的に取り組んでいく必要がある。







平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書

（JS連携校：是川中・是川小）

八戸市立是川中学校
校長　村　上　哲　宏　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月６日（月）　１９：００～
②協議内容　・委嘱状交付　・会長、副会長、会則の承認
・学校経営方針説明　・平成２８年度計画説明

(2) 第２回　①実施日時　平成２９年２月６日（月）　１９：００～
②協議内容　・学校目標等に関わるアンケート結果の報告
・学校関係者評価　・29年度年間計画（案）の確認

(3) 第３回　①実施時期　平成２９年３月中旬予定
②協議内容　・今年度の事業報告　・来年度の予定に関する説明及び審議

2　上記以外の会議の実施状況

専門部会：地区防災訓練打合せ会議（３回）

3　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

① 図書室整備（毎週水曜日10:00～12:00、年間20回、延べ参加人数役80人）

② 環境整備活動

７月　２日（土）：校庭の草取り（保護者・生徒・教職員約１６０名参加）

１０月　２日（日）：校舎の窓拭き（保護者、生徒、教職員約１４０名参加）

③ 安全指導活動

７月２２日（金）～８月２１日（日）：プール監視（保護者１９名、教職員のべ１９名）

校外巡視活動：３回。保護者、教職員のべ５４名参加

④ 伝統芸能継承活動

７月　６日（水）：是川音頭指導（是川音頭保存会から１４名来校）

７月１０日（日）：体育祭にて是川音頭を生徒と一緒に踊る（地域保存会から１８名来校）

⑤ 野焼き指導、木彫・テラコッタ展

１０月２８日（金）：指導ボランティア５名参加

２月２４日（金）～２月２６日（日）：多数の保護者が作品の搬出入、展示、受付等に参加予定　※２月２６日は作品搬入と準備

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①　重点指導項目に関わる取組

重点指導項目①「気持ちのよいあいさつや返事ができる」

授業や集会などの場で、はきはきした返事の大切さを取り上げ実践させた。

重点指導項目②「正しい言葉づかいで、はっきり話すことができる」

行事や集会などの発表場面で、事前指導をしっかり行って自信をもって話せるようにした。

重点指導項目③「家庭学習ができる」

中学生のテスト週間にあわせ小学生も家庭学習に力を入れて取り組む、縄文ウィークを設定し、保護者へも呼びかけ、家庭の協力を求めた。

② その他の取組

・第１回小中ジョイント合同研修会、中学校授業公開（４月２８日）

・第２回小中ジョイント合同研修会、小中教職員懇親会（８月３日）

・地域防災訓練（１１月１３日）・第３回全体研修会・小学校授業研究（１１月２８日）

・部長会、推進委員会合同会議（１月１０日）　・小６参観日（１月２６日）

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　１２８人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１６人

５　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・学校評価に関わる情報交換を通して、地域の方々が予想以上に学校や生徒に関して、関心と期待を持っていることが分かった。地域学校連携協議会は、三者が率直に意見交換ができる重要な会となっている。今年度は図書ボランティアやおやじの焼きそば隊など活動が活発化してきている。地域の元気が子どもたちの明るい学校生活を支えている。

② 課題

・学校・家庭・地域が連携・協力することでよりよい教育環境が提供され、子どもたちの「確かな学び」と「豊かな育ち」が保障される。まずは、学校の一番の応援隊であるＰＴＡや地域の方々を学校に呼び込む工夫が必要である。また、「地域に対してできること」と「地域から応援してもらいたいこと」をはっきりさせ、明確な目的をもって取り組むことでより効果的な活動になるはずである。保護者や諸団体の教育力を子どもたちに還元するためにも、事務局（ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ、教頭）の円滑な運営と的確な働きかけが大切である。

(2) 小・中ジョイントスクールの今後の課題

・１学期と２学期に実施したアンケートから、「気持ちのよいあいさつや返事」はできていると答える児童生徒は多い。しかし、教師の側からは十分とは言えないとする意見も聞かれる。今後は「気持ちのよいあいさつや返事」を具体的にとらえ、自己評価することができるような指導を考えていきたい。

・中学校のテスト週間にあわせ、小学校でも家庭学習強調週間（じょうもんウィーク）として、家庭学習に力を入れており、効果が上がっている。さらに効果を上げるための方策、及び保護者との連携・協力をより強く進めていきたい。

・今年度は、部長会（４つの分科会の部長）を組織し、推進委員との合同会議を実施した。ミドルリーダーが計画・運営に積極的に関わることで、今まで以上に活性化を図ることができた。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：三条中・三条小・西園小）

八戸市立三条中学校
校長　四　戸　康　彦　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月７日（火）　１８：３０
②協議内容
・会則審議
・役員選出
・昨年度の活動報告及び今年度の活動計画について
・学校経営及び組織運営について

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１０月１３日（木）　１８：３０
②協議内容
・いじめ防止に向けた取組状況について
・全国学力・学習状況調査の結果について
・生徒対象生活アンケートの結果について
・文化祭の売店運営計画について

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年１月２４日（火）　１８：３０
②協議内容
・学校経営の成果と学校課題について
・学校評価について
・次年度の教育課程の方針と学校行事の予定について

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　設置していない

(2) 専門部会　文化祭食堂運営部会
①実施日時　平成２８年１０月１３日（木）、１４日（金）
②協議内容
・文化祭売店の運営について
・メニューの数量、値段、購入場所について
・ボランティアの確保について
・メニューの試食

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

① 地域ふれあい学習の実施　５月２７日（金）
・１２の町内会から会長をはじめ計１５名が協力。生徒が町内会ごとに別れ、各町内からのゲストティーチャーから講話をいただき、その後生徒と意見交換を行う。具体的には、町内会の歴史や課題等の話を聞き、その後学区内の危険箇所を確認し、生徒から町内への要望、生徒が地域に貢献できることを話し合った。

② 文化祭売店の運営　１０月２４日（土）
・卒業生の保護者３名で運営。当日の軽食販売の他に、会場の設営・準備、案内ポスターの制作などを行った。

③ 安全対策関連事業
＊１ 登校時の交通安全指導
・保護者を中心に学校周辺及び校門付近でのあいさつ運動も並行して行う。（計１８日実施、１日約１０人程度の協力者あり）
＊２ 地域のパトロール（夏季休業中、地域のお祭り時）
・学区内の巡回を月３回実施。長期休業中は週１回実施。平日は放課後活動が終了する１８時３０分から、休日は１３時から、長期休業中は２０時から実施。その他、各町内会のお祭りや宵宮等でも巡回を行っている。

④ 地域交流事業
＊１ 上長地区安全・安心まちづくり大会への協力　１０月１０日（月）
・上長地区安全なまちづくり協議会主催の大会に生徒会ジャンプチーム８名、吹奏楽部１９名が参加。八戸駅自由通路において、少年非行防止の宣誓、万引き防止広報活動、吹奏楽部によるアトラクションを披露。
＊２ 上長公民館芸能発表会への協力　１１月６日（日）
・本校生徒５名が舞台の補助としてボランティアで参加。

(2) 小・中学校ジョイントスクール

① 重点指導項目にかかわる取組

＊１ 家庭学習パワーアップ週間（各学期に１回、年３回実施）

・中学校のテスト期間に合わせて小学校で５日間、各学年で設定した家庭学習の時間に「ノーメディア」で取り組ませる。（児童の取組評価は保護者が行う）

＊２ 保護者と教職員が共に学ぶ教育講演会（８月１０日 実施）

・秋田県教育委員会義務教育課、工藤真弘主任指導主事を講師に招き、児童生徒の基本的な生活習慣及び学習習慣の形成に向けて、小・中学校と家庭との効果的な連携について講話をいただく。

＊３ 授業公開及び情報交換（６月三条中、８月西園小が授業公開）

・生徒指導部会、特別支援教育部会、学習指導部会が、それぞれの観点から「家庭学習パワーアップ週間」等についての検証を行う。

② その他の取組

＊１ 小６児童対象、中学校部活動体験（７月、夏季休業）

＊２ 小５児童交流会（９月、三条小・西園小合同宿泊学習）

＊３ 小・中美術作品交流（１１月）

＊４ 小６児童対象、中学校授業体験（１月）

４ ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　２５人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　３人

５ 成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

・「地域ふれあい学習」では、各町内会よりゲストティーチャーを招き、生徒が住む町内への理解と愛着を深めることを目的に実施している。ゲストティーチャーの講話の後には、町内の危険箇所を一緒に話し合ったり、中学生に何かできることはないか質問したり、生徒が町内の大人の方々と前向きに話し合える時間となっている。

・コーディネーターは現在２人で活動を行っているが、仕事も抱えその中で時間を調整して協力していただいている。文化祭の軽食販売の運営では、ＰＴＡのＯＢも有志として加わり、和やかな雰囲気で来校者にくつろぎの場を提供している。ＰＴＡの各委員会も学校行事に積極的に関わっているが、十分に対応できないところにコーディネーターが対応してくれているため大変ありがたい。コーディネーターが無理をせず、やりがいを感じてくれるような活動を継続していきたいと考える。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

① 児童生徒の生活習慣・学習習慣の形成について

児童生徒の生活習慣・学習習慣の形成を阻害している情報端末機器への対応について、昨年度から小・中三校で足並みをそろえて指導にあたってきている。昨年度実施した児童生徒の情報端末機器の所持・使用状況調査を踏まえ、今年度は八戸市連合ＰＴＡ・八戸市教育委員会・八戸市小学校長会・八戸市中学校長会が作成した「インターネットトラブル防止に向けた３つの提言」を有効に活用し、児童生徒に具体的に指導を行うとともに、各校で実施した保護者集会においても毎回このリーフレットを活用し、家庭における望ましい生活習慣の在り方について保護者の意識を高めていくことができた。また、各校の各種通信（学校だよりや保健だより等）も保護者には好評で、情報端末機器がもたらす脳への影響、依存的な生活がもたらす弊害などという視点から、保護者が子どもの生活を見直すきっかけを与えることもできた。児童生徒にとっても、外部講師による情報モラル教室や学校保健委員会をはじめとする児童生徒集会を通して、情報端末機器がもたらす弊害について様々な観点から考え、その危険性をより認識することができた。ただし、その指導を必要とする児童生徒もまだ見受けられるため、保護者へより具体的な提案を行って連携を深めるなど、働きかけを強くしていきたいと考える。

② 家庭学習パワーアップ週間について

ノーメディアで取り組ませる「家庭学習パワーアップ週間」について、三校合同の情報交換では、方向性としては効果が期待できるものの、取組状況を児童生徒の視覚に訴えて振り返らせたり、学習内容の質を深めていくことも重視しなければならないという、より実践的な取組をしていくための共通理解が図られた。研究主題に迫るためには、保護者の協力が不可欠となるため、小・中学校が共有する課題について理解を深めてもらい、学校と保護者が共同歩調で取り組めるような取組にしていきたいと考える。また、ノーメディア学習の評価方法に小学校間で若干の差異が見られたので、次年度は評価基準を統一してより一層同一歩調で取り組んでいきたいと考える。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：明治中・明治小）

八戸市立明治中学校
校長　三浦　一純　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２８年６月７日（火）
②協議内容　・委嘱状交付
・八戸市立明治小中学校地域学校連携協議会会則審議
・会長、副会長の氏名
・明治小・中学校の経営方針説明（学校目標含む）
・今年度の計画審議

（２）第２回　①実施日時　平成２８年１２月６日（火）
②協議内容　・明治小・中学校の学校評価の説明及び審議
・明治小・中学校の学校支援進捗状況の説明及び審議
・教育委員会挨拶

（３）第３回　①実施日時　平成２９年２月２３日（木）
②協議内容　・明治小・中学校の成果と課題の説明及び審議
・明治小・中学校の学校支援の成果と課題の説明及び審議
・来年度の協議委員について

２　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業

①部活動
・部活動支援　・・・　野球部１名、ソフトテニス部２名のコーチ

②安全安心活動
・防犯パトロール　・・・　毎週水曜日に、防犯パトロールによる学区内巡視

③環境整備
・奉仕作業　・・・　ＰＴＡ環境委員会主導の年２回の校地内の除草等
・体育祭前日の入場門づくり　・・・　早朝奉仕活動に来校したお父さん方の協力
・校庭の除草作業　・・・　町内会有志の方々（学区民体育祭の前日）
・校地内の除雪作業　・・・　保護者及び地域の方による早朝の除雪

④地域交流連携活動
・学区民体育祭への全校生徒・職員の参加（８月２８日）
・館地区総合防災会訓練への参加（１０月２日）

（２）小・中学校ジョイントスクール

①「重点指導項目」にかかわる取組について
◎重点指導項目①：「学習習慣の確立を図る」について
・家庭学習の習慣化に向け、小中一貫した「家庭学習の約束」を児童生徒、全家庭に配付・周知し、教科担任（中学校）や学級担任（小学校）から説明
・生活ノートを利用した時間の使い方指導
・ＮＲＴ検査結果の情報交換と分析
◎重点指導項目②：「気持ちのよいあいさつができる」について
・４月１９日～２２日・・小中合同第１回あいさつ運動
・８月２３日～２６日・・小中合同第２回あいさつ運動

②その他の取組について（教職員や児童生徒の交流、家庭や地域社会との連携を中心とした取組等）

- ４月　５日 ・・・・ 第１回ＪＳ推進委員会(中学校：研究計画の確認・検討)
- ４月２７日 ・・・・ 第１回ＪＳ総会(中学校：顔合わせ・事業の進め方の確認)
- ６月１６日 ・・・・ 市中体夏季大会壮行式での合同応援（小学６年生の参加）
- ８月２４日 ・・・・ 中学校全職員による小学校授業参観（午後）
  教育相談による連携（ＳＣ講話）
- ８月２８日 ・・・・ 館地区学区民体育祭への参加
- ９月２３日 ・・・・ 歌唱指導（音楽）
- ９月２９日 ・・・・ 小学６年生の部活動体験（午後）
- １０月　２日 ・・・・ 館地区総合防災訓練への参加
- １１月　１日 ・・・・ 歌唱指導（音楽）
- １１月２５日 ・・・・ 小中合同ＰＴＡ忘年会(えびす家)
- １月１２日 ・・・・ 第２回ＪＳ総会・推進委員会(中学校：まとめ、反省と次年度取組)
- ２月　６日 ・・・・ 新入生保護者説明会と授業参観、ＰＴＡ所属委員会の決定
- ３月２３日 ・・・・ 小学６年生の情報交換会

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　１５人

（２）今年度ボランティア保険加入者数　１２人

４　成果と課題

（１）地域密着型教育の成果と課題

- 地域密着型教育への取組は６年目となるが、地域関係者・学校職員・学校支援コーディネーター・ＰＴＡ役員等には地域全体で子どもたちを育てようという意識が定着している。
- 環境整備について、保護者や地域の方々が早朝に数回除雪をしてくださった。
- 中学校と地域との行事（学区民体育祭、地区総合防災訓練）が定着してきている。参加することにより、自分たちの行動が地域のためになることに気づき、生徒たちの意識が高くなってきている。
- 学校だよりや行事などの機会を通して、タイムリーに学校の様子をお知らせすることができた。学校評価を通して、地域の方々からご理解ご協力のご意見をもらうことができた。学校経営に大変参考となる内容であった。

（２）小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

- 小中継続指導項目の「帰宅したらまず宿題」については、少しずつ定着をしてきているが、ながら学習をする児童生徒が多く見られた。継続して共通した取組を進めていく。
- アンケートを実施し状況把握などを行ってきたが、方法や時期などについては学年によって工夫し継続していく。
- 小中合同で実施しているあいさつ運動、壮行式、部活動体験については、小中それぞれに効果的な部分が多くあるので、今後も継続・発展させていく。
- 地域、保護者、学校の連携を密にしながら、人間関係づくり、リーダー育成、心の成長などに向けての取組を進めていく。





平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：市川中・桔梗野小・轟木小・多賀小・多賀台小）

八戸市立　市　川　中　学校
校長　　馬　渡　教　二　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月２日（木）
②協議内容　委嘱状交付
会長の指名（校長）副会長の指名（会長）
学校経営方針・今年度の教育活動の説明
授業及び学力に関する現状と課題の説明
地域学校連携協議会の組織と年間予定について
質疑応答・情報交換

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１２月６日（火）
②協議内容　平成２８年度の学校評価アンケート結果の説明
学校経営方針・今年度の活動の状況等（中間報告）について
生徒指導の状況、学校いじめ防止基本方針等の説明
質疑応答・情報交換

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年２月９日（木）
②協議内容　学校経営方針・今年度の活動の状況等（最終報告）について
今年度の教育活動を成果と課題について
今年度の生徒指導の状況について
平成２９年度の教育課程と行事予定について
質疑応答・情報交換

2　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業

①読書活動支援
・図書室整備（４月～３月の月１回、登録者４名、図書の登録作業や整理整頓及び飾り付け）

②環境整備
・グラウンド・校地内整備
（４月～３月の年３回、参加者４名、草刈り、薬剤散布、枝伐り、側溝の泥上げ等）

③学校行事支援
（４月～３月の年３回、参加者約２５～４０名、体育祭の来賓接待や文化祭の飲食販売及びさわやか八戸グッジョブ・ウィークの事業所開拓や巡回指導等）

④地域行事支援
（４月～３月の年２回、参加者約４０名、４小学校による中学校区少年スポーツ大会の運営、多賀地区自主防災会主催の銘肝式）

⑤部活動支援
（４月～３月の随時、参加者６名、運動部外部コーチとして技術指導等）

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組
＜重点指導項目①：「気持ちのよい返事やあいさつができる」について＞
・『市川地区こども憲章』を各学級や廊下に掲示して、全校朝会や各学級で読み上げる
・朝のあいさつ運動を行う　・学習の約束の徹底を呼びかけ、調査を行う
＜重点指導項目②：「場に合った声の大きさで話すことができる」について＞
・掲示物を活用し、児童生徒に意識させる　・継続的な指導を行う

・児童生徒による自己評価と教職員による評価を行い、実態を把握し改善に向け指導を行う

＜重点指導項目③：「最後まではっきり話すことができる」について＞

・児童生徒の発言する機会をあらゆる場面で設ける　　・継続的な指導を行う

※②・③については、自己評価の結果について考察し、11月に全体会で共通理解を図る

②その他の取組

・第１回小中ジョイントスクール総会（４月２８日）
全体会及び分科会、分科会ごとの今年度の取組確認

・市川中学校区少年スポーツ大会（７月３日）
中学校区４校の小学生による野球、バスケットボール、ソフトボールの交流試合

・市川中学校学校公開日（進路ガイダンス）（１１月８日）
４校の小学６年生による中学校の授業参観と中学校生活の説明

・小中ジョイントスクール推進事業多賀小学校授業研究会（１１月２５日）
授業公開（１年図工、３年学級活動、６年算数）、全体会（授業の話し合い）、分科会

３　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　１０人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　４人

４　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・地域学校連携協議会を通して、地域の関係団体や保護者代表から学校運営への意見や願いを聞くことができて、自校の教育活動を振り返り学校評価に生かしたり、地域との連携を深めたりすることができた。

・学校の教育方針や教育活動の概要を説明することで、地域の住民や保護者の代表から、学校の教育活動全般への理解や協力を得ることができた。

・地域の諸団体の活動状況が把握できるようになり、学校と地域との相互協力体制が確立されて、通学路の安全確保など校内外の諸問題の解決に対応できるようになった。

②課題

・学校の教育活動についての情報発信をさらに充実できるように、その手立て等を来年度検討していきたい。

・校舎内の環境整備等の他にも、ボランティアを活用した取組としてどのようなことができるのかを吟味していきたい。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの今後の課題

・「協同授業」や「合同授業」にも小・中学校が連携を深めて積極的に実践していく。実践で得られたことについては、小・中学校それぞれの校内研で伝えて授業改善に役立てていく。

・中学校区少年スポーツ大会の運営については、小学校の児童数減少に伴う部活動の廃止により、運営方法を見直していく必要がある。今後も継続して安定的に開催していくためのよりよい運営方法について、関係団体も含めて小・中学校の担当者で協議していきたい。

・キャリアノートの活用について小・中学校の継続性を図る工夫を検討していく。

・防災ノートの活用についても、市川地区は特に津波被災地区（多賀地区）を含んでいるために、小・中学校で情報交換を密にしながら、効果的な活用方法について検討していく。

・情報モラルについては、小・中学校で子どもたちのスマートフォンや携帯電話等の所持率が年々高くなってきているので、各校の現状を把握した上で、効果的な指導方法や保護者への働きかけについて連携を深めていく必要がある。

・小・中学校ともに多忙の中でジョイントスクール事業を推進している。子どもたちにとって本当に必要な連携とは何かということを今一度見直し、来年度以降も取り組んでいきたい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立豊崎中学校
校長　中　川　俊　也　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　　①実施日時　平成２８年５月２５日（水）１９：００～
（小・中合同）　②協議内容
・委任状交付
・会則及び組織に関する審議
・学校経営方針、重点施策の説明および審議　等

(2) 第２回　　①実施日時　平成２８年１２月１６日（金）１９：００～
（中のみ）　②協議内容
・学校の現状と課題の説明および審議
・学校評価に関する説明および審議
・情報交換　等

(3) 第３回　　①実施日時　平成２９年２月７日（火）１９：００～
（小・中合同）　②協議内容
・今年度の地域学校連携協議会の成果と課題の説明および審議
・来年度の教育計画についての説明
・情報交換　等

２　上記以外の会議の実施状況

・校外指導委員会　第１回：平成２８年　５月１７日（火）
第２回：平成２８年１１月１０日（木）
・プール運営委員会　平成２８年６月３０日（木）

３　具体的な取組状況

(1) 安全・安心活動

・校外巡視活動	毎週木曜日（６月～９月）	のべ２５名
・夏休み夜間巡視活動	夏休み期間の月・水・金	毎回３名
・登校時の交通安全指導	９月６日（火）～８日（木）	のべ６名

(2) 環境整備活動

・学校農園の作付前の準備作業	４月２６日（火）	１名
・体育祭前の環境整備奉仕作業	５月１５日（日）	約７０名
・ゴーヤのネット張り	５月１５日（日）	５名
・学校池の清掃	７月３１日（日）	約２０名
・相撲大会前の土俵整備、除草等	８月２８日（日）	約３０名
・駐車場や通学路等の除雪作業	１月～３月	３名

(3) 教育支援活動

・豆腐づくり指導	２月　８日（水）	１名

(4) 行事支援活動

・相撲の作法指導	８月２５日（木）	１名
・相撲大会準備、運営、審判後片付け	９月　４日（日）	１５名
・文化祭屋台準備	１０月２８日（金）	６名
・文化祭屋台、喫茶出店	１０月３０日（日）	２１名
・百人一首大会運営手伝い	１月１０日（火）	２名
・百人一首大会での昼食の提供	１月１０日（火）	１０名

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数　　７６人（保護者含む）

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　４人

５　成果と課題

(1) 成果

・豊崎中学校区として地域密着型教育を実践してから５年目となり、小・中学校それぞれで実践している活動内容もお互いに把握でき、共通での取組もスムーズに行われている。

・第２回目の地域学校連携協議会では、委員の方々に事前に資料を配付し、目を通してきていただいている。学校の現状に対し、予め理解をしていただいてから協議ができることは、時間的にも内容的にも有効であるため、今後も早めに資料を作成し、事前配付を継続していきたい。また、大変建設的な意見をいただくことができ、今後の学校運営の糧にすることができた。

・校内百人一首大会における地域のおばあさん方による昼食の提供が恒例となり、お手伝いいただけるおばあさん方の人数も一定数確保できるようになった。毎年、３年生にお孫さんがいる方が中心になっているが、翌年への引継ぎができている。学校から依頼がなくても、時期が訪れると、暗黙の裡に連携ができるようになったのは、この事業の成果であるといえる。

・地域の方々が小・中学校の教育活動を支えてくれていることが実感できている。また、学校のために協力をしたいという気持ちをもっている地域の方が多いことにも感謝したい。

・学校・地域・家庭の連携をさらに強化し、学校と地域との垣根を取り払っていきたい。

・地域学校連携協議会委員の中に学年委員長である保護者がいることにより、学校に対する保護者の生の声を聞くことができている。

(2) 課題

・地域学校連携協議会での協議内容を、保護者や地域の方々に対して、随時情報発信ができる手立てを検討していきたい。

・学校行事において、地域の方々がさらなる協力を申し出ているが、事前打ち合わせや事前準備のための時間の確保が難しい。お互いに時間調整を工夫しながら、この課題を解決したい。

平成28年度「地域密着型教育」報告書

八戸市立大館中学校
校長　　田　中 昭 子　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年５月２７日　１８：３０～１９：３０
②協議内容　委嘱状交付
会則の確認
正副会長の選任
学校経営方針および今年度の学校目標の説明
登下校の安全確保について　70周年記念式典について
指導・助言（八戸市教育委員会）

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年１２月１３日　１８：３０～１９：３０
②協議内容　学校目標等に係る自校評価結果の説明
自校評価に対する質疑応答、意見集約
学校関係者評価について

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年２月２１日　１８：３０～１９：３０
②協議内容　学校評価の総括
次年度計画の確認
意見交換

２　上記以外の会議の実施状況

新井田小学校 140 周年、大館中学校 70 周年の式典を開催し、大館地区として合同祝賀会を行うことができた。

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業
①　図書室整備（月１～２回）・・・蔵書の修理及び整理、新書の登録等
活動回数　１０回、活動延人数　３５人
②　草刈り・草取り（６月５日）・・校地内草刈り・草取り作業
活動延人数　２７人

(2) その他
①　学校行事・・・ＰＴＡ（ＯＢ）による体育祭での校庭整備作業、駐車場案内
②　協働事業・・・大館地区自治振興会と連携して「新田城まつり」への全校生徒の参加

③　巡回指導・・・ＰＴＡ（ＯＢ）による放課後の学区内巡回指導
④　情報発信・・・コーディネーターによる地学連協だよりの作成、発行

４　ボランティアの状況

(1) ボランティア現在数

草刈り	１８人
草取り	１５人
図書支援	５人
合　　計	３８人

(2) 今年度ボランティア保険加入者数　　１９人

５　成果と課題

＜成果＞

①　各学校の教育活動や児童生徒の状況等について、直接説明する機会を得たことで、情報交換の透明性を高め、双方の距離が縮まってきていると受け止めている。

②　地域の関係団体や保護者等の代表から、学校運営に対する意見や願いを改めて聞く機会を得たことにより、自校の取組を振り返り学校評価に生かせるようになってきている。

③　ボランティアに係る人材確保及び連絡調整が進み、ボランティアによる支援が定着してきている。

＜課題＞

①　教職員の校務分掌組織やＰＴＡ組織、ＰＴＡ活動との関連性を図ることによって、より実質的な協働態勢づくりを推進していくことが重要である。そのために、企画推進部会並びに専門部会等の必要性や編成方法について引き続き検討する必要がある。

②　児童会・生徒会活動等との関連性を図ることによって、児童生徒の意識を高めるとともに、地域の一員として、地域のために活動する機会を積極的につくりだしていくことが重要である。

③　地域密着型教育の推進が、教職員や生徒、保護者の過度な負担にならないよう留意して進めていく必要がある。

④　地域と連携した防災体制づくりに向けてより具体的に協議し、実践する必要がある。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携校：東中・旭ヶ丘小・町畑小・美保野小）

八戸市立東中学校
校長　正部家　光彦　　印

1　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回
①実施日時　平成２８年６月９日（木）　１８：３０～２０：００
②協議内容
ア　委嘱状交付
イ　会則について
ウ　会長・副会長の指名
エ　学校経営方針の説明
オ　平成２８年度の組織と事業計画についての説明

(2) 第２回
①実施日時　平成２８年１０月２３日（日）
・本校文化祭を見学していただいた。その後、校長室にて資料を配付し、学校の状況を校長・教頭から説明し、ご意見をいただき、学校評価とした。
②配付資料内容
ア　今年度の学校経営について
イ　今年度の生徒・ＰＴＡ活動について、また地域との交流等について

(3) 第３回（予定）
①実施日時　平成２９年２月２１日（火）　１８：００～１９：３０
②協議内容
ア　今年度の事業報告について
イ　学校評価の説明について

2　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業
①芸術鑑賞会等の地域への公開
ア　１０月２７日、東中芸術鑑賞教室「東中寄席」地域の方６５名が生徒とともに鑑賞。
イ　１２月２１日にNPO法人による「地球のステージ」を開催した。医師である桑山紀彦氏による、語りと音楽、映像によるコンサートを鑑賞。


芸術鑑賞教室「東中寄席」

②地域貢献活動
ア　東運動公園、東運動公園前地下道、国道45号線沿い歩道のゴミ拾い活動（７月３日、全校生徒参加）
イ　地域行事における吹奏楽部の演奏。湊高台地区運動会（８月２８日）旭ヶ丘地区運動会（９月４日）
ウ　旭ヶ丘地区芸能大会で３年生徒よさこい披露（１１月２７日）
エ　東公民館への協力
ボランティア委員会、３年生などによる諸行事へのお手伝い、つつじ祭り（５月２９日）公民館祭り（１０月８・９日）
オ　総合文化部の地域貢献、湊高台地区運動会の立て看板制作協力
③図書室整備（４月～３月の月３回、登録者３名の本の整頓・分類、飾り付け）
④キャリア学習支援（「ようこそ先輩！」１月～３月、計４回、東中卒業生から職業についてミニ講演会、延べ１２０名ほど参加）
⑤環境整備（５月花壇植え付け、６・８月の除草作業、ボランティア１０名ほど）

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①重点事項に関わる取組

重点指導項目①：特別支援教育の充実

・平成２８年８月５日(金) ＪＳ夏期研修会
　演題「ユニバーサルデザインを取り入れたわかる授業づくり」
　講師　八戸市こども支援センター指導主事　佐藤　佳子　様

重点指導項目②：基礎学力をつける指導の工夫

・学習指導部が、１学期と２学期に「特別支援教育アンケート」を実施し、その分析による成果と課題について報告した。

重点指導項目③：生活向上の工夫

・生活指導部実践。小中で実践できる生活向上の約束「ひがしの輪」を作成し、全教室に掲示し、基本的生活習慣向上に取り組む。

②その他の取組について

・５月１０日ジョイントスクール推進委員会
・６月　３日ジョイントスクール全体会
・特別支援教育アンケート実施（学習指導部）
・生活向上の約束「ひがしの輪」作成（生活指導部）
・８月５日小・中教職員懇親会開催
・１１月３０日旭ヶ丘小学校公開授業



ＪＳ夏期研修会

3 教育ボランティアの状況

(1) 登録現在数　図書室整備　３人
　部活動外部指導　２０人
　講演会講師　４人

(2) 保険加入者数　２０人（学校独自の任意保険に加入）

4 成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・学校行事を積極的に公開し、多数の地域の方にご参加いただいた。
・「ようこそ先輩！」講座を実施し、生徒の職業選択への意識が向上した。
・地域行事や地域施設への生徒ボランティア派遣により、地域の方々との交流が深まり、また生徒たちが地域の方々から多く感謝のことばをいただけた。

②課題

・地域密着型教育について、学校だよりやブログ、ホームページでの情報発信が不足していた。来年度は、積極的な広報活動を展開していきたい。
・地域の方々の学校への継続的なボランティア（図書室整備、花壇整備、環境整備、学習支援など）が少ないので、募集方法などを工夫し、協力を求めたい。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果

・小・中で共通の学校課題を、各部会で話し合い共有し、その解決に工夫した活動や取組ができた。
・特別支援に関する研修会を行い、各学校で特別支援教育の視点にたった取組を実践することができた。

②課題

・学習指導について情報を共有し、継続的に学力向上に係る実践を工夫する。
・小学校からゲーム機、ＳＮＳなどのモバイル端末の使用が始まり、小・中が連携して情報交換を密にしていかなければならないケースが増加している。
・不登校傾向の児童生徒の情報交換を行い、その対策を考えなければならない。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（JS連携：中沢中　南郷小）

八戸市立中沢中学校
校長　千葉　誠　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（１）第１回　①実施日時　平成２８年６月２８日(火)18:00 ～ 20:30
②協議内容　ア　委嘱状交付
イ　会則（案）の審議
ウ　会長・副会長の指名
エ　学校経営方針・重点施策について
オ　意見交換

（２）第２回　①実施日時　平成２８年１２月１２日(月)19:00 ～ 20:45
②協議内容　ア　１・２学期の活動を振り返って
イ　創立７０周年の事業計画について
ウ　保護者アンケートについての説明
エ　意見交換

（３）第３回　①実施日時　平成２９年３月上旬に実施予定
②協議内容　ア　３学期の活動を振り返って
イ　次年度の計画について
ウ　意見交換

２　具体的な取組状況

（１）地域密着型教育推進事業

①入学式・卒業式および体育祭への参加
②学校便りの配付（年１０回）
③校地内草刈り及び樹木の剪定作業（５月）

（２）小・中学校ジョイントスクール

①「重点指導項目」にかかわる取組について
・重点指導項目①：「気持ちのよい返事や挨拶ができる」
挨拶については、児童集会・部活動単位・朝の挨拶運動等で取り組み、各校ごとに実態に合わせて意識の向上を図る指導を継続している。さらに、中学生が小学校に出向いて活動する挨拶週間を設け、一緒に活動しながら「気持ちのよい挨拶」ができるように取り組んだ。また、返事については「学習の約束」にも設定し、授業のみならず、様々な場面で場に応じた返事ができるように指導した。
・重点指導項目②：「話をしっかり聞き取ることができる」について
授業、行事、朝・帰りの会等で取り組み、意識の向上を図る指導を各校で継続している。
また、良好な人間関係を構築することが「話を聞く」上で重要なことと考え、生活アンケートやＱ－Ｕ検査のデータを活用して生活指導、人間関係づくりに役立てた。それらの指導により、内容を理解し、考えながら話を聞く能力の育成を図る取組ができた。姿勢についても「学習の約束」に掲げた。授業の中で集中して聞くことの一助となるように各学年の発達段階に応じてわかりやすい言葉に変換して提示して指導にあたった。
・重点指導項目③：「正しい言葉づかいで，はっきり話すことができる」について
言葉づかいについては概ねよいが、はっきり話すことについては不十分な点が多いので、授業、行事、朝・帰りの会等で取り組み、意識の向上を図る指導を継続している。「学習の約束」にも話すことと、話し方についての項目を設け、相手に伝わる話し方ができる指導に取り組んだ。

②その他の取組について
○５月３０日（月）・・・ＪＳ全体会及び組織会(於：中沢中学校)
中学校の授業公開、ジョイントスクールの全体会及び組織会を行った。中学校全クラスの授

業を公開し、授業の様子や中１の４月からの成長の様子を参観した。組織会では昨年度から行っている小中一貫しての「学習の約束」の見直しを図り共通理解するとともに、年２回のアンケート調査を行い、児童生徒の変容を確認して、今後の指導に生かすことになった。

○７月２９日（金）・・・部活動見学会(於：中沢中学校)

部活動見学会では、サッカー・ジャズバンド・卓球・バスケ・陸上の各部活の体験を２種類ずつ行った。（６年生３０名が参加）

○９月７日（水）・・・芸術鑑賞会(於：南郷文化文化ホール)

今年度の芸術鑑賞会は、青森県立八戸北高等学校南郷校舎閉校記念行事として行われた北部航空音楽隊によるコンサートに招待いただき、南郷地区の全小中学校と高等学校７校で鑑賞することができた。各校代表１名による指揮者体験などもあり、小中互いの頑張りを認め合い、温かい雰囲気の中で本物の吹奏楽の鑑賞することができた。

○１０月２１日（金）・・・第９回小中合同発表会(於：南郷文化ホール)

小中合同発表会を行った。全校歌唱と呼びかけ(南郷小)、全校合唱及びジャズバンド部演奏(中沢中）に加えて、賛助出演の島守中学校による和太鼓演奏と箏の演奏及び全校合唱が披露された。中沢中学校区だけでなく他の中学生の違うジャンルの演奏を聴くことができ、刺激をうけ今後の意欲につながる学びの場となった。

○ＪＳアンケート

７月と１２月に「重点指導項目」について同じ内容のアンケート調査を、児童・生徒、教師、保護者を対象に行い、その変容から取組や指導のあり方について協議し、次年度の実施内容や課題について話し合った。アンケートの結果から、今後はＪＳ事業についてさらに保護者の関心を高め、協力を得られるような取組を行ったり、現在の事業の改善を行っていく必要があることが分かったので、次年度の改善の１つとしていきたい。

○主題に関わって

上記の取組以外にも、中学生が小学校に出向いて一緒に朝のあいさつ運動を行ったり、小学校の行事に中学生が参加して一緒に活動した。それにより、３小学校から集まった児童・生徒、保護者、地域、教職員が様々な活動を介して互いの理解を深め、よい人間関係を構築できるよう活動した。

３　ボランティアの状況

（１）ボランティア登録現在数　　０人（保護者含む）

（２）今年度ボランティア保険加入者数　０人

４　成果と課題

（１）地域密着型教育の成果と課題

○成果

・地域学校連携協議会を通して学校に対する要望や地域の方々の願いを直接聞くことができ、教育活動の改善に努めることができた。また、学校の教育活動をよく理解していただくことができた。

○課題

・生徒をさらに理解していただいたり、生徒達が地域の一員として地域のために、地域とともに活動する機会の意図的な設定が必要と考える。

（２）小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

○重点指導項目①については挨拶運動を小中同時期に行ったことにより、挨拶に対しての意識が向上し、校内においても成果が現れていると考える。しかし、校外における挨拶や時と場に応じた挨拶という点では課題が残るので、さらなる取組が必要であると考える。重点指導項目②及び③については、「学習の約束」の取組方を明確にし、児童生徒の変容を見ながら、連携して取り組んでいきたい。

○学区が小学校１校、中学校１校になり、連携協力体制を取って事業を進めてきたが、まだ強固な関係には到っていないので、さらに連携を深める必要がある。

○３小学校の統合により、これまでの以上に小中の連携を図っていく必要があると感じる。保護者及び地域を巻き込んでの人間関係づくりや連携事業を考え、学区を挙げて取り組んでいきたい。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書
（連携校：島守中・島守小）

八戸市立島守中学校
校長　竹　花　和　人　　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

(1) 第１回　①実施日時　平成２８年６月　６日（月）19：00～20：30　於：島守中 (28年度事務局校)
②協議内容
・委嘱状交付
・会則・組織について
・会長・副会長指名
・学校教育方針の説明(小･中校長)
・地域学校連携協議会組織・年間計画について

(2) 第２回　①実施日時　平成２８年９月　８日（木）19：00～20：30　於：島守中
②協議内容
・地域との連携事業についての中間報告
・学校評価アンケート結果報告（６月実施）
・アンケート結果等をもとにした話合い

(3) 第３回　①実施日時　平成２９年１月２４日（火）18：30～20：00　於：島守中
②協議内容
・地域との連携事業についての成果と課題
・学校評価アンケート結果報告（６月・１２月実施）
事前に「小･中学校学校目標の重点」についてのアンケート結果の資料を送付し、御意見・御助言をいただいた。

２　上記以外の会議の実施状況

(1) 企画推進部会　①実施日時　平成２８年５月１７日（火）18:30～20:00　　於：島守中
・昨年度の振り返りと今年度の地域学校連携委員会のもち方
・昨年度の自己評価と学校関係者評価をもとにした改善の検討
・新委員の改選について

３　具体的な取組状況

(1) 地域密着型教育推進事業
①教育関連事業
・４月１６日　校外学習の支援（島守四十八社巡りの案内と解説）
・９月６日～９日　グッジョブ・ウィークの支援
（八戸市立南郷図書館・ローソン南郷市野沢店・サンデー市野沢店・西モータース）
・６月１４日～１７日　習字指導の支援
・９月１７日　絵手紙教室の支援
・７月１９日・８月２９日・１２月１５日　　家庭科の授業への支援　～食育教室～
②環境事業
・４月１５日　地域清掃（地域のゴミ広い）
・５月２９日　早朝奉仕作業（草刈り，枝打ち，窓ふき早朝作業）　６６名参加
・６月　２日　虚空蔵山清掃（こくぞう山参道、境内等の掃除）
・７月１０日　除草剤散布（ＰＴＡ環境委員）　９名参加
・８月　７日　早朝奉仕作業（草刈り，枝打ち，窓ふき早朝作業）　５５名参加
・８月１８日　資源回収（空瓶、アルミ缶回収）　５０名参加
・10月１６日　環境整備作業（窓拭き・草刈り）　５５名参加
③文化事業
・８月　４日　丑の湯まつり（アトラクション発表、ボランティア活動）
・10月７日～２２日　　文化祭えんぶり練習、当日の発表（指導：荒谷えんぶり組）
④交流・連携事業
・６月３日・７月２８日・１１月９日　　小・中学校ジョイントスクール事業（３回）
・５月２２日　小・中学校合同大運動会の準備・片付け並びに島守音頭での交流

(2) 小・中学校ジョイントスクール

①重点指導項目に関わる取組

重点指導項目①「規則正しい生活をする。(早寝・早起き・朝ご飯)」

各校で生活の記録や生活習慣のアンケートを実施し、生活改善のアドバイスを行った。

重点指導項目②「場に応じたあいさつや受け答えができる（あいさつ・受け答え)」

児童・生徒によるあいさつ運動を毎日行う。受け答えについてはその場で指導する。

重点指導項目③「予習、復習、読書など家庭学習に計画的に取り組むことができる。」

生活の記録や連絡帳を利用したり、学級だよりを発行し、保護者との連携を取った。

②その他の取組

・授業の流れを押さえた板書計画

目標は青で、まとめは赤で囲むというように、共通項目を確認し実践した。

・特別支援教育の視点を生かした授業づくり

板書の工夫や授業の流れがわかる工夫など、積極的に取り入れた。

4　ボランティアの状況

(1) ボランティア登録現在数　　０名（保護者と地域の関係者全員が応援隊）

(2) 今年度ボランティア保険加入者　　３名（地域密着型教育の予算で加入）

5　成果と課題

(1) 地域密着型教育の成果と課題

①成果

・第１回地域学校連携協議会開催の前に企画推進部会を開催し、組織・会則の見直し、委員の選定、事業計画や運営のあり方について打ち合わせを行った。また、オブザーバーとして企画推進部委員（小・中ＰＴＡ副会長）にも声をかけ、協議会の内容を把握していただいた。

・地域学校連携協議会を実施することで、地域の代表や保護者等の代表からの学校運営への意見や願いを聞くことができて、自校の教育活動を振り返ることができ、学校評価を生かせるようになった。また、教育方針や教育活動の概要を説明することで、学校の教育活動全般への理解や協力を得ることができた。

・１学年の「総合的な学習の時間」で、「地域に学ぶ」というテーマで学習した。その際には地域の方が講師となり、案内や説明を行っていただき、探究的に学習することができた。

・各種事業への参加に伴って、生徒や保護者の学校・地域社会に対するボランティアの意識が高まった。

②課題

・島守小・中学校地域密着型教育推進事業では、保護者・地域住民・教職員が「島守ふるさと応援隊」として、生徒たちのためにボランティアを引き受ける組織になっている。地域密着教育を通して、さらに効果的に機能させていくために、学校行事やＰＴＡ行事、日常の教科等の授業において協力していただく場面をさらに広げていくことが大切である。そのために、年間の見通しをもって，地域の教育力を活かすように活用の工夫を図りたい。

・委員の方々に対しては、日常の生徒の様子をみる機会が少ないので、学校行事や参観日や講演会などにお出でいただくよう案内を送付し、情報発信を行っている。いろんな場面で生徒の普段の姿を理解していただいた上で、協議会で意見を話していただけるよう情報発信を充実させていきたい。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

①成果

・学習連携部会、生活指導部会の中で、児童・生徒の実態把握、家庭学習の時間や宿題について、生活のリズムやゲーム・ＴＶ等について情報を共有した。また、ゲーム・ＴＶ等は家庭でルールを決めて利用するなど具体的な取組を行った。

・小、中学校で授業については、９年間を見通し、授業の決まり（目標は青で囲む、まとめは赤で囲む）を確認し、全職員で取り組んだ。

②課題

・生活リズムや家庭学習に関して、学習時間やゲーム・ＴＶの時間の管理など保護者の協力が不可欠な部分がある。保護者への呼びかけや協力を仰ぎ、見通しをもった取組ができるように協力を働きかける必要がある。

・地学連携協議会との連携を深めた深めた取組や協力体制について検討していきたい。

平成28年度「地域密着型教育」「ジョイントスクール」報告書

八戸市階上町学校組合立田代小中学校
校長　本　間　孝　浩　印

１　地域学校連携協議会の実施状況

（1）第１回　　①実施日時　平成２８年６月２日（木）
　　②協議内容　委嘱状交付、学校経営方針、今年度の学校目標の説明、取組状況
（2）第２回　　①実施日時　平成２９年２月２２日（水）
　　②協議内容　今年度の学校取組状況、閉校・統合準備の進捗状況

２　上記以外の会議の実施状況

（1）閉校統合準備委員会　①実施回数　３回
　　②協議内容　閉校記念式典運営、閉校記念誌編集、統合先との交流

３　具体的な取組状況

（1）地域密着型教育推進事業
① 環境整備　５月１５日（日）校庭除草と通学路へのひまわり種植え、花壇整備９２名参加
　　１０月２３日（日）式典用駐車場整備、樹木枝の切り払い、通学路除草５３名参加
② 安全確保　冬期間の通学路除雪　ＰＴＡ役員をはじめ地域住民による除雪機での通学路確保

（2）小・中学校ジョイントスクール
①重点指導項目に関わる取組
□読書、挨拶、返事、行動＝読み聞かせ、ランチルームでの合同給食
□整理整頓＝運動会・文化祭・奉仕活動等での合同準備後始末活動
□感謝の心＝閉校式典・閉校記念誌作成の作業
□粘り強い努力＝運動会応援合戦・登山遠足

②その他の取組
□合同集団登校とその出迎え引率（毎朝のバイパス横断見守り活動）
□毎月の合同職員会議での生徒指導上の情報交換

４　ボランティアの状況

（1）ボランティア現在数　　１７９人（保護者含む）
（2）今年度ボランティア保険加入者数　　０人

５　成果と課題

（1）地域密着型教育の成果と課題
・閉校の年を地域に支えられながら、閉校記念式典など多数の行事を通じて、児童生徒たちが地域への感謝と誇りを実感できた。子どものより良い学習環境を求めての苦渋の選択ではあったが、地域の絆のシンボルであった田代小中学校が閉校となることでの地域の痛手は計り知れないものがあり、地域住民の落胆はあまりにも大きい。来年度以降の地域コミュニテイーの維持にどのような方策があるか住民の模索が続くと思われる。
・島守小島守中との交流活動は順調に進んでおり、児童生徒は温かく迎えられ４月からの生活へ

の不安はしだいに解消されている。統合後も意欲的に学校生活に取り組めるよう、綿密な引き継ぎ資料作成を行っている。

(2) 小・中学校ジョイントスクールの成果と課題

・９年間を見通した「育ちの道しるべ」をもとに小学校中学校の職員が合同で校内研修や生徒指導情報交換を日常的に実施した。小中の全職員が児童生徒の指導に当たることを基本にしており、小中並置校として他の学校では経験できない経験を職員も実感できた。





3章　地域密着型教育研修会資料

地域密着型教育研修会

講師　特定非営利活動法人まちと学校のみらい　代表　竹原 和泉 氏

・・・・・ 143





平成28年度　地域密着型教育研修会　　八戸市教育委員会

地域とともにある学校の推進のために

特定非営利活動法人まちと学校のみらい　代表
竹原　和泉
itakehara@npofocas.org

今日お話しさせていただくこと

■なぜ、
地域とともにある学校を推進するのか？

■地域とともにある学校の姿ー事例紹介ー

■地域とともにある学校を推進するために

なぜ、地域とともにある学校を推進するのか？

子供のみらいのために



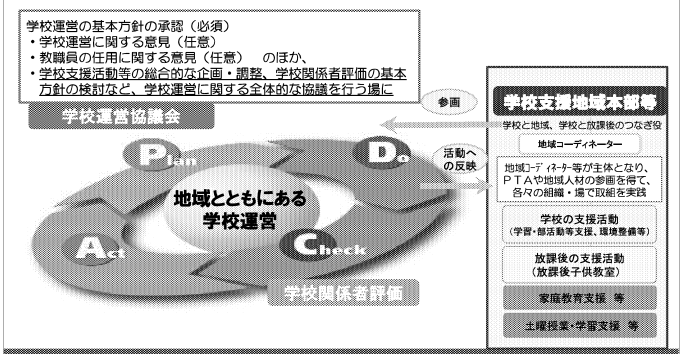
つながりの中で育つ

時間・・・高校・中学・小学校・・・

子供の成長

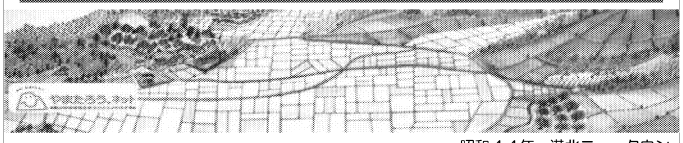
空間　学校・家庭・地域・・・

コミュニティ・スクールと学校支援等の取組との一体的推進



地域とともにある学校の姿ー事例紹介ー

事例紹介：横浜市立東山田中学校



昭和４４年　港北ニュータウン

コミュニティスクールとして平成17年開校



学校運営協議会

- 教職員との懇談
- 生徒会本部役員との懇談
- 学校支援地域本部と連携・協働
- 小学校3校と小中一貫教育の推進
- 授業参観・視察・研修
- 学校関係者評価の実施

最大の応援団

辛口の友人

＜学校運営協議会　委員＞
地　　域　　各町内会代表　民生委員・児童委員
　　小学校ＰＴＡ会長
　　学校・地域コーディネーター
保　護　者　　中学校ＰＴＡ会長・保護者代表
学識経験者　　シンクタンク役員・NPO代表
　　コミュニティハウス館長・小学校長
教育委員会が適当と認める者　中学校校長・副校長
＜アドバイザー＞　大学教授
＜事務局＞　中学校代表主幹教員

人と情報をつなぐ場　コミュニティハウスや地域交流室

- 子どもも大人も一緒につどい学ぶ場
- 地域と学校をむすぶ場
  東山田中学校区学校支援地域本部事務局を設置





中学校の中庭に面した
380㎡の市民利用施設
年間3万8000人が利用

ある日のサロン



土曜クラブ



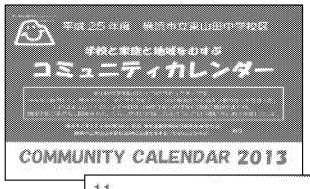
おやこのひろば

地域の縁側

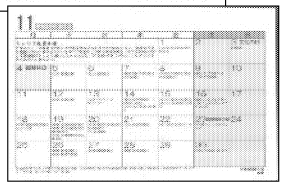
地域と学校をむすぶために 3つの共有

学校だより ホームページ コミュニティカレンダー 人が運ぶ情報	教育目標 地域への思い 課題意識	コーディネート 地域連携担当 地域コーディネーター
⇧	⇧	⇧
情報の共有	思いの共有	アクションの共有

学校支援地域本部



情報の共有





小中学校４校と地域の情報
現在は現役世代のボランティアが作成

学校支援地域本部

- 中学校区のシンボル**やまたろう**

思いの共有



地域で投票し、楽しんで普及







やまたろうです。よろしく！
わたしたちのまちのシンボルマークです。
東山田中学校区はひとつのコミュニティです。
まちのみんなで協力して、住みやすく、
子どもたちにとっても、大人にとっても良い環境を、
つくりたいと思っています。

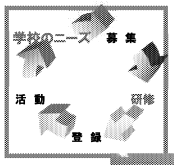
やまたろう本部　やまたろうNET　やまたろう会議
やまたろうBOSAIキャンプ　やまたろうバック

学校支援地域本部

- 学校支援ボランティア

アクションの共有

■主なコーディネート：社会科見学付き添い
　プール見守り・宿泊体験補助・図書貸出・あかちゃん体験など
■すでにある学校支援活動との関係も大切に
　グリーンサポーター・読み聞かせ・見守り活動など
☆大切にしたいこと　①学校のニーズ・社会課題
　②スキルとともにマインドを



- 岩手県などとの交流



学校支援地域本部

- 中学校　キャリア教育

アクションの共有

1年生 プロに学ぶ
30人の若いプロ



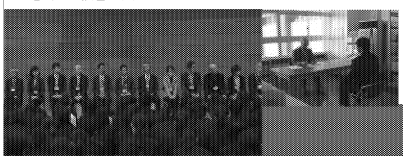
2年生　職場体験
100ヶ所の事業所へ





リクルート社の社会貢献活動
によるタウンワーク作成

3年生　模擬面接
地域の面接官30人





キャリア教育にかかわる大人の交流会
その後卒業式へのご招待

コミュニティスクールとして11年

どのような成果があったか？

- 学校への理解が深まった。
- 多彩なアドバイスを学校運営に反映できた。
- 教育内容が充実し、教職員の負担が減った。
- 中学生の地域でのボランティアが活発になった。
- 問題が起こった時、タイムリーに対処できた。
- 学校を核に地域の企業や人がつながった。
- 防災をテーマに地域の活動が広がった。
- 学校運営に継続性が高まった。

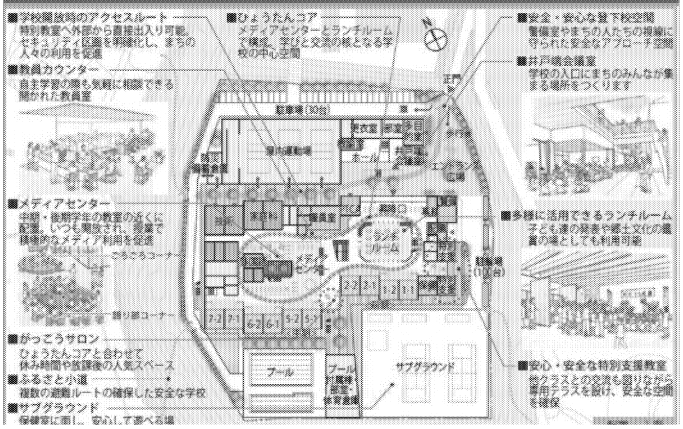


事例紹介:岩手県　大槌学園





大槌学園　新校舎予定図



地域とともにある学校を推進するために

小中一貫校　大槌学園として

「ふるさとを創り、ふるさとに生きる」子どもを育む

1 「ふるさと科」の創設　9年間を貫く3つの柱
①伝統文化を学ぶ　②キャリア学習　③防災学習

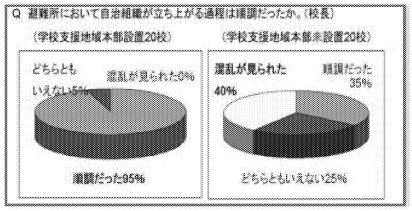
2 地域コーディネーターの活動

3 学校運営協議会立ち上げ

地域とともにある学校　震災時の様子

震災後、日ごろから地域とつながり、コーディネーターが活躍していた学校は、避難所において自治組織が順調に立ち上がった

地域コーディネーターの役割
① 住民と行政の橋渡し役
② 住民自治組織のリーダー
③ 教員のサポート



(平成23年　宮城県内の小中学校での文部科学省聞き取り調査結果)

学校と地域　―連携・協働のポイント―

- テーマでつながる
  地縁組織とテーマコミュニティ
- コーディネーターがつなぐ
  地域の活きた情報は人が運ぶ　情報源情報が大切
  地域連携担当教職員と地域コーディネーター
- イコールパートナーとして
  「一緒にやってみましょう！」を合言葉に
- プロセスを共有
  日常のコミュニケーションを大切に



大人も学ぶ

異なった文化・価値感に出会い
それぞれの役割を確認し、強みを活かし
「地域とともにある学校」として協働するために

■学校　教員養成段階から管理職まで
「地域とともにある学校」のための学びを
■家庭　当事者意識の醸成を
■地域　学校運営協議会委員
学校支援ボランティア
地域コーディネーター
企業も首長部局も新しい学びを

これからの学校を理解する

社会課題に向き合う



たとえば
九九ができたら・・・
基礎学力があれば次のステップにすすめる
小学校1年生から3年生を対象に
やまたろうクラブをスタート

社会に開かれた教育課程

何を知っているか・何ができるか
知っていること・できることをどう使うか
どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

チームとしての学校

校長の監督の下、教育活動にかかわる。
○ 多彩な専門人材が参画
スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー
地域連携担当教諭（仮称）
など
○学校のマネジメントが組織的に行われる体制

教職員は学習指導と児童生徒指導に注力できる環境を！

学校は地域コミュニティの核

子供たちのために学校をよくしたい、
良い地域をつくりたい、
という「志」が集まる学校へ



多くの人々が「当事者」として行動する。
地域とともにある学校 ・コミュニティスクール

子供のみらいのために



まちのみらいのために

４章　実践発表会資料

＜地域密着型教育＞

江南小学校　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　147

柏崎小学校　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　157

＜小・ジョイントスクール＞

第二中学校　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　162

三条中学校　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　167









地域密着型教育推進事業
実践研究発表

協働による教育の質の向上
～　確かな学びと豊かな育ちを保証するために　～

平成２９年１月２７日
八戸市立江南小学校
学校支援コーディネーター（西澤 ナミ子）

江南小学校の紹介



馬渕川のほとり、根城の史跡にいだかれ、自然豊かな環境

- 昭和　５４年開校１５学級４８１名
- 平成　２８年度　　６学級１０５名

馬渕川の　流れ光り
江南に　希望は燃え
梅映えて　よき友つどう

根城古く　代代と伝え
江南に　はばたく夢
大いちょう　そびえて高し

橋の　古きたとえは
いまもなお　ここに栄えて
香ぐわしく　学び舎はたつ
ああ　わが江南

江南小学校

地域密着型教育推進事業への経緯



- 平成２２年度
  学校支援地域本部事業開始
  「八戸市立根城中学校区地域学校連携協議会」
- 平成２３年～２６年度
  「八戸市立江南小学校地域学校連携協議会」
- 平成２７年度
  地域密着型教育推進事業へ移行

八戸市立江南小学校地域学校連携協議会組織図



協働による教育の質の向上
～　確かな学びと豊かな育ちを保証するために　～

願いの共有　情報の共有　責任の共有　学びの共有

学校運営基本方針の決定

説明
助言・評価

地域学校連携協議会
・保護者　・住民
・地域諸団体代表
・教職員等

教職員





コーディネーター・教頭

運営企画会

各支援（現在の組織・活動を生かして）
○教育活動　○環境整備　○安全対策　○交流連携

参画・支援



情報発信
地域貢献



地域住民・保護者　等

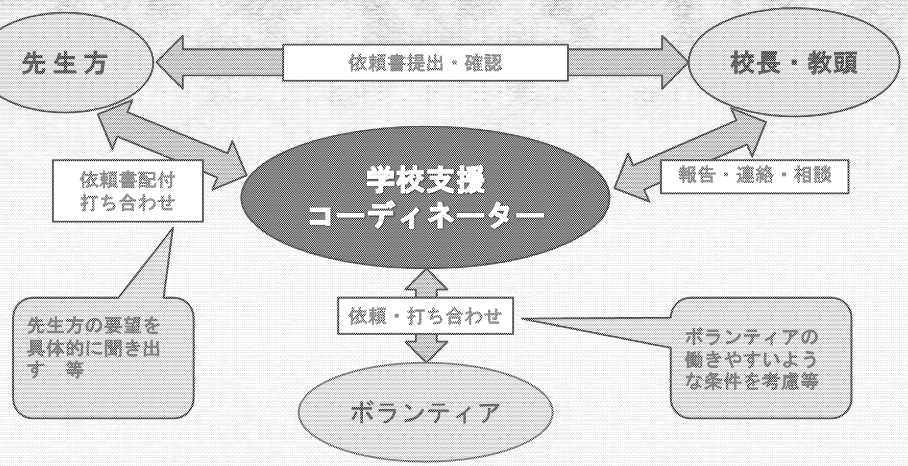
教育支援ボランティアの取組について

学校・家庭・地域が連携・協力し、
子どもたちに「確かな学び」と「豊かな育ち」を！

支援ボランティア登録人数
- **江南小学校の全保護者　　７８名**
- **地域ボランティア　　６０名（４０名）**

４月～１２月までのボランティア活動のべ人数　　４２０名

依頼から活動当日までの流れ



教職員への依頼書

地域密着型教育コーディネーターの活動について

学校支援ボランティア依頼書

時　期	支援して欲しい内容
/～2学期	プール補助
2～3学期	スケート補助
/0月	学習発表会（？）
3学期	音の通び

先生方 ―→ 教頭先生 ―→ 地域密着型コーディネーター

ボランティア募集の案内

読み聞かせをしてみませんか？

図書ボランティアの活動と募集について

図書ボランティア１学期の活動日程

図書ボランティア申込書

ボランティアさんへの活動内容の案内

夏休みプール監視補助のお願い

江南小学校では夏休みに学校のプールを児童に開放していますが、プール開放のためには他学校より数の監視員が必要となります。これまでPTAの保護者が交代で監視してきましたが、保護者が中心となってしまうと、どうしても、保護者が行ける監視員日程などのためプールが開けない日もでてきました。

そこで、今年も元気な夏休みを迎え、プールを楽しめるよう、地域の方々の力をお借りしたいと思います。ご多忙中、また暑の厳しい時、大変恐縮ですが、よろしくお願い致します。

《お願いしたい日時》

期間の日時のうち、都合の良い日。
諸事情により中止になる場合には、学校からご連絡します。

《お願いしたい内容》

・プールサイドでの見守り
・ビート板の貸出
・プール仕様者の名前チェック　　など
担当の先生の指示にしたがってください。

《連絡先》

・当日都合が悪くなった場合は江南中学校のプール当番の先生までご連絡ください。

江南小学校　０１７８－４６－２４３１

・前日までの連絡は、コーディネーターの対村までご連絡ください。

西澤ナミ子　０９０－７６６３－６２８２

「江南あったか交流」協力員のお願い

●「江南あったか交流」とは

●「江南あったか交流」のねらい

●日　時

●お願いしたい内容

学校ボランティアコーディネーター
西　澤　ナミ子
下　村　京　子

連絡先：八戸市立江南小学校　４６－２４３１（６学年担任　高橋）
コーディネーター西澤　０９０－７６６３－６２８２

コーディネーター予定表
９月

	月	火	水	木	金
				1	2
西　澤					15:30～
下　村				10:00～ 図書ボランティア	
	5	6	7	8	9
西　澤			15:30～		
下　村				読み聞かせ	
	12	13	14	15	16
西　澤		14:00～	18:00～ 地域連携協議会		
下　村			18:00～ 地域連携協議会	10:00～ 図書ボランティア	
	19	20	21	22	23
西　澤	敬老の日		9:00～ 江南あったか交流	秋分の日	
下　村	敬老の日		9:00～ 江南あったか交流	秋分の日	
	26	27	28	29	30
西　澤				15:00～	
下　村				10:00～ 図書ボランティア	

・毎月予定表を職員室内２カ所に掲示し、先生方と連絡が取りやすいようにしています。

・予定日以外でも随時対応しています。

活動報告

＜通年＞

・部活動の支援（バスケットボール部）２名

・読み聞かせ　４月～３月（年１０回）　のべ６０名
　・毎月第２木曜日　朝８：１５～８：３５
　・各学級に１人ずつボランティアさんが入り読み聞かせを行う
　※３月には読み聞かせボランティアとの意見交換会実施

・図書ボランティア　４月～３月（全３０回）　のべ１２５名
　・毎月第１・３・５木曜日　１０：００～１２：００
　・本の修繕、図書室の装飾（季節の飾り制作）
　・廊下・中央階段踊り場の装飾

教育活動支援		
月日	内　容	人　数
6/23	3年生 総合・三社大祭の課題	1名
6/3-9/8	1年生 体育・プール授業補助	のべ10名
9/21	6年生 総合・あったか交流	10名
11/11,18	5年生 家庭科・ミシン授業補助	のべ12名
12/19～	1・2年生 体育・スケート授業補助	のべ3名
1/30	3年生 総合・えんぶり講話，指導	2名
2/9	1年生 生活科・昔の遊び	5名
環境整備支援		
5/15	環境整備	170名
6/6	プール掃除	15名
学校行事の支援		
4/7	入学式手伝い	10名
5/21	連盟会補助	20名
7・8月	夏休みプール監視補助	のべ15名
10/6～	学習発表会道具作り	のべ6名
10/28	江南なかよしウォークラリー	6名
2・3月	雛人形飾り付け・片付け	のべ8名
3/17	卒業式手伝い	10名

活動の様子

読み聞かせボランティア　年１０回



図書ボランティアによる装飾・修繕



学校図書館支援事業によるボランティア研修会の実施

階段踊り場の装飾



３年三社大祭授業



３年えんぶり授業


１・２年水泳指導
５年ミシン授業


6年あったか交流


学習発表会道具作り


環境整備・プール清掃
大運動会
夏休み中のプール監視活動にも地域の方がボランティアで協力

合同キャンプ



子ども会活動・地域行事への児童・保護者の参加は増加

通信「つどい」



４校合同通信「ねこたね」編集会議



・根城中学校区の４校（根城小学校・江南小学校・田面木小学校・根城中学校）が合同で、年２回の通信を発行しています。
通信は保護者はもちろん、根城地区・田面木地区の町内回覧も行っています。
※全カラー印刷で配布

・通信発行のため、定期的に会議を開き情報交換も行っています。

・ボランティアの紹介、又、ボランティアの共有も行っています。

４校合同通信「ねこたね」



《 取組の成果 》

コーディネーター・ボランティアから

・ボランティアを快く引き受けて下さり、楽しみにしていてくれている。
・少しずつではあるが、ボランティアの数は増えている。
・声をかけてもらって嬉しい。
・自分達もまだ必要とされている、役に立てるという事が励みになる。

教職員から

・色々な世代の方と関わる事で、子ども達の心が豊かになる。
・地域の方々が来校する事により、挨拶・礼儀などが身につく。
・個の実態に応じたきめ細かな指導が可能になるので、子ども達も喜んでいる。
・安全面での配慮が行き届くので安心であり、大変ありがたい。
・子どもたちへのかかわり方が適切で、授業・活動を円滑に進めることができる。

《 今後の課題 》

・新しいボランティアの人材確保

・ボランティア活動の紹介・通信の定期発行をし、周知を図る。

・ボランティア同士の顔合わせ会等、親睦を深める機会を作り、活動しやすい雰囲気づくりに努める。

・コーディネーターの引き継ぎ、人材確保



平成２８年４月２０日

江南小学校教職員　各位

地域密着型教育コーディネーターの活動について

江南小学校
地域密着型教育コーディネーター
西　澤　ナミ子
下　村　栄　子

昨年度は、「八戸市地域密着型教育推進校」としての活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今年度も昨年度同様、学校の取り組みをサポートして参ります。
つきましては、今年度学校支援ボランティアに依頼したい事案がありましたら、別紙に記入の上、５月１０日（火）までに、教頭先生にお渡しいただくようお願いいたします。年間の活動計画の目安にしますので、現時点で細かい内容が未定でもご記入ください。
以上、よろしくお願い申し上げます。

＊参考までに、これまで学校支援本部が携わった事業の例をあげておきます。

〈学習支援〉
・１年生　プール補助、スケート補助、昔の遊び、交通安全教室見守り
・２年生　野菜作り補助
・３年生　三社大祭のお話、畑見学、えんぶりのお話と踊り指導
・中学年　体育のダンス指導
・５年生　ミシン補助、安全マップ作り見守り
・６年生　「江南あったか交流」
・読み聞かせ

〈学校行事〉
・学習発表会　劇大道具・小道具・衣装作り
・集団下校見守り
・スケート大会補助

〈環境整備〉
・下足箱・サッカーゴール・「壁面のつどう江南」ペンキ塗り
・樹木の枝切り
・図書室整備
・入学・卒業の壁面装飾（中央階段踊場）
・プール清掃
・ワックスがけ
・除草剤散布
・校庭の樹木のネームプレート作成

学校活動に関する内容であれば対応可能ですので、気軽にコーディネーターにご相談ください。

学校支援ボランティア依頼書

＜　1　学年＞

No.＿＿＿

時　期	支援してほしい内容
1～2学期	プール補助
2～3学期	スケート補助
10月	学習発表会（？）
3学期	昔の遊び

先生方 ⟶ 教頭先生 ⟶ 地域密着型コーディネーター

江南小学校学校支援センター

読み聞かせをしてみませんか？

江南小学校では、現在９名のボランティアの方が読み聞かせをして下さっていますが来年度から新たに子どもたちに読み聞かせをしてくださる方を募集します。

ご自身がお好きな本、子どもたちに触れてほしい本、南部の昔話などを子どもたちに聞かせて下さいませんか。

保護者の方以外でも、お友達、近所の方などで興味のありそうな方にもお声をかけて下さるようにお願いします。

読み聞かせは、下記のとおり行っています。

興味のある方は、２月９日（木）に読み聞かせを行いますので、見学においでください。

記

日　　程　：　毎月１回木曜日
　　＊毎月でなくても、都合の良い月だけで結構です。
時　　間　：　８：１５～８：３５
対　　象　：　学年ごとに教室で行います。

◎お問い合わせは教頭先生までお願い致します。（江南小学校：４６－２４３１）

読み聞かせボランティアに協力出来ます。

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　児童氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

平成２８年６月２日

各　位

江南小学校地域密着型推進事業
コーディネーター　西澤　ナミ子
　　下村　栄　子

図書ボランティアの活動と募集について

新緑の季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
今年度も、地域密着型推進事業へのご協力をお願い致します。
さて、１学期の図書ボランティアは下記のような日程で活動をすることになりましたのでお知らせ致します。あわせて、図書ボランティアを募集しますので、ご協力いただける方は下記の申し込み書に記入のうえ、６月９日（木）までに学級担任に提出をお願い致します。

図書ボランティア１学期の活動日程

★活動日　６月　２日（木）・１６日（木）・３０日（木）
　　７月　７日（木）・２１日（木）
　　８月２５日（木）
　　※１０：００～１２：００
　　※基本的に、毎月第１、第３木曜日に活動します。

★学校司書来校日　６月２日（木）・７日（火）・９日（木）・１４（火）
　　9:00~14:00　9:00~11:00　9:00~13:00　13:00~16:00
　　２３日（木）・３０日（木）
　　10:00~14:00　9:00~12:00

　　７月１２日（火）・１３日（水）・２６日（火）
　　9:00~12:00　13:00~16:00　12:00~16:00

　　８月１８日（木）・２３日（火）・３０日（火）
　　9:00~13:00　9:00~12:00　9:00~13:00

★場　所　江南小学校図書室・２階相談室
★内　容　図書室の装飾、本の登録・修繕など



※都合の良い日、良い時間だけで大丈夫です。
初めての方でもすぐ出来る簡単な作業です。

---------- きりとり ----------

各学級担任→教頭→コーディネーター

図書ボランティア申込書

図書ボランティアに協力します。

年　組　生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

協力者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連　絡　先　（TEL）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（個人情報は図書ボランティアの活動のみに使用します。）

夏休みプール監視補助のお願い

江南小学校では夏休みに学校のプールを児童に開放しています。プール開放のためには決まった数の監視員が必要となります。これまでＰＴＡの保護者が交代で監視してきましたが、児童数が少なくなっているところから、保護者だけでは監視員不足のためプールが開けないおそれがでてきました。

そこで、子どもたちが夏休みに十分にプールを楽しめるよう、地域の皆様の力をお借りしたいと思います。ご多忙中、また夏の暑さ厳しい折、大変恐縮ですが、よろしくお願い致します。

《お願いしたい日時》

別紙の日程のうち、都合の良い日。
悪天候により中止になる場合には、学校からご連絡します。

《お願いしたい内容》

・プールサイドでの見守り
・シャワーの開閉
・プールに来た子どもの名前チェック　　など
担当の先生の指示にしたがってください。

《連絡先》

・当日都合が悪くなった場合は江南小学校のプール当番の先生までご連絡ください。

江南小学校　０１７８－４６－２４３１

・前日までの連絡はコーディネーターの木村までご連絡ください。

西澤ナミ子　０９０－７６６３－６２８２

「江南あったか交流」協力員のお願い

●「江南あったか交流」とは

総合的な学習として、江南小学校の６年生が地域の高齢者宅を訪問して交流活動を行います。

●「江南あったか交流」のねらい

①　高齢者との交流を通して、共に生きることの大切さに気付き、これからの自らの生き方や生活の在り方について考えることができるようにする。【いのち】
②　地域の高齢者との交流を通して、お互いに心が温まるようなかかわり方を考え、日常生活においても積極的にかかわろうとする態度を育てる。【ふるさと】
③　自分が体験したことや学んだことをもとに高齢者の立場や気持ちを考えながら自分なりの課題をもち、その解決に向けて進んで行動しようとする態度を養う。【はたらく】

●日　時

９月２１日（水）　９：２５　江南小学校図書室集合
９時４０分に江南小学校を出発して、徒歩で高齢者のお宅まで伺います。

●お願いしたい内容

①高齢者宅まで児童を連れて行く。
②高齢者宅で交流活動の見守りと写真撮影（カメラは学校で用意します）。
③１時間ほど経ったところで交流活動を終わらせ、学校まで児童を連れて帰る。

・学校に戻った後、活動についての感想を聞かせて頂きたいと思いますので、図書室で待機していただくようにお願いします。
・活動の内容や使う物については子どもたちが用意していきますので、協力員さんの方で準備していただくことはありません。

核家族化が進み、６年生１７名のうちおじいさん・おばあさんと一緒に暮らしている子どもは６名のみです。この取り組みが、地域の高齢者の皆さんと子どもたちとの交流のきっかけとなればと願っています。ご協力よろしくお願い致します。

学校支援コーディネーター
西　澤　ナミ子
下　村　栄　子

連絡先：八戸市立江南小学校　４６－２４３１（６学年担任　高橋）
コーディネーター西澤　０９０－７６６３－６２８２

柏崎小学校地域学校連携協議会
教育活動部会の取組

～「夏休み学習会」
「読み聞かせボランティア」～

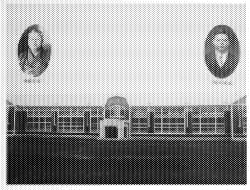
「地域密着型教育推進事業」実践研究発表会
平成29年1月27日　八戸市総合教育センター
柏崎小学校地域学校連携協議会

1



昭和11年　1936年開校

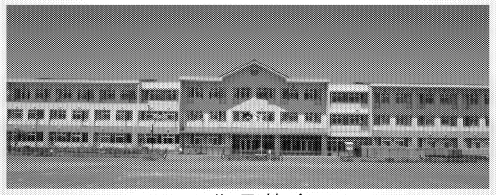
2



初代校舎



二代目校舎



三代目校舎



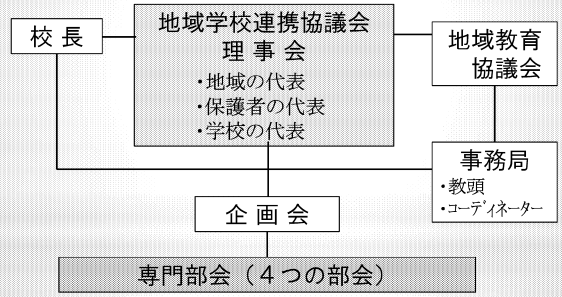
モデル校指定当時のリーフレット







八戸市立柏崎小学校地域学校連携協議会の仕組み



6

ある理事より「子どもたちの地域におけるあいさつも」

↓

学校目標の重点施策の一つ
［地域に広がるあいさつ］

↓

地域の方々より「子どもたちの地域でのあいさつが
よくなってきた」

↓

ある理事より「地域のわれわれも、子どものあいさつに
きちっとかえしましょう」

↓

柏崎地区連合町内会の重点　［あいさつ］

学校を核とした地域づくり

7

専門部会（４つの部会）

交流連携部会	環境整備部会	安全安心部会	教育活動部会
＜連携行事＞	＜校舎外環境整備＞	＜校外安全安心＞	＜学習支援＞
＜校種間連携＞	＜校舎内環境整備＞	＜学校安全安心＞	＜愛好会支援＞

8

交流連携部会 ＜連携行事＞



区民運動会での「入場行進」



9 区民運動会での「柏崎音頭」

交流連携部会 ＜連携行事＞



短歌・俳句を応募した
「芭蕉堂祭り」（町内会主催）



新井田川沿いを歩く「親と子の
ウォークラリー」（青少協主催）

交流連携部会 ＜校種間連携＞



園児を招いての
「お祭り広場」



11 園児の「小学校体験」

交流連携部会 ＜校種間連携＞



６年生の
「中学校授業参観」



12 八戸聾学校との「交流学習」

環境整備部会 ＜校舎外環境整備＞



草取り奉仕活動



13 側溝砂上げ活動

環境整備部会 ＜校舎外環境整備＞



ニス塗り



14 資源回収

環境整備部会 ＜校舎内環境整備＞



図書室整備・図書の修理



15 校内清掃

安全安心部会 ＜校外安全安心＞



集団下校訓練



地区防犯協会
16 安全パトロール協議会

安全安心部会 ＜校外安全安心＞



地域参加の「校外子ども会」



17 類家交番所長も参加

安全安心部会 ＜学校安全安心＞





交通少年団による「街頭活動」

18

教育活動部会 ＜愛好会支援＞



19

教育活動部会 ＜愛好会支援＞



愛好会保護者説明会



20 愛好会活動中の避難訓練

夏休み学習会 ７年目

【趣旨】
○下学年の居場所の確保
○学習習慣の継続
○異学年や高校生との交流



【コーディネーターとして】
○ボランティアの募集や配置への配慮
○学校、教育活動部会、関係機関等
　との連携調整（コーディネート）

21

夏休み学習会









22

夏休み学習会 楽しい音読・読み聞かせ







23

夏休み学習会 楽しい音読・読み聞かせ

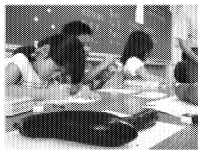
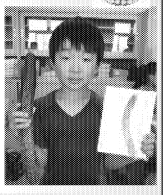
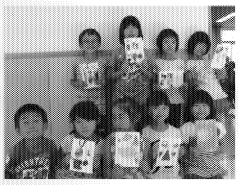






24

夏休み学習会　絵手紙教室


25

夏休み学習会　英語で遊ぼう






26

夏休み学習会　英語で遊ぼう






27

夏休み学習会　八戸東高等学校生徒さんと






夏休み学習会　大正琴演奏体験






29

夏休み学習会　いのちの教室






30

夏休み学習会　リズム体操・スライム作り






31

読み聞かせボランティア　10年目

「かしわ お話の たまご」






32

読み聞かせボランティア

「かしわ お話の たまご」



【内容】
○毎月、朝自習の時間帯
○下学年・上学年に分けて
○「かしわ お話の たまご」メンバー
・ＰＴＡ
・ＰＴＡのOB,OG
・地域の方々、地域外の方々も

33

読み聞かせボランティア　「かしわ お話の たまご」

入学おめでとう読み聞かせ会







34

読み聞かせボランティア　「かしわ お話の たまご」

入学おめでとう読み聞かせ会







35

読み聞かせボランティア　「かしわ お話の たまご」









36

読み聞かせボランティア　「かしわ お話の たまご」



37

ボランティアの集い



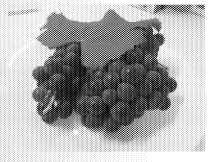


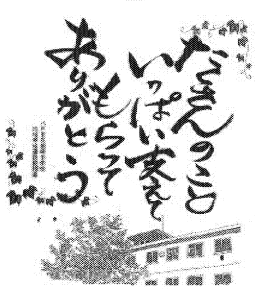




38







39

平成28年度
小中JS・地域密着型教育実践発表会

八戸市立第二中学校区
ジョイントスクール事業研修会

平成29年1月27日（金）
八戸市総合教育センター

◇第二中学校　全校生徒296名
・特別支援（難聴5名、情緒3名、知的4名）

◇八戸小学校　全校児童262名

◇城下小学校　全校児童251名
・特別支援（難聴3名、情緒6名、知的4名）

第二中学校区ジョイントスクール

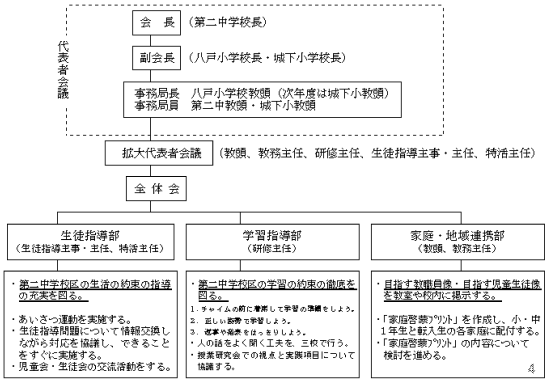
研修主題：
発達段階に応じた、基本的な生活習慣及び望ましい学習態度の育成を図る小中連携の在り方（2年次／3年）

第二中学校区一貫指導の重点指導項目

（児童生徒）■教師や友達に、自分の意思をはっきりと伝えることができる。
■教師や友達の話をしっかりと聴くことができる。

（教職員）■授業や様々な場面で、自分の意見をもたせ発表する場面を保障する。
■魅力的な話し方・内容を工夫する。

第二中学校区ジョイントスクール



第二中学校区ジョイントスクール

平成27年度　第二中学校校内研修主題
「すべての生徒が参加できる授業のあり方
～特別支援教育の視点を生かして～」

各学級の生徒の様子や今後の授業の進め方・支援のあり方について、大石先生から指導

・教師の声掛けや板書の工夫
・授業におけるユニバーサルデザイン

小学校の校長・数名の先生方が参加 ⟶ 必要性を強く感じた。

小・中合同の研修の実施へ

・特別な支援を必要とする児童生徒が通常学級に多いこと
・学級担任や教科担任の指導が児童生徒に思うように入らない

＜市教育委員会教育研究指定事業を活用＞

◇特別支援研究会
講師：立教大学　教授　大石幸二氏

平成28年10月27日
午前：城下小（全学年の児童観察、助言）
午後：二中（1・2学年の生徒観察、助言）

平成28年10月28日
午前：八小（全学年の児童観察、助言）
午後：二中(通級・特支への助言）
JS全体研修会（講演）懇親会

児童・生徒の観察

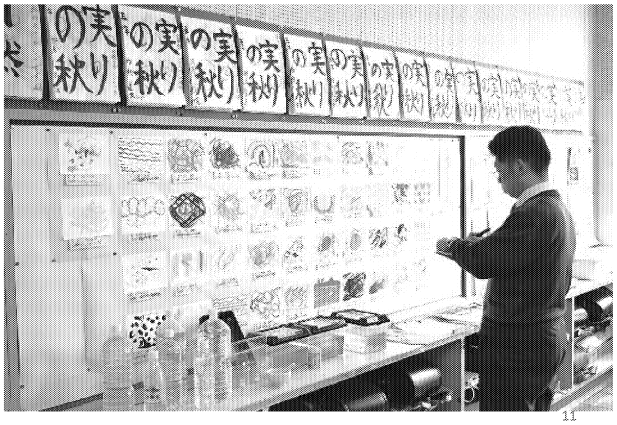




9



10



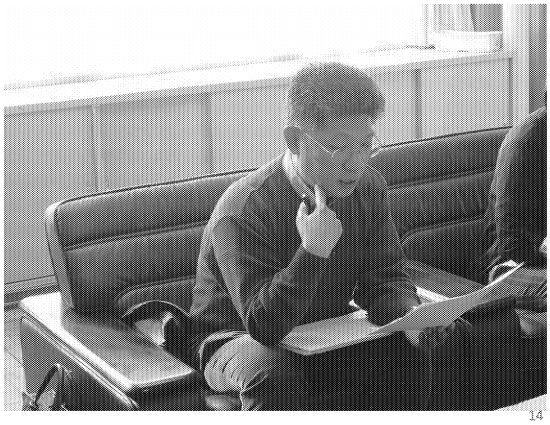
11



12

指 導 ・ 助 言

13



14



15

大石先生から指摘・質問されたこと	大石先生からの指導・助言
・母親の協力がなくて悩んでいたAさん	●母親には、協力してもらえますか？
・真実を、なぜ伝えないのですか？	●保護者に遠慮せずに子どもの状況を伝え、学校と保護者が同じ方向に取り組んでいくことが大切。
・Bさんの親は、Bさんにどのような働きかけをしていますか？	●保護者も迷い、悩んでいます。子どもの将来のことを考え、家庭での働きかけについて、具体的な支援の仕方を提示。
・両親がいないCさんは、おじいさんに猫かわいがりされ、甘やかされて育てられている。おじいさんが、何でも手伝ってしまうため、自律できない。	●Cさんが、10年後にお嫁さんをもらい、家族を養っていくための練習をしている。

16

全体研修会

講師:
　立教大学現代心理学部　学科長　大石幸二教授

演題:「すべての生徒の参加を目指した授業改革」

17



18



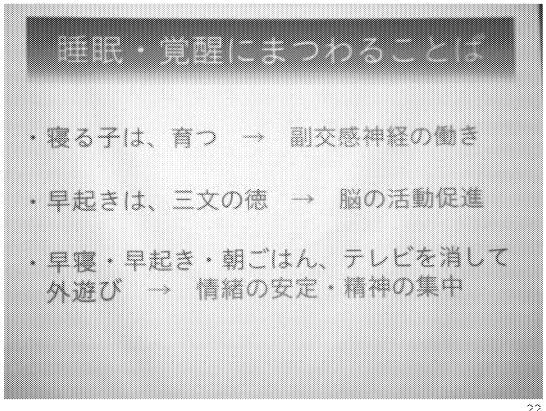
19



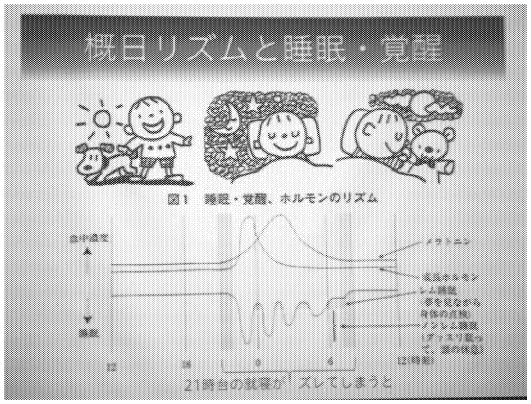
20



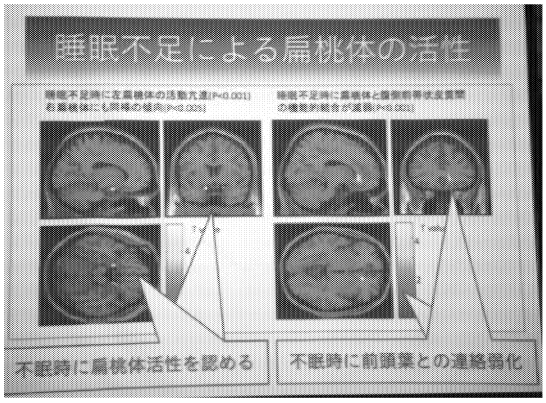
21



22



23



24

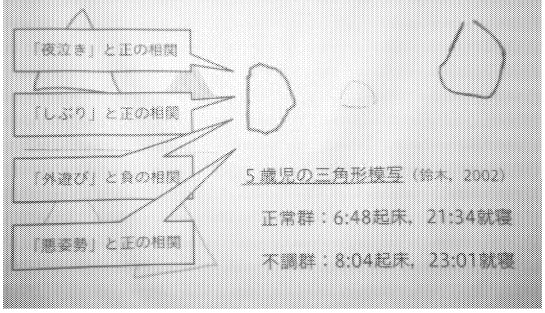
睡眠覚醒フリーランの悪影響

・睡眠障害や慢性的時差ボケ・倦怠感
→メラトニンの放出が抑制される
＝メラトニンは、睡眠・覚醒リズムを調整

・気分障害（うつ）への罹患
→コルチコステロイドの放出が促進される
＝コルチゾルは、ストレス関連物質

25

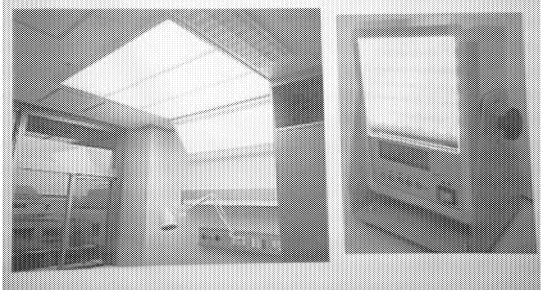
前頭葉（中枢処理）の弱化



5歳児の三角形模写（鈴木，2002）
正常群：6:48起床，21:34就寝
不調群：8:04起床，23:01就寝

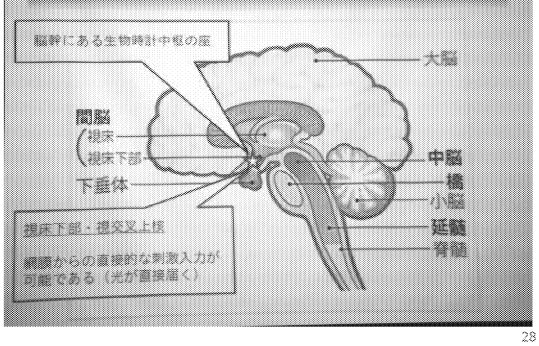
26

不登校・うつへの高照度光療法



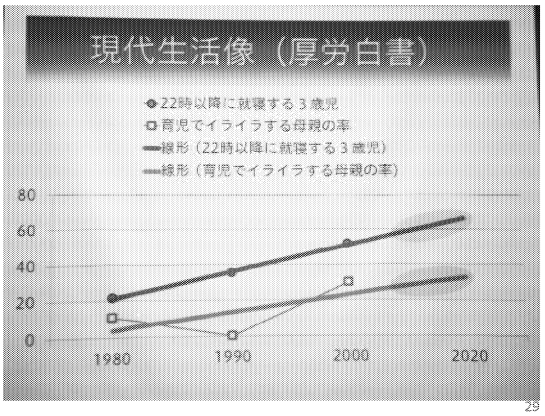
27

視床下部・視交叉上核



28

現代生活像（厚労白書）

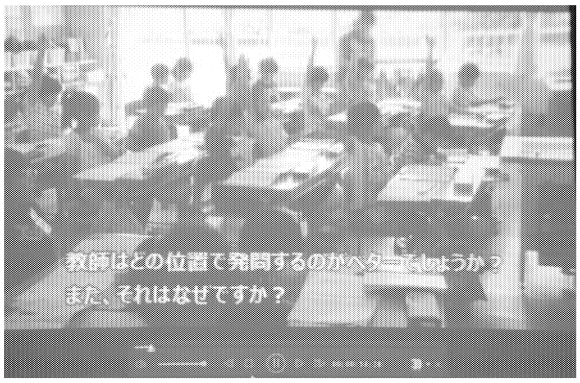


29

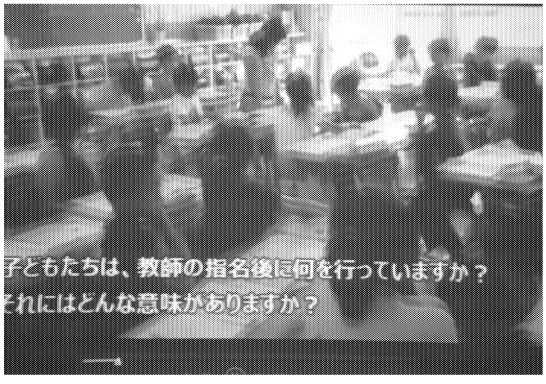
教育の効果は侮れない

http://www.hayaoki.jp/

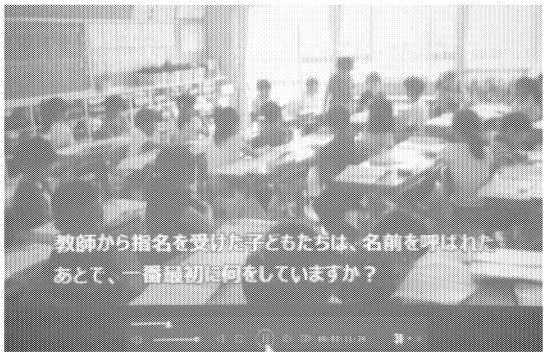
30



31



32



33



34



35

36

ご静聴ありがとうございました

37

2017.1.27

ジョイントスクール推進事業実践研究発表会

「小・中学校が共有する課題の解決に向けて」



八戸市立三条中学校区
（三条小・西園小・三条中）

三条中学区（上長地区）の概要



＊駅前エリア（赤線枠）
→平成30年春、供用開始
＊黄色線 ･･･ 新道路

三条中学区ＪＳ推進事業 施策の柱

1 小･中学校（教育活動）の相互理解
- ･児童･生徒の特性を理解する
- ･発達の段階や個に応じた指導に努める

2 小･中学校が共有する課題を解決する
- ･9か年を見据えた児童･生徒指導
- ･地域の子どもとして大切に育てる

3 自校の教育活動の改善･充実を図る
- ･日常的に自校の教育活動の点検に努める
- ･JS推進事業の成果を教育活動に生かす

施策の柱１

小･中学校（教育活動）の相互理解

（1）教師の授業力を磨き合う「小・中相互の授業参観」

［三条中 授業公開］ 5月下旬、全学級の授業を公開



［小学校 授業公開］ 8月下旬、両校が輪番で全学級を公開

中学校側の参観の視点
① 発達の段階に応じた指導
② 個に応じた指導
③ 教師の話し方、話術
④ 板書の工夫
⑤ 授業規律（躾）の手法

中学校側の授業改善
① 簡潔な発問や的確な指示
② 子どもの話を傾聴する姿勢
（①②を通し「間」の取り方が向上）
③ TTの指導技術の向上（特にT2）
④難しいことを優しく感じさせる技術

（2）子どもを見る目を鍛え合う「小・中相互の研究協議」

小学校授業公開の後

情報交換や研究主題についての協議会を実施
① ３部会に分かれ、それぞれのグループで定めた視点で話し合う
② 全体会で各分科会からの報告を共有する
③ 研究主題について効果と課題を確認する

28年度 三校合同研究協議会 協議題

「家庭学習パワーアップ週間」における「ノーメディア学習」の効果と課題

特別支援教育の視点を取り入れた教育に基づく協議部会
① 保健指導や生活習慣の改善などがもたらす効果等について
② ノーメディア学習がもたらす効果等について
③ 支援を必要とする児童・生徒の実態及び対応等について

学習規律の視点に基づく協議部会
① 家庭学習パワーアップ週間（ノーメディア学習）の具体的な取組について
② 学習規律に関する情報交換、授業及び家庭学習における課題等について

生徒指導の視点に基づく協議部会
① 情報端末機器の使用に関する指導がもたらすノーメディア学習への効果等について
② 各校が抱えている課題についての情報交換及び対応について

（3）児童・生徒間の交流

小6 中学校部活動体験
・7月下旬、中1・中2が小6に技術指導
・人気は初めて体験する剣道とソフトテニス
・先輩の動きから学ぶ小学生の表情が真剣
・中学生のしぐさにも優しさがにじみ出る
・指導者側の留意点
①安全対策
②熱中症対策
③小学生に無理をさせない配慮

小・小連携 小5 宿泊学習
・9月中旬、種差少年自然の家で、2泊3日の交流（両校ほぼ共通のプログラムで活動）
・キャンドルサービスでの心温まるふれあい
＊笑いが絶えない両校の出し物披露
＊盛り上がるフォークダンス
・子どもにとっても教師にとっても有意義な3日間となった

小・中作品交流

弟の大好きなザリガニの絵が中学校で好評でした

・11月下旬、図工、美術の作品を中心に1週間ほど貸し出して展示を行う

小6 中学校授業体験
・1月下旬、中1と小6の合同授業
・27年度は国語、社会、理科、美術、保体、英語の6教科を実施（30分授業）
・意見を交換できる場面を意識して設定
・授業後は、中1が企画した交流集会で中学校生活を紹介
・小6の質問にも中1が丁寧に対応

施策の柱２

小･中学校が共有する課題を解決する

【23～26年度の実践】

研究主題 「進んで読書に親しむ児童・生徒の育成」

成　果
① 本に親しみ、読書に集中する子どもが増える
② 自分の思いを言葉で伝える活動が活発になる
③ 心穏やかに、落ち着いた生活が見られる

28年度 生徒の読書状況（三条中）

読書を好む生徒が7割を超えるのに、「1日30分未満」が5年連続6割超え

28年度三条中生の平日の読書時間

1	よく読む	34.7	%
2	ときどき読む	43.8	%
3	あまり読まない	19.1	%
4	まったく読まない	2.4	%

28年4月実施 NRT生活アンケート結果より

28年度県内中学生の平日の読書時間

1	2時間以上	5.6	%
2	1時間以上2時間未満	9.1	%
3	30分以上1時間未満	16.7	%
4	30分未満	34.7	%
5	全くしない	33.9	%

29年1月3日 「デーリー東北」掲載記事より

28年度 読書活動（三条中）

朝の読書活動

「ほけんだより」で「立腰」の特集を組んで指導

・登校後20分間の読書タイム
・月5日連続で設定、それ以外は朝自習
・姿勢指導にも力を入れる
・4つの委員会がコラボして「姿勢改善プロジェクト」を実施

生徒による図書室運営
・朝と昼の本の貸出
・朝は7:30から15分間
・図書委員による「特集コーナー」が好評
＊新入生へのお薦め
＊部活動特集
＊ドラマ化された本
・図書委員のこだわりのある発信力が魅力

読書を活用した国語科の授業

1年「走れメロス」書籍用帯の制作
・単元末のまとめ学習として実施
・あらすじ、主題、キャッチコピーを考える
・デザインを工夫して書籍の「帯」を作る

3年「読書傾向を知る」
・図書室の貸出カードで自分の読書傾向を分析
・今後必要な読書のジャンルを広げていく授業

新聞に親しむ習慣づくり
・23-27年度まで「折込サービスセンター」の協力で実施
・6社の新聞を各学級へローテーションを組んで配付
・各学級の新聞委員が「お薦め記事」を毎日掲示
・新聞委員が毎月1回、特集を組んで各社の記事を比較
・教師も授業に活用

【27～28年度の実践研究】

研究主題　「基本的な生活習慣及び学習習慣の形成」
～情報端末に影響されない生活習慣・学習習慣の形成～

研究主題設定の背景（児童・生徒の生活の様子から）

① 長時間使用によるゲームやメールへの依存
② 授業における集中力の低下
③ 睡眠不足による体調不良　など

⇒ 増加傾向

実態調査の実施・分析・協議（27年6月～8月）

［ステップ１］ アンケート調査（27年6月）

質問内容
① 携帯電話、パソコン、ＤＳ、ＰＳＰなどの所持状況
② ①を使って平日にどのくらいの時間ゲームをしているか
③ ①を使って平日にどのくらいの時間メールをしているか
④ 平日の家庭学習の時間
⑤ 平日の睡眠時間

［ステップ２］ 調査結果の集計・分析（27年6～8月）

児童・生徒の生活状況
① ゲームなどをやる子どもの両極化
② 部活動をやっていない児童がゲームに時間を費やしがち
③ ゲームやメールが長い生徒は、宿題が疎か、睡眠不足も見られる
④ 家からゲームを持ち出して遊ぶ → 屋外での遊びもゲーム中心
⑤ 家庭における使用ルールが未整備
⑥ ゲームが長い子どもは、親の言うことを聞かない傾向がある

［ステップ３］ 三校合同協議会（分科会 → 全体会）で方策を検討（27年8月）

具体的方策
① 学校で学年の実態に合ったルールを作る（家から持ち出さないなど）
② 学校保健委員会や全校集会の活用（児童・生徒の主体的な学び合い）
③ 教室での指導（健康観察の充実、依存がもたらす様々な弊害など）
④ 保護者への啓発活動（保護者向け講演会、参観日での情報提供など）
⑤ 教師の研修の充実（情報教育に関する知識と指導力を高める）

（1）児童・生徒への指導及び児童・生徒の主体的な学び

リーフレット「3つの提言」等の活用
・学級や全校集会での活用
・全体での読み合わせや教師による補説が必要
・自分にもありえるかも知れないと実感させる指導



情報モラル教室
・保健師による「ゲームとうまくつきあう方法を考える講演」（三条小）
・NTTﾄﾞｺﾓ「ｽﾏﾎ・ｹｰﾀｲ安全教室」（西園小）
・ゲームやネット依存、質の良い睡眠をとるための生活を考える講演（三条中）

学校保健委員会・生徒総会
・学校保健委員会「すこやか会議」（三条小）
＊ブルーライトやゲーム脳などを学ぶ
・全校朝会での保健委員会の発表（西園小）
＊「早寝、早起き、朝ごはん」の効果
・全校討論会を実施。「SNSに惑わされない生活」など年2回テーマを設ける（三条中）

保健室（養護教諭）の専門性
・メディアによる生活の乱れを、「脳の依存」の問題として児童・生徒に提起する
・「保健だより」で脳のしくみや依存の症状、睡眠や食事の重要性を知らせる
・学級担任が「保健だより」をもとに児童・生徒に実感させていく



28年度 重点指導事項

「情報端末に影響されない生活習慣の形成を図りつつ、家庭学習の質を高める指導を小・中学校が連携して行う」

［指導の概要］
中学校は個別にテスト計画を作成させて学習時間を確保し、学級担任が評価をしているため、「ノーメディアタイム」で同一歩調をとる
・中学校のテスト期間に小学校でも「家庭学習パワーアップ週間」を実施
・各学年で設定した学習時間に「ノーメディア」で集中して取り組ませる
・小学校は保護者に評価してもらい家庭学習をより充実させる

［三校合同研究協議会で確認された成果と課題］（28年8月）

成果
・「パワーアップ週間」の家庭学習到達率、集中度評価ともに向上の跡が見られる
・保護者を巻き込むことによって、ノーメディアで家庭学習に取り組む子どもが増えた
・情報機器によるトラブルや体の異常についてしっかり認識できる子どもが増えた
・情報モラル教育は生活習慣の形成に有効。ゆっくりだが子どもに浸透していく

課題・対策
・家庭学習の質の向上のためにも、保護者と連携したノーメディア学習を継続する
・全体と個別の両輪の指導が必要。保護者を巻き込む具体的な手立てを構築する
・家庭学習の指導は、「時間」と「質（内容）」の両立を図る
・情報モラル教育は小学校中学年から実施するように計画を進めている

（2）教師の指導力向上に向けた研修の充実

［27年度 教育講演会］（27年8月）　合同サポートチーム（STEPS）

演　題　「ネット利用について考える被害の実態と予防」○

講　師　青森県教育庁　学校教育課　主幹　鎌田明敏　氏・
青森県警察本部　生活安全部　少年課　太田成人　氏

目　的　情報教育に関する知識と児童・生徒の生活改善を図る指導力の向上を図る

［28年度 保護者と教職員が共に学ぶ教育講演会］（28年8月）

演　題　「児童・生徒の基本的な生活習慣・学習習慣の形成に向けて
－小・中学校と家庭との効果的な連携の在り方について－」

講　師　秋田県教育庁　義務教育課　副主幹　工藤真弘　氏

目　的　全国学力・学習状況調査で高い成果を上げている秋田県において、保護者と教職員がどのように連携して児童・生徒の生活及び学習習慣の向上を図っているのか理解を深める

（3）保護者に対する情報提供と相互連携

① 保護者集会の活用
・リーフレット「3つの提言」等を用いた説明（毎学期印刷して実施）
・生徒指導主事（主任）からの生活面への影響
・養護教諭からの健康面への影響

② 児童・生徒集会、講演会への保護者の参加
・子どもの学校での姿、考えていることを理解する
・情報通信機器等が生活や健康にもたらす危険性を理解する

③ 学校からの各種通信の活用
・情報通信機器等がもたらす「依存症（脳機能）」の危険、「将来の社会的・職業的自立」にかかわる問題という視点を保護者に提示

（4）学校課題に立ち向かう過程を通し教師力を高める

① 子どもや保護者とよりよい関係を構築していける人間力を高める
② 直面している、あるいは予期される問題に対処できる力を高める

施策の柱３
自校の教育活動の改善・充実を図る

三条中の場合

［教師の変容］

子どもを見る目の変容
・子どもの未熟さを受け止められる（子どもは「わかっているはずだ」という思い込みの払拭）

⇒

指導（特に授業）の変容
・理解しやすい、納得しやすい教え方や指導法の工夫
・子どもの考えを生かす工夫

［実践的な授業研究や校内研修］

指導には裏付けされた理念が必要

指導技術の向上
① 特別支援教育の視点を取り入れた授業
② ICTを効果的に活用した授業
③ 校内研の充実（研修意欲の向上）

教育（指導）理念の共有
① 学習指導要領に基づく指導
② 教育行政の方針と重点を踏まえた指導
③ 中教審論点整理・答申等の理解



5章　関係資料

１　地域密着型教育推進事業実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・　169

新旧対照表・・・・・・・・・・・・・・・・　171

２　八戸市「地域密着型教育推進事業」における
地域学校連携協議会の取扱等に関する要綱・・・・・・　173

新旧対照表・・・・・・・・・・・・・・・・　177

３　地域密着型教育推進事業に係る
「地域密着型教育コーディネーター」配置要綱・・・・　181

新旧対照表・・・・・・・・・・・・・・・・　183

４　地域密着型教育推進事業基本構想図・・・・・・・・・・・・・・　185

５　同一学区内地域学校連携協議会の形態例・・・・・・・・・・・・　186

地域密着型教育推進事業実施要項

八戸市教育委員会

１．趣　　旨

近年、少子高齢化や核家族化、都市化などの社会現象に伴い、家庭や地域の教育力が十分に発揮しにくい状況が生じている。一方、学校においては、社会の急激な変化にも柔軟に対応できる「生きる力」を子どもたちに身に付けさせるために、教育内容を一層充実させることが強く求められている。

このことから、八戸市教育委員会では、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を実践し、学校運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとする。

２．各校における実践内容

八戸市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者および地域住民が学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

（１）「願い」「情報」「責任」「学び」の４つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA 活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。

（２）教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。

（３）地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。

※新規校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。

３．本事業に係る経費

本事業に要する経費の取扱いに関しては別に定める。

４．組織

各校においては、次の（１）～（４）に即して地域学校連携協議会を組織し、運営することとする。（５）（６）については、各校の裁量とする。

（１）地域学校連携協議会（年３回程度）

（２）委員の委嘱

①校長の推薦により、教育委員会が委嘱する。

②委員は、保護者、地域住民、教職員、地域の幼児教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等をもって構成する。

③委員の人数は１５人程度とする。

④委嘱期間は１年以内とし、再任を妨げない。

⑤委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

⑥報酬については無償とする。

（３）会長及び副会長
①地域学校連携協議会に、会長１名と副会長若干名を置く。
②会長は校長が指名する。副会長は校長と会長が協議の上、会長が指名する。
（４）会議
①委員の半数以上の出席で、会議が成立する。
②議事は出席委員の過半数で決し、可否同数の時は会長が決する。
（５）専門部会（各校の実態に則して設置することができる。）
（６）企画・推進部会（各校の実態に則して設置することができる。）

５．主な機能
（１）地域学校連携協議会（年３回程度）において、次の各項について協議し、校長に対して意見を述べることができる。
①教育目標及び学校経営方針
②教育課程の編成に関する方針
③施設、設備の管理及び整備に関する方針
④各事項の前年度運営実績
⑤次年度の学校運営に生かすための、学校運営全般に関わる評価
⑥その他校長が必要と認める事項
（２）専門部会を設置する場合は、次の規定に基づいて活動する。
①専門部会の数や内容・名称については、学校や地域の実態に合わせて設定する。
②各専門部会は賛助ボランティア委員を募り、それぞれの活動の充実に向けて取り組む。
（３）企画・推進部会を設置する場合は、次の各項の機能に基づいて活動する。
①保護者や地域住民等の意見・要望を教育活動に反映させるための具体策を企画・運営する機能
②各専門部会の活動内容を連絡・調整する機能
③学校行事の運営への参画や教育ボランティア活動の推進に関して協議する機能
（４）各校においては、渉外等の事務機能を有する事務局を置くことができる。

地域密着型教育推進事業実施要項

八戸市教育委員会

改正前	改正後
１．趣　　旨 近年、少子高齢化や核家族化、都市化などの社会現象に伴い、家庭や地域の教育力が十分に発揮しにくい状況が生じている。一方、学校においては、社会の急激な変化にも柔軟に対応できる「生きる力」を子どもたちに身に付けさせるために、教育内容を一層充実させることが強く求められている。 このことから、八戸市教育委員会では、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を推進し、推進校の運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとする。	１．趣　　旨 近年、少子高齢化や核家族化、都市化などの社会現象に伴い、家庭や地域の教育力が十分に発揮しにくい状況が生じている。一方、学校においては、社会の急激な変化にも柔軟に対応できる「生きる力」を子どもたちに身に付けさせるために、教育内容を一層充実させることが強く求められている。 このことから、八戸市教育委員会では、児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、地域密着型教育を実践し、学校運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとする。
２．地域密着型教育推進校における実践内容 八戸市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者および地域住民が学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。 （１）「願い」「情報」「責任」「学び」の４つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA 活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。 （２）教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。 （３）地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。	２．各校における実践内容 八戸市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者および地域住民が学校運営に参画できる地域学校連携協議会を設置し、地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。 （１）「願い」「情報」「責任」「学び」の４つを学校・家庭・地域社会が共有し、PTA 活動や地域活動などとの連携・協力を深めることにより、よりよい教育環境と支援体制を整備し、学校教育の質を向上させる。 （２）教育方針等に地域住民等の願いを反映させるとともに、地域の特色や地域住民等の教育力を生かした教育活動を展開することにより、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育む。 （３）地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して、明るく活力あるまちづくりに貢献する。 ※新規校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。
３．推進校の指定 （１）学校が指定を希望し、教育委員会が指定する。 （２）指定は、単年度ごととする。 （３）新規指定校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。	~~３．推進校の指定~~ ~~（１）学校が指定を希望し、教育委員会が指定する。~~ ~~（２）指定は、単年度ごととする。~~ ~~（３）新規指定校に対しては、それぞれの実態に応じた地域学校連携協議会の組織の在り方について、教育委員会が助言・支援する。~~
４．推進校における本事業に係る経費 本事業に要する経費の取扱いに関しては別に定める。	３．本事業に係る経費 本事業に要する経費の取扱いに関しては別に定める。
５．推進校の組織 推進校においては、次の（１）～（４）に即して地域学校連携協議会を組織し、運営することとする。 （５）（６）については、推進校の裁量とする。 （１）地域学校連携協議会（年３回程度） （２）委員（理事）の任命	４．組織 各校においては、次の（１）～（４）に即して地域学校連携協議会を組織し、運営することとする。 （５）（６）については、各校の裁量とする。 （１）地域学校連携協議会（年３回程度） （２）委員の委嘱 ＜委員と理事について、今後、委員で統一したい ※理事…組織・団体を代表し、事務を管掌する地位

	にある者 ※委員…各団体からの選挙や指名を受けて特定の事項の調査や処理に当たる人 （中央教育審議会の「新しい時代の教育や地方創生の実願に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策　答申」では委員）＞
①校長の推薦により、教育委員会が任命する。 ②委員（理事）は、保護者、地域住民、教職員、地域の幼児教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等をもって構成する。 ③委員（理事）の人数は１５人程度とする。 ④任命期間は１年以内とし、再任を妨げない。 ⑤委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。 ⑥報酬については無償とする。	①校長の推薦により、教育委員会が委嘱する。 ②委員は、保護者、地域住民、教職員、地域の幼児教育関係者、学校教育関係者、学識経験者等をもって構成する。 ③委員の人数は１５人程度とする。 ④委嘱期間は１年以内とし、再任を妨げない。 ⑤委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。 ⑥報酬については無償とする。
（３）会長及び副会長 ①地域学校連携協議会に、会長１名と副会長若干名を置く。 ②会長は校長が指名する。副会長は校長と会長が協議の上、会長が指名する。	（３）会長及び副会長 ①地域学校連携協議会に、会長１名と副会長若干名を置く。 ②会長は校長が指名する。副会長は校長と会長が協議の上、会長が指名する。
（４）会議 ①委員（理事）の半数以上の出席で、会議が成立する。 ②議事は出席委員（理事）の過半数で決し、可否同数の時は会長が決する。	（４）会議 ①委員の半数以上の出席で、会議が成立する。 ②議事は出席委員の過半数で決し、可否同数の時は会長が決する。
（５）専門部会（月１回程度）	（５）専門部会（各校の実態に則して設置することができる。）
（６）企画・推進部会	（６）企画・推進部会（各校の実態に則して設置することができる。）
６．主な機能 （１）地域学校連携協議会（年３回程度）において、次の各項について協議し、校長に対して意見を述べることができる。 ①教育目標及び学校経営方針 ②教育課程の編成に関する方針 ③施設、設備の管理及び整備に関する方針 ④各事項の前年度運営実績 ⑤次年度の学校運営に生かすための、学校運営全般に関わる評価 ⑥その他校長が必要と認める事項	５．主な機能 （１）地域学校連携協議会（年３回程度）において、次の各項について協議し、校長に対して意見を述べることができる。 ①教育目標及び学校経営方針 ②教育課程の編成に関する方針 ③施設、設備の管理及び整備に関する方針 ④各事項の前年度運営実績 ⑤次年度の学校運営に生かすための、学校運営全般に関わる評価 ⑥その他校長が必要と認める事項
（２）専門部会は、次の規定に基づいて活動する。 ①専門部会の数や内容・名称については、各学校や地域の実態に合わせて設定する。 ②各専門部会は賛助ボランティア委員を募り、それぞれの活動の充実に向けて取り組む。	（２）専門部会を設置する場合は、次の規定に基づいて活動する。 ①専門部会の数や内容・名称については、学校や地域の実態に合わせて設定する。 ②各専門部会は賛助ボランティア委員を募り、それぞれの活動の充実に向けて取り組む。
（３）企画・推進部会は、次の各項の機能に基づいて活動する。 ①保護者や地域住民等の意見・要望を教育活動に反映させるための具体策を企画・運営する機能 ②各専門部会の活動内容を連絡・調整する機能 ③学校行事の運営への参画や教育ボランティア活動の推進に関して協議する機能	（３）企画・推進部会を設置する場合は、次の各項の機能に基づいて活動する。 ①保護者や地域住民等の意見・要望を教育活動に反映させるための具体策を企画・運営する機能 ②各専門部会の活動内容を連絡・調整する機能 ③学校行事の運営への参画や教育ボランティア活動の推進に関して協議する機能
（４）推進校においては、渉外等の事務機能を有する事務局を置くことができる。	（４）各校においては、渉外等の事務機能を有する事務局を置くことができる。

八戸市「地域密着型教育推進事業」における
地域学校連携協議会の取扱等に関する要綱

（目的）

第 1 条　この要綱は，各校における地域学校連携協議会（以下「協議会」という。）に関し，必要な事項を定めるものとする。

（趣旨）

第 2 条　協議会は，八戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）及び校長の権限と責任の下，児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として，その学校の運営に関して，地域の住民及び保護者等（以下「地域住民等」という。）の参画等を進め，地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。

(1) 学校と地域住民等との信頼関係を深め，その教育力を相互に高め合うことを通して，よりよい教育環境と支援体制を整備し，学校教育の質を向上させること

(2) 教育方針等に地域住民等の願いや地域の特色を反映させることにより，児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむこと

(3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して，明るく活力あるまちづくりに貢献すること

（基本方針等の説明）

第 3 条　各校の校長は，次に掲げる事項について，協議会の意見を基に，毎年度，基本的な方針等を作成し，その内容を同協議会に説明する。

(1)　教育目標及び学校経営に関すること

(2)　教育課程の編成に関すること

(3)　施設，設備の管理及び整備に関すること

(4)　その他校長が必要と認める事項

2　校長は，前項の基本方針等に基づき，その権限と責任によって学校運営を行わなければならない。

3　校長は，第 1 項各号に掲げる事項の前年度の運営実績を協議会に報告する。

（運営についての意見）

第 4 条　協議会は，各校の運営に関する事項（予算の編成及び執行に関する事項並びに職員の採用，任用，分限，及び懲戒に関する事項を除く。）について，校長に対して意見を述べることができる。

（運営に関する評価）

第 5 条　協議会は，学校の運営状況について毎年度 1 回以上の評価を行うものとする。

2　協議会が，文部科学省の「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」に沿った学校関係者評価を行う場合においては，各校の校長その他の教職員は，委員として意見を述べることはできない。

（運営への参画促進）
第 6 条　協議会は，各校の運営について，地域住民等の理解，協力，参画等が促進されるよう努める。

（情報発信）
第 7 条　協議会は，地域住民等に対して，その活動状況に関する情報を積極的に発信するとともに，地域住民等の意見・要望等を把握し，その運営に反映するように努める。

（児童又は生徒の意見の聴取）
第 8 条　協議会は，校長の同意を得て，各校の児童又は生徒の意見を聴取することができる。この場合において，児童又は生徒の発達の段階等に応じ，必要な配慮をしなければならない。

（委員の委嘱）
第 9 条　協議会の委員は，次に掲げる者のうちから，教育委員会が委嘱する。
(1)　各校に在籍する児童又は生徒の保護者
(2)　各校の地域の住民
(3)　各校の教職員
(4)　地域の保育関係者，幼児教育関係者，学校教育関係者
(5)　学識経験者
(6)　関係行政機関の職員
(7)　前各号のほか教育委員会が適当と認める者
2　委員は，その一部を公募できるものとする。
3　各校の校長は，委員を推薦することができる。
4　委員の定数は，15 人程度とし教育委員会が定める。
5　委員に欠員が生じたときは，教育委員会は新たに委員を委嘱する。
6　委員は，地方公務員法（昭和２５年法律第２６１号）第 3 条第 3 項第 2 号に規定する特別職の非常勤職員とする。

（委員の任期）
第 10 条　委員の任期は，委嘱の日から１年以内とする。ただし，任期途中の委員の交代等に伴う補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。
2　委員は，再任できる。
3　第１項の規定に関わらず，各校の指定の期間が満了したとき又は指定が取り消されたときは，委員は，その身分を失うものとする。

（守秘義務等）
第 11 条　委員は，職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。
2　前項のほか，委員は次の各号に掲げる行為をしてはならない。

(1)　協議会及び各校の運営に支障をきたす言動を行うこと。
(2)　委員としての地位を営利行為，政治活動，宗教活動等に不当に利用すること。
(3)　委員の職の信用を傷つけ，又は委員の職全体の不名誉となるような非行を行うこと。

（報酬等）
第 12 条　委員の報酬及び費用弁償については，無償とする。

（会長及び副会長）
第 13 条　協議会に，会長 1 名及び副会長若干名を置く。
2　会長は校長が指名する。副会長は，校長と協議の上，会長が指名する。ただし，各校の校長その他の教職員を会長又は副会長に指名することはできない。
3　会長は，会務を総理する。
4　副会長は会長を補佐し，会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは，その職務を行う。
5　副会長が複数名いる場合は，会長の職務代行についての副会長の優先順位をあらかじめ定めておく。

（議事）
第 14 条　会長は，校長と協議の上，協議会の会議を招集し，議事を掌る。
2　会議は，委員の半数以上が出席しなければ，開くことができない。
3　議事は，出席委員の過半数で決し，可否同数のときは会長の決するところによる。
4　会長は，必要があるときは，校長から報告及び説明を求めることができる。
5　校長は，会議に出席し，及び意見を述べ，並びに職員を出席させることができる。
6　協議会の協議事項について個人的に利害を有する委員は，当該協議事項について意見を述べ，又は議決に加わることはできない。

（専門部会等）
第 15 条　校長は，第 7 条に規定する学校運営への参画等を具体的に進めるため，協議会に専門部会（プロジェクト）等を置くことができる。
2　前項の専門部会（プロジェクト）等の具体的内容については，学校の実態に則して，各校の協議会会則で定める。

（指導及び助言）
第 16 条　教育委員会は，協議会の運営に関し，その求めに応じて指導及び助言を行う。
2　各校の校長及び教育委員会は，協議会が適切な活動を行うことができるよう情報の提供及び説明に努める。
3　教育委員会は，次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合は，必要に応じて適切な指導・助言を行う。
(1)　協議会が機能せず，その設置の目的を果たせないとき。

(2)　協議会としての合意形成が行えないとき。
(3)　その他協議会の運営が著しく適正を欠くことにより，各校の学校運営に現に著しい支障が生じ，又は生じるおそれがあるとき。

4　校長は，前条第 2 項の規定による情報の提供及び説明に努めたにもかかわらず，前条第 3 項各号のいずれかに該当すると認めるときは，直ちに教育委員会に報告しなければならない。

（解任）

第 17 条　教育委員会は，本人から辞任の申出があったときのほか，次の各号のいずれかに該当すると認められるときは，委員を解任することができる。

(1)　第 12 条に規定する義務に違反したとき。
(2)　委員が心身の故障のために職務を遂行することができないとき。
(3)　その他，解任に相当する事由が認められるとき。

2　校長は，委員が前項各号のいずれかに該当すると認めるときは，直ちに教育委員会に報告しなければならない。

（運営等）

第 18 条　協議会は，法令及び教育委員会が定める要綱及びその設置目的に反しない範囲において，その運営に必要な事項を定めることができる。

（委任）

第 19 条　この要綱において別に定めることとされている事項及びこの要綱の実施に関し必要な事項は，教育長が定める。

附　則

この要綱は，平成２２年　４月１日から実施する。

附　則

この要綱は，平成２８年　９月１日から実施する。

八戸市「地域密着型教育推進事業」における
地域学校連携協議会の取扱等に関する要綱

八戸市教育委員会

改正前	改正後
(目的) 第1条　この要綱は，地域密着型教育推進校（以下「推進校」という。）における地域学校　連携協議会(以下「協議会」という。)に関し，必要な事項を定めるものとする。	(目的) 第 1 条　この要綱は，各校における地域学校連携協議会(以下「協議会」という。)に関し，必要な事項を定めるものとする。
(趣旨) 第2条　協議会は，八戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)及び校長の権限と責任の下，児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として，その学校の運営に関して，地域の住民及び保護者等(以下「地域住民等」という。)の参画等を進め，地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。 (1) 学校と地域住民等との信頼関係を深め，その教育力を相互に高め合うことを通して，よりよい教育環境と支援体制を整備し，学校教育の質を向上させること (2) 教育方針等に地域住民等の願いや地域の特色を反映させることにより，児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむこと (3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して，明るく活力あるまちづくりに貢献すること	(趣旨) 第2条　協議会は，八戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)及び校長の権限と責任の下，児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として，その学校の運営に関して，地域の住民及び保護者等(以下「地域住民等」という。)の参画等を進め，地域住民等と学校との協働による「開かれた学校づくり」を推進する。 (1) 学校と地域住民等との信頼関係を深め，その教育力を相互に高め合うことを通して，よりよい教育環境と支援体制を整備し，学校教育の質を向上させること (2) 教育方針等に地域住民等の願いや地域の特色を反映させることにより，児童生徒のふるさとへの誇りと愛着をはぐくむこと (3) 地域の次代を担う子どもたちの健全育成を通して，明るく活力あるまちづくりに貢献すること
(指定) 第 3 条　各校長は，地域住民等の意見を踏まえ，推進校の指定を教育委員会に申請するこ　とができる。 2　教育委員会は，前項の規定による申請があった場合　において，前条の設置目的が達成　できると認める　場合には推進校の指定をすることができる。	※（指定については、25 年度より市内全小中学校での実施になったことを受けて削除）
(基本方針等の説明) 第 4 条　推進校の校長は，次に掲げる事項について，協議会の意見を基に，毎年度基本的　な方針等を作成し，その内容を同協議会に説明するものとする。 (1)　教育目標及び学校経営に関すること (2)　教育課程の編成に関すること (3)　施設，設備の管理及び整備に関すること (4)　その他校長が必要と認める事項 2　校長は，前項の基本方針等に基づき，その権限と責任によって学校運営を行わなければならない。 3　校長は，第1項各号に掲げる事項の前年度の運営実績を協議会に報告するものとする。	(基本方針等の説明) 第 3 条　各校の校長は，次に掲げる事項について，協議会の意見を基に，毎年度，基本的な方針等を作成し，その内容を同協議会に説明する。 (1)　教育目標及び学校経営に関すること (2)　教育課程の編成に関すること (3)　施設，設備の管理及び整備に関すること (4)　その他校長が必要と認める事項 2　校長は，前項の基本方針等に基づき，その権限と責任によって学校運営を行わなければならない。 3　校長は，第1項各号に掲げる事項の前年度の運営実績を協議会に報告する。
(運営についての意見) 第 5 条　協議会は，推進校の運営に関する事項（予算の編成及び執行に関する事項並びに　職員の採用，任用，分限，及び懲戒に関する事項を除く。）について，校長に対して意　見を述べることができる。	(運営についての意見) 第 4 条　協議会は，各校の運営に関する事項（予算の編成及び執行に関する事項並びに職員の採用，任用，分限，及び懲戒に関する事項を除く。）について，校長に対して意見を述べることができる。

(運営に関する評価) 第 6 条　協議会は，学校の運営状況について毎年度１回以上の評価を行うものとする。 2　協議会が，文部科学省の「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」に沿った　学校関係者評価を行う場合においては，推進校の校長その他の教職員は，委員（理事）として意見を述べることはできない。	(運営に関する評価) 第 5 条　協議会は，学校の運営状況について毎年度１回以上の評価を行う。 2　協議会が，文部科学省の「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」に沿った　学校関係者評価を行う場合においては，各校の校長その他の教職員は，委員として意見を述べることはできない。
(運営への参画促進) 第 7 条　協議会は，推進校の運営について，地域住民等の理解，協力，参画等が促進されるよう努めるものとする。	(運営への参画促進) 第 6 条　協議会は，各校の運営について，地域住民等の理解，協力，参画等が促進されるよう努める。
(情報発信) 第 8 条　協議会は，地域住民等に対して，その活動状況に関する情報を積極的に発信するとともに，地域住民等の意見・要望等を把握し，その運営に反映するように努めるものとする。	(情報発信) 第 7 条　協議会は，地域住民等に対して，その活動状況に関する情報を積極的に発信するとともに，地域住民等の意見・要望等を把握し，その運営に反映するように努める。
(児童又は生徒の意見の聴取) 第 9 条　協議会は，校長の同意を得て，推進校の児童又は生徒の意見を聴取することがで きる。この場合において，児童又は生徒の発達の段階等に応じ，必要な配慮をしなければならない。	(児童又は生徒の意見の聴取) 第 8 条　協議会は，校長の同意を得て，各校の児童又は生徒の意見を聴取することができる。この場合において，児童又は生徒の発達の段階等に応じ，必要な配慮をしなければならない。
（委員の委嘱） 第 10 条　協議会の委員（理事）は，次に掲げる者のうちから，教育委員会が委嘱する。 (1)　推進校に在籍する児童又は生徒の保護者 (2)　推進校の地域の住民 (3)　推進校の教職員 (4)　地域の保育関係者，幼児教育関係者，学校教育関係者 (5)　学識経験者 (6)　関係行政機関の職員 (7)　前各号のほか教育委員会が適当と認める者 2　委員（理事）は，その一部を公募できるものとする。 3　推進校の校長は，委員（理事）を推薦することができる。 4　委員（理事）の定数は，校長と協議の上，15 人程度で教育委員会が定める。 5　委員（理事）に欠員が生じたときは，教育委員会は新たに委員（理事）を委嘱することができる。 6　委員（理事）は，地方公務員法（昭和２５年法律第２６１号）第 3 条第 3 項第 2 号に規定する特別職の非常勤職員とする。	(委員の委嘱) 第 9 条　協議会の委員は，次に掲げる者のうちから，教育委員会が委嘱する。 (1)　各校に在籍する児童又は生徒の保護者 (2)　各校の地域の住民 (3)　各校の教職員 (4)　地域の保育関係者，幼児教育関係者，学校教育関係者 (5)　学識経験者 (6)　関係行政機関の職員 (7)　前各号のほか教育委員会が適当と認める者 2　委員は，その一部を公募できる。 3　各校の校長は，委員を推薦することができる。 4　委員の定数は，15 人程度とし教育委員会が定める。 5　委員に欠員が生じたときは，教育委員会は新たに委員を委嘱することができる。 6　委員は，地方公務員法（昭和２５年法律第２６１号）第 3 条第 3 項第 2 号に規定する特別職の非常勤職員とする。
(委員の任期) 第 11 条　委員（理事）の任期は，委嘱の日から１年以内とする。ただし，任期途中の委員（理事）の交代等に伴う補欠の委員（理事）の任期は，前任者の残任期間とする。 2　委員（理事）は，再任されることができる。	(委員の任期) 第 10 条　委員の任期は，委嘱の日から１年以内とする。ただし，任期途中の委員の交代等に伴う補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。 2　委員は，再任できる。

3　第１項の規定に関わらず，推進校の指定の期間が満了したとき又は指定が取り消されたときは，委員（理事）は，その身分を失う。	3　第１項の規定に関わらず，各校の指定の期間が満了したとき又は指定が取り消されたときは，委員は，その身分を失う。
(守秘義務等)	(守秘義務等)
第 12 条　委員（理事）は，職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。	第 11 条　委員は，職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。
2　前項のほか，委員（理事）は次の各号に掲げる行為をしてはならない。	2　前項のほか，委員は次の各号に掲げる行為をしてはならない。
(1)　協議会及び推進校の運営に支障をきたす言動を行うこと。	(1)　協議会及び各校の運営に支障をきたす言動を行うこと。
(2)　委員（理事）としての地位を営利行為，政治活動，宗教活動等に不当に利用すること。	(2)　委員としての地位を営利行為，政治活動，宗教活動等に不当に利用すること。
(3)　委員（理事）の職の信用を傷つけ，又は委員（理事）の職全体の不名誉となるような非行を行うこと。	(3)　委員の職の信用を傷つけ，又は委員の職全体の不名誉となるような非行を行うこと。
(報酬等)	(報酬等)
第 13 条　委員（理事）の報酬及び費用弁償については，無償とする。	第 12 条　委員の報酬及び費用弁償については，無償とする。
(会長及び副会長)	(会長及び副会長)
第 14 条　協議会に，会長１名及び副会長若干名を置く。	第 13 条　協議会に，会長１名及び副会長若干名を置く。
2　会長は校長が指名する。副会長は，校長と協議の上，会長が指名する。ただし，推進校の校長その他の教職員を会長又は副会長に指名することはできない。	2　会長は校長が指名する。副会長は，校長と協議の上，会長が指名する。ただし，各校の校長その他の教職員を会長又は副会長に指名することはできない。
3　会長は，会務を総理する。	3　会長は，会務を総理する。
4　副会長は会長を補佐し，会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは，その職務を行う。	4　副会長は会長を補佐し，会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは，その職務を行う。
5　副会長が複数名いる場合は，会長の職務代行についての副会長の優先順位をあらかじめ定めておく。	5　副会長が複数名いる場合は，会長の職務代行についての副会長の優先順位をあらかじめ定めておく。
(議事)	(議事)
第 15 条　会長は，校長と協議の上，協議会の会議を招集し，議事を掌る。	第 14 条　会長は，校長と協議の上，協議会の会議を招集し，議事を掌る。
2　会議は，委員（理事）の半数以上が出席しなければ，開くことができない。	2　会議は，委員の半数以上が出席しなければ，開くことができない。
3　議事は，出席委員（理事）の過半数で決し，可否同数のときは会長の決するところによる。	3　議事は，出席委員の過半数で決し，可否同数のときは会長の決するところによる。
4　会長は，必要があるときは，校長から報告及び説明を求めることができる。	4　会長は，必要があるときは，校長から報告及び説明を求めることができる。
5　校長は，会議に出席し，及び意見を述べ，並びに職員を出席させることができる。	5　校長は，会議に出席し，及び意見を述べ，並びに職員を出席させることができる。
6　協議会の協議事項について個人的に利害を有する委員（理事）は，当該協議事項について意見を述べ，又は議決に加わることはできない。	6　協議会の協議事項について個人的に利害を有する委員は，当該協議事項について意見を述べ，又は議決に加わることはできない。
(専門部会等)	(専門部会等)
第 16 条　校長は，第７条に規定する学校運営への参画等を具体的に進めるため，協議会に専門部会（プロジェクト）等を置くことができる。	第 15 条　校長は，第７条に規定する学校運営への参画等を具体的に進めるため，協議会に専門部会（プロジェクト）等を置くことができる。
2　前項の専門部会（プロジェクト）等の具体的内容については，学校の実態に則して，各推進校の協議会会則で定めるものとする。	2　前項の専門部会（プロジェクト）等の具体的内容については，学校の実態に則して，各校の協議会会則で定める。

(指導及び助言) 第 17 条　教育委員会は，協議会の運営に関し，その求めに応じて指導及び助言を行うものとする。 2　推進校の校長及び教育委員会は，協議会が適切な活動を行うことができるよう情報の提供及び説明に努めるものとする。	(指導及び助言) 第 16 条　教育委員会は，協議会の運営に関し，その求めに応じて指導及び助言を行う。 2　各校の校長及び教育委員会は，協議会が適切な活動を行うことができるよう情報の提供及び説明に努める。
(指定の取消し) 第 18 条　教育委員会は，次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合は，必要に応じて適切な指導・助言を行うものとし，当該指導・助言等にもかかわらず，事態が改善しない場合は，推進校の指定を取り消さなければならない。 (1)　協議会が機能せず，その設置の目的を果たせないとき。 (2)　協議会としての合意形成が行えないとき。 (3)　その他協議会の運営が著しく適正を欠くことにより，推進校の学校運営に現に著　　しい支障が生じ，又は生じるおそれがあるとき。 2　校長は，前条第 2 項の規定による情報の提供及び説明に努めたにもかかわらず，基本方針等について協議会の了解が得られないとき又は推進校の運営に現に著しい支障が生じ，若しくは生じるおそれがあるときは，指定の取消しを申し出ることができる。	※指定の削除に伴い削除 3　教育委員会は，次の各号のいずれかに該当する事由が生じた場合は，必要に応じて適切な指導・助言を行う。 (1)　協議会が機能せず，その設置の目的を果たせないとき。 (2)　協議会としての合意形成が行えないとき。 (3)　その他協議会の運営が著しく適正を欠くことにより，各校の学校運営に現に著しい支障が生じ，又は生じるおそれがあるとき。 4　校長は，前条第 2 項の規定による情報の提供及び説明に努めたにもかかわらず，前条　第 3 項各号のいずれかに該当すると認めるときは，直ちに教育委員会に報告しなければならない。
(解任) 第 19 条　教育委員会は，本人から辞任の申出があったときのほか，次の各号のいずれか　に該当すると認められるときは，委員（理事）を解任することができる。 (1)　第 12 条に規定する義務に違反したとき。 (2)　委員（理事）が心身の故障のために職務を遂行することができないとき。 (3)　その他，解任に相当する事由が認められるとき。 2　校長は，委員（理事）が前項各号のいずれかに該当すると認めるときは，直ちに教育委員会に報告しなければならない。	(解任) 第 17 条　教育委員会は，本人から辞任の申出があったときのほか，次の各号のいずれかに該当すると認められるときは，委員を解任することができる。 (1)　第 11 条に規定する義務に違反したとき。 (2)　委員が心身の故障のために職務を遂行することができないとき。 (3)　その他，解任に相当する事由が認められるとき。 2　校長は，委員が前項各号のいずれかに該当すると認めるときは，直ちに教育委員会に報告しなければならない。
(運営等) 第 20 条　協議会は，法令及び教育委員会が定める要綱及びその設置目的に反しない範囲において，その運営に必要な事項を定めることができる。	(運営等) 第 18 条　協議会は，法令及び教育委員会が定める要綱及びその設置目的に反しない範囲において，その運営に必要な事項を定めることができる。
(委任) 第 21 条　この要綱において別に定めることとされている事項及びこの要綱の実施に関し必要な事項は，教育長が定める。	(委任) 第 19 条　この要綱において別に定めることとされている事項及びこの要綱の実施に関し必要な事項は，教育長が定める。
附　則 この要綱は，平成２２年　４月１日から実施する。	附　則 この要綱は，平成２２年　４月１日から実施する。 附　則 この要綱は，平成２８年　９月１日から実施する。

地域密着型教育推進事業に係る「地域密着型教育コーディネーター」

配置要綱

（趣　旨）

第１条　この要綱は、地域密着型教育推進事業において、地域密着型教育を支援するために各校に配置する地域密着型教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）について必要事項を定めるものとする。

（設　置）

第２条　八戸市教育委員会（以下「委員会」という）は、希望する小・中学校にコーディネーターを置くものとする。

２　コーディネーターは、校長の推薦により選任し、委員会が委嘱する。

３　コーディネーターは、原則各校１人とする。ただし、必要と認められる場合は　複数名委嘱することができる。

（職　務）

第３条　コーディネーターは次に掲げる業務を行う。

(1) 各校に設置する地域学校連携協議会の事務に関すること。

(2) 学校支援ボランティア人材バンクの作成事務に関すること。

(3) 学校が必要とする支援と人材バンク登録者や地域とのコーディネート（調整）に関すること。

(4) 地域学校連携協議会が検討した事業の実施に関すること。

(5) その他委員会及び各校校長が学校支援に関して必要と認める事項に関すること。

（服　務）

第４条　コーディネーターは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 法令等及び委員会の職務上の命令に従うこと。

(2) 職の信用を傷つけ、又は職全体の不名誉となるような行為をしないこと。

(3) 職務上知り得た秘密を漏らさないこと。

(4) 誠実かつ公正に勤務すること。

（免　職）

第５条　委員会は、コーディネーターが次の項に該当する場合においては、その任期中においても委嘱を解くことができる。

(1) 本人の都合により退職を申し出た場合

(2) 心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合

(3) その職に必要な適正を欠く場合

(4) 刑事事件に関し起訴された場合

（任用期間）
第６条　コーディネーターは、１年を超えない期間を任期として任用する。ただし、更新することを妨げない。

（勤務日及び勤務時間等）
第７条　原則として、１週間の勤務時間はおおむね７時間以内とする。
２　勤務場所は、原則として校内とする。ただし、委員会もしくは各校校長が必要と認めた場合は、校外においても勤務することができる。

（謝礼及びその支給）
第８条　謝礼は、予算の範囲内において支給するものとし、時給８００円とする。
２　謝礼の計算期間は、一の月の初日から末日までとする。
３　謝礼の支給日は、前項の計算期間の翌月の２１日（その日が日曜日、休日又は土曜日に当たるときは、その日の前日以前で、かつ、その日に最も近い日曜日、休日又は土曜日でない日）とする。

（費用弁償）
第９条　コーディネーターに支給する費用弁償の額は、八戸市職員等の旅費支給条例（昭和28年八戸市条例第9号）第14条第1項第3号に規定する特別職の職員等以外の職員の職務にある職員相当額とする。
２　コーディネーターに対する費用弁償の支給は、一般職の例による。

（その他）
第10条　この要綱の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附　則
この要綱は、平成２２年４月１日から施行する。

附　則
この要綱は、平成２８年９月１日から施行する。

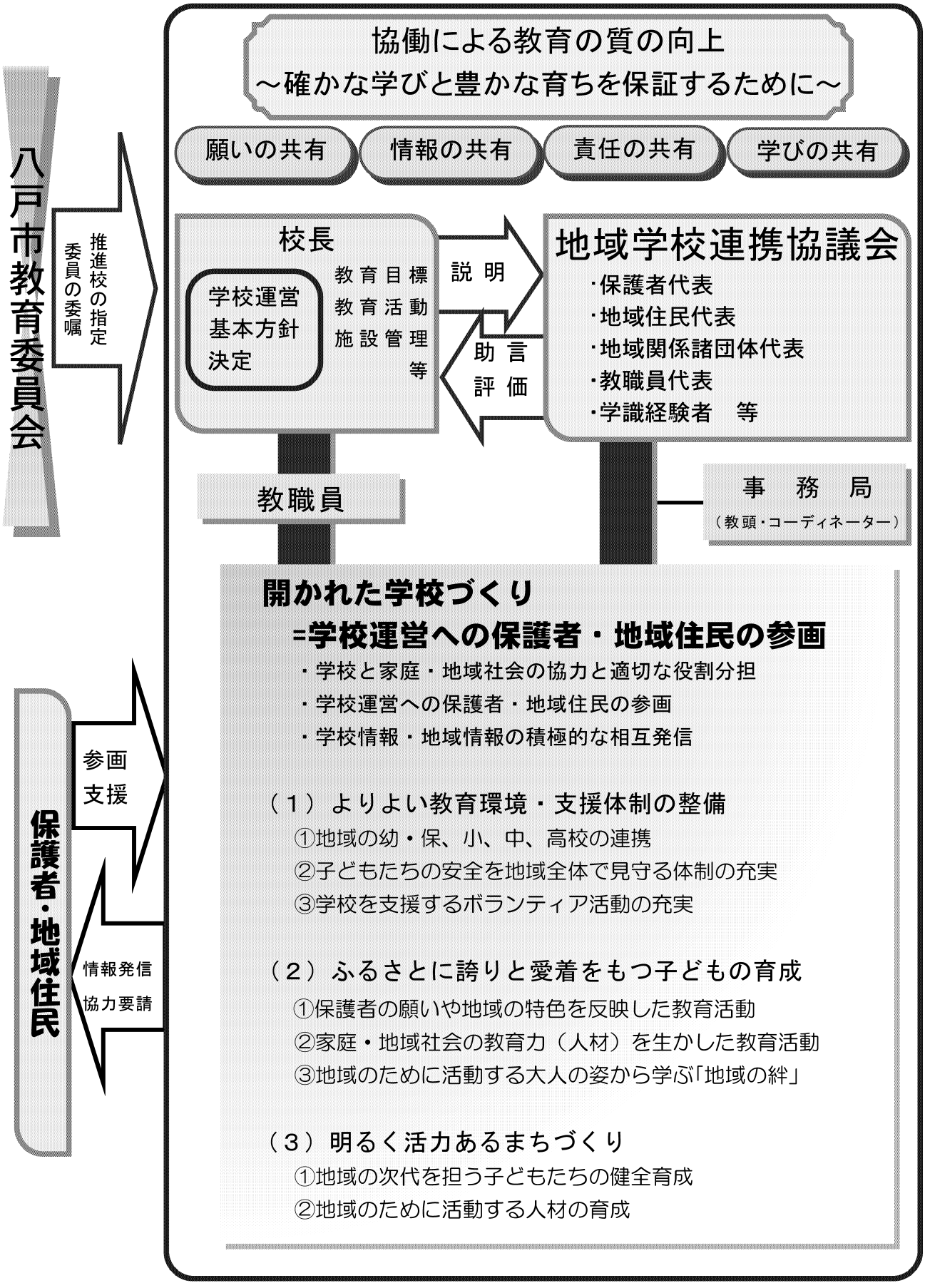
地域密着型教育推進事業に係る「地域密着型教育コーディネーター」配置要綱

八戸市教育委員会

改正前	改正後
（趣　旨） 第１条　この要綱は、地域密着型教育推進事業において、地域密着型教育を支援するために推進校に配置する地域密着型教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）について必要事項を定めるものとする。	（趣　旨） 第１条　この要綱は、地域密着型教育推進事業において、地域密着型教育を支援するために各校に配置する地域密着型教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）について必要事項を定めるものとする。
（設　置） 第２条　八戸市教育委員会（以下「委員会」という）は、児童数100人以上の小学校及び、生徒数80人以上の中学校の推進校にコーディネーターを置くものとする。	（設　置） 第２条　八戸市教育委員会（以下「委員会」という）は、希望する小・中学校にコーディネーターを置くものとする。
２　コーディネーターは、地域密着型教育推進校（以下「推進校」という）校長の推薦により選任し、委員会が委嘱する。	２　コーディネーターは、校長の推薦により選任し、委員会が委嘱する。
３　コーディネーターは、原則１推進校１人とする。ただし、必要と認められる場合は複数名委嘱することができる。	３　コーディネーターは、原則各校１人とする。ただし、必要と認められる場合は複数名委嘱することができる。
（職　務） 第３条　コーディネーターは次に掲げる業務を行う。 (1) 推進校に設置する地域学校連携協議会の事務に関すること。 (2) 学校支援ボランティア人材バンクの作成事務に関すること。 (3) 学校が必要とする支援と人材バンク登録者や地域とのコーディネート（調整）に関すること。 (4) 地域学校連携協議会が検討した事業の実施に関すること。 (5) その他委員会及び推進校校長が学校支援に関して必要と認める事項に関すること。	（職　務） 第３条　コーディネーターは次に掲げる業務を行う。 (1) 各校に設置する地域学校連携協議会の事務に関すること。 (2) 学校支援ボランティア人材バンクの作成事務に関すること。 (3) 学校が必要とする支援と人材バンク登録者や地域とのコーディネート（調整）に関すること。 (4) 地域学校連携協議会が検討した事業の実施に関すること。 (5) その他委員会及び各校校長が学校支援に関して必要と認める事項に関すること。
（服　務） 第４条　コーディネーターは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。 (1) 法令等及び委員会の職務上の命令に従うこと。 (2) 職の信用を傷つけ、又は職全体の不名誉となるような行為をしないこと。 (3) 職務上知り得た秘密を漏らさないこと。 (4) 誠実かつ公正に勤務すること。	（服　務） 第４条　コーディネーターは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。 (1) 法令等及び委員会の職務上の命令に従うこと。 (2) 職の信用を傷つけ、又は職全体の不名誉となるような行為をしないこと。 (3) 職務上知り得た秘密を漏らさないこと。 (4) 誠実かつ公正に勤務すること。

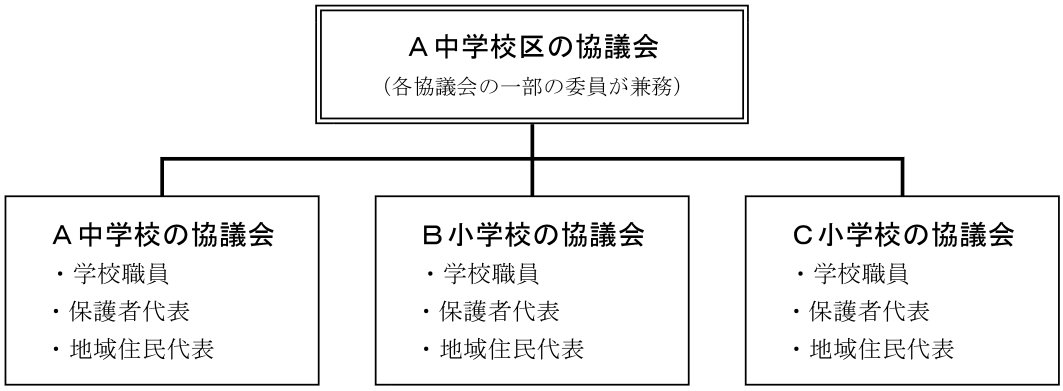
（免　職） 第５条　委員会は、コーディネーターが次の項に該当する場合においては、その任期中においても委嘱を解くことができる。 (1) 本人の都合により退職を申し出た場合 (2) 心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合 (3) その職に必要な適正を欠く場合 (4) 刑事事件に関し起訴された場合 （任用期間） 第６条　コーディネーターは、１年を超えない期間を任期として任用する。ただし、更新することを妨げない。 （勤務日及び勤務時間等） 第７条　原則として、１週間の勤務時間はおおむね７時間以内とする。 ２　勤務場所は、原則として推進校校内とする。ただし、委員会もしくは推進校校長が必要と認めた場合は、校外においても勤務することができる。 （謝礼及びその支給） 第８条　謝礼は、予算の範囲内において支給するものとし、時給８００円とする。 ２　謝礼の計算期間は、一の月の初日から末日までとする。 ３　謝礼の支給日は、前項の計算期間の翌月の２１日（その日が日曜日、休日又は土曜日に当たるときは、その日の前日以前で、かつ、その日に最も近い日曜日、休日又は土曜日でない日）とする。 （費用弁償） 第９条　コーディネーターに支給する費用弁償の額は、八戸市職員等の旅費支給条例（昭和28年八戸市条例第9号）第14条第1項第3号に規定する特別職の職員等以外の職員の職務にある職員相当額とする。 ２　コーディネーターに対する費用弁償の支給は、一般職の例による。 （その他） 第10条　この要綱の実施に関し必要な事項は、別に定める。 附　則 この要綱は、平成２２年４月１日から施行する。	（免　職） 第５条　委員会は、コーディネーターが次の項に該当する場合においては、その任期中においても委嘱を解くことができる。 (1) 本人の都合により退職を申し出た場合 (2) 心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合 (3) その職に必要な適正を欠く場合 (4) 刑事事件に関し起訴された場合 （任用期間） 第６条　コーディネーターは、１年を超えない期間を任期として任用する。ただし、更新することを妨げない。 （勤務日及び勤務時間等） 第７条　原則として、１週間の勤務時間はおおむね７時間以内とする。 ２　勤務場所は、原則として校内とする。ただし、委員会もしくは各校校長が必要と認めた場合は、校外においても勤務することができる。 （謝礼及びその支給） 第８条　謝礼は、予算の範囲内において支給するものとし、時給８００円とする。 ２　謝礼の計算期間は、一の月の初日から末日までとする。 ３　謝礼の支給日は、前項の計算期間の翌月の２１日（その日が日曜日、休日又は土曜日に当たるときは、その日の前日以前で、かつ、その日に最も近い日曜日、休日又は土曜日でない日）とする。 （費用弁償） 第９条　コーディネーターに支給する費用弁償の額は、八戸市職員等の旅費支給条例（昭和28年八戸市条例第9号）第14条第1項第3号に規定する特別職の職員等以外の職員の職務にある職員相当額とする。 ２　コーディネーターに対する費用弁償の支給は、一般職の例による。 （その他） 第10条　この要綱の実施に関し必要な事項は、別に定める。 附　則 この要綱は、平成２２年４月１日から施行する。 附　則 この要綱は、平成２８年９月１日から施行する。

地域密着型教育推進事業基本構想図

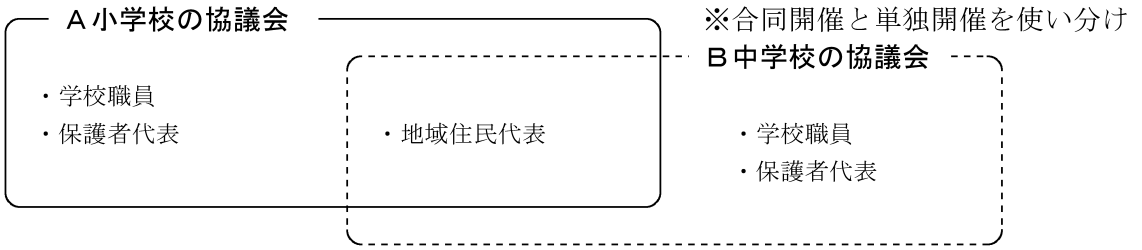


同一学区内地域学校連携協議会の形態例

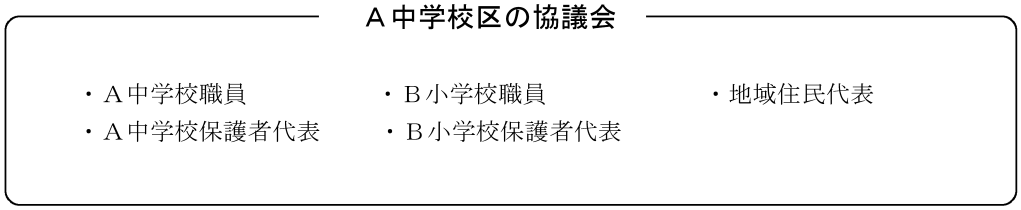
１　複数の協議会のネットワーク型



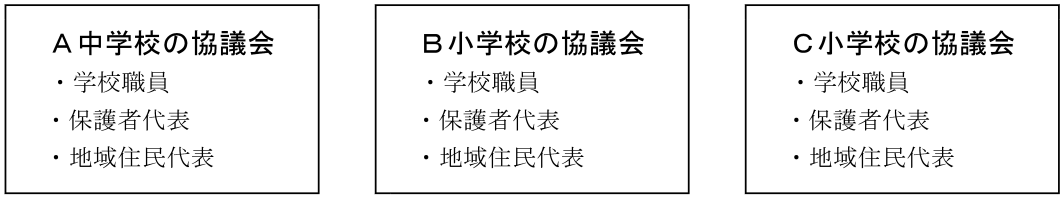
２　一部の委員が兼務する一部合同型



３　小中合同の完全一体型



４　学校別の独立型



※同じ学区にある他の学校の校長先生を委員やオブザーバーにするケースが多い



平成２８年度

地域密着型教育推進事業実践報告集

編集発行：八戸市教育委員会 教育指導課

〒031-8686　八戸市内丸一丁目１番１号
電　話　0178-43-9519（直通）
ＦＡＸ　0178-47-4997